

平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）  
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

報 告 書

## 目次

1. 目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査項目.....	2
1) 施設調査.....	2
(1) 施設票.....	2
2) 病棟調査.....	3
3) 精神科訪問看護調査.....	6
(1) 精神科訪問看護票.....	6
4) 患者調査.....	6
(1) 患者票.....	6
(2) デイ・ケア患者票.....	6
5. 結果概要.....	7
1) 回収状況.....	7
2) 施設調査.....	8
(1) 医療機関の概況.....	8
(2) 許可病床数など.....	12
(3) 精神科の従事職員数.....	16
(4) 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況.....	17
(5) 精神科病棟の患者について.....	25
(6) 精神科病棟の退院患者について.....	35
(7) 精神科デイ・ケアの実施状況について.....	47
(8) 精神科訪問看護の実施状況について.....	54
(9) GAF尺度による判定の実施状況について.....	59
(10) 東日本大震災が貴院に与えた影響について.....	62
3) 病棟調査①（精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料）.....	64
(1) 病棟全体の状況.....	64
(2) 身体合併症を有する患者の状況について.....	66
(3) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について.....	73
(4) 退院支援の実施状況について.....	74
(5) 1年前と比較した重症な患者の状況について.....	76
(6) GAF尺度のスコアの状況について.....	78
4) 病棟調査②（精神科救急入院料）.....	80
(1) 病棟全体の状況.....	80
(2) 身体合併症を有する患者の状況について.....	82

(3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況	87
(4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について	88
(5) 退院支援の実施状況について	90
(6) 1年前と比較した重症な患者の状況について	92
5) 病棟調査④（精神科急性期治療病棟入院料）	94
(1) 病棟全体の状況	94
(2) 身体合併症を有する患者の状況について	96
(3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況	101
(4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について	102
(5) 1年前と比較した重症な患者の状況について	103
6) 病棟調査⑤（精神療養病棟入院料）	105
(1) 病棟全体の状況	105
(2) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況	107
(3) GAF尺度のスコアの状況について	107
(4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について	109
(5) 退院支援の実施状況について	110
(6) 1年前と比較した重症な患者の状況について	112
7) 精神科訪問看護調査	114
(1) 院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションの状況	114
8) 患者調査	128
(1) 患者の基本的事項	128
(2) 入院の状況	131
(3) 患者の状態等	148
(4) 治療の状況	158
(5) 患者の社会的状況	160
(6) 退院の見通し	161
9) デイ・ケア患者調査	164
(1) デイ・ケア利用者の基本的事項	164
(2) デイ・ケア利用開始後の状況	165
(3) デイ・ケア利用開始前の状況	168
(4) デイ・ケア利用者の状況	171
(5) プログラム利用の現況	176
6. まとめ	183
1) 施設調査	183
2) 病棟調査①（精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料）	186
3) 病棟調査②（精神科救急入院料）	188
4) 病棟調査④（精神科急性期治療病棟入院料）	190
5) 病棟調査⑤（精神療養病棟入院料）	192
6) 精神科訪問看護調査	193

7) 患者調査.....	194
8) デイ・ケア患者調査.....	196

## 1. 目的

平成 22 年度診療報酬改定において、精神科における急性期を担う病院に対する評価の見直しを行うとともに、精神科救急患者等の救急搬送による受入の困難さを考慮した評価を実施した。また、精神療養病床においては、患者の重症度に応じた加算を創設した。

これらの評価の見直しや加算の創設による精神科病棟における職員の配置の変化や、精神科救急患者等の受入状況、診療状況の変化等について調査を行う。

### 〈調査のねらい〉

- 精神医療に関連する各種項目の算定状況等
- 精神科病棟における入院患者の状況等
- 精神科病棟における医師や看護師の配置状況等
- 精神科救急入院の受入状況や精神科入院患者の退院調整の状況等
- 重症度の評価を導入した事による精神科患者の診療状況の変化等

## 2. 調査対象

### ■ 施設調査

精神病床を有する全保険医療機関を調査対象とする。

### ■ 病棟調査

上記施設調査の対象施設の①「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）」、②「精神科救急入院料」、③「精神科救急・合併症入院料」、④「精神科急性期治療病棟入院料」、⑤「精神療養病棟入院料」を算定しているそれぞれの病棟を調査対象とする。

### ■ 精神科訪問看護調査

上記施設調査の対象施設の訪問看護部門、併設する訪問看護事業所を調査対象とする。

### ■ 患者調査

上記施設調査の対象施設において調査時点で「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）」、「精神科救急入院料」、「精神科救急・合併症入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している患者について、それぞれ 3 人ずつ、デイ・ケア利用患者について条件に適合する患者 3 人を無作為抽出し、計 18 人を調査対象とする。

## 3. 調査方法

施設調査は、自記式調査票の郵送配布・回収とする。

精神科訪問看護調査、病棟調査、患者調査は、自記式調査票で施設調査対象施設において、配布し、施設調査と合わせて回収する。

## 4. 調査項目

### 1) 施設調査

#### (1) 施設票

区 分	内 容
施設属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設者、承認等の状況、精神科医療に関する指定等の状況、標榜している診療科、許可病床数、病床利用率、平均在院日数、精神科に従事する職員数</li> <li>・ 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況</li> </ul>
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の入院形態、主たる疾患、年齢階級、在院期間、外来の延べ患者数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>・ 新規入院した患者について（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>・ 退院支援を担当する専門部署の設置状況、精神科病棟の入院患者の退院支援への関与</li> <li>・ 精神科病棟から転院・退院した患者について</li> <li>・ 精神科地域以降実施加算の届出状況（平成 22 年、平成 23 年）／入院期間が 5 年を超える患者が減少した割合（平成 21 年 1～12 月、平成 22 年 1～12 月）</li> <li>・ 精神科デイ・ケアの届出状況／当該部署に従事している職員数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）／精神科デイ・ケアを利用した患者数（平成 21 年 6 月、平成 22 年 6 月、平成 23 年 6 月）／疾患別や年代別等の個別のプログラムの有無</li> <li>・ 訪問看護実施状況／訪問看護を担当する部署の設置状況／当該部署に従事している職員数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）、精神科訪問看護を利用した患者数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）／精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）について／精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）について</li> <li>・ 精神科の急性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況</li> <li>・ 精神科の慢性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況</li> <li>・ 他の重症度判定尺度の活用状況</li> <li>・ 東日本大震災が与えた影響</li> <li>・ 平成 22 年度診療報酬改定による精神科医療の充実・改善状況</li> </ul>

## 2) 病棟調査

### (1) 病投票①(精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟))

区 分	内 容
属 性 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従事職員数 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月)</li> </ul>
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象：精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟) 算定病棟全体               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月)</li> <li>－ 身体合併症を有する患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) / 精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) / 精神科以外の診療科との連携状況</li> <li>－ 新規入棟した患者について</li> <li>－ 転棟・転院・退院した患者について / 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因</li> <li>－ 入院患者に対する退院支援の実施状況</li> <li>－ 入院患者について 1 年前と比較して精神症状の重症な患者 / 身体合併症の重症な患者の増減</li> <li>－ 入院患者について過去 1 年間おける他の病棟との間での精神症状の重症な患者 / 身体合併症の重症な患者の移動</li> </ul> </li> <li>・ 調査対象：「精神科病棟入院基本料」10 対 1 入院基本料、13 対 1 入院基本料、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」7 対 1 入院基本料、10 対 1 入院基本料、13 対 1 入院基本料届出施設               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟) 算定病棟に入院していた全ての患者の GAF 尺度のスコア (平成 23 年 6 月 30 日、平成 22 年 6 月 30 日、平成 21 年 6 月 30 日)</li> <li>－ 精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟) 算定病棟に新規入院した全ての患者の入棟時の GAF 尺度のスコア (平成 23 年 4～6 月) / 転棟・転院・退院した全ての患者の転棟・転院・退院時の GAF 尺度のスコア (平成 23 年 4～6 月)</li> </ul> </li> </ul>

## (2) 病投票② (精神科救急入院料)

区 分	内 容
属 性 項 目	・ 従事職員数 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月)
調 査 項 目	・ 調査対象：精神科救急入院料算定病棟全体 － 患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) － 身体合併症を有する患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) / 精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) / 精神科以外の診療科との連携状況 － 非定型抗精神薬による治療患者数 (平成 21 年 6 月、平成 22 年 6 月、平成 23 年 6 月) － 新規入棟した患者について － 転棟・転院・退院した患者について / 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因 － 退院支援の実施状況 － 入院患者について 1 年前と比較して精神症状の重症な患者 / 身体合併症の重症な患者の増減

## (3) 病投票③ (精神科救急・合併症入院料)

区 分	内 容
属 性 項 目	・ 従事職員数 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月)
調 査 項 目	・ 調査対象：精神科救急・合併症入院料算定病棟全体 － 患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) － 身体合併症を有する患者の状態 (平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月) / 精神科以外の診療科との連携状況 － 非定型抗精神薬による治療患者数 (平成 21 年 6 月、平成 22 年 6 月、平成 23 年 6 月) － 新規入棟した患者について － 転棟・転院・退院した患者について / 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因 － 入院患者について 1 年前と比較して精神症状の重症な患者 / 身体合併症の重症な患者の増減 － 入院患者について過去 1 年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者 / 身体合併症の重症な患者の移動



#### (4) 病投票④（精神科急性期治療病棟入院料）

区 分	内 容
属 性 項 目	・ 従事職員数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象：精神科急性期治療病棟入院料算定病棟全体               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 患者の状態（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>－ 身体合併症を有する患者の状態（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）／精神科身体合併症管理加算の算定患者数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）／精神科以外の診療科との連携状況</li> <li>－ 非定型抗精神薬による治療患者数（平成 21 年 6 月、平成 22 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>－ 新規入棟した患者について</li> <li>－ 転棟・転院・退院した患者について／死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因</li> <li>－ 入院患者について 1 年前と比較して精神症状の重症な患者／身体合併症の重症な患者の増減精神科救急・合併症入院料算定病棟</li> <li>－ 入院患者について過去 1 年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者／身体合併症の重症な患者の移動</li> </ul> </li> </ul>

#### (5) 病投票⑤（精神療養病棟入院料）

区 分	内 容
属 性 項 目	・ 従事職員数（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象：精神療養病棟入院料算定病棟全体               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 患者の状態（平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>－ 非定型抗精神薬による治療患者数（平成 21 年 6 月、平成 22 年 6 月、平成 23 年 6 月）</li> <li>－ 精神療養病棟入院料算定病棟に入院していた全ての患者の GAF 尺度のスコア（平成 23 年 6 月 30 日、平成 22 年 6 月 30 日、平成 21 年 6 月 30 日）</li> <li>－ 精神療養病棟入院料算定病棟に新規入院した全ての患者の入棟時の GAF 尺度のスコア（平成 23 年 4～6 月）／転棟・転院・退院した全ての患者の転棟・転院・退院時の GAF 尺度のスコア（平成 23 年 4～6 月）</li> <li>－ 新規入棟した患者について</li> <li>－ 転棟・転院・退院した患者について／死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因</li> <li>－ 入院患者に対する退院支援の実施状況</li> <li>－ 入院患者について 1 年前と比較して精神症状の重症な患者／身体合併症の重症な患者の増減精神科救急・合併症入院料算定病棟</li> </ul> </li> </ul>

### 3) 精神科訪問看護調査

#### (1) 精神科訪問看護票

区 分	内 容
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査対象：院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションにおいて平成23年6月の1ヶ月間に訪問している患者<ul style="list-style-type: none"><li>－ 主たる疾患</li><li>－ 精神科訪問看護・指導料について</li><li>－ 6月の訪問回数</li><li>－ 1回当たり平均訪問時間</li><li>－ 加算</li><li>－ ケア内容</li><li>－ GAF尺度のスコア</li></ul></li></ul>

### 4) 患者調査

#### (1) 患者票

区 分	内 容
属 性 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 性別、年齢、精神障害者福祉手帳について</li></ul>
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査対象：精神科病棟に入院中の患者<ul style="list-style-type: none"><li>－ 入院の状況</li><li>－ 患者の状態等</li><li>－ 治療の状況</li><li>－ 患者の社会的状況</li><li>－ 退院の見通し</li></ul></li></ul>

#### (2) デイ・ケア患者票

区 分	内 容
属 性 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 性別、年齢、精神障害者福祉手帳について</li></ul>
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査対象：平成23年6月30日時点においてデイ・ケア利用の患者であり、デイ・ケア利用開始日が平成21年7月1日以前かつデイ・ケア利用開始日から遡って2年以前に通院を開始した患者<ul style="list-style-type: none"><li>－ デイ・ケア開始後の状況</li><li>－ デイ・ケア利用開始前の状況</li><li>－ デイ・ケア利用者の現況</li><li>－ プログラム利用の現況</li></ul></li></ul>

## 5. 結果概要

### 1) 回収状況

施設調査は、精神病床を有する全保険医療機関を調査対象として1,477施設に発送しており、有効回収数は432件、回収率は29.2%である。

他の調査票における回収状況は、病棟調査①では27.7%、病棟調査②では32.9%、病棟調査③では28.6%、病棟調査④では31.1%、病棟調査⑤では26.3%であり、精神科訪問看護調査票では17.5%である。

また、患者調査票では、有効回収数が2,074件、デイ・ケア患者調査票では532件である。

デイ・ケア患者調査票は、回収件数は778件であるが、内容を精査し、有効回収数を532件とした。

図表 1-1 回収状況

調査種別	発送数	有効回収数	回収率
施設調査	1,477件	432件	29.2%
病棟調査①（精神病棟入院基本料等）	1,321件	366件	27.7%
病棟調査②（精神科救急入院料）	85件	28件	32.9%
病棟調査③（精神科救急・合併症入院料）	7件	2件	28.6%
病棟調査④（精神科急性期治療病棟入院料）	293件	91件	31.1%
病棟調査⑤（精神療養病棟入院料）	786件	207件	26.3%
精神科訪問看護調査票	1,477件	258件	17.5%
患者調査票		2,074件	
デイ・ケア患者調査票		532件	

※ 平成23年9月30日現在

※ 調査客対数は上記の通りである。調査客体は精神病床を有する保険医療機関のうち、東日本大震災の影響が甚大な地域を除外した上での全数とした。また、東日本大震災による被災地として配慮すべき地域については、調査発送前に電話により調査可否についての確認を実施した。

※ 患者調査票は各医療機関に15部、デイ・ケア患者調査票は各医療機関に3部を同封・送付した。同封・送付した調査票件数を発送数とした場合は、患者調査票の回収率は病院9.4%、デイ・ケア患者調査票17.6%となる。

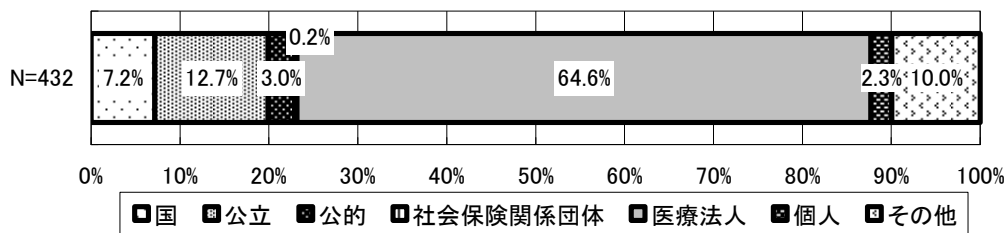
## 2) 施設調査

### (1) 医療機関の概況

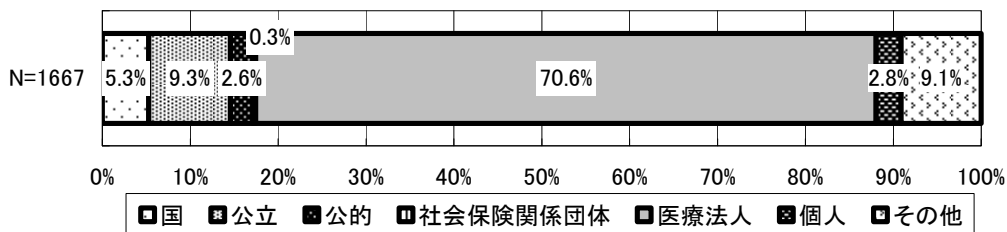
#### ① 開設者

回答のあった医療機関の設置主体は、「医療法人」が 64.6%で最も多く、次いで「公立」が 12.7%、「その他法人」が 10.0%であり、平成 22 年医療施設調査における構成比と概ね同傾向である。

図表 2-1 開設者



<参考>



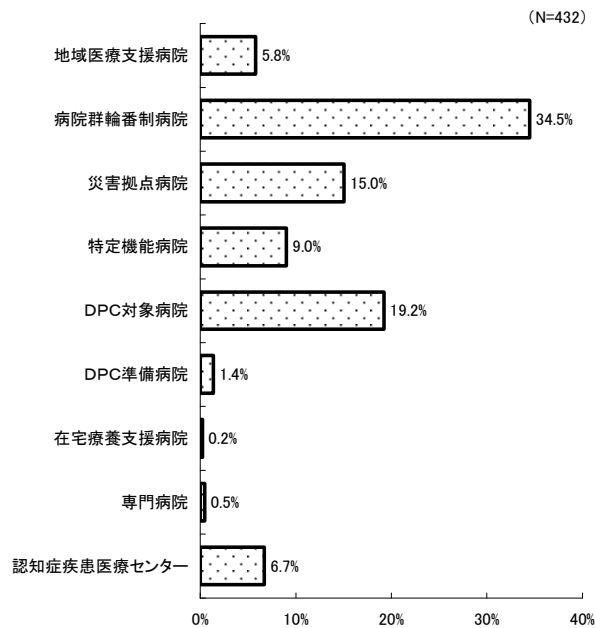
注) 医療施設調査(平成 22 年 10 月)「精神病床を有する病院」より

## ② 承認等の状況

回答のあった医療機関の承認等の状況は、「病院群輪番制病院」が34.5%と最も多く、次いで「DPC対象病院」が19.2%、「災害拠点病院」が15.0%である。

また、開設者と承認等の状況についてみると、病院群輪番制病院では「医療法人」が105施設、37.6%と多く、DPC対象病院では「国」が25施設、80.6%と多い。

図表 2-2 承認等の状況



図表 2-3 開設者と承認等の状況について

	国 (N=31)		公立 (N=55)		公的 (N=13)		社会保険関係団体 (N=1)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
地域医療支援病院	5 施設	16.1%	7 施設	12.7%	3 施設	23.1%	0 施設	0.0%
病院群輪番制病院	7 施設	22.6%	18 施設	32.7%	4 施設	30.8%	1 施設	100.0%
災害拠点病院	15 施設	48.4%	26 施設	47.3%	5 施設	38.5%	1 施設	100.0%
特定機能病院	22 施設	71.0%	2 施設	3.6%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
DPC対象病院	25 施設	80.6%	25 施設	45.5%	9 施設	69.2%	1 施設	100.0%
DPC準備病院	1 施設	3.2%	4 施設	7.3%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
在宅療養支援病院	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
専門病院	1 施設	3.2%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
認知症患者医療センター	0 施設	0.0%	7 施設	12.7%	1 施設	7.7%	0 施設	0.0%

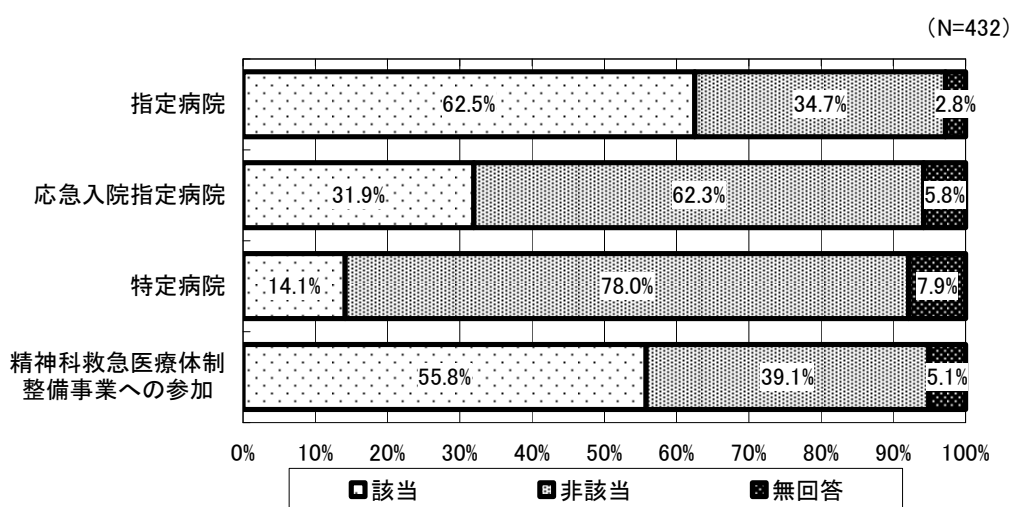
	医療法人 (N=279)		個人 (N=10)		その他 (N=43)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
地域医療支援病院	6 施設	2.2%	0 施設	0.0%	4 施設	9.3%
病院群輪番制病院	105 施設	37.6%	3 施設	30.0%	11 施設	25.6%
災害拠点病院	3 施設	1.1%	0 施設	0.0%	15 施設	34.9%
特定機能病院	2 施設	0.7%	0 施設	0.0%	13 施設	30.2%
DPC対象病院	3 施設	1.1%	0 施設	0.0%	20 施設	46.5%
DPC準備病院	1 施設	0.4%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
在宅療養支援病院	1 施設	0.4%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
専門病院	1 施設	0.4%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
認知症患者医療センター	14 施設	5.0%	1 施設	10.0%	6 施設	14.0%

### ③ 精神科医療に関する指定等の状況

回答のあった医療機関の精神科医療に関する指定等の状況は、「指定病院」が 62.5%と最も多く、次いで「精神科救急医療体制整備事業への参加」が 55.8%、「応急入院指定病院」が 31.9%であり、「特定病院」は 14.1%と少ないが、平成 20 年精神保健福祉資料における病院数比率と概ね同傾向である。

また、開設者と精神科医療に関する指定等の状況についてみると、「医療法人」では N 数が多いため全体比率と同様であるが、それ以外の開設者においては異なっており、次に N 数が大きい「公立」では「指定病院」が 47.3%、「応急入院指定病意」が 49.1%、「特定病院」が 20.0%、「精神科救急医療体制整備事業への参加」が 60.0%である。

図表 2-4 精神科医療に関する指定等の状況



注) 精神保健福祉資料(平成 20 年)の病院数では、指定病院: 60.6%、応急入院指定病院: 26.0%、特定病院: 11.0%、精神科救急医療体制整備への参加: 60.8% である。

図表 2-5 開設者と精神科医療に関する指定等の状況について

	国 (N=31)		公立 (N=55)		公的 (N=13)		社会保険関係団体 (N=1)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
指定病院	7 施設	22.6%	26 施設	47.3%	11 施設	84.6%	1 施設	100.0%
応急入院指定病院	9 施設	29.0%	27 施設	49.1%	7 施設	53.8%	0 施設	0.0%
特定病院	5 施設	16.1%	11 施設	20.0%	4 施設	30.8%	0 施設	0.0%
精神科救急医療体制整備事業への参加	10 施設	32.3%	33 施設	60.0%	9 施設	69.2%	0 施設	0.0%

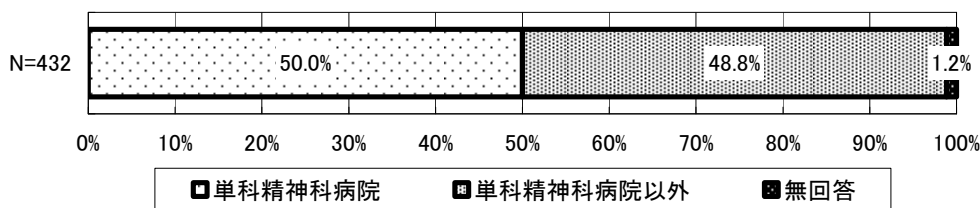
	医療法人 (N=279)		個人 (N=10)		その他 (N=43)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
指定病院	192 施設	68.8%	4 施設	40.0%	29 施設	67.4%
応急入院指定病院	75 施設	26.9%	4 施設	40.0%	16 施設	37.2%
特定病院	31 施設	11.1%	1 施設	10.0%	9 施設	20.9%
精神科救急医療体制整備事業への参加	165 施設	59.1%	4 施設	40.0%	20 施設	46.5%

#### ④ 単科精神科病院の割合

回答のあった医療機関の単科精神科病院の割合は、「単科精神科病院」が 50.0%と多く、「単科精神科病院以外」が 48.8%であり、平成 20 年精神保健福祉資料における病院数と比較すると、「単科精神科病院」が少くなっている。

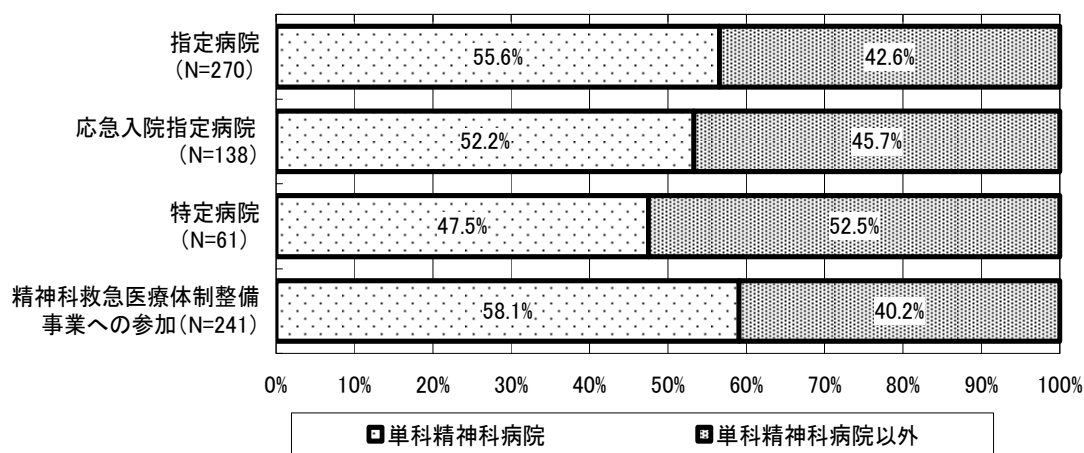
また、精神科医療に関する指定等の状況別に単科精神科病院の割合をみると、「単科精神科病院」の割合が「特定病院」においては若干少ない。

図表 2-6 単科精神科病院の割合



注) 精神保健福祉資料(平成 20 年)の病院数では、単科精神科病院 : 67.9%である。

図表 2-7 精神科医療に関する指定等の状況と単科精神科病院の割合



## (2) 許可病床数など

### ① 許可病床数・病床利用率・平均在院日数

回答のあった医療機関の許可病床数・病床利用率・平均在院日数は、精神病床としてみると、平成 21 年 6 月では病床利用率が 89.6%、平均在院日数が 352.5 日であり、平成 23 年 6 月では 89.1%、353.2 日とほぼ変動はない。

精神病床の内訳をみると、「精神科療養病棟入院料」における平均在院日数が長く、平成 21 年 6 月で 1242.1 日、平成 23 年 6 月で 1118.7 日であり、若干短くなっている。

図表 2-8 許可病床数・病床利用率・平均在院日数

<平均値>	平成 21 年 6 月 (N=365)			平成 23 年 6 月 (N=362)		
	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数
精神病床	195.5 床	89.6%	352.5 日	193.2 床	89.1%	353.2 日
精神科棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神科棟)	107.6 床	87.6%	307.6 日	99.5 床	87.3%	299.9 日
精神科救急入院料	2.5 床	90.5%	54.1 日	3.7 床	90.5%	54.8 日
精神科救急・合併症入院料	0.3 床	-	-	0.2 床	-	-
精神科急性期治療病棟入院料	9.1 床	85.9%	61.6 日	11.0 床	85.0%	64.7 日
精神科療養病棟入院料	61.5 床	96.0%	1,242.1 日	63.6 床	95.8%	1,118.7 日
認知症治療病棟入院料	14.5 床	94.3%	558.6 日	15.3 床	94.6%	603.4 日
一般病床	148.5 床	82.7%	27.8 日	146.4 床	82.7%	32.3 日
療養病床	13.3 床	94.0%	562.2 日	13.5 床	94.1%	494.0 日
結核病床	0.8 床			0.9 床		
感染症病床	0.4 床			0.4 床		



精神科医療に関する指定等の状況別に許可病床数・病床利用率・平均在院日数の増減をみると、「精神病床」では「応急入院指定病院」及び「特定病院」における平均在院日数が比較的短い、H23年6月の平均在院日数はH21年6月に比べると、若干短くなっている。また、「精神科療養病棟入院料」での平均在院日数もH21年6月は1144.9日、H23年6月は858.5日と短くなっている。

図表 2-9 精神科医療に関する指定等の状況別 許可病床数・病床利用率・平均在院日数の増減

<平成 21 年 6 月>

<平均値>	指定病院 (N=233)			応急入院指定病院 (N=121)		
	許可病床数	病床利用率	平均在院日数	許可病床数	病床利用率	平均在院日数
精神病床	226.0 床	91.3%	351.9 日	241.0 床	90.0%	248.5 日
精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	116.0 床	89.8%	332.1 日	139.5 床	89.2%	270.0 日
精神科救急入院料	2.9 床	92.9%	53.8 日	7.0 床	90.2%	53.3 日
精神科救急・合併症入院料	0.2 床	0.0%	0.0 日	0.9 床	0.0%	0.0 日
精神科急性期台病棟入院料	12.6 床	86.1%	60.8 日	18.6 床	87.5%	61.6 日
精神科療養病棟入院料	77.1 床	95.7%	1,214.9 日	61.9 床	96.5%	1,379.3 日
認知症台病棟入院料	17.1 床	93.8%	530.4 日	13.0 床	92.9%	515.4 日
一般病床	91.5 床	80.4%	21.6 日	147.3 床	82.7%	25.9 日
療養病床	8.9 床	94.1%	647.0 日	5.7 床	91.4%	464.9 日
結核病床	0.5 床			0.9 床		
感染症病床	0.3 床			0.7 床		

<平均値>	特定病院 (N=50)			精神科救急医療体制整備事業への参加 (N=215)		
	許可病床数	病床利用率	平均在院日数	許可病床数	病床利用率	平均在院日数
精神病床	250.9 床	88.2%	232.7 日	225.4 床	91.5%	342.1 日
精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	127.7 床	86.6%	250.2 日	116.3 床	90.1%	316.3 日
精神科救急入院料	11.0 床	92.3%	56.2 日	3.9 床	90.0%	53.3 日
精神科救急・合併症入院料	1.2 床	0.0%	0.0 日	0.5 床	0.0%	0.0 日
精神科急性期台病棟入院料	21.4 床	87.8%	63.3 日	13.0 床	85.4%	61.2 日
精神科療養病棟入院料	70.6 床	96.5%	1,144.9 日	75.5 床	96.5%	1,302.3 日
認知症台病棟入院料	19.0 床	94.4%	595.6 日	16.2 床	94.3%	505.3 日
一般病床	175.2 床	85.8%	78.7 日	93.2 床	80.6%	26.8 日
療養病床	6.8 床	91.0%	709.3 日	7.1 床	93.8%	682.5 日
結核病床	0.7 床			0.7 床		
感染症病床	0.4 床			0.5 床		

<平成 23 年 6 月>

<平均値>	指定病院 (N=230)			応急入院指定病院 (N=117)		
	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数
精神病床	224.4 床	90.9%	347.5 日	237.8 床	89.3%	239.9 日
精神病床入院基本料、特定機能病院入院基本料 (精神病床)	107.3 床	89.4%	318.2 日	125.0 床	89.0%	254.6 日
精神科救急入院料	4.9 床	92.1%	54.0 日	11.1 床	90.1%	53.3 日
精神科救急・合併症入院料	0.0 床	0.0%	0.0 日	0.5 床	0.0%	0.0 日
精神科急性期治療病床入院料	15.1 床	85.7%	63.3 日	21.0 床	87.1%	64.7 日
精神科療養病床入院料	80.5 床	95.6%	1,113.1 日	65.1 床	96.9%	1,114.7 日
認知症治療病床入院料	16.6 床	94.0%	560.5 日	15.2 床	93.1%	516.3 日
一般病床	86.4 床	80.3%	21.2 日	136.4 床	81.5%	33.0 日
療養病床	9.2 床	95.1%	521.2 日	6.2 床	91.1%	468.7 日
結核病床	0.6 床			0.7 床		
感染症病床	0.3 床			0.7 床		

<平均値>	特定病院 (N=49)			精神科救急医療体制 整備事業への参加 (N=211)		
	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数	許可 病床数	病床 利用率	平均在 院日数
精神病床	246.5 床	87.2%	228.8 日	223.3 床	91.2%	332.6 日
精神病床入院基本料、特定機能病院入院基本料 (精神病床)	113.4 床	85.8%	257.5 日	104.3 床	89.9%	308.8 日
精神科救急入院料	14.2 床	92.5%	53.0 日	5.6 床	90.4%	52.3 日
精神科救急・合併症入院料	1.1 床	0.0%	0.0 日	0.3 床	0.0%	0.0 日
精神科急性期治療病床入院料	24.5 床	86.7%	91.6 日	16.3 床	84.6%	66.5 日
精神科療養病床入院料	72.0 床	96.7%	858.5 日	79.9 床	96.4%	1,104.4 日
認知症治療病床入院料	21.3 床	93.8%	687.0 日	16.9 床	94.4%	475.2 日
一般病床	156.7 床	82.8%	59.0 日	87.8 床	80.4%	33.5 日
療養病床	7.6 床	91.6%	564.1 日	7.3 床	94.0%	511.2 日
結核病床	0.4 床			0.8 床		
感染症病床	0.4 床			0.5 床		

平均在院年数別に病床種別をみると、いずれの病床種別においても概ね「1年未満」で占められているが、「精神科療養病棟入院料」においては平均在院年数にばらつきがある。

図表 2-10 平均在院年数別 病床種別

<平成 21 年 6 月>

	精神病床 (N=408)		精神科病棟入院基本料、特定機能病院 入院基本料（精神 病棟） (N=346)		精神科救急入院料 (N=93)		精神科救急・合併 症入院料 (N=82)		精神科急性期治療 病棟入院料 (N=139)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1年未満	235 施設	57.60%	234 施設	67.63%	93 施設	100.00%	82 施設	100.00%	138 施設	99.28%
1年以上から2年未満	115 施設	28.19%	77 施設	22.25%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	1 施設	0.72%
2年以上から3年未満	36 施設	8.82%	15 施設	4.34%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%
3年以上から4年未満	9 施設	2.21%	9 施設	2.60%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%
4年以上から5年未満	6 施設	1.47%	4 施設	1.16%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%
5年以上	7 施設	1.72%	7 施設	2.02%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%

	精神科療養病棟 入院料 (N=242)		認知症治療病棟 入院料 (N=149)		一般病床 (N=178)		療養病床 (N=133)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1年未満	69 施設	28.51%	92 施設	61.74%	174 施設	97.75%	100 施設	75.19%
1年以上から2年未満	61 施設	25.21%	33 施設	22.15%	3 施設	1.69%	15 施設	11.28%
2年以上から3年未満	35 施設	14.46%	11 施設	7.38%	0 施設	0.00%	8 施設	6.02%
3年以上から4年未満	14 施設	5.79%	6 施設	4.03%	1 施設	0.56%	3 施設	2.26%
4年以上から5年未満	19 施設	7.85%	3 施設	2.01%	0 施設	0.00%	2 施設	1.50%
5年以上	44 施設	18.18%	4 施設	2.68%	0 施設	0.00%	5 施設	3.76%

<平成 23 年 6 月>

	精神病床 (N=413)		精神科病棟入院基本料、特定機能病院 入院基本料（精神 病棟） (N=339)		精神科救急入院料 (N=101)		精神科救急・合併 症入院料 (N=82)		精神科急性期治療 病棟入院料 (N=151)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1年未満	243 施設	58.84%	227 施設	66.96%	101 施設	100.00%	82 施設	100.00%	148 施設	98.01%
1年以上から2年未満	111 施設	26.88%	78 施設	23.01%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	1 施設	0.66%
2年以上から3年未満	41 施設	9.93%	21 施設	6.19%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	1 施設	0.66%
3年以上から4年未満	8 施設	1.94%	7 施設	2.06%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	1 施設	0.66%
4年以上から5年未満	5 施設	1.21%	1 施設	0.29%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%
5年以上	5 施設	1.21%	5 施設	1.47%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%

	精神科療養病棟 入院料 (N=248)		認知症治療病棟 入院料 (N=152)		一般病床 (N=181)		療養病床 (N=133)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1年未満	71 施設	28.63%	87 施設	57.24%	176 施設	97.24%	100 施設	75.19%
1年以上から2年未満	53 施設	21.37%	38 施設	25.00%	4 施設	2.21%	18 施設	13.53%
2年以上から3年未満	45 施設	18.15%	11 施設	7.24%	1 施設	0.55%	8 施設	6.02%
3年以上から4年未満	25 施設	10.08%	6 施設	3.95%	0 施設	0.00%	2 施設	1.50%
4年以上から5年未満	14 施設	5.65%	0 施設	0.00%	0 施設	0.00%	2 施設	1.50%
5年以上	40 施設	16.13%	10 施設	6.58%	0 施設	0.00%	3 施設	2.26%

### (3) 精神科の従事職員数

#### ① 精神科病棟の従事している職員数

回答のあった医療機関の精神科病棟の従事している職員数は、「看護職員」が 59.45 人で最も多く、次いで「看護補助者」が 22.39 人である。

また、精神科医療に関する指定等の状況別に従事職員数をみると、医師は「特定病院」が 10.54 人で最も多く、看護職員は「応急入院指定病院」が 79.39 人で最も多い。

図表 2-11 精神科病棟の従事している職員数

<平均値> (N=431)	常勤換算人数
医師	8.05 人
(再掲) 精神保健指定医	4.88 人
(再掲) 精神保健指定医以外	1.95 人
(再掲) 内科医	0.81 人
(再掲) 外科医	0.08 人
看護職員	59.45 人
看護補助者	22.39 人
作業療法士	3.94 人
臨床心理技術者	1.44 人
ソーシャルワーカー	3.71 人
(再掲) 精神保健福祉士	3.56 人
その他	13.35 人

図表 2-12 精神科医療に関する指定等の状況別 従事職員数

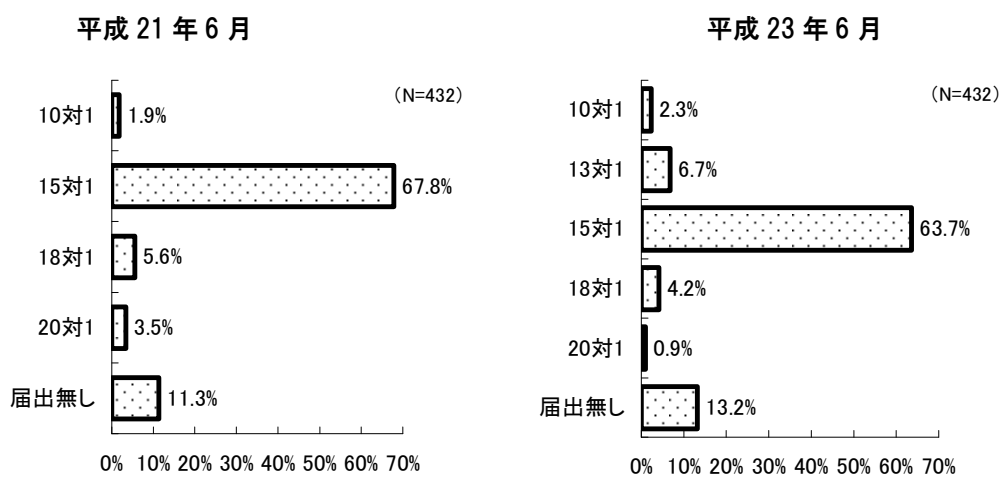
常勤換算人数<平均値>	指定病院 (N=270)	応急入院指定病院 (N=138)	特定病院 (N=61)	精神科救急医療体制 整備事業への参加 (N=241)
医師	8.27 人	10.12 人	10.54 人	8.30 人
(再掲) 精神保健指定医	5.20 人	6.47 人	6.61 人	5.32 人
(再掲) 精神保健指定医以外	1.93 人	2.68 人	3.07 人	1.96 人
(再掲) 内科医	0.85 人	0.73 人	0.81 人	0.80 人
(再掲) 外科医	0.09 人	0.06 人	0.05 人	0.07 人
看護職員	68.97 人	79.39 人	77.33 人	71.07 人
看護補助者	25.95 人	25.61 人	28.57 人	26.19 人
作業療法士	4.60 人	4.85 人	4.52 人	4.66 人
臨床心理技術者	1.53 人	2.07 人	1.87 人	1.55 人
ソーシャルワーカー	4.36 人	5.12 人	5.04 人	4.48 人
(再掲) 精神保健福祉士	4.20 人	5.01 人	4.95 人	4.43 人
その他	16.30 人	16.22 人	14.20 人	16.29 人

#### (4) 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況

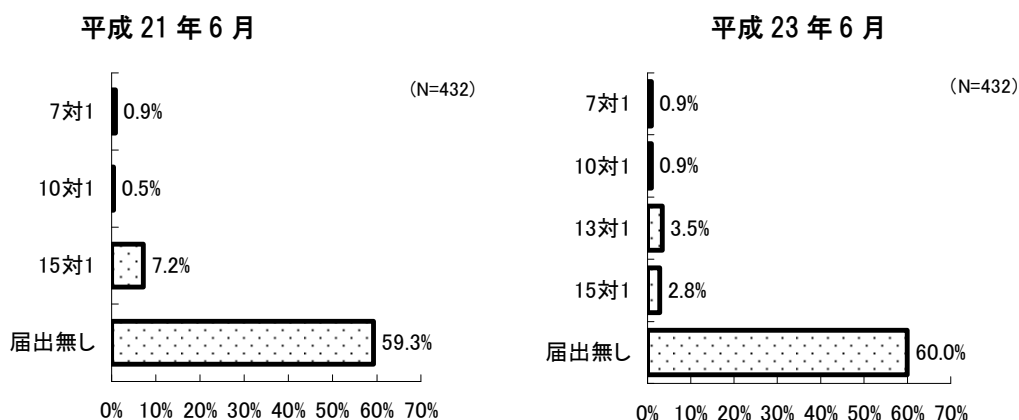
回答のあった医療機関のうち、精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出を行っている医療機関は、「精神病棟入院基本料」でみると、平成21年6月も平成23年6月も「15対1」が67.8%、63.7%と多く、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」では、平成21年6月も平成23年6月も「届出無し」が59.3%、60.0%と多い。また、「精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料などの届出有りの状況」をみると、平成21年6月も平成23年6月も「精神療養病棟入院料」が46.5%、48.4%と多い。

図表 2-13 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況

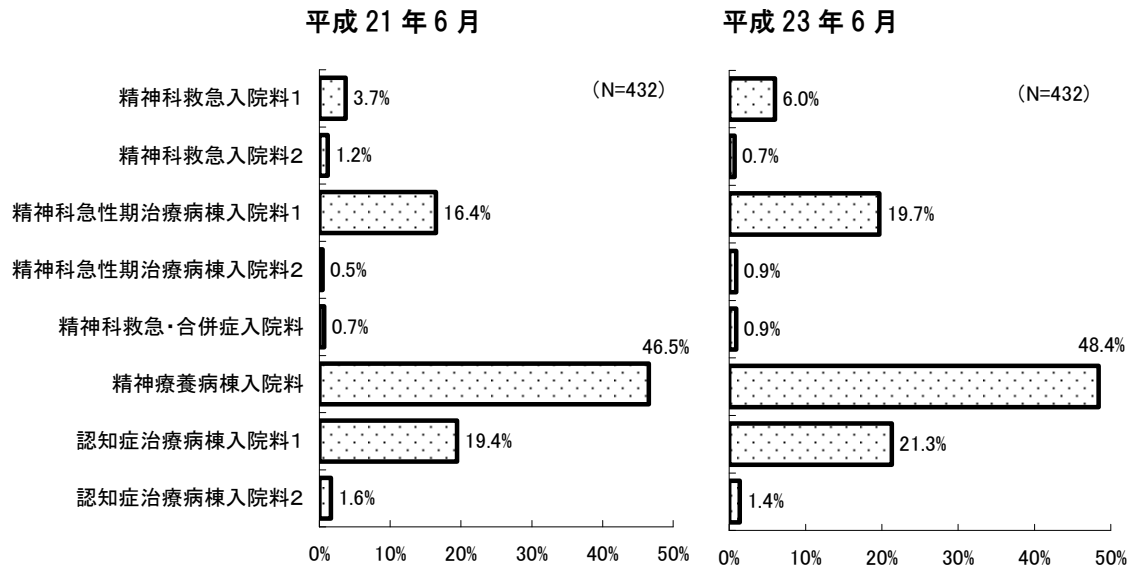
##### <精神病棟入院基本料>



##### <特定機能病院入院基本料（精神病棟）>



＜精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料などの届出有の状況＞



平成 23 年 6 月の単科精神科病院の区分と施設基準の届出状況は、「精神病棟入院基本料 15 対 1」においては「単科精神科病院」が 73.4%、「精神療養病棟入院料」においても 61.9% と多い。

図表 2-14 単科精神科病院の区分と施設基準の届出状況<平成 23 年 6 月>

精神病棟入院基本料	単科精神科病院 (N=218)		単科精神科病院 以外 (N=211)	
	施設数	割合	施設数	割合
10 対 1	0 施設	0.0%	10 施設	4.7%
13 対 1	7 施設	3.2%	21 施設	10.0%
15 対 1	160 施設	73.4%	111 施設	52.6%
18 対 1	10 施設	4.6%	8 施設	3.8%
20 対 1	1 施設	0.5%	3 施設	1.4%
届出無し	16 施設	7.3%	41 施設	19.4%

特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	単科精神科病院 (N=218)		単科精神科病院 以外 (N=211)	
	施設数	割合	施設数	割合
7 対 1	0 施設	0.0%	4 施設	1.9%
10 対 1	0 施設	0.0%	4 施設	1.9%
13 対 1	0 施設	0.0%	15 施設	7.1%
15 対 1	0 施設	0.0%	12 施設	5.7%
届出無し	132 施設	60.6%	122 施設	57.8%

	単科精神科病院 (N=218)		単科精神科病院 以外 (N=211)	
	施設数	割合	施設数	割合
精神科救急入院料 1	13 施設	6.0%	13 施設	6.2%
精神科救急入院料 2	0 施設	0.0%	3 施設	1.4%
精神科急性期治療病棟入院料 1	57 施設	26.1%	27 施設	12.8%
精神科急性期治療病棟入院料 2	2 施設	0.9%	2 施設	0.9%
精神科救急・合併症入院料	1 施設	0.5%	3 施設	1.4%
精神療養病棟入院料	135 施設	61.9%	71 施設	33.6%
認知症治療病棟入院料 1	56 施設	25.7%	36 施設	17.1%
認知症治療病棟入院料 2	2 施設	0.9%	4 施設	1.9%

開設者別の精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況をみると、「精神科病棟入院基本料 15 対 1」は、いずれの開設者においても多いが、「国」においては平成 21 年 6 月では 22.6%、平成 23 年 6 月では 12.9%と少ない。「精神科療養病棟入院料」はいずれの開設者においても少ないが、N 数の多い「医療法人」が 63.4%、66.3%と多く、全体を引き上げており、年で比較すると、平成 23 年 6 月に若干増えている。

図表 2-15 開設者別 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況

＜精神科病棟入院基本料（平成 21 年 6 月）＞

精神科病棟入院基本料（平成 21 年 6 月）	国（N=31）		公立（N=55）		公的（N=13）		社会保険関係団体（N=1）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
10 対 1	0 施設	0.0%	5 施設	9.1%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
15 対 1	7 施設	22.6%	44 施設	80.0%	11 施設	84.6%	1 施設	100.0%
18 対 1	0 施設	0.0%	3 施設	5.5%	1 施設	7.7%	0 施設	0.0%
20 対 1	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
届出無し	17 施設	54.8%	2 施設	3.6%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%

精神科病棟入院基本料（平成 21 年 6 月）	医療法人（N=279）		個人（N=10）		その他（N=43）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
10 対 1	1 施設	0.4%	0 施設	0.0%	2 施設	4.7%
15 対 1	200 施設	71.7%	7 施設	70.0%	23 施設	53.5%
18 対 1	17 施設	6.1%	1 施設	10.0%	2 施設	4.7%
20 対 1	13 施設	4.7%	0 施設	0.0%	2 施設	4.7%
届出無し	20 施設	7.2%	1 施設	10.0%	9 施設	20.9%

＜特定機能病院入院基本料（精神科病棟）（平成 21 年 6 月）＞

特定機能病院入院基本料（精神科病棟） （平成 21 年 6 月）	国（N=31）		公立（N=55）		公的（N=13）		社会保険関係団体（N=1）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
7 対 1	1 施設	3.2%	1 施設	1.8%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
10 対 1	1 施設	3.2%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
15 対 1	20 施設	64.5%	1 施設	1.8%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
届出無し	7 施設	22.6%	41 施設	74.5%	10 施設	76.9%	0 施設	0.0%

特定機能病院入院基本料（精神科病棟） （平成 21 年 6 月）	医療法人（N=279）		個人（N=10）		その他（N=43）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
7 対 1	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	2 施設	4.7%
10 対 1	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	2.3%
15 対 1	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	10 施設	23.3%
届出無し	171 施設	61.3%	8 施設	80.0%	19 施設	44.2%



<精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料などの届出有の状況（平成21年6月）>

平成21年6月	国 (N=31)		公立 (N=55)		公的 (N=13)		社会保険関係団体 (N=1)	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
精神科救急入院料1	0施設	0.0%	7施設	12.7%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急入院料2	0施設	0.0%	2施設	3.6%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科急性期治療病棟入院料1	1施設	3.2%	8施設	14.5%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
精神科急性期治療病棟入院料2	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急・合併症入院料	0施設	0.0%	0施設	0.0%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
精神療養病棟入院料	1施設	3.2%	2施設	3.6%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
認知症治療病棟入院料1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
認知症治療病棟入院料2	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%

平成21年6月	医療法人 (N=279)		個人 (N=10)		その他 (N=43)	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
精神科救急入院料1	7施設	2.5%	0施設	0.0%	2施設	4.7%
精神科救急入院料2	2施設	0.7%	0施設	0.0%	1施設	2.3%
精神科急性期治療病棟入院料1	52施設	18.6%	1施設	10.0%	8施設	18.6%
精神科急性期治療病棟入院料2	2施設	0.7%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急・合併症入院料	2施設	0.7%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神療養病棟入院料	177施設	63.4%	5施設	50.0%	15施設	34.9%
認知症治療病棟入院料1	75施設	26.9%	1施設	10.0%	7施設	16.3%
認知症治療病棟入院料2	7施設	2.5%	0施設	0.0%	0施設	0.0%

<精神病棟入院基本料（平成23年6月）>

精神病棟入院基本料(平成23年6月)	国 (N=31)		公立 (N=55)		公的 (N=13)		社会保険関係団体 (N=1)	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
10対1	1施設	3.2%	5施設	9.1%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
13対1	4施設	12.9%	8施設	14.5%	4施設	30.8%	1施設	100.0%
15対1	4施設	12.9%	37施設	67.3%	8施設	61.5%	0施設	0.0%
18対1	0施設	0.0%	1施設	1.8%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
20対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
届出無し	17施設	54.8%	3施設	5.5%	0施設	0.0%	0施設	0.0%

精神病棟入院基本料(平成23年6月)	医療法人 (N=279)		個人 (N=10)		その他 (N=43)	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
10対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	4施設	9.3%
13対1	8施設	2.9%	0施設	0.0%	4施設	9.3%
15対1	202施設	72.4%	7施設	70.0%	17施設	39.5%
18対1	13施設	4.7%	1施設	10.0%	2施設	4.7%
20対1	4施設	1.4%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
届出無し	26施設	9.3%	1施設	10.0%	10施設	23.3%

＜特定機能病院入院基本料（精神病棟）（平成23年6月）＞

特定機能病院入院基本料（精神病棟） （平成23年6月）	国（N=31）		公立（N=55）		公的（N=13）		社会保険関係団体（N=1）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
7対1	1施設	3.2%	1施設	1.8%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
10対1	1施設	3.2%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
13対1	12施設	38.7%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
15対1	7施設	22.6%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
届出無し	8施設	25.8%	42施設	76.4%	10施設	76.9%	0施設	0.0%

特定機能病院入院基本料（精神病棟） （平成23年6月）	医療法人（N=279）		個人（N=10）		その他（N=43）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
7対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	2施設	4.7%
10対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	3施設	7.0%
13対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	3施設	7.0%
15対1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	5施設	11.6%
届出無し	172施設	61.6%	8施設	80.0%	19施設	44.2%

＜精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料などの届出有の状況（平成23年6月）＞

平成23年6月	国（N=31）		公立（N=55）		公的（N=13）		社会保険関係団体（N=1）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合	施設数	割合
精神科救急入院料1	0施設	0.0%	10施設	18.2%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急入院料2	0施設	0.0%	1施設	1.8%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科急性期治療病棟入院料1	3施設	9.7%	9施設	16.4%	2施設	15.4%	0施設	0.0%
精神科急性期治療病棟入院料2	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急・合併症入院料	0施設	0.0%	1施設	1.8%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
精神療養病棟入院料	1施設	3.2%	3施設	5.5%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
認知症治療病棟入院料1	0施設	0.0%	0施設	0.0%	1施設	7.7%	0施設	0.0%
認知症治療病棟入院料2	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%	0施設	0.0%

平成23年6月	医療法人（N=279）		個人（N=10）		その他（N=43）	
	施設数	割合	施設数	割合	構成比	割合
精神科救急入院料1	13施設	4.7%	0施設	0.0%	3施設	7.0%
精神科救急入院料2	0施設	0.0%	0施設	0.0%	2施設	4.7%
精神科急性期治療病棟入院料1	61施設	21.9%	1施設	10.0%	9施設	20.9%
精神科急性期治療病棟入院料2	4施設	1.4%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神科救急・合併症入院料	2施設	0.7%	0施設	0.0%	0施設	0.0%
精神療養病棟入院料	185施設	66.3%	5施設	50.0%	14施設	32.6%
認知症治療病棟入院料1	83施設	29.7%	1施設	10.0%	7施設	16.3%
認知症治療病棟入院料2	6施設	2.2%	0施設	0.0%	0施設	0.0%

＜参考＞精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別 平均在院日数

＜精神病棟入院基本料10対1＞

	精神病棟入院基本料10対1			
	平成21年6月		平成23年6月	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1～14日	2施設	25.0%	1施設	11.1%
15～30日	3施設	37.5%	4施設	44.4%
31～40日	0施設	0.0%	1施設	11.1%
41日以上	1施設	12.5%	2施設	22.2%
無回答	2施設	25.0%	1施設	11.1%

<精神病棟入院基本料 13 対 1>

精神病棟入院基本料13対1		
平成 23 年 6 月		
	施設数	構成比
1～14 日	0 施設	0.0%
15～30 日	0 施設	0.0%
31～40 日	18 施設	62.1%
41 日以上	5 施設	17.2%
無回答	6 施設	20.7%

<精神科救急入院料 1、精神科救急入院料 2>

精神科救急入院料 1、精神科救急入院料 2				
	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1～14 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
15～30 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
31～40 日	2 施設	9.5%	1 施設	3.4%
41 日以上	15 施設	71.4%	25 施設	86.2%
無回答	4 施設	19.0%	3 施設	10.3%

<精神科急性期治療病棟入院料 1 及び 2>

精神科急性期治療病棟入院料 1 及び 2				
	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1～14 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
15～30 日	1 施設	1.4%	1 施設	1.1%
31～40 日	4 施設	5.6%	2 施設	2.3%
41 日以上	67 施設	93.1%	84 施設	95.5%
無回答	0 施設	0.0%	1 施設	1.1%

<精神科救急・合併症入院料>

精神科救急・合併症入院料				
	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1～14 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
15～30 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
31～40 日	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%
41 日以上	0 施設	0.0%	1 施設	25.0%
無回答	3 施設	100.0%	3 施設	75.0%

＜参考＞精神病棟の入院基本料別 特定入院料

	平成 21 年 6 月																		
	精神病棟入院基本料										特定機能病院入院基本料								
	10 対 1 (N=8)		15 対 1 (N=293)		18 対 1 (N=24)		20 対 1 (N=15)		届出無し (N=49)		7 対 1 (N=4)		10 対 1 (N=2)		15 対 1 (N=31)		届出無し (N=256)		
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
精神科救急入院料 1	0 施設	0.0%	14 施設	4.8%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	2.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	3.2%	9 施設	3.5%	
精神科救急入院料 2	0 施設	0.0%	5 施設	1.7%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	4 施設	1.6%	
精神科急性期治療病棟入院料 1	0 施設	0.0%	53 施設	18.1%	1 施設	4.2%	1 施設	6.7%	10 施設	20.4%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	54 施設	21.1%	
精神科急性期治療病棟入院料 2	0 施設	0.0%	1 施設	0.3%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	2.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	2 施設	0.8%	
精神科救急・合併症入院料	0 施設	0.0%	3 施設	1.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	2 施設	0.8%	
精神療養病棟入院料	1 施設	12.5%	141 施設	48.1%	9 施設	37.5%	6 施設	40.0%	18 施設	36.7%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	124 施設	48.4%	
認知症治療病棟入院料 1	0 施設	0.0%	60 施設	20.5%	3 施設	12.5%	4 施設	26.7%	8 施設	16.3%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	53 施設	20.7%	
認知症治療病棟入院料 2	0 施設	0.0%	3 施設	1.0%	0 施設	0.0%	3 施設	20.0%	1 施設	2.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	5 施設	2.0%	

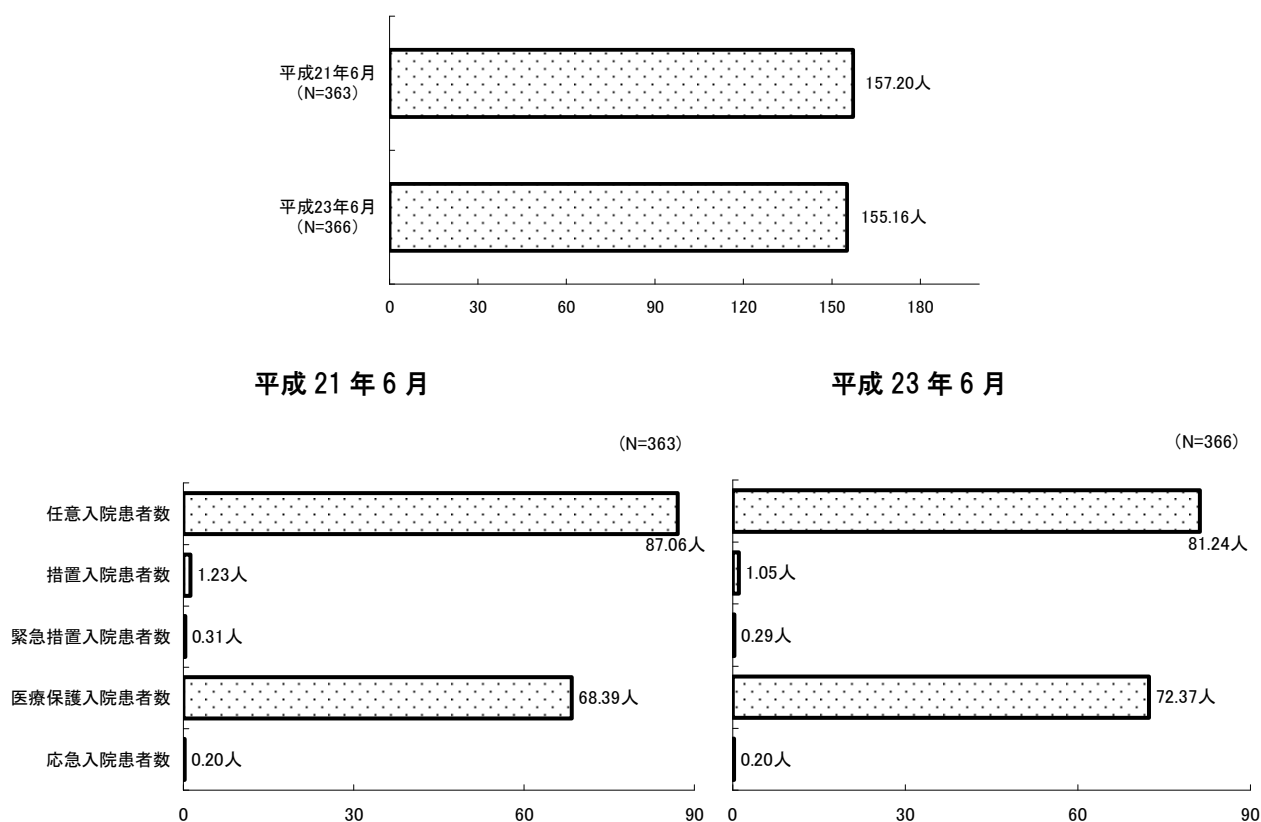
	平成 23 年 6 月																					
	精神病棟入院基本料											特定機能病院入院基本料										
	10 対 1 (N=10)		13 対 1 (N=29)		15 対 1 (N=275)		18 対 1 (N=18)		20 対 1 (N=4)		届出無し (N=57)		7 対 1 (N=4)		10 対 1 (N=4)		13 対 1 (N=15)		15 対 1 (N=12)		届出無し (N=259)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
精神科救急入院料 1	0 施設	0.0%	3 施設	10.3%	18 施設	6.5%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	5.3%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	17 施設	6.6%
精神科救急入院料 2	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	1.1%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	1.2%
精神科急性期治療病棟入院料 1	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	59 施設	21.5%	1 施設	5.6%	0 施設	0.0%	16 施設	28.1%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	64 施設	24.7%
精神科急性期治療病棟入院料 2	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	0.4%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	2 施設	3.5%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	1.2%
精神科救急・合併症入院料	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	1.1%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	1 施設	1.8%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	3 施設	1.2%
精神療養病棟入院料	0 施設	0.0%	7 施設	24.1%	144 施設	52.4%	5 施設	27.8%	2 施設	50.0%	25 施設	43.9%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	130 施設	50.2%
認知症治療病棟入院料 1	0 施設	0.0%	3 施設	10.3%	66 施設	24.0%	1 施設	5.6%	1 施設	25.0%	11 施設	19.3%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	59 施設	22.8%
認知症治療病棟入院料 2	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	2 施設	0.7%	1 施設	5.6%	2 施設	50.0%	1 施設	1.8%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	0 施設	0.0%	5 施設	1.9%

## (5) 精神科病棟の患者について

### ① 精神科病棟の入院形態別患者数

回答のあった医療機関の精神科病棟の入院形態別患者数は、「平成 21 年 6 月」が 157.20 人、「平成 23 年 6 月」が 155.16 人であり、内訳をみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「任意入院患者数」が 87.06 人、81.24 人と最も多く、次いで「医療保護入院患者数」が 68.39 人、72.37 人と多い。

図表 2-16 精神科病棟の入院形態別患者数



精神科医療に関する指定等の状況別に精神科病棟の入院形態別患者数をみると、「任意入院患者数」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「応急入院指定病院」が 109.25 人、99.77 人と最も多く、「医療保護入院患者数」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「特定病院」が 98.19 人、108.42 人と最も多い。

図表 2-17 精神科医療に関する指定等の状況別 精神科病棟の入院形態別患者数

<平均>	指定病院		応急入院指定病院		特定病院		精神科救急医療体制整備事業への参加	
	平成 21 年 6 月 (N=227)	平成 23 年 6 月 (N=233)	平成 21 年 6 月 (N=113)	平成 23 年 6 月 (N=110)	平成 21 年 6 月 (N=52)	平成 23 年 6 月 (N=48)	平成 21 年 6 月 (N=209)	平成 23 年 6 月 (N=204)
精神科病棟の入院患者	178.91 人	177.55 人	207.47 人	205.96 人	204.27 人	205.94 人	182.26 人	182.84 人
任意入院患者数	99.67 人	93.42 人	109.25 人	99.77 人	102.54 人	94.40 人	98.10 人	92.42 人
措置入院患者数	1.41 人	1.28 人	2.83 人	2.42 人	2.96 人	2.65 人	1.59 人	1.41 人
緊急措置入院患者数	0.25 人	0.26 人	0.98 人	0.96 人	0.29 人	0.04 人	0.21 人	0.16 人
医療保護入院患者数	77.41 人	82.43 人	93.99 人	102.27 人	98.19 人	108.42 人	82.15 人	88.58 人
応急入院患者数	0.16 人	0.16 人	0.42 人	0.54 人	0.29 人	0.44 人	0.22 人	0.27 人

精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別に精神科病棟の入院形態別患者数をみると、「精神病棟入院基本料」の入院患者全体においては「20 対 1」が平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに 217.5 人、217.8 人と最も多く、「任意入院患者数」においては平成 21 年 6 月では「20 対 1」が 119.0 人、平成 23 年 6 月では「18 対 1」が 110.7 人と最も多く、「医療保護入院患者数」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「20 対 1」が 98.3 人、125.3 人と最も多い。

精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別に精神科病棟の入院形態別患者数をみると、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」の入院患者全体においては「10 対 1」が平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに 55.5 人、59.0 人と最も多く、「任意入院患者数」においては平成 21 年 6 月では「7 対 1」及び「10 対 1」が 44.5 人、平成 23 年 6 月では「10 対 1」が 51.0 人と最も多く、「医療保護入院患者数」においては平成 21 年 6 月では「13 対 1」が 17.0 人、平成 23 年 6 月では「15 対 1」が 15.7 人と最も多い。

精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別に精神科病棟の入院形態別患者数をみると、「その他」の入院患者全体においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「精神科救急・合併症入院料」が 116.0 人、60.0 人、「任意入院患者数」においても 39.0 人、19.5 人、「医療保護入院患者数」においても 56.0 人、30.5 人と最も多い。

図表 2-18 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別 精神科病棟の入院形態別患者数

<精神科病棟入院基本料>

<平均>	入院患者数		任意入院患者数		措置入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
10 対 1 (N=8)	42.4人	46.4人	12.5人	15.6人	0.4人	1.6人
13 対 1 (N=24)	91.6人	91.9人	44.0人	41.1人	3.7人	3.2人
15 対 1 (N=231)	186.2人	184.5人	102.6人	95.3人	1.3人	1.0人
18 対 1 (N=16)	162.6人	163.2人	109.4人	110.7人	0.5人	0.1人
20 対 1 (N=4)	217.5人	217.8人	119.0人	92.3人	0.3人	0.3人
届出無し (N=48)	89.6人	90.5人	51.0人	48.6人	0.4人	0.6人

<平均>	緊急措置入院患者数		医療保護入院患者数		応急入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
10 対 1 (N=8)	8.8人	8.0人	20.4人	21.1人	0.4人	0.2人
13 対 1 (N=24)	0.2人	0.0人	43.5人	47.4人	0.2人	0.1人
15 対 1 (N=231)	0.1人	0.1人	82.1人	87.9人	0.1人	0.2人
18 対 1 (N=16)	0.0人	0.1人	52.7人	52.4人	0.0人	0.0人
20 対 1 (N=4)	0.0人	0.0人	98.3人	125.3人	0.0人	0.0人
届出無し (N=48)	0.2人	0.1人	37.8人	40.9人	0.2人	0.3人

<特定機能病院入院基本料(精神科病棟)>

<平均>	入院患者数		任意入院患者数		措置入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
7 対 1 (N=2)	52.5人	52.7人	44.5人	46.0人	0.0人	0.0人
10 対 1 (N=2)	55.5人	59.0人	44.5人	51.0人	0.5人	0.0人
13 対 1 (N=14)	40.6人	37.7人	23.2人	23.5人	0.3人	0.4人
15 対 1 (N=10)	43.3人	46.2人	26.7人	29.0人	0.2人	0.2人
届出無し (N=221)	174.6人	172.2人	95.6人	89.3人	1.3人	1.1人

<平均>	緊急措置入院患者数		医療保護入院患者数		応急入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
7 対 1 (N=2)	0.0人	0.0人	8.0人	6.7人	0.0人	0.0人
10 対 1 (N=2)	0.0人	0.0人	10.5人	8.0人	0.0人	0.0人
13 対 1 (N=14)	0.1人	0.0人	17.0人	13.8人	0.0人	0.0人
15 対 1 (N=10)	0.0人	0.0人	13.8人	15.7人	2.6人	1.3人
届出無し (N=221)	0.3人	0.2人	77.2人	81.3人	0.2人	0.2人

<その他>

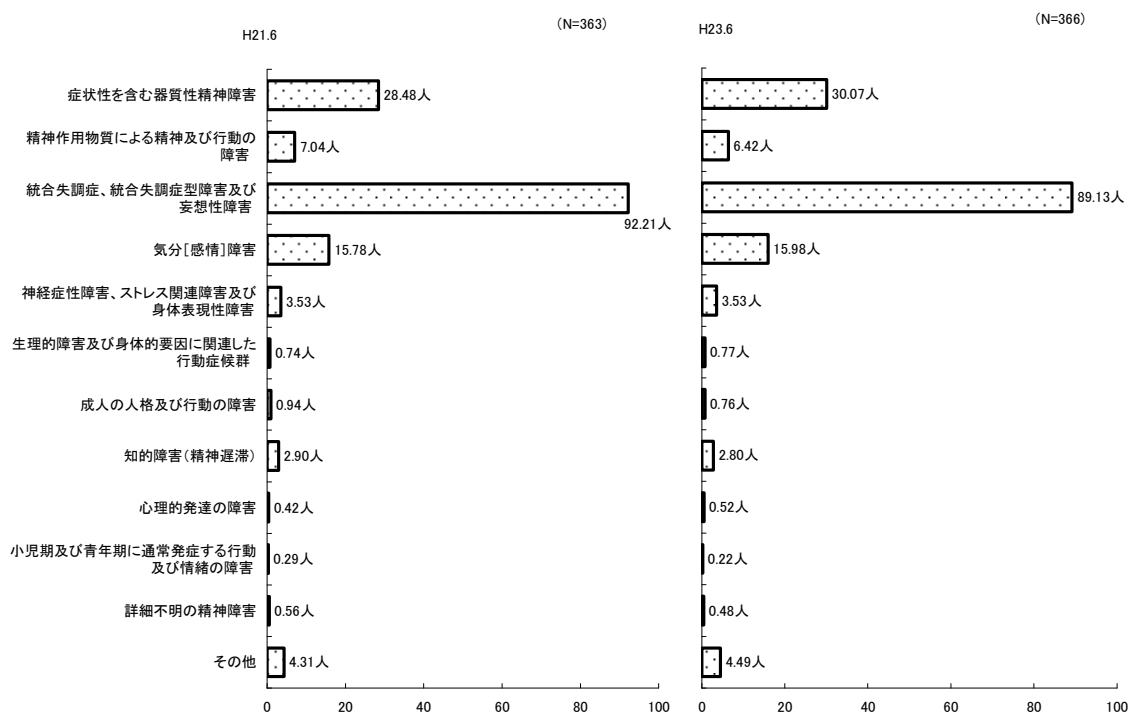
<平均>	入院患者数		任意入院患者数		措置入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
精神科救急入院料 1 (N=22)	305.3人	304.6人	125.4人	114.8人	9.2人	7.8人
精神科救急入院料 2 (N=3)	467.0人	545.5人	197.3人	159.5人	1.7人	2.5人
精神科急性期治療病棟入院料 1 (N=73)	251.3人	247.7人	125.1人	118.1人	2.3人	1.5人
精神科急性期治療病棟入院料 2 (N=3)	224.7人	224.8人	116.7人	91.0人	1.7人	1.5人
精神科救急・合併症入院料 (N=1)	116.0人	60.0人	39.0人	19.5人	4.0人	2.0人
精神療養病棟入院料 (N=183)	209.7人	211.3人	113.7人	107.1人	1.4人	1.3人
認知症治療病棟入院料 1 (N=82)	217.0人	208.9人	103.7人	91.0人	1.0人	0.8人
認知症治療病棟入院料 2 (N=6)	270.8人	272.0人	116.7人	107.7人	0.5人	0.7人

<平均>	緊急措置入院患者数		医療保護入院患者数		応急入院患者数	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
精神科救急入院料 1 (N=22)	1.8人	1.6人	167.1人	178.2人	1.8人	2.1人
精神科救急入院料 2 (N=3)	0.0人	0.0人	268.0人	383.5人	0.0人	0.0人
精神科急性期治療病棟入院料 1 (N=73)	0.4人	0.4人	123.5人	127.6人	0.1人	0.2人
精神科急性期治療病棟入院料 2 (N=3)	0.0人	0.0人	106.3人	132.3人	0.0人	0.0人
精神科救急・合併症入院料 (N=1)	10.0人	0.5人	56.0人	30.5人	7.0人	7.5人
精神療養病棟入院料 (N=183)	0.0人	0.0人	94.6人	102.8人	0.0人	0.1人
認知症治療病棟入院料 1 (N=82)	0.0人	0.0人	112.3人	117.1人	0.0人	0.0人
認知症治療病棟入院料 2 (N=6)	0.0人	0.0人	153.7人	163.7人	0.0人	0.0人

② 主たる疾患別

回答のあった医療機関を主たる疾患別にみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 92.21 人、89.13 人と最も多く、次いで「症状性を含む器質性精神障害」が 28.48 人、30.07 人と多い。

図表 2-19 主たる疾患別 入院患者数





精神科医療に関する指定等の状況別に主たる疾患別入院患者数をみると、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」においては、いずれの年、いずれの指定等の状況ともに最も多く、精神科医療に関する指定等の状況による差はない。

図表 2-20 精神科医療に関する指定等の状況別 主たる疾患別 入院患者数

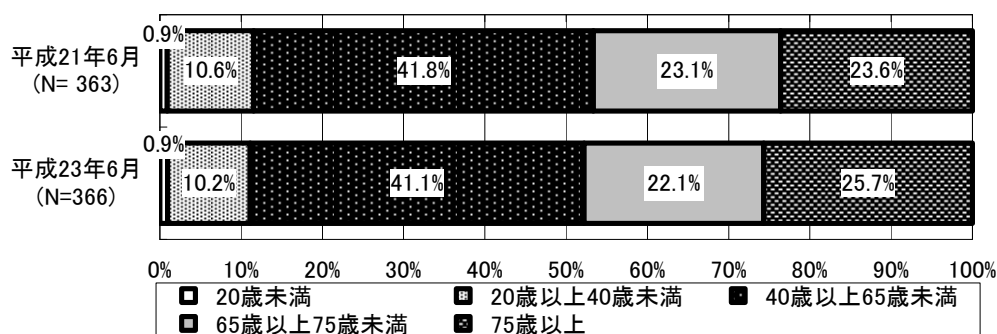
<平均>	指定病院		応急入院指定病院		特定病院		精神科救急医療体制整備事業への参加	
	平成 21 年 6 月 (N=227)	平成 23 年 6 月 (N=233)	平成 21 年 6 月 (N=113)	平成 23 年 6 月 (N=110)	平成 21 年 6 月 (N=52)	平成 23 年 6 月 (N=48)	平成 21 年 6 月 (N=209)	平成 23 年 6 月 (N=204)
精神科病棟の入院患者	178.91 人	177.55 人	207.47 人	205.96 人	204.27 人	205.94 人	182.26 人	182.84 人
症状性を含む器質性精神障害	27.33 人	29.61 人	26.66 人	28.86 人	33.12 人	38.56 人	29.11 人	31.91 人
精神作用物質による精神及び行動の障害	8.26 人	7.51 人	10.60 人	10.04 人	9.04 人	9.17 人	8.42 人	7.74 人
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	112.42 人	109.19 人	129.80 人	124.91 人	128.35 人	123.48 人	112.33 人	111.41 人
気分〔感情〕障害	17.66 人	18.08 人	22.68 人	23.60 人	20.23 人	20.67 人	18.37 人	18.82 人
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3.83 人	3.65 人	4.84 人	4.93 人	4.19 人	4.75 人	3.95 人	3.77 人
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.61 人	0.61 人	1.00 人	0.97 人	0.85 人	0.81 人	0.62 人	0.56 人
成人の人格及び行動の障害	1.01 人	0.77 人	1.47 人	1.11 人	1.29 人	1.06 人	1.13 人	0.87 人
知的障害（精神遅滞）	3.13 人	3.23 人	3.42 人	3.61 人	3.12 人	3.17 人	3.61 人	3.56 人
心理的発達障害	0.50 人	0.53 人	0.98 人	1.08 人	0.40 人	0.69 人	0.52 人	0.63 人
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.35 人	0.23 人	0.58 人	0.60 人	0.19 人	0.21 人	0.32 人	0.26 人
詳細不明の精神障害	0.67 人	0.61 人	0.65 人	0.46 人	0.77 人	0.58 人	0.61 人	0.49 人
その他	3.15 人	3.54 人	4.79 人	5.79 人	2.73 人	2.79 人	3.26 人	2.82 人

### ③ 年齢階級別

回答のあった医療機関の年齢階級別入院患者数は、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「40 歳以上 65 歳未満」が 41.8%、41.1%と最も多く、次いで「75 歳以上」が 23.6%、25.7%と多く、それとほぼ同列に「65 歳以上 75 歳未満」が多い。

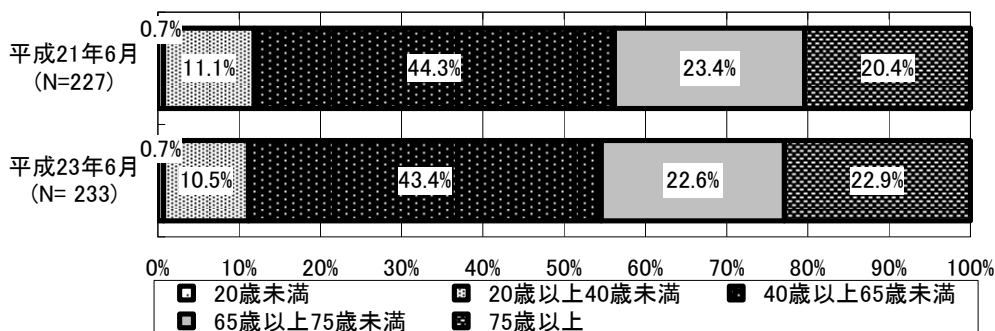
また、精神科医療に関する指定等の状況別に年齢階級別入院患者数をみると、いずれの指定状況においても「40 歳以上 65 歳未満」が最も多く、次いで「65 歳以上 75 歳未満」と「75 歳以上」がほぼ同じくらいの割合で多く、全体と同様の傾向である。

図表 2-21 年齢階級別 入院患者数（割合）

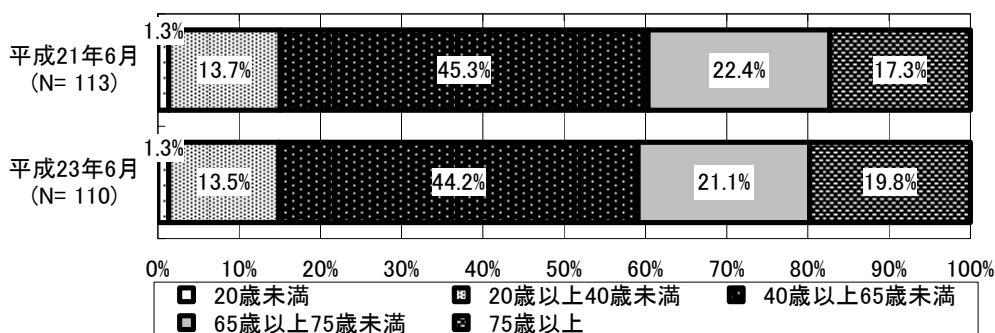


図表 2-22 精神科医療に関する指定等の状況別 年齢階級別 入院患者数（割合）

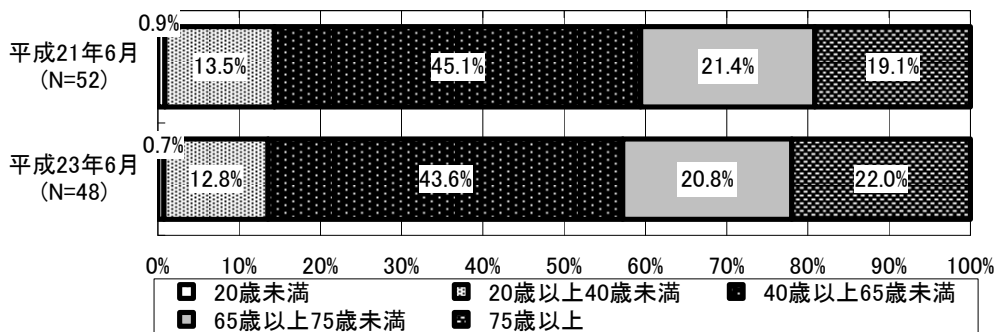
<指定病院>



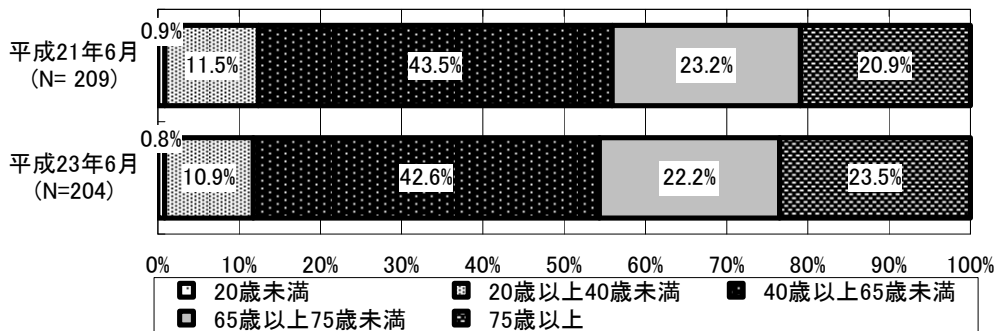
<応急入院指定病院>



<特定病院>



<精神科救急医療体制整備事業への参加>

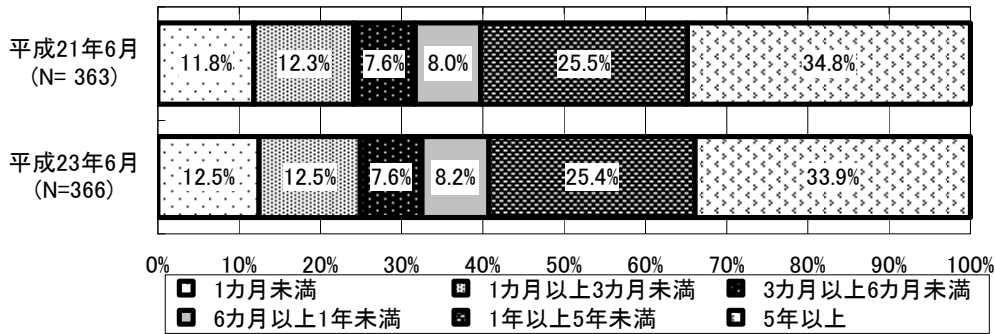


#### ④ 在院期間別

回答のあった医療機関の在院期間別入院患者数（割合）は、平成21年6月も平成23年6月も「5年以上」が34.8%、33.9%と最も多く、次いで「1年以上5年未満」が25.5%、25.4%と多い。

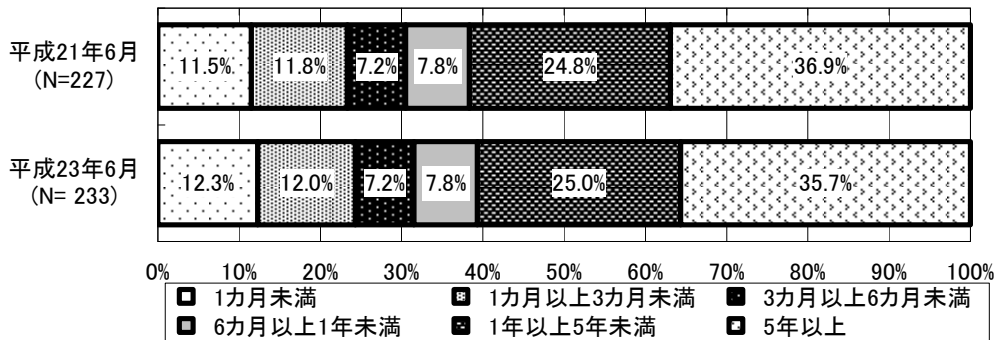
また、精神科医療に関する指定等の状況別に在院期間別入院患者数（割合）をみると、いずれの指定状況においても「5年以上」が最も多く、次いで「1年以上5年未満」が多く、全体と同様の傾向である。

図表 2-23 在院期間別 入院患者数（割合）

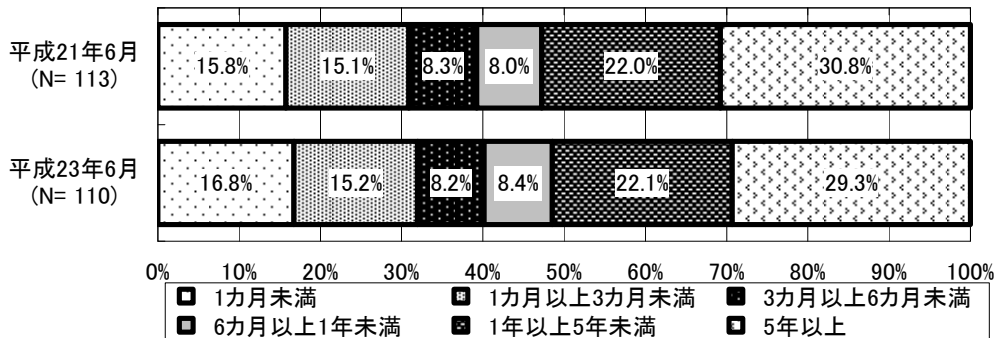


図表 2-24 精神科医療に関する指定等の状況別 在院期間別 入院患者数（割合）

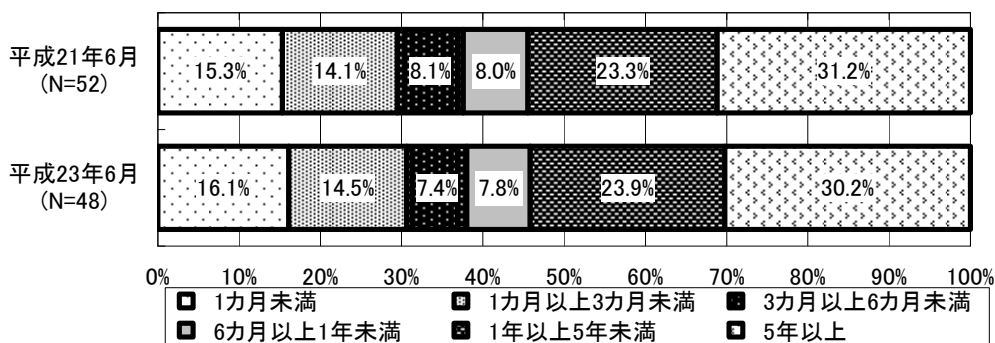
#### <指定病院>



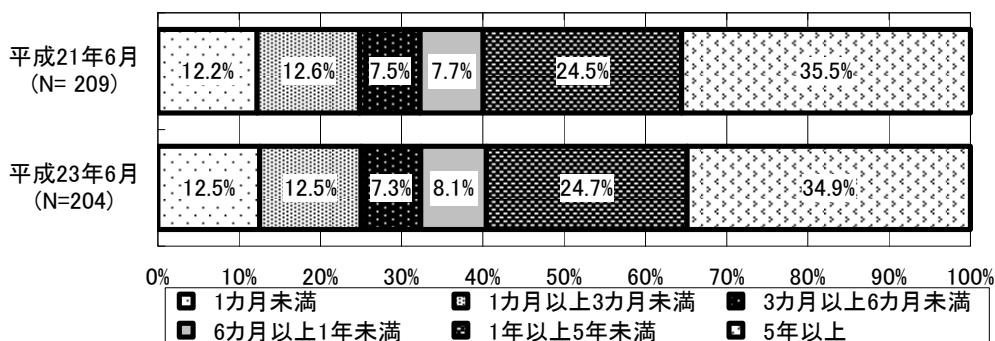
#### <応急入院指定病院>



<特定病院>



<精神科精神科救急医療体制整備事業への参加>



精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別に精神科病棟の在院期間別患者数をみると、「精神病棟入院基本料」における「5年以上」については、平成21年6月、平成23年6月ともに「20対1」が86.0人、82.0人と最も多く、「その他」における「5年以上」については、平成21年6月、平成23年6月ともに「精神科救急入院料2」が175.0人、203.5人と最も多い。

図表 2-25 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況別 精神科病棟の在院期間別患者数

<精神病棟入院基本料>

<平均>	1か月未満		1か月以上3か月未満		3か月以上6か月未満	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
10対1 (N=9)	26.6人	31.8人	9.4人	10.0人	2.3人	2.9人
13対1 (N=25)	22.5人	22.0人	15.1人	19.0人	8.6人	7.4人
15対1 (N=227)	19.5人	20.1人	21.0人	20.5人	13.7人	14.1人
18対1 (N=17)	8.3人	7.9人	12.4人	11.1人	9.9人	9.6人
20対1 (N=4)	10.0人	11.0人	18.3人	17.5人	16.3人	17.3人
届出無し (N=51)	15.8人	16.8人	17.5人	19.3人	8.5人	7.2人

<平均>	6か月以上1年未満		1年以上5年未満		5年以上	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
10対1 (N=9)	1.8人	1.4人	2.4人	0.3人	0.0人	0.0人
13対1 (N=25)	6.8人	6.7人	17.3人	16.5人	21.4人	20.4人
15対1 (N=227)	15.1人	15.6人	48.8人	48.6人	68.1人	65.5人
18対1 (N=17)	11.9人	12.2人	48.8人	50.6人	71.3人	71.8人
20対1 (N=4)	18.0人	20.5人	69.0人	69.5人	86.0人	82.0人
届出無し (N=51)	6.9人	6.3人	18.6人	18.5人	22.3人	22.5人

＜特定機能病院入院基本料（精神病棟）＞

＜平均＞	1ヵ月未満		1ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上6ヵ月未満	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
7対1 (N=3)	41.0人	38.0人	11.5人	14.3人	0.0人	0.3人
10対1 (N=2)	28.0人	38.5人	24.5人	20.5人	3.0人	0.0人
13対1 (N=13)	14.1人	13.7人	17.3人	16.2人	6.1人	5.1人
15対1 (N=11)	13.4人	17.6人	16.1人	18.1人	8.2人	6.6人
届出無し (N=223)	19.0人	19.6人	20.8人	20.5人	13.6人	13.3人

＜平均＞	6ヵ月以上1年未満		1年以上5年未満		5年以上	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
7対1 (N=3)	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
10対1 (N=2)	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
13対1 (N=13)	2.5人	2.5人	0.5人	0.3人	0.1人	0.0人
15対1 (N=11)	5.0人	2.5人	0.5人	1.2人	0.1人	0.2人
届出無し (N=223)	14.4人	14.6人	45.8人	45.2人	61.1人	59.0人

＜その他＞

＜平均＞	1ヵ月未満		1ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上6ヵ月未満	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
精神科救急入院料1 (N=21)	70.0人	69.4人	62.2人	64.2人	30.4人	30.5人
精神科救急入院料2 (N=2)	53.3人	83.0人	64.0人	66.5人	37.7人	45.0人
精神科急性期治療病棟入院料1 (N=74)	34.9人	34.4人	36.1人	36.0人	20.6人	20.2人
精神科急性期治療病棟入院料2 (N=4)	17.3人	11.8人	26.3人	23.0人	16.3人	11.8人
精神科救急・合併症入院料 (N=2)	36.0人	16.5人	53.0人	30.0人	22.0人	11.0人
精神療養病棟入院料 (N=181)	19.7人	20.8人	21.8人	22.1人	14.2人	15.0人
認知症治療病棟入院料1 (N=82)	21.8人	22.9人	25.4人	24.5人	17.3人	16.7人
認知症治療病棟入院料2 (N=6)	13.3人	16.3人	25.2人	22.8人	21.7人	19.8人

＜平均＞	6ヵ月以上1年未満		1年以上5年未満		5年以上	
	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6	H21.6	H23.6
精神科救急入院料1 (N=21)	24.5人	27.6人	54.2人	53.8人	64.2人	59.0人
精神科救急入院料2 (N=2)	36.0人	42.0人	101.0人	105.5人	175.0人	203.5人
精神科急性期治療病棟入院料1 (N=74)	20.5人	20.3人	59.7人	59.2人	79.6人	77.6人
精神科急性期治療病棟入院料2 (N=4)	19.0人	18.8人	62.0人	68.3人	83.7人	91.3人
精神科救急・合併症入院料 (N=2)	5.0人	2.0人	0.0人	0.5人	0.0人	0.0人
精神療養病棟入院料 (N=181)	16.8人	17.4人	57.5人	58.3人	79.7人	77.6人
認知症治療病棟入院料1 (N=82)	19.9人	19.6人	60.3人	58.1人	72.2人	67.2人
認知症治療病棟入院料2 (N=6)	28.8人	31.2人	103.8人	101.2人	78.0人	80.7人

### ⑤ 精神科の外来患者延べ数

精神科の外来患者延べ数をみると、全体においては平成 21 年 6 月では 1523.78 人、平成 23 年 6 月では 1546.35 人とやや増加しており、いずれの精神科医療に関する指定等の状況別においても同様にやや増加している。

図表 2-26 精神科の外来患者延べ数

<平均>		平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
		患者数	割合	患者数	割合
全体 (N=316)	精神科の外来患者延べ数	1,523.78 人	100.0%	1,546.35 人	100.0%
	(内) 紹介状持参患者数	16.13 人	1.1%	16.14 人	1.0%
指定病院 (N=195)	精神科の外来患者延べ数	1,700.23 人	100.0%	1,727.84 人	100.0%
	(内) 紹介状持参患者数	16.00 人	0.9%	15.97 人	0.9%
応急入院指定病院 (N=101)	精神科の外来患者延べ数	2,427.17 人	100.0%	2,476.42 人	100.0%
	(内) 紹介状持参患者数	28.23 人	1.2%	29.00 人	1.2%
特定病院 (N=47)	精神科の外来患者延べ数	2,403.82 人	100.0%	2,412.12 人	100.0%
	(内) 紹介状持参患者数	29.98 人	1.2%	30.82 人	1.3%
精神科救急医療体制 整備事業への参加 (N=184)	精神科の外来患者延べ数	1,736.16 人	100.0%	1,775.00 人	100.0%
	(内) 紹介状持参患者数	17.20 人	1.0%	17.98 人	1.0%

### ⑥ 精神科病棟の新規入院患者

精神科病棟の新規入院患者をみると、全体においては平成 21 年 6 月では 17.49 人、平成 23 年 6 月では 17.45 人とやや減少しており、精神科医療に関する指定等の状況別においても同様にやや減少しているが、「指定病院」においてのみ、19.78 人から 20.14 人とやや増加している。

図表 2-27 精神科病棟の新規入院患者

<平均>		平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
		患者数	割合	患者数	割合
全体 (N=377)	新規入院患者数	17.49 人	100.0%	17.45 人	100.0%
	(内) 前 3 ヶ月の入院経験有	2.82 人	16.1%	2.82 人	16.2%
指定病院 (N=237)	新規入院患者数	19.78 人	100.0%	20.14 人	100.0%
	(内) 前 3 ヶ月の入院経験有	3.29 人	16.6%	3.38 人	16.8%
応急入院指定病院 (N=121)	新規入院患者数	30.92 人	100.0%	30.02 人	100.0%
	(内) 前 3 ヶ月の入院経験有	5.27 人	17.0%	5.25 人	17.5%
特定病院 (N=52)	新規入院患者数	31.19 人	100.0%	30.12 人	100.0%
	(内) 前 3 ヶ月の入院経験有	3.95 人	12.7%	3.61 人	12.0%
精神科救急医療体制 整備事業への参加 (N=217)	新規入院患者数	21.09 人	100.0%	20.73 人	100.0%
	(内) 前 3 ヶ月の入院経験有	3.45 人	16.4%	3.45 人	16.6%

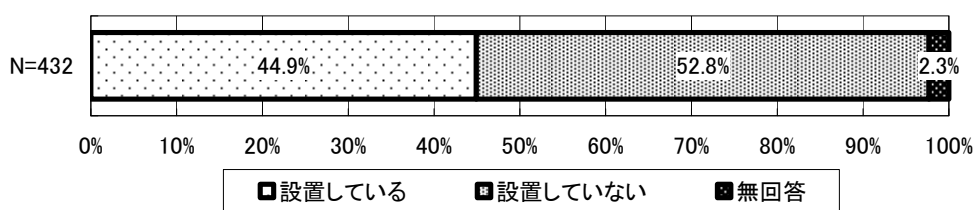
## (6) 精神科病棟の退院患者について

### ① 退院支援専門部署の設置状況

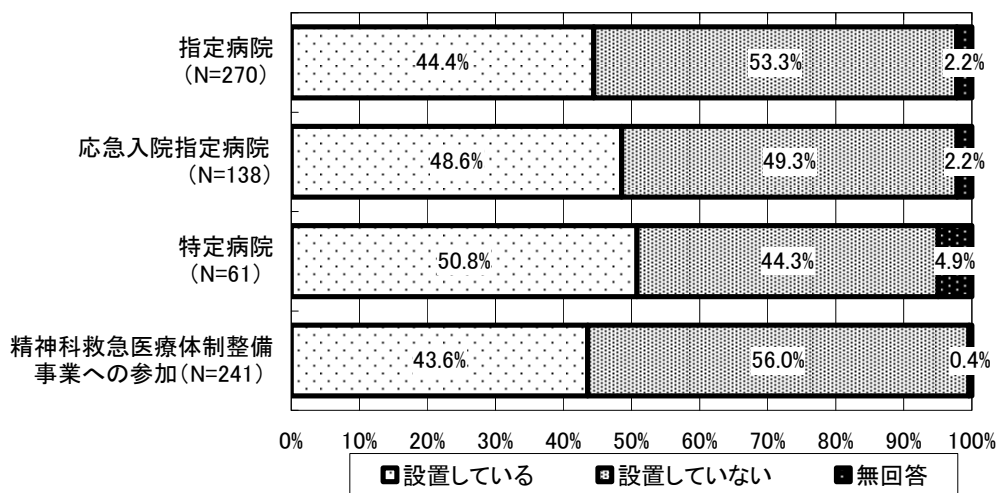
回答のあった医療機関の退院支援専門部署の設置状況は、「設置していない」が 52.8%、次いで「設置している」が 44.9%であり、割合的にはあまり変わらない。

精神科医療に関する指定等の状況別に退院支援専門部署の設置状況をみると、「特定病院」のみ「設置している」が 50.8%と多少多いが、他の指定状況においては「設置していない」が多少多く、「指定病院」が 53.3%、「応急入院指定病院」が 49.3%、「精神科救急医療体制整備事業への参加」が 56.0%である。

図表 2-28 退院支援専門部署の設置状況



図表 2-29 精神科医療に関する指定等の状況別 退院支援専門部署の設置状況



単科精神科病棟等の退院支援専門部署の設置状況をみると、「退院支援部署無」においては「単科精神科病院」が64.8%、「単科精神科病院以外」が39.8%であり、「退院支援部署有」では「単科精神科病院以外」が多いのに対して、「退院支援部署無」では「単科精神科病院」が多い。

図表 2-30 単科精神科病院等の退院支援専門部署の設置状況

	退院支援部署有		退院支援部署無		N数
	施設数	割合	施設数	割合	
単科精神科病院	72 施設	33.3%	140 施設	64.8%	216
単科精神科病院以外	121 施設	57.3%	84 施設	39.8%	211

退院支援専門部署の有無と平均在院日数についてみると、ほとんどの入院基本料において「退院支援部署無」が多いが、「精神科急性期治療病棟入院料においては「退院支援部署有」が多い。

図表 2-31 退院支援専門部署の有無と平均在院日数について

<平均在院日数・平均値>	退院支援部署有 (N=184)		退院支援部署無 (N=216)	
	平成21年6月	平成23年6月	平成21年6月	平成23年6月
精神病床	274.1日	276.9日	423.0日	419.2日
精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	207.7日	210.2日	396.0日	371.1日
精神科救急入院料	52.8日	56.7日	56.6日	56.8日
精神科救急・合併症入院料	-	-	-	-
精神科急性期治療病棟入院料	63.6日	92.8日	60.9日	63.6日
精神科療養病棟入院料	1,135.8日	1,123.3日	1,327.3日	1,138.7日
認知症治療病棟入院料	487.6日	514.2日	608.0日	658.2日
一般病床	23.3日	28.1日	39.9日	47.0日
療養病床	500.7日	437.9日	714.3日	580.0日



## ② 専門部署に従事する職員数

専門部署に従事する職員数についてみると、「看護師」、「准看護師」、「その他」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「専従」が多く、「医師」、「精神保健福祉士」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「専任」が多いが、「ソーシャルワーカー（社会福祉士等）」においては平成 21 年 6 月では「専任」、平成 23 年 6 月では「専従」が多い。

また、専門部署に従事する職種としては、「専従」、「専任」の区別なく、「ソーシャルワーカー（社会福祉士等）」が最も多く、次いで「看護師」が多い。

図表 2-32 退院支援専門部署に従事する職員数

<平均> (N=194)	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	0.30 人	0.82 人	0.40 人	0.91 人
看護師	1.55 人	1.06 人	1.91 人	1.26 人
准看護師	0.29 人	0.09 人	0.26 人	0.14 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.96 人	2.14 人	2.29 人	2.22 人
【再掲】精神保健福祉士	1.45 人	1.60 人	1.65 人	1.70 人
その他	0.69 人	0.42 人	0.78 人	0.58 人

注) 退院支援部署の設置のある 194 施設を対象に集計。

精神科医療に関する指定等の状況別に退院支援専門部署に従事する職員数をみると、「看護師」、「ソーシャルワーカー（社会福祉士等）」においては平成21年6月、平成23年6月ともに「専任」ではそれほど大きな差はみられないが、「専従」については「ソーシャルワーカー（社会福祉士等）」が「指定病院」に少なく、「特定病院」に多く、また、「看護師」が「特定病院」に少なく、「指定病院」に多い。

図表 2-33 精神科医療に関する指定等の状況別 退院支援専門部署に従事する職員数

<平均>	指定病院 (N=120)				応急入院指定病院 (N=67)			
	平成21年6月		平成23年6月		平成21年6月		平成23年6月	
	専従	専任	専従	専任	専従	専任	専従	専任
医師	0.17人	0.82人	0.28人	0.91人	0.05人	0.73人	0.05人	0.74人
看護師	1.91人	0.99人	2.24人	1.26人	0.84人	1.33人	0.97人	1.49人
准看護師	0.49人	0.10人	0.38人	0.21人	0.05人	0.00人	0.05人	0.06人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.78人	2.31人	1.97人	2.40人	2.28人	2.17人	2.63人	2.34人
【再掲】精神保健福祉士	1.51人	2.00人	1.64人	2.02人	2.16人	1.83人	2.30人	1.89人
その他	0.52人	0.42人	0.56人	0.61人	0.36人	0.65人	0.39人	0.81人

<平均>	特定病院 (N=31)				精神科救急医療体制整備事業への参加 (N=105)			
	平成21年6月		平成23年6月		平成21年6月		平成23年6月	
	専従	専任	専従	専任	専従	専任	専従	専任
医師	0.41人	0.65人	0.32人	0.68人	0.13人	0.79人	0.25人	0.78人
看護師	0.42人	0.84人	0.49人	0.94人	1.06人	1.22人	1.58人	1.34人
准看護師	0.08人	0.21人	0.08人	0.17人	0.04人	0.22人	0.03人	0.16人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	3.22人	2.11人	2.99人	2.08人	2.00人	2.33人	2.22人	2.48人
【再掲】精神保健福祉士	2.72人	1.65人	2.44人	1.61人	1.85人	2.14人	1.96人	2.25人
その他	0.38人	0.30人	0.28人	0.46人	0.28人	0.46人	0.36人	0.68人

注) 退院支援部署の設置のある194施設を対象に集計。

図表 2-34 退院支援専門部署に従事する総職員数別 平均在院日数

平成 21 年 6 月・平均在院日数	退院支援担当部署の総職員数（平成 21 年 6 月）					
	～2 人 (N=25)	3～4 人 (N=15)	5～6 人 (N=25)	7～8 人 (N=16)	9～10 人 (N=23)	11 人～ (N=42)
精神病床	301.0 日	361.8 日	270.1 日	331.1 日	241.9 日	180.6 日
精神科棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科棟）	276.5 日	278.2 日	180.6 日	240.8 日	161.0 日	149.4 日
精神科救急入院料	13.1 日	-	-	11.1 日	-	5.2 日
精神科救急・合併症入院料	-	-	-	-	-	-
精神科急性期治療病棟入院料	24.0 日	26.3 日	22.4 日	122.6 日	45.4 日	29.0 日
精神科療養病棟入院料	984.6 日	536.6 日	798.7 日	884.6 日	1,918.6 日	620.5 日
認知症治療病棟入院料	302.9 日	156.3 日	6,865.9 日	230.1 日	439.6 日	196.1 日
一般病床	9.3 日	49.0 日	50.3 日	33.4 日	19.2 日	13.2 日
療養病床	113.6 日	127.1 日	289.9 日	291.4 日	400.7 日	69.1 日

平成 23 年 6 月・平均在院日数	退院支援担当部署の総職員数（平成 23 年 6 月）					
	～2 人 (N=17)	3～4 人 (N=12)	5～6 人 (N=22)	7～8 人 (N=21)	9～10 人 (N=23)	11 人～ (N=53)
精神病床	323.3 日	258.3 日	328.0 日	356.1 日	326.9 日	171.7 日
精神科棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科棟）	315.1 日	296.3 日	193.2 日	366.1 日	200.1 日	153.7 日
精神科救急入院料	29.0 日	-	6.2 日	17.0 日	12.2 日	7.4 日
精神科救急・合併症入院料	-	-	-	-	-	1.1 日
精神科急性期治療病棟入院料	8.3 日	59.3 日	23.7 日	20.6 日	185.6 日	34.4 日
精神科療養病棟入院料	1,496.2 日	694.5 日	849.4 日	1,182.5 日	1,473.8 日	680.2 日
認知症治療病棟入院料	325.6 日	215.1 日	181.0 日	7,520.7 日	409.1 日	154.6 日
一般病床	137.8 日	12.9 日	27.6 日	10.5 日	22.7 日	20.7 日
療養病床	159.3 日	59.1 日	175.4 日	601.0 日	275.3 日	109.2 日

退院支援専門部署の設置がある施設の退院支援専門部署に従事する職員数の分布をみると、平成 21 年 6 月に比べ平成 23 年 6 月では「6 人以下」が減少しており、「7 人以上」が増加しているため、退院支援専門部署は増強している。

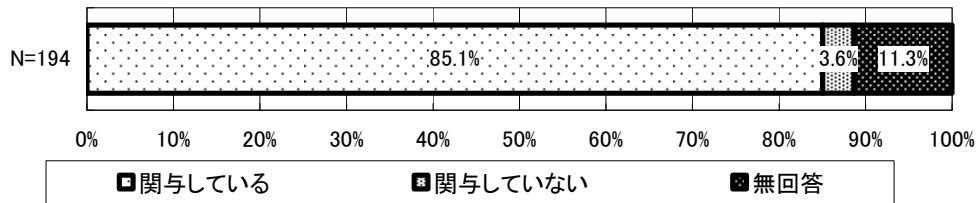
図表 2-35 退院支援専門部署の設置有り 退院支援専門部署に従事する職員数の分布

退院支援担当部署の 総職員数	設置している (N=194)			
	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	施設数	割合	施設数	割合
～2 人	33 施設	17.0%	25 施設	12.9%
3～4 人	22 施設	11.3%	17 施設	8.8%
5～6 人	35 施設	18.0%	31 施設	16.0%
7～8 人	18 施設	9.3%	24 施設	12.4%
9～10 人	26 施設	13.4%	28 施設	14.4%
11 人～	53 施設	27.3%	66 施設	34.0%
無回答	7 施設	3.7%	3 施設	1.5%

### ③ 退院支援専門部署の退院支援関与状況

回答のあった医療機関の退院支援専門部署の退院支援関与状況は、「関与している」が85.1%、「関与していない」が3.6%である。

図表 2-36 退院支援専門部署の退院支援関与状況



注) 退院支援部署の設置のある194施設を対象に集計。

退院支援専門部署の退院支援慣用状況別に平均在院日数をみると、いずれの入院料においても「退院支援に関与している」医療機関が「退院支援に関与していない」場合に比べて大幅に長く、その中でも「精神科療養病棟入院料」においては平成21年6月で1120.6日、平成23年6月で1062.5日と飛び抜けて長い。

図表 2-37 退院支援専門部署の退院支援関与状況別 平均在院日数

	退院支援に関与している (N=156)		退院支援に関与していない (N=6)	
	平成21年6月	平成23年6月	平成21年6月	平成23年6月
精神病床	284.3日	286.9日	73.6日	59.0日
精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟)	222.4日	225.2日	76.5日	59.0日
精神科救急入院料	52.8日	56.7日	0.0日	0.0日
精神科救急・合併症入院料	0.0日	0.0日	0.0日	0.0日
精神科急性期治療病棟入院料	61.8日	76.4日	0.0日	0.0日
精神科療養病棟入院料	1,120.6日	1,062.5日	0.0日	0.0日
認知症治療病棟入院料	470.1日	498.1日	0.0日	0.0日

#### ④ 精神科病棟から転院・退院した患者

精神科病棟から転院・退院した患者などをみると、転院・退院患者延べ数は平成 21 年が 175.46 人、平成 22 年が 192.35 人と増加しており、内訳においては「自院の外来」が 112.78 人、120.79 人と多く、「自院のサービス利用なし」が 55.21 人、60.26 人である。

図表 2-38 精神科病棟から転院・退院した患者数など

<平均>	平成 21 年 1~12 月 (N=87)		平成 22 年 1~12 月 (N=80)	
	患者数等	割合	患者数等	割合
転院・退院患者延べ数	175.46 人	100.0%	192.35 人	100.0%
自院の外来	112.78 人	64.3%	120.79 人	62.8%
自院のデイ・ケア	4.33 人	2.5%	5.60 人	2.9%
自院からの訪問診療・往診	0.05 人	0.0%	0.14 人	0.1%
自院からの訪問看護	2.36 人	1.3%	3.90 人	2.0%
自院のその他の通院・在宅サービス	0.74 人	0.4%	1.66 人	0.9%
自院のサービス利用なし	55.21 人	31.5%	60.26 人	31.3%
他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数	0.91 人	0.5%	1.21 人	0.6%
他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数	0.71 人	0.4%	0.81 人	0.4%
精神科退院指導料算定件数	62.92 件		64.24 件	
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数	1.36 件		1.54 件	
精神科退院前訪問指導料算定件数	5.36 件		6.23 件	
在院期間 5 年以上転院・退院患者延べ数	6.53 人	3.7%	6.35 人	3.3%

精神科医療に関する指定等の状況別に精神科病棟から転院・退院した患者数などをみると、転院・退院患者延べ数においては「応急入院指定病院」が平成21年では281.26人、平成22年では328.59人と多く、内訳をみると、「自院の外来」が183.42人、190.47人と最も多く、次いで「自院のサービス利用なし」が84.42人、109.71人と多い。

図表 2-39 精神科医療に関する指定等の状況別 精神科病棟から転院・退院した患者数など

<平均>	指定病院				応急入院指定病院			
	平成21年(N=53)		平成22年(N=48)		平成21年(N=19)		平成22年(N=17)	
	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合
転院・退院患者延べ数	202.92人	100.0%	231.04人	100.0%	281.26人	100.0%	328.59人	100.0%
自院の外来	131.96人	65.0%	148.46人	64.3%	183.42人	65.2%	190.47人	58.0%
自院のデイ・ケア	5.17人	2.5%	7.13人	3.1%	9.37人	3.3%	14.18人	4.3%
自院からの訪問診療・往診	0.08人	0.0%	0.23人	0.1%	0.21人	0.1%	0.47人	0.1%
自院からの訪問看護	3.26人	1.6%	5.06人	2.2%	3.58人	1.3%	10.29人	3.1%
自院のその他の通院・在宅サービス	0.66人	0.3%	2.23人	1.0%	0.26人	0.1%	3.47人	1.1%
自院のサービス利用なし	61.79人	30.5%	67.94人	29.4%	84.42人	30.0%	109.71人	33.4%
他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数	1.36人	0.7%	1.75人	0.8%	1.53人	0.5%	1.82人	0.6%
他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数	1.08人	0.5%	1.19人	0.5%	2.16人	0.8%	2.47人	0.8%
精神科退院指導料算定件数	78.57件		82.42件		120.05件		125.94件	
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数	1.57件		1.92件		3.00件		2.76件	
精神科退院前訪問指導料算定件数	7.49件		9.10件		13.79件		17.24件	
在院期間5年以上転院・退院患者延べ数	6.85人	3.4%	6.60人	2.9%	7.11人	2.5%	8.82人	2.7%

<平均>	特定病院				精神科救急医療体制整備事業への参加			
	平成21年(N=8)		平成22年(N=8)		平成21年(N=43)		平成22年(N=37)	
	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合
転院・退院患者延べ数	204.88人	100.0%	241.88人	100.0%	208.26人	100.0%	215.05人	100.0%
自院の外来	150.88人	73.6%	179.00人	74.0%	127.91人	61.4%	128.11人	59.6%
自院のデイ・ケア	12.75人	6.2%	13.25人	5.5%	7.05人	3.4%	8.76人	4.1%
自院からの訪問診療・往診	0.25人	0.1%	0.50人	0.2%	0.09人	0.0%	0.30人	0.1%
自院からの訪問看護	1.75人	0.9%	2.25人	0.9%	4.09人	2.0%	4.84人	2.2%
自院のその他の通院・在宅サービス	0.63人	0.3%	0.50人	0.2%	0.81人	0.4%	1.41人	0.7%
自院のサービス利用なし	38.63人	18.9%	46.38人	19.2%	68.30人	32.8%	71.65人	33.3%
他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数	0.25人	0.1%	0.25人	0.1%	1.30人	0.6%	1.38人	0.6%
他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数	0.25人	0.1%	0.13人	0.1%	1.35人	0.6%	1.38人	0.6%
精神科退院指導料算定件数	54.88件		73.00件		80.58件		87.92件	
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数	0.50件		1.25件		2.02件		2.62件	
精神科退院前訪問指導料算定件数	5.88件		10.25件		8.28件		10.73件	
在院期間5年以上転院・退院患者延べ数	7.88人	3.8%	9.75人	4.0%	7.44人	3.6%	7.46人	3.5%

退院支援専門部署の設置状況別に精神科病棟から転院・退院した患者数などをみると、転院・退院患者延べ数においては「設置している」が平成21年では204.27人、平成22年では231.49人と多く、「設置していない」が平成21年では154.14人、平成22年では161.91人と多いが、「設置している」施設の方が転院・退院した患者数は多い。また、「自院のサービス利用なし」においても同様のことがいえるが、「自院の外来」においては「設置していない」施設で平成21年が93.30人、平成22年が92.69人と若干減少している。

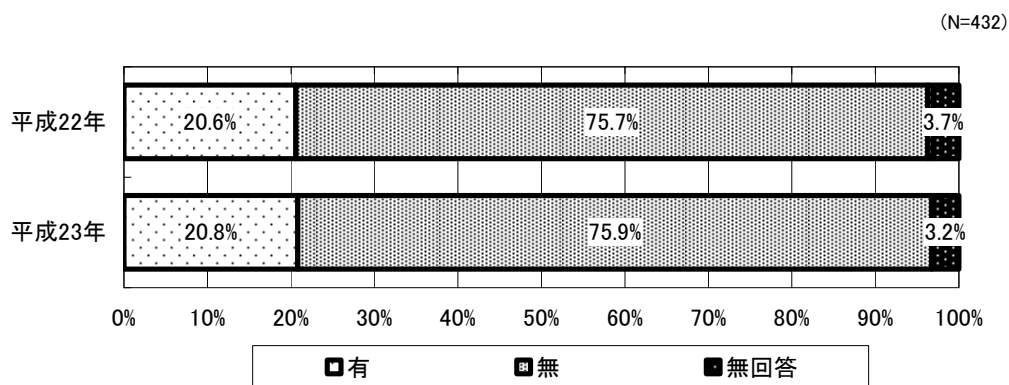
図表 2-40 退院支援専門部署の設置状況別 精神科病棟から転院・退院した患者数など

<平均>	平成21年1～12月				平成22年1～12月			
	設置している (N=37)		設置していない (N=50)		設置している (N=35)		設置していない (N=45)	
	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合	患者数等	割合
転院・退院患者延べ数	204.27人	100.0%	154.14人	100.0%	231.49人	100.0%	161.91人	100.0%
自院の外来	139.11人	68.1%	93.30人	60.5%	156.91人	67.8%	92.69人	57.2%
自院のデイ・ケア	4.51人	2.2%	4.20人	2.7%	5.49人	2.4%	5.69人	3.5%
自院からの訪問診療・往診	0.05人	0.0%	0.04人	0.0%	0.14人	0.1%	0.13人	0.1%
自院からの訪問看護	2.62人	1.3%	2.16人	1.4%	3.54人	1.5%	4.18人	2.6%
自院のその他の通院・在宅サービス	0.95人	0.5%	0.58人	0.4%	1.49人	0.6%	1.80人	1.1%
自院のサービス利用なし	57.03人	27.9%	53.86人	34.9%	63.91人	27.6%	57.42人	35.5%
他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数	0.84人	0.4%	0.96人	0.6%	0.97人	0.4%	1.40人	0.9%
他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数	0.22人	0.1%	1.08人	0.7%	0.37人	0.2%	1.16人	0.7%
精神科退院指導料算定件数	71.95件	35.2%	56.24件	36.5%	71.71件	31.0%	58.42件	36.1%
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数	2.27件	1.1%	0.68件	0.4%	1.77件	0.8%	1.36件	0.8%
精神科退院前訪問指導料算定件数	7.16件	3.5%	4.02件	2.6%	7.31件	3.2%	5.38件	3.3%
在院期間5年以上転院・退院患者延べ数	4.49人	2.2%	8.04人	5.2%	3.94人	1.7%	8.22人	5.1%

### ⑤ 精神科地域移行実施加算の届出状況等

回答のあった医療機関の精神科地域移行実施加算の届出状況等は、平成 22 年も平成 23 年も「届出無」が 75.7%、75.9%と多く、「届出有」が 20.6%、20.8%である。

図表 2-41 精神科地域移行実施加算の届出状況等



退院支援部署の設置状況別に精神科地域移行実施加算の届出状況をみると、「届出有」の場合は設置している割合が若干多く、「届出無」の場合は設置していない割合が若干多い。

図表 2-42 退院支援部署の設置状況別 精神科地域移行実施加算の届出状況

<平均>		退院支援を担当する専門部署				N 数
		設置している		設置していない		
		施設数	割合	施設数	割合	
精神科地域移行実施加算の届出状況(平成 22 年)	届出有	54 施設	13.2%	32 施設	7.8%	410
	届出無	133 施設	32.4%	191 施設	46.6%	
精神科地域移行実施加算の届出状況(平成 23 年)	届出有	55 施設	13.3%	32 施設	7.8%	412
	届出無	134 施設	32.5%	191 施設	46.4%	



精神科地域移行実施加算の届出状況別に従事する職員数をみると、「専任」については届出の有無に関わらず、職種によりそれほど大きく異ならないが、「専従」については、「届出有」の「看護師」が平成21年6月で0.17人、平成23年6月で0.32人であるのに対し、「届出無」では2.37人、2.73人と多く、「届出有」の「ソーシャルワーカー（社会福祉士等）」が平成21年6月で1.50人、平成23年6月で1.52人であるのに対し、「届出無」では2.20人、2.59人と多い。また、年で見比べると、「専従」、「専任」とともに、一部を除いて全体的に増加している。

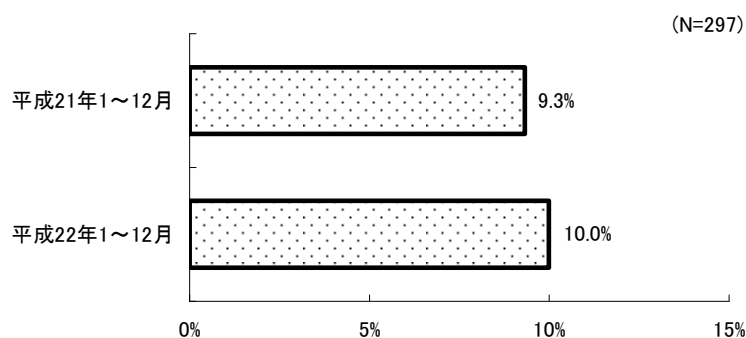
図表 2-43 精神科地域移行実施加算の届出状況別 従事する職員数

	精神科地域移行実施加算の届出有 (平成23年) N=55				精神科地域移行実施加算の届出無 (平成23年) N=134			
	平成21年6月		平成23年6月		平成21年6月		平成23年6月	
	専従	専任	専従	専任	専従	専任	専従	専任
医師	-	0.85人	-	1.00人	0.38人	0.85人	0.50人	0.90人
看護師	0.17人	1.30人	0.32人	1.81人	2.37人	0.95人	2.73人	1.01人
准看護師	-	0.23人	-	0.29人	0.68人	0.08人	0.57人	0.12人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.50人	1.88人	1.52人	2.00人	2.20人	2.21人	2.59人	2.26人
【再掲】精神保健福祉士	1.27人	1.79人	1.29人	1.88人	1.52人	1.51人	1.77人	1.58人
その他	0.07人	0.49人	0.07人	0.69人	1.02人	0.41人	1.07人	0.54人

#### ⑥入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合

回答のあった医療機関の入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合をみると、「平成21年1～12月」では9.3%、「平成22年1～12月」では10.0%である。

図表 2-44 入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合



注) 有効回答 297 件にて集計。

精神科地域移行実施加算の届出状況別に入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合をみると、平成21年においては「届出有」が10.19%と多く、平成22年においては「届出無」が10.48%と多い。

図表 2-45 精神科地域移行実施加算の届出状況別 入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合

<平均>		入院期間が5年を超える患者の 1年間における減少割合		N数
		平成21年1～12月	平成22年1～12月	
精神科地域移行実施加算の届出状況(平成22年)	届出有	10.19%	8.83%	83
	届出無	9.00%	10.48%	214

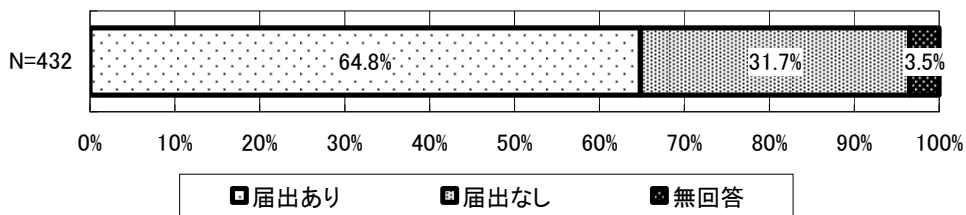
## (7) 精神科デイ・ケアの実施状況について

### ① 精神科デイ・ケアの届出状況

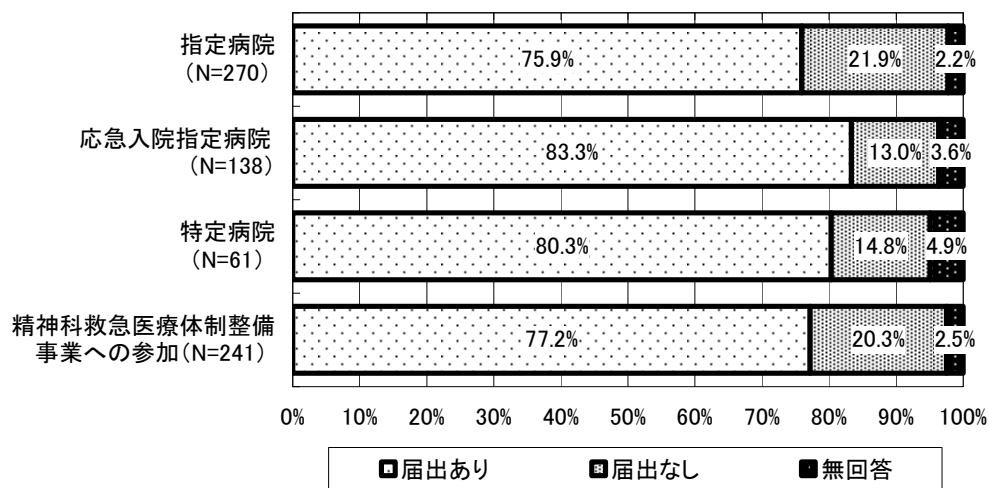
回答のあった医療機関の精神科デイ・ケアの届出状況は、「届出あり」が 64.8%と多く、「届出なし」が 31.7%である。

また、精神科医療に関する指定等の状況別に精神科デイ・ケアの届出状況をみると、いずれの指定においても「届出あり」が多く、8割前後を占める。

図表 2-46 精神科デイ・ケアの届出状況



図表 2-47 精神科医療に関する指定等の状況別 精神科デイ・ケアの届出状況



## ② 従事する職員数

精神科デイ・ケアの届出有りの従事職員数をみると、「専従」においては、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「看護師」が最も多く、1.62 人、1.63 人であり、「専任」においては、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「医師」が最も多く、1.76 人、1.85 人であり、両職種ともに増加している。

図表 2-48 精神科デイ・ケアの届出有 従事職員数

<平均> (N=280)	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	0.14 人	1.76 人	0.14 人	1.85 人
看護師	1.62 人	0.52 人	1.63 人	0.57 人
准看護師	0.16 人	0.01 人	0.18 人	0.00 人
作業療法士	1.16 人	0.24 人	1.23 人	0.31 人
臨床心理技術者	0.69 人	0.54 人	0.67 人	0.55 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.15 人	0.47 人	1.25 人	0.59 人
【再掲】精神保健福祉士	1.14 人	0.46 人	1.24 人	0.59 人
その他	0.61 人	0.10 人	0.58 人	0.20 人

注) 精神科デイ・ケアの届出を行っている 280 施設を対象に集計。

## ③ 精神科デイ・ケアを利用した患者数

精神科デイ・ケアを利用した患者数をみると、利用患者数全体においても、内訳でも年とともに増加しており、その中でも「1年以上の期間」では 50.33 人、59.62 人、59.82 人と多い。

図表 2-49 精神科デイ・ケアを利用した患者数

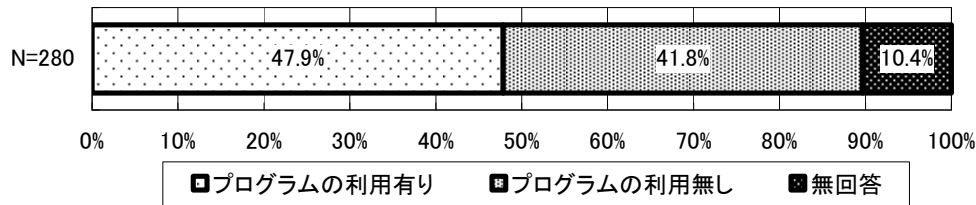
(N=280)	平成 21 年 6 月		平成 22 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	66.57 人	100.0%	81.74 人	100.0%	83.20 人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	16.25 人	24.4%	22.13 人	27.1%	23.38 人	28.1%
【再掲】1年以上の期間	50.33 人	75.6%	59.62 人	72.9%	59.82 人	71.9%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	2.83 人	4.3%	3.08 人	3.8%	3.34 人	4.0%
過去 1 年間に利用が途切れた患者数			7.13 人		7.53 人	

注) 精神科デイ・ケアの届出を行っている 280 施設を対象に集計。

#### ④ 疾患別や年代別等の個別のプログラム

回答のあった医療機関の疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無は、「プログラムの利用有り」が47.9%と多く、「プログラムの利用無し」が41.8%である。

図表 2-50 疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無



疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無別に精神科デイ・ケアを利用した患者数をみると、「プログラム利用有り」に比べ「プログラム利用無し」の方が平成21年6月、平成23年6月ともに少なく、年次の推移をみると、「プログラム有り」ではほぼ全てが増加しているのに対し、「プログラム無し」では平成21年6月から平成22年6月にかけては増加しているが、平成23年6月にかけては「入院中からデイ・ケア利用」の患者以外は若干減少している。

図表 2-51 疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無別 精神科デイ・ケアを利用した患者数

##### <疾患別や年代別等の個別のプログラム利用有り>

	疾病別や年代別等の個別プログラムあり					
	平成21年6月 (N=92)		平成22年6月 (N=104)		平成23年6月 (N=102)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	75.74人	100.0%	82.22人	100.0%	83.62人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	18.70人	24.7%	23.44人	28.5%	23.30人	27.9%
【再掲】1年以上の期間	57.04人	75.3%	58.78人	71.5%	60.31人	72.1%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	3.84人	5.1%	4.55人	5.5%	5.23人	6.3%
過去1年間に利用が途切れた患者数			12.12人		13.32人	

##### <疾患別や年代別等の個別のプログラム利用無し>

	疾病別や年代別等の個別プログラムなし					
	平成21年6月 (N=94)		平成22年6月 (N=96)		平成23年6月 (N=98)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	59.87人	100.0%	64.72人	100.0%	63.19人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	14.45人	24.1%	16.53人	25.5%	15.38人	24.3%
【再掲】1年以上の期間	45.43人	75.9%	49.19人	76.0%	47.82人	75.7%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	2.31人	3.9%	2.63人	4.1%	2.76人	4.4%
過去1年間に利用が途切れた患者数			5.24人		5.55人	

疾患別や年代別等の個別のプログラム別に精神科デイ・ケアを利用した患者数をみると、精神科デイ・ケアの利用患者数が平成21年6月から平成22年6月にかけて増加し、平成23年6月にかけては減少しているプログラムは、「統合失調症患者を対象とする内容」、「青年期の患者を対象とする内容」、「その他対象とする年代を区切った内容」、「その他病期を区切った内容」、「家事等、日常生活技能の習得のための内容」、「疾病と治療についての理解のための内容」、「処方どおりの服薬を守るための内容」、「その他の特定の目的のための内容」である。

図表 2-52 疾患別や年代別等の個別のプログラム別 精神科デイ・ケアを利用した患者数

＜統合失調症患者を対象とする内容＞

	統合失調症患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=36)		平成22年6月 (N=45)		平成23年6月 (N=42)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	76.7人	100.0%	84.2人	100.0%	81.1人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	20.1人	26.2%	26.0人	30.9%	24.5人	30.3%
【再掲】1年以上の期間	56.6人	73.8%	58.1人	69.1%	56.5人	69.7%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	4.1人	5.3%	3.7人	4.4%	4.2人	5.2%
過去1年間に利用が途切れた患者数			13.1人		14.1人	

＜うつ患者を対象とする内容＞

	うつ患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=19)		平成22年6月 (N=25)		平成23年6月 (N=23)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	95.8人	100.0%	102.3人	100.0%	103.6人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	24.5人	25.5%	32.7人	32.0%	31.8人	30.7%
【再掲】1年以上の期間	71.4人	74.5%	69.6人	68.0%	71.8人	69.3%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	3.6人	3.8%	3.9人	3.8%	4.4人	4.2%
過去1年間に利用が途切れた患者数			13.7人		17.3人	

＜その他特定の患者を対象とする内容＞

	その他特定の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=16)		平成22年6月 (N=21)		平成23年6月 (N=17)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	94.7人	100.0%	95.4人	100.0%	99.4人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	24.6人	26.0%	25.1人	26.3%	29.9人	30.1%
【再掲】1年以上の期間	70.1人	74.0%	70.3人	73.7%	69.5人	69.9%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	0.4人	0.4%	0.6人	0.7%	0.4人	0.4%
過去1年間に利用が途切れた患者数			17.7人		13.2人	

＜高齢者を対象とする内容＞

	高齢者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=20)		平成22年6月 (N=26)		平成23年6月 (N=23)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	82.9人	100.0%	85.3人	100.0%	91.3人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	20.9人	25.2%	22.8人	26.8%	26.4人	28.9%
【再掲】1年以上の期間	62.1人	74.8%	62.4人	73.2%	64.9人	71.1%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	3.2人	3.8%	2.9人	3.4%	3.5人	3.8%
過去1年間に利用が途切れた患者数			13.0人		14.3人	

＜青年期の患者を対象とする内容＞

	青年期の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=21)		平成22年6月 (N=26)		平成23年6月 (N=24)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	77.4人	100.0%	81.5人	100.0%	80.0人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	21.0人	27.1%	24.7人	30.4%	24.7人	30.9%
【再掲】1年以上の期間	56.4人	72.9%	56.7人	69.6%	55.3人	69.1%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	3.8人	4.9%	3.5人	4.3%	4.4人	5.5%
過去1年間に利用が途切れた患者数			9.8人		10.7人	

＜思春期の患者を対象とする内容＞

	思春期の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=8)		平成22年6月 (N=10)		平成23年6月 (N=10)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	91.8人	100.0%	109.2人	100.0%	111.9人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	18.5人	20.2%	32.0人	29.3%	31.5人	28.2%
【再掲】1年以上の期間	73.3人	79.8%	77.2人	70.7%	80.4人	71.8%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	1.9人	2.0%	2.2人	2.0%	3.3人	2.9%
過去1年間に利用が途切れた患者数			16.2人		18.6人	

＜児童期の患者を対象とする内容＞

	児童期の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=0)		平成22年6月 (N=0)		平成23年6月 (N=0)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	-	-	-	-	-	-
【再掲】1年以内の期間	-	-	-	-	-	-
【再掲】1年以上の期間	-	-	-	-	-	-
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	-	-	-	-	-	-
過去1年間に利用が途切れた患者数			-		-	

＜その他対象とする年代を区切った内容＞

	その他対象とする年代を区切った内容					
	平成21年6月 (N=5)		平成22年6月 (N=7)		平成23年6月 (N=4)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	59.8人	100.0%	71.7人	100.0%	65.3人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	16.2人	27.1%	22.0人	30.7%	20.0人	30.7%
【再掲】1年以上の期間	43.6人	72.9%	49.7人	69.3%	45.3人	69.3%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	7.4人	12.4%	5.6人	7.8%	9.8人	14.9%
過去1年間に利用が途切れた患者数			10.3人		11.3人	

＜慢性期の患者を対象とする内容＞

	慢性期の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=31)		平成22年6月 (N=38)		平成23年6月 (N=35)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	88.4人	100.0%	91.6人	100.0%	95.5人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	24.2人	27.3%	26.8人	29.3%	28.6人	29.9%
【再掲】1年以上の期間	64.2人	72.7%	64.7人	70.7%	67.0人	70.1%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	4.5人	5.1%	4.0人	4.3%	4.2人	4.4%
過去1年間に利用が途切れた患者数			10.7人		11.8人	

＜急性期退院直後の患者を対象とする内容＞

	急性期退院直後の患者を対象とする内容					
	平成21年6月 (N=12)		平成22年6月 (N=17)		平成23年6月 (N=15)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	78.1人	100.0%	90.8人	100.0%	91.5人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	16.0人	20.5%	23.8人	26.2%	24.5人	26.8%
【再掲】1年以上の期間	62.1人	79.5%	67.0人	73.8%	66.9人	73.2%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	1.1人	1.4%	1.3人	1.4%	2.2人	2.4%
過去1年間に利用が途切れた患者数			6.8人		9.5人	

＜その他病期を区切った内容＞

	その他病期を区切った内容					
	平成21年6月 (N=9)		平成22年6月 (N=10)		平成23年6月 (N=8)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	91.4人	100.0%	93.8人	100.0%	88.1人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	20.1人	22.0%	20.4人	21.7%	18.6人	21.1%
【再掲】1年以上の期間	71.3人	78.0%	73.4人	78.3%	69.5人	78.9%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	0.6人	0.6%	1.1人	1.2%	2.3人	2.6%
過去1年間に利用が途切れた患者数			18.4人		26.0人	

＜家事等、日常生活技能の習得のための内容＞

	家事等、日常生活技能の習得のための内容					
	平成21年6月 (N=74)		平成22年6月 (N=83)		平成23年6月 (N=83)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	78.1人	100.0%	87.4人	100.0%	86.6人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	19.2人	24.6%	25.6人	29.3%	24.4人	28.2%
【再掲】1年以上の期間	58.9人	75.4%	61.8人	70.7%	62.2人	71.8%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	4.6人	5.9%	5.5人	6.3%	6.2人	7.2%
過去1年間に利用が途切れた患者数			11.9人		12.8人	

＜症状や再発サインへの対処スキルの獲得のための内容＞

	症状や再発サインへの対処スキルの獲得のための内容					
	平成21年6月 (N=55)		平成22年6月 (N=63)		平成23年6月 (N=62)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	85.1人	100.0%	93.9人	100.0%	94.0人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	20.7人	24.3%	26.8人	28.6%	26.2人	27.9%
【再掲】1年以上の期間	64.4人	75.7%	67.1人	71.4%	67.7人	72.1%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	5.3人	6.2%	6.4人	6.8%	7.4人	7.8%
過去1年間に利用が途切れた患者数			11.8人		11.1人	

＜疾病と治療についての理解のための内容＞

	疾病と治療についての理解のための内容					
	平成21年6月 (N=53)		平成22年6月 (N=60)		平成23年6月 (N=58)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	77.5人	100.0%	91.1人	100.0%	90.1人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	18.7人	24.1%	26.1人	28.7%	24.7人	27.5%
【再掲】1年以上の期間	58.8人	75.9%	65.0人	71.3%	65.4人	72.5%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	2.4人	3.1%	2.5人	2.8%	2.8人	3.1%
過去1年間に利用が途切れた患者数			10.5人		10.0人	



<復職支援のための内容>

	復職支援のための内容					
	平成21年6月 (N=55)		平成22年6月 (N=66)		平成23年6月 (N=64)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	80.3人	100.0%	88.0人	100.0%	89.5人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	20.2人	25.1%	25.8人	29.4%	25.4人	28.4%
【再掲】1年以上の期間	60.1人	74.9%	62.1人	70.6%	64.1人	71.6%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	2.8人	3.5%	3.0人	3.4%	3.6人	4.0%
過去1年間に利用が途切れた患者数			10.7人		13.1人	

<処方どおりの服薬を守るための内容>

	処方どおりの服薬を守るための内容					
	平成21年6月 (N=40)		平成22年6月 (N=45)		平成23年6月 (N=44)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	77.8人	100.0%	87.6人	100.0%	87.3人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	21.0人	27.0%	26.4人	30.1%	26.3人	30.1%
【再掲】1年以上の期間	56.8人	73.0%	61.3人	69.9%	61.1人	69.9%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	2.9人	3.7%	2.8人	3.2%	2.7人	3.1%
過去1年間に利用が途切れた患者数			8.4人		8.9人	

<その他の特定の目的のための内容>

	その他の特定の目的のための内容					
	平成21年6月 (N=47)		平成22年6月 (N=52)		平成23年6月 (N=48)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
精神科デイ・ケアの利用患者数	76.0人	100.0%	79.9人	100.0%	78.4人	100.0%
【再掲】1年以内の期間	17.6人	23.2%	21.8人	27.3%	20.1人	25.7%
【再掲】1年以上の期間	58.4人	76.8%	58.1人	72.7%	58.3人	74.3%
【再掲】入院中からデイ・ケア利用	6.3人	8.2%	7.7人	9.6%	9.0人	11.5%
過去1年間に利用が途切れた患者数			13.8人		13.9人	

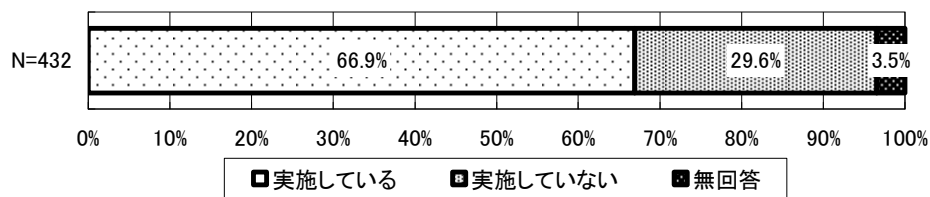
## (8) 精神科訪問看護の実施状況について

### ① 訪問看護の実施状況

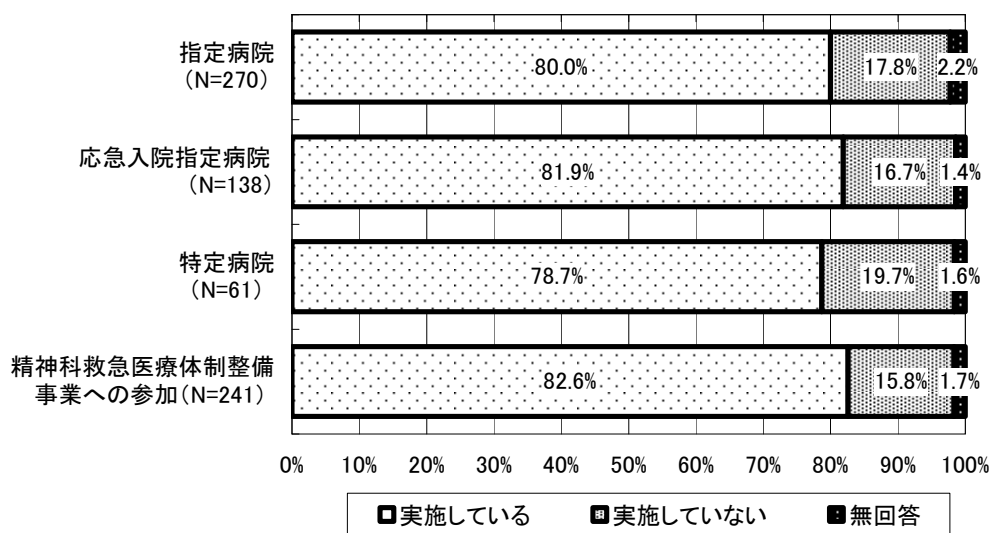
回答のあった医療機関の訪問看護の実施状況は、「実施している」が66.9%と多く、「実施していない」が29.6%である。

また、精神科医療に関する指定等の状況別に訪問看護の実施状況をみると、いずれの指定においても「実施している」が多く、80%前後を占める。

図表 2-53 訪問看護の実施状況



図表 2-54 精神科医療に関する指定等の状況別 訪問看護の実施状況



訪問看護の実施状況と平均在院日数についてみると、「精神科急性期治療病棟入院料」と「認知症治療病棟入院料」は、「訪問看護実施無」の方が「訪問看護実施有」に比べて平均在院日数が長い。年で比較すると、「訪問看護実施有」では全体的に平均在院日数に若干の増減はみられるが、「精神科急性期治療病棟入院料」では若干長くなっており、「訪問看護実施無」では全体的に平均在院日数がやや長くなっているが、特に「認知症治療病棟入院料」で顕著である。

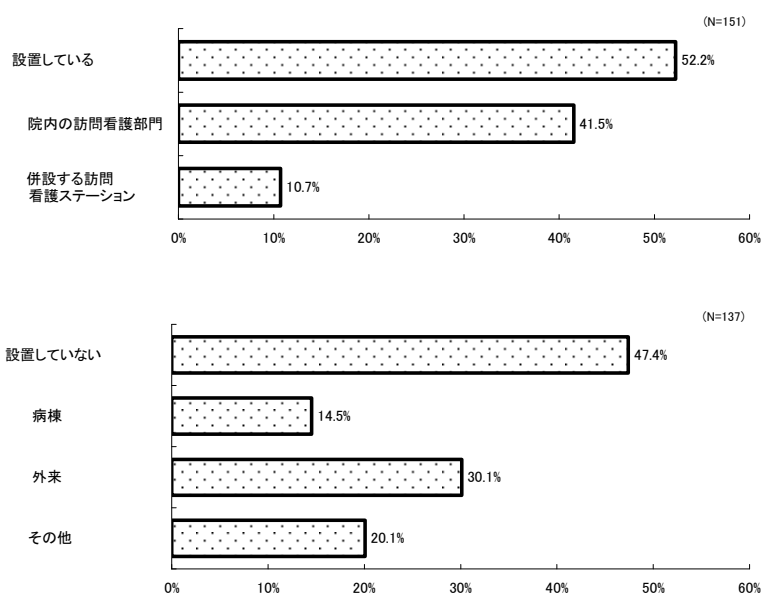
図表 2-55 訪問看護の実施状況と平均在院日数について

<平均在院日数・平均値>	訪問看護実施有 (N=289)		訪問看護実施無 (N=128)	
	平成21年6月	平成23年6月	平成21年6月	平成23年6月
精神病床	367.9日	368.0日	341.5日	346.6日
精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	344.4日	331.6日	242.5日	251.4日
精神科救急入院料	53.5日	53.5日	0.0日	0.0日
精神科救急・合併症入院料	0.0日	0.0日	0.0日	0.0日
精神科急性期治療病棟入院料	60.8日	63.8日	73.3日	83.0日
精神科療養病棟入院料	1,289.0日	1,153.3日	980.1日	999.8日
認知症治療病棟入院料	518.0日	503.6日	634.9日	1102.1日
一般病床	38.7日	49.8日	24.5日	25.3日
療養病床	580.3日	507.3日	565.6日	492.2日

## ② 訪問看護を担当する部署の設置状況

回答のあった医療機関の訪問看護を担当する部署の設置状況は、「設置している」が52.2%と多く、「設置していない」が47.7%である。内訳をみると、「設置している」では「院内の訪問看護部門」が41.5%と多く、「設置していない」では「外来」が30.1%と多い。

図表 2-56 訪問看護を担当する部署の設置状況



注) 訪問看護を実施している 289 施設を対象に集計。

### ③ 訪問看護を実施する部署に従事している職員数

訪問看護を実施する部署に従事している職員数をみると、「看護師」が平成 21 年 6 月で 2.42 人、平成 23 年 6 月で 2.82 人と最も多い。

図表 2-57 訪問看護を実施する部署に従事している職員数

＜平均＞ (N=289)	常勤換算人数	
	平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
看護師	2.42 人	2.82 人
准看護師	0.34 人	0.33 人
理学療法士	0.01 人	0.01 人
作業療法士	0.18 人	0.22 人
その他	0.97 人	1.10 人

注) 訪問看護を実施している 289 施設を対象に集計。

### ④ 精神科訪問看護を利用した患者数

精神科訪問看護を利用した患者数をみると、平成 21 年 6 月で 36.43 人、平成 23 年 6 月で 42.08 人と増加しており、算定件数では、「精神科訪問看護・指導料 (I) 算定件数」が平成 21 年 6 月で 71.76 件、平成 23 年 6 月で 84.78 件と最も多く、増加している。

図表 2-58 精神科訪問看護を利用した患者数

＜平均＞ (N=289)	平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
精神科訪問看護の総登録患者数	40.40 人	47.44 人
精神科訪問看護の利用患者数	36.43 人	42.08 人
精神科訪問看護・指導料 (I) 算定件数	71.76 件	84.78 件
複数名訪問加算の算定件数	32.31 件	41.34 件
精神科訪問看護・指導料 (II) 算定件数	4.45 件	4.50 件
長時間訪問加算の算定件数	0.00 件	0.00 件

注) 訪問看護を実施している 289 施設を対象に集計。

訪問看護の担当部署設置の種別と精神科訪問看護を利用した患者数についてみると、「院内の訪問看護部門」においては平成21年6月で48.21人、平成23年6月で56.88人であり、「併設する訪問看護ステーション」においては77.17人、85.89人であり、「併設する訪問看護ステーション」が設置されている施設の方が多いが、「複数名訪問加算の算定件数」及び「精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）算定件数」においては「院内の訪問看護部門」が設置されている施設の方が多い。

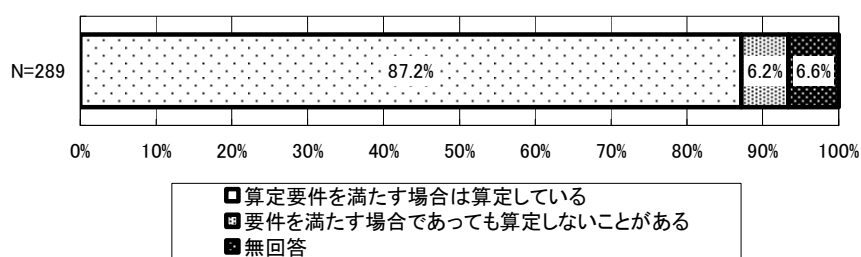
図表 2-59 訪問看護の担当部署設置の種別と精神科訪問看護を利用した患者数について

<平均>	訪問看護部署			
	院内の訪問看護部門 (N=120)		併設する訪問看護ステーション (N=31)	
	平成21年6月	平成23年6月	平成21年6月	平成23年6月
精神科訪問看護の総登録患者数	53.31人	62.95人	85.06人	95.59人
精神科訪問看護の利用患者数	48.21人	56.88人	77.17人	85.89人
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）算定件数	101.41件	120.22件	166.46件	187.73件
複数名訪問加算の算定件数	54.55件	68.20件	1.76件	1.99件
精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）算定件数	9.30件	8.96件	0.91件	0.73件
長時間訪問加算の算定件数	0.00件	0.00件	0.00件	0.00件

### ⑤ 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）

回答のあった医療機関の精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）の複数の看護師等で訪問した場合の加算については、「算定要件を満たす場合は算定している」が87.2%と多く、「要件を満たす場合であっても算定しないことがある」が6.2%である。

図表 2-60 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）について、複数の看護師等で訪問した場合の加算を算定できる場合



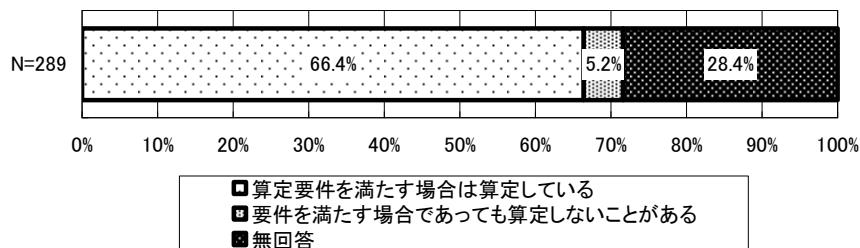
#### <参考>算定要件を満たす場合であっても算定しなかった理由

- ・ 訪問サイドの都合（スタッフ紹介、リスクマネジメントなど）で複数訪問を行った際など。
- ・ 患者の自己負担が難しい場合、負担軽減のため。
- ・ 利用者の年収を勘案する場合がある。
- ・ 当院ではあらかじめ、複数訪問の指示があった場合、算定している。その為、指示のない患者が症状悪化時に複数訪問したため算定しなかった。
- ・ 見守り訪問などで短時間の場合。
- ・ 患者の自己負担が大きいから。
- ・ 条件としての説明をする上で、信頼関係がくずれる場合がある。
- ・ 経済的負担により精神状態に影響する時など。
- ・ 利用者負担を軽減するため。
- ・ 病状の変化に応じて対応しているため。

## ⑥ 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）

回答のあった医療機関の精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）の指定訪問看護の時間が3時間を超えた時間についての加算については、「算定要件を満たす場合は算定している」が66.4%と多く、「要件を満たす場合であっても算定しないことがある」が5.2%である。

図表 2-61 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）について  
指定訪問看護の時間が3時間を越えた時間について加算を算定できる場合



### <参考>算定要件を満たす場合であっても算定しなかった理由

- ・ 訪問担当者が加算要件を知らなかったため。
- ・ 利用者の年収を勘案する場合がある。
- ・ 病院内の訪問看護室だから。

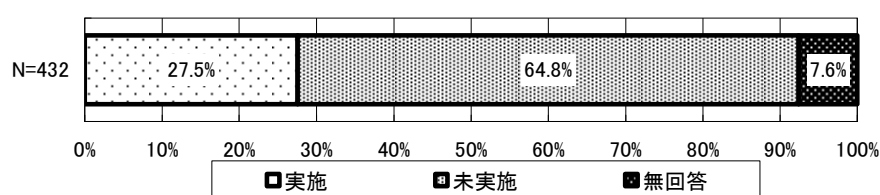
## (9) GAF 尺度による判定の実施状況について

### ① 精神科の急性期医療におけるGAF 尺度による判定の実施状況

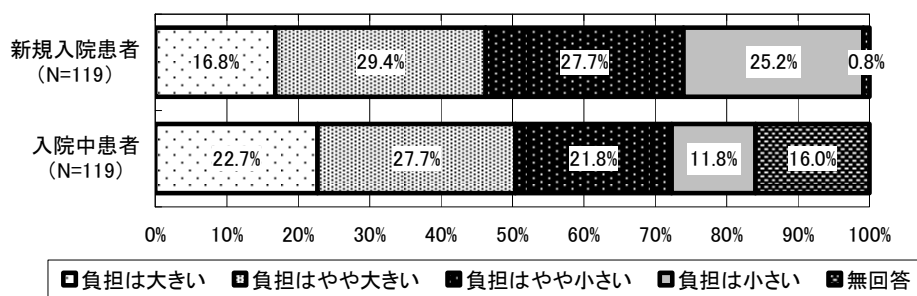
回答のあった医療機関の精神科の急性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況は、「未実施」が 64.8%と多く、「実施」が 27.5%である。

また、精神科の急性期医療における GAF 尺度による判定・記録に対する負担感は、「新規入院患者」においては「負担はやや大きい」が 29.4%と最も多く、次いで「負担はやや小さい」が 27.7%、「負担は小さい」が 25.2%であり、「入院中患者」においては「負担はやや大きい」が 27.7%と最も多く、次いで「負担は大きい」が 22.7%、「負担はやや小さい」が 21.8%である。

図表 2-62 精神科の急性期医療におけるGAF 尺度による判定の実施状況



図表 2-63 精神科の急性期医療におけるGAF 尺度による判定・記録に対する負担感



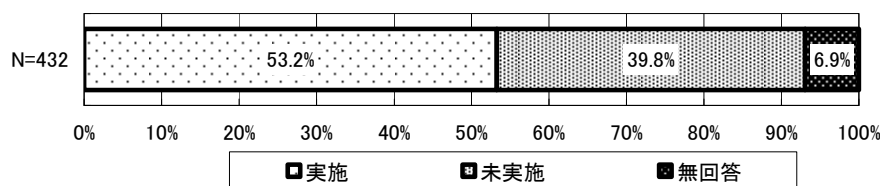
注) GAF 尺度による判定を実施している 119 施設を対象に集計。

## ② 精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定の実施状況

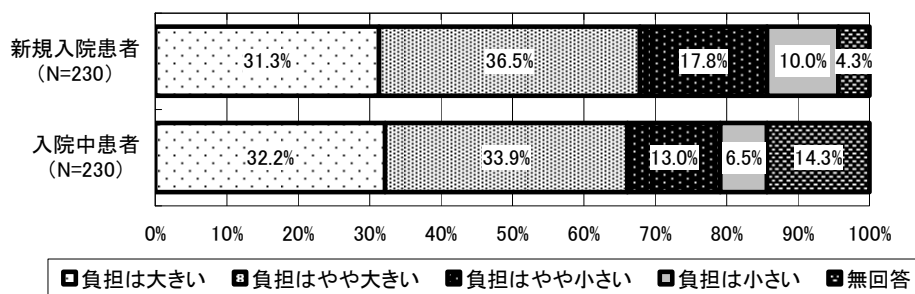
回答のあった医療機関の精神科の慢性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況は、「実施」が 53.2%と多く、「未実施」が 39.8%である。

また、精神科の慢性期医療における GAF 尺度による判定・記録に対する負担感は、「新規入院患者」「入院中患者」とともに「負担はやや大きい」がそれぞれ 36.5%、33.9%と最も多く、次いで「負担は大きい」が 31.3%、32.2%であり、「負担はやや小さい」が 17.8%、13.0%である。

図表 2-64 精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定の実施状況



図表 2-65 精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定・記録に対する負担感



注) GAF 尺度による判定を実施している 230 施設を対象に集計。

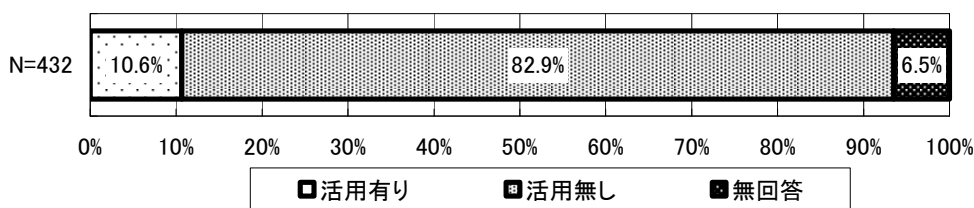


### ③ 他の重症度判定尺度の活用状況

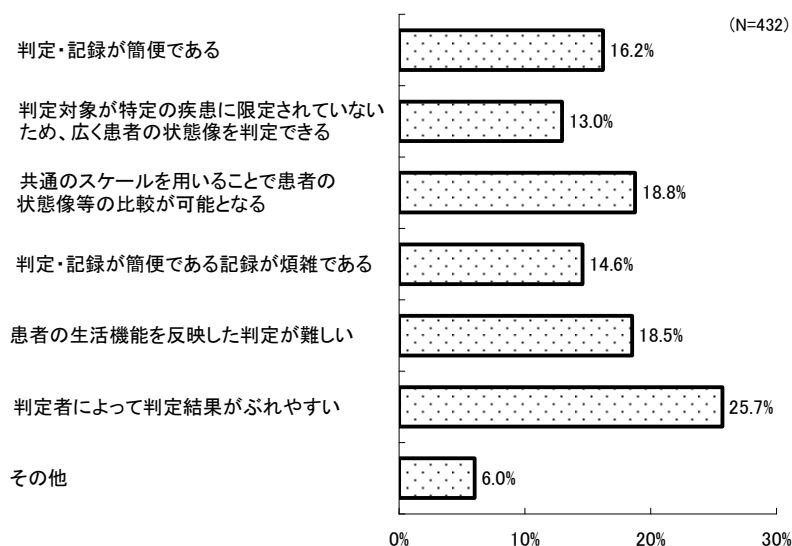
回答のあった医療機関の他の重症度判定尺度の活用状況は、「活用無し」が 82.9%と多く、「活用有り」が 10.6%である。

また、重症度の判定尺度として GAF 尺度を用いることに対する意見をみると、「判定者によって判定結果がぶれやすい」が 25.7%と最も多く、次いで「共通のスケールを用いることで患者の状態像等の比較が可能となる」が 18.8%、「患者の生活機能を反映した判定が難しい」が 18.5%である。

図表 2-66 他の重症度判定尺度の活用状況



図表 2-67 重症度の判定尺度として GAF 尺度を用いることに対する意見

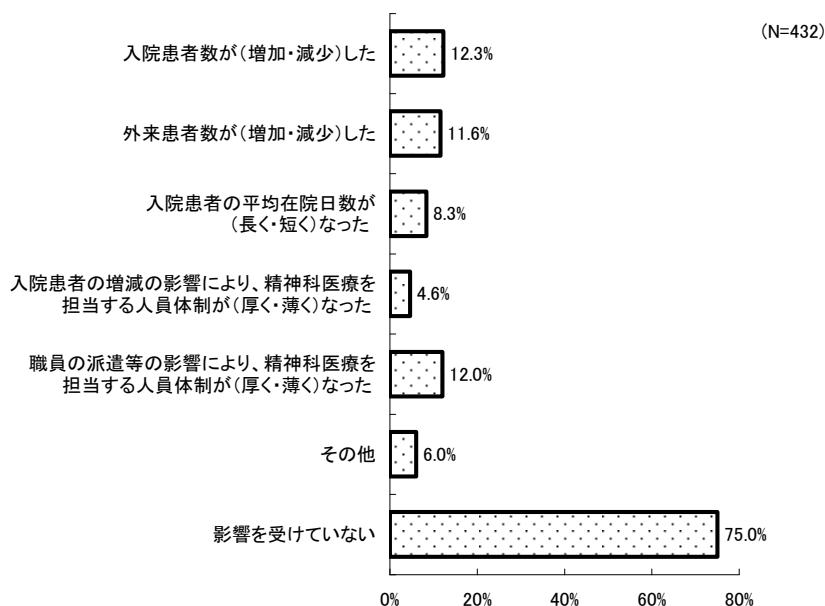


## (10) 東日本大震災が貴院に与えた影響について

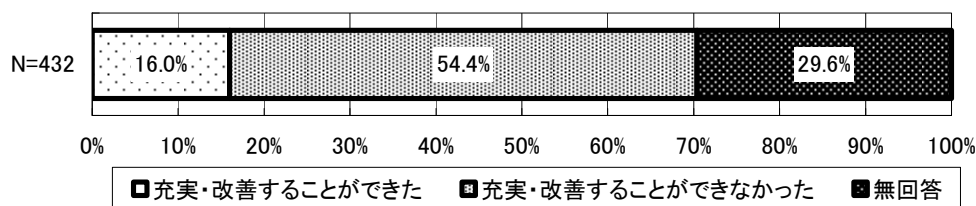
回答のあった医療機関の東日本大震災が貴院に与えた影響については、「影響を受けていない」が75.0%と最も多く、次いで「職員の派遣等の影響により、精神科医療を担当する人員体制が（厚く・薄く）なった」が12.0%である。

また、平成22年度診療報酬改定による精神科医療の充実についてみると、「充実・改善することができなかった」が54.4%と多く、「充実・改善することができた」が16.0%である。

図表 2-68 東日本大震災が貴院に与えた影響について



図表 2-69 平成22年度診療報酬改定による精神科医療の充実について



施設基準の届出状況と平成 22 年度診療報酬改定による精神科医療の充実についてみると、N 数が多い「精神病棟入院基本料 15 対 1」、「精神科急性期治療病棟入院料 1」、「精神療養病棟入院料」、「認知症治療病棟入院料 1」では、「充実・改善することができなかった」がいずれも 55%前後であり、「充実・改善することができた」は 15%前後である。また、N 数がそれほど大きくはないが、10 以上のものをみた場合、「充実・改善することができなかった」の割合が「精神病棟入院基本料 10 対 1」、「精神病棟入院基本料 13 対 1」では少なく、「精神病棟入院基本料 18 対 1」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）13 対 1」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）15 対 1」では多い。

図表 2-70 施設基準の届出状況と平成 22 年度診療報酬改定による精神科医療の充実について

<平成 23 年 6 月・平均>	診療報酬改定による精神科医療の充実について				N 数
	充実・改善することができた		充実・改善することができなかった		
	施設数	割合	施設数	割合	
<b>精神病棟入院基本料</b>					
10 対 1	3 施設	30.0%	4 施設	40.0%	10
13 対 1	14 施設	48.3%	11 施設	37.9%	29
15 対 1	33 施設	12.0%	143 施設	52.0%	275
18 対 1	2 施設	11.1%	12 施設	66.7%	18
20 対 1	1 施設	25.0%	2 施設	50.0%	4
<b>特定機能病院入院基本料（精神病棟）</b>					
7 対 1	1 施設	25.0%	1 施設	25.0%	4
10 対 1	2 施設	50.0%	2 施設	50.0%	4
13 対 1	1 施設	6.7%	9 施設	60.0%	15
15 対 1	3 施設	25.0%	9 施設	75.0%	12
<b>精神科救急入院料 1</b>	6 施設	23.1%	12 施設	46.2%	26
<b>精神科救急入院料 2</b>	1 施設	33.3%	0 施設	0.0%	3
<b>精神科急性期治療病棟入院料 1</b>	13 施設	15.3%	46 施設	54.1%	85
<b>精神科急性期治療病棟入院料 2</b>	1 施設	25.0%	2 施設	50.0%	4
<b>精神科救急・合併症入院料</b>	0 施設	0.0%	4 施設	100.0%	4
<b>精神療養病棟入院料</b>	26 施設	12.4%	117 施設	56.0%	209
<b>認知症治療病棟入院料 1</b>	11 施設	12.0%	54 施設	58.7%	92
<b>認知症治療病棟入院料 2</b>	2 施設	33.3%	2 施設	33.3%	6

<参考>充実・改善することができなかった理由について

- ・算定基準が収入に結びついていない。(10 件)
- ・重症者加算 (GAF) の負担は大きく、算定は減少した。(9 件)
- ・要件が厳しく、取得することが難しい。(8 件)
- ・他科通院に対する入院料の減額率が高い。(7 件)
- ・人員不足や負担感増により患者さんへの配慮が十分にできない。(6 件)
- ・減算により経営面を圧迫されている。(5 件)

### 3) 病棟調査①（精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料）

#### (1) 病棟全体の状況

##### ① 従事している職員数

従事している職員数をみると、「看護職員（看護師・准看護師）」が平成21年6月で40.3人、平成23年6月で39.0人と多く、減少しているが、その他の職種は「看護補助者」が変化なしである以外は、いずれも微増である。

図表 3-1 従事している職員数

<平均値>	平成21年6月 (N=333)	平成23年6月 (N=329)
医師	7.4人	7.6人
看護職員（看護師・准看護師）	40.3人	39.0人
看護補助者	10.9人	10.9人
作業療法士	2.0人	2.2人
臨床心理技術者	0.9人	0.9人
ソーシャルワーカー	2.1人	2.2人
【再掲】精神保健福祉士	1.9人	2.0人
医師事務作業補助者	0.1人	0.1人
その他	5.5人	5.9人

##### ② 算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）

算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）をみると、入院患者数全体では、平成21年6月で108.70人、平成23年6月で104.36人と減少しているが、内訳をみると、「症状性を含む器質性精神障害」、「生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群」、「心理的発達の障害」、「小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害」においては若干増加している。

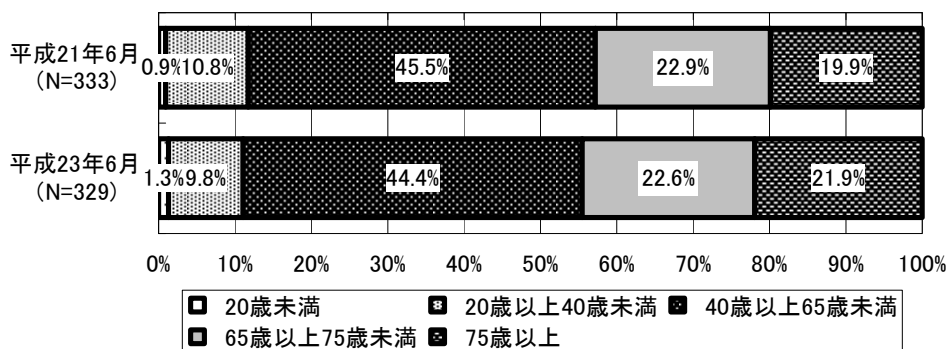
図表 3-2 算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）

<平均値>	平成21年6月(N=333)		平成23年6月(N=329)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	108.70人	100.0%	104.36人	100.0%
症状性を含む器質性精神障害	14.50人	13.3%	15.87人	15.2%
精神作用物質による精神及び行動の障害	4.81人	4.4%	4.43人	4.2%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	67.70人	62.3%	63.60人	60.9%
気分〔感情〕障害	11.08人	10.2%	10.88人	10.4%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2.35人	2.2%	2.18人	2.1%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.54人	0.5%	0.55人	0.5%
成人の人格及び行動の障害	0.61人	0.6%	0.46人	0.4%
知的障害（精神遅滞）	2.26人	2.1%	2.02人	1.9%
心理的発達の障害	0.37人	0.3%	0.52人	0.5%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.16人	0.1%	0.24人	0.2%
詳細不明の精神障害	0.38人	0.3%	0.30人	0.3%
その他	3.93人	3.6%	3.30人	3.2%

### ③ 算定病棟の入院患者数（年齢階級別）

回答のあった病棟の算定病棟の入院患者数の年齢階級別割合は、平成21年6月、平成23年6月ともに「40歳以上65歳未満」が45.5%、44.4%と最も多く、次いで「65歳以上75歳未満」が22.9%、22.6%である。

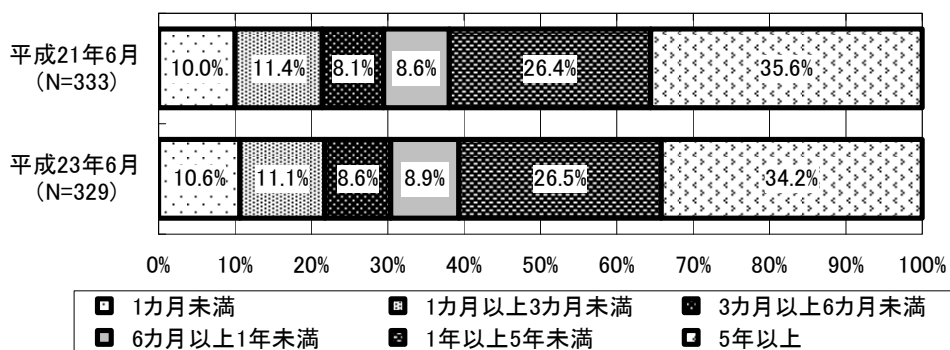
図表 3-3 算定病棟の入院患者数 年齢階級別割合



### ④ 算定病棟の入院患者数（在院期間別）

回答のあった病棟の算定病棟の入院患者数の在院期間別割合は、平成21年6月、平成23年6月ともに「5年以上」が35.6%、34.2%と最も多く、次いで「1年以上5年未満」が26.4%、26.5%である。

図表 3-4 算定病棟の入院患者数 在院期間別割合

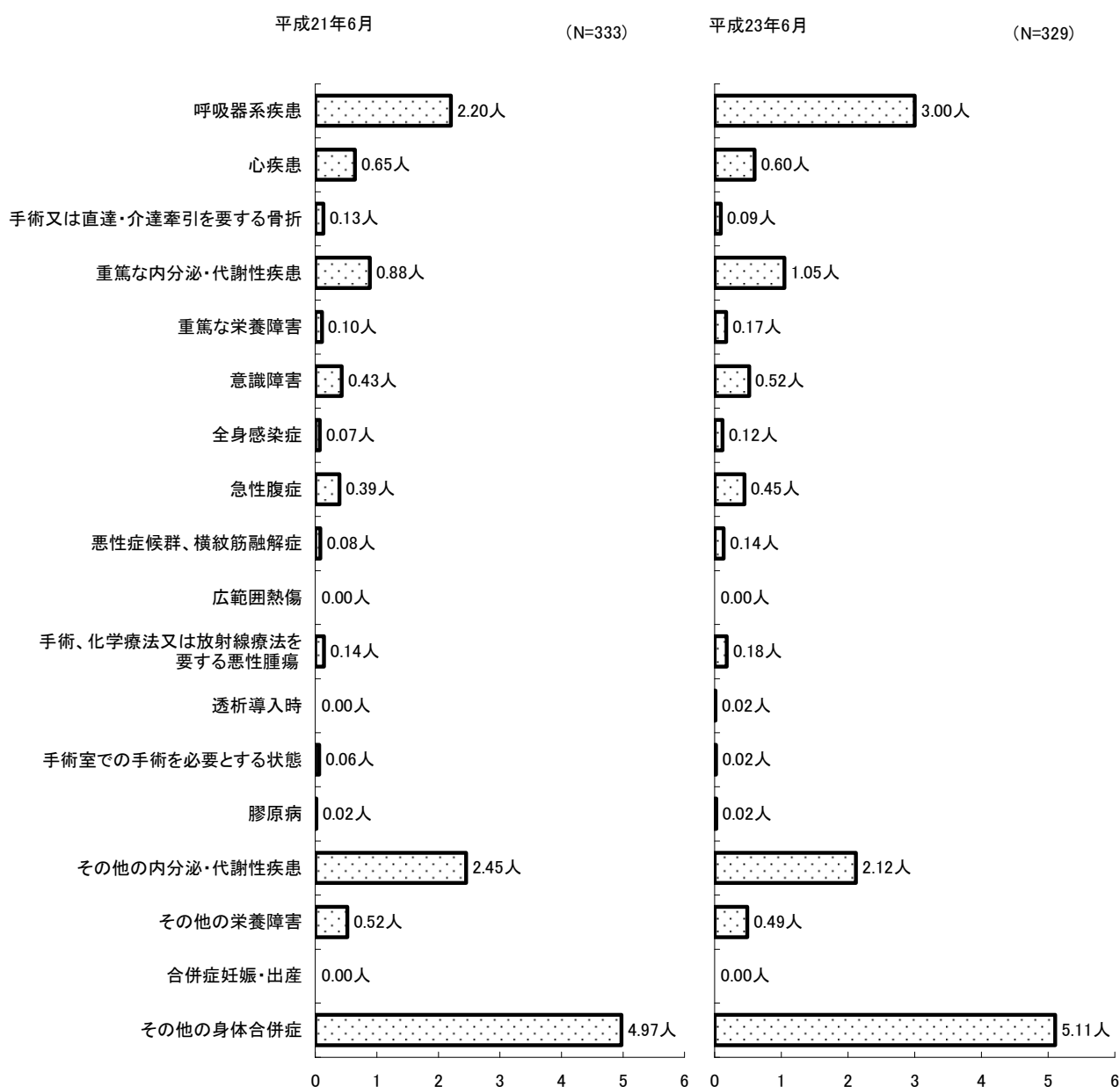


## (2) 身体合併症を有する患者の状況について

### ① 精神科身体合併症管理加算の状態別

回答のあった病棟の精神科身体合併症管理加算の状態別患者数は、平成21年6月、平成23年6月ともに「その他の身体合併症」が4.97人、5.11人と最も多く、次いで平成21年6月においては「その他の内分泌・代謝性疾患」が2.45人、「呼吸器系疾患」が2.20人であり、平成23年6月においては「呼吸器系疾患」が3.00人、「その他の内分泌・代謝性疾患」が2.12人である。

図表 3-5 精神科身体合併症管理加算の状態別 患者数



13 対 1 入院基本料算定病棟の精神科身体合併症管理加算の状態別患者数をみると、「手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍」、「手術室での手術を必要とする状態」は減少しており、「心疾患」、「広範囲熱傷」、「膠原病」、「合併症妊娠・出産」は変化がないが、他はやや増加している。

図表 3-6 13 対 1 入院基本料算定病棟 精神科身体合併症管理加算の状態別 患者数

<平均値>	平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
	患者数	患者数
呼吸器系疾患 (n=18)	0.91 人	0.99 人
心疾患 (n=13)	0.12 人	0.12 人
手術又は直達・介達牽引を要する骨折 (n=14)	0.21 人	0.39 人
重篤な内分泌・代謝性疾患 (n=16)	0.58 人	0.94 人
重篤な栄養障害 (n=13)	0.12 人	0.55 人
意識障害 (n=15)	0.28 人	0.93 人
全身感染症 (n=3)	0.00 人	0.03 人
急性腹症 (n=14)	0.13 人	0.39 人
悪性症候群、横紋筋融解症 (n=14)	0.17 人	0.52 人
広範囲熱傷 (n=13)	0.00 人	0.00 人
手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍 (n=14)	0.18 人	0.10 人
透析導入 (n=13)	0.00 人	0.00 人
手術室での手術を必要とする状態 (n=13)	0.06 人	0.03 人
膠原病 (n=13)	0.00 人	0.00 人
その他の内分泌・代謝性疾患 (n=14)	0.62 人	0.70 人
その他の栄養障害 (n=15)	0.41 人	0.44 人
合併症妊娠・出産 (n=13)	0.00 人	0.00 人
その他の身体合併症 (n=17)	2.43 人	2.62 人

## ② 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」は平成 21 年 6 月で 108.70 人、平成 23 年 6 月で 104.36 人と減少しているが、「精神科身体合併症管理加算の算定患者数」においては 1.20 人、2.29 人、「13 対 1 入院基本料算定病院精神科身体合併症管理加算の算定患者数」においては 1.27 人、3.56 人と増加している。

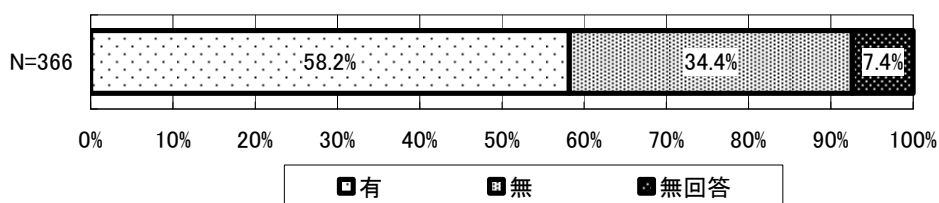
図表 3-7 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

<平均値>	平成 21 年 6 月		平成 23 年 6 月	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	108.70 人	100.0%	104.36 人	100.0%
精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (n=306)	1.20 人	1.1%	2.29 人	2.2%
13 対 1 入院基本料算定病院 精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (n=24)	1.27 人	1.2%	3.56 人	3.4%

## ③ 院内の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携の有無については、「有」が 58.2%、「無」が 34.4%である。

図表 3-8 院内の他診療科との連携の有無について

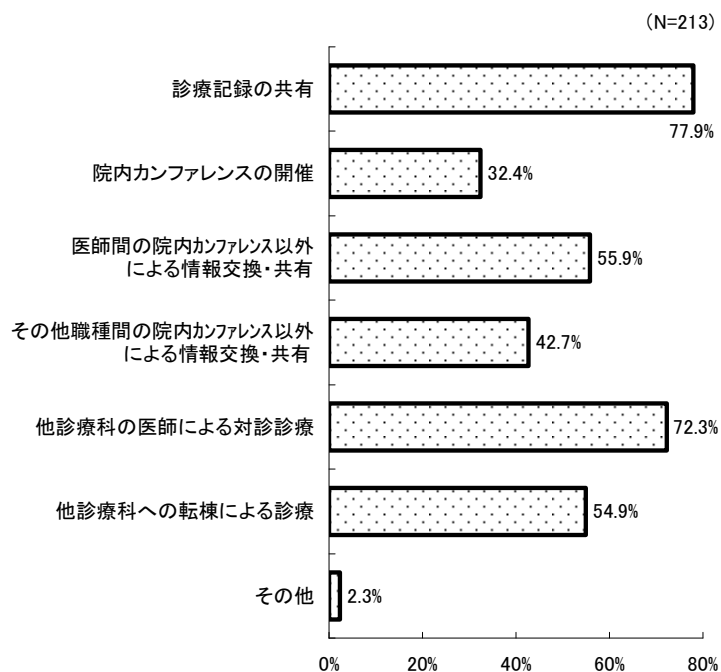




#### ④ 院内の他診療科との連携方法

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携方法については、「診療記録の共有」が77.9%と最も多く、次いで「他診療科の医師による対診診療」が72.3%である。

図表 3-9 院内の他診療科との連携方法について

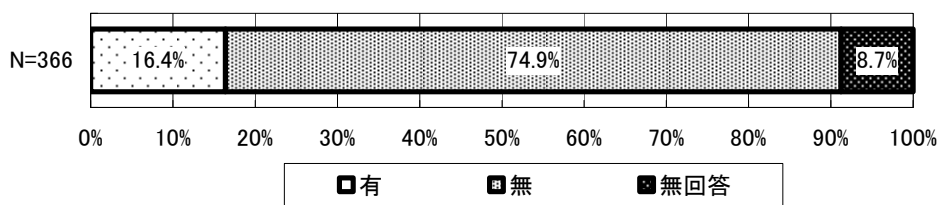


注) 院内の他診療科との連携のある 213 施設を対象に集計。

#### ⑤ 院内パスの活用

回答のあった病棟の院内パスの活用の有無は、「無」が74.9%と多く、「有」が16.4%である。

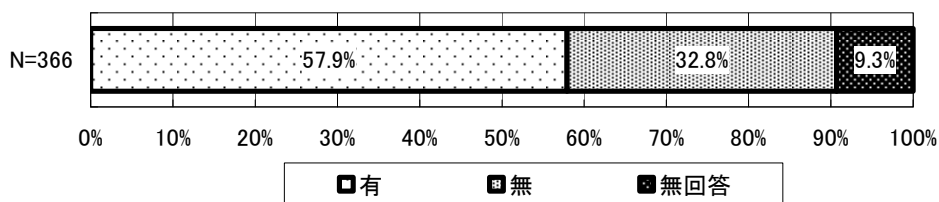
図表 3-10 院内パスの活用の有無



### ⑥ 院外の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院外の手診療科との連携の有無は、「有」が 57.9%と多く、「無」が 32.8%である。

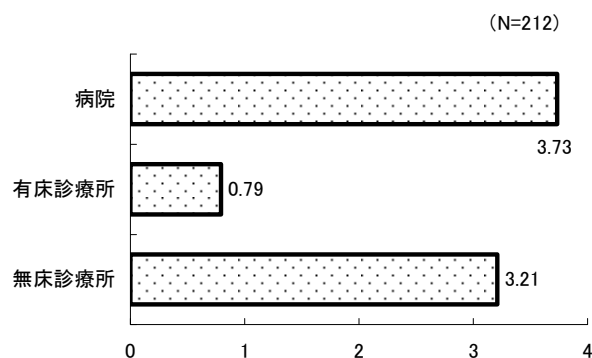
図表 3-11 院外の手診療科との連携の有無



### ⑦ 院外の手診療科との連携医療機関数

回答のあった病棟の院外の手診療科との連携医療機関数は、「病院」が 3.73 施設と最も多く、次いで「無床診療所」が 3.21 施設と多い。

図表 3-12 院外の手診療科との連携医療機関数

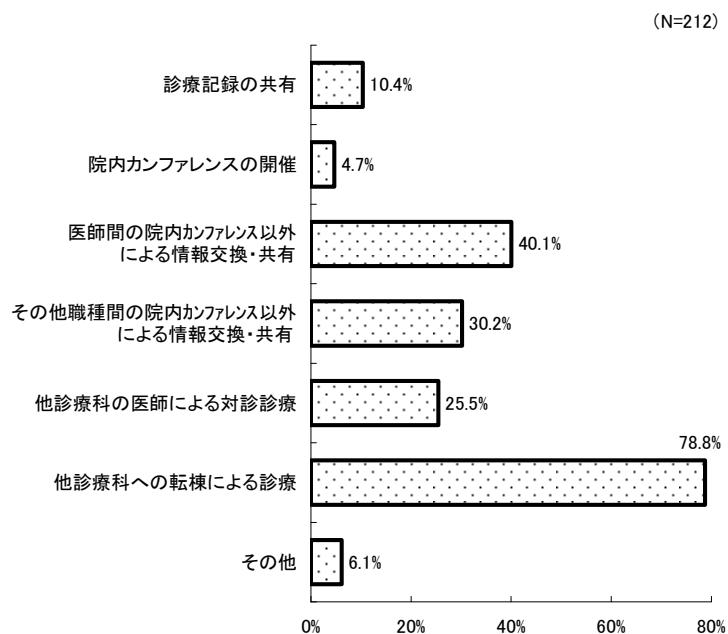


注) 院外の手診療科との連携のある 212 施設を対象に集計。

### ⑧ 院外のお診療科との連携方法

回答のあった病棟の院外のお診療科との連携方法は、「お診療科への転棟による診療」が78.8%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が40.1%と多い。

図表 3-13 院外のお診療科との連携方法

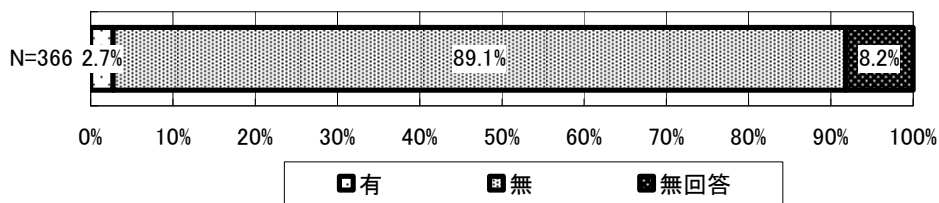


注) 院外のお診療科との連携のある212施設を対象に集計。

### ⑨ 地域連携パスの活用

回答のあった病棟の地域連携パスの活用の有無については、「無」が89.1%と多く、「有」が2.7%である。

図表 3-14 地域連携パスの活用の有無について

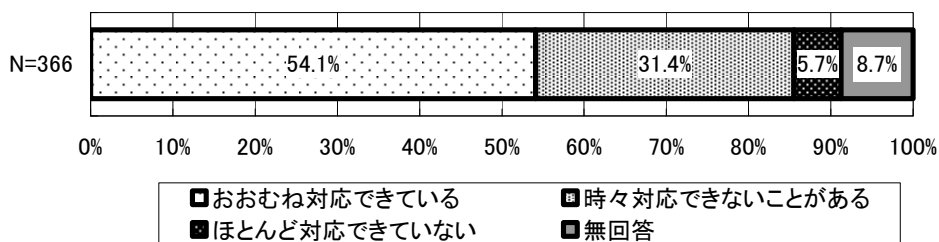


### ⑩ 身体合併症患者への対応状況

回答のあった病棟の身体合併症患者への対応状況については、「おおむね対応できている」が54.1%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が31.4%と多い。

13 対 1 入院基本料算定病棟の身体合併症患者への対応状況についてみると、「おおむね対応できている」が75.0%であり、全体と比べると大きい。

図表 3-15 身体合併症患者への対応状況について



図表 3-16 13 対 1 入院基本料算定病棟 身体合併症患者への対応状況について

身体合併症への対応状況 (n=28)	病棟数	割合
おおむね対応できている	21 病棟	75.0%
時々対応できないことがある	5 病棟	17.9%
ほとんど対応できていない	0 病棟	0.0%
無回答	2 病棟	7.1%

### (3) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

#### ① 算定病棟に新規入棟した患者数 入棟前の居場所別

算定病棟に新規入棟した患者数をみると、平成21年4月～6月で44.66人、平成23年4月～6月で45.44人と若干増加しており、入棟前の居場所別には、「有床診療所」においては0.26人から0.47人へと、2倍近く増加しているが、「自宅」においては29.60人から29.55人と若干減少している。

図表 3-17 算定病棟に新規入棟した患者数 入棟前の居場所別

<平均値>	平成21年4～6月				平成23年4～6月			
	全患者数 (N=190)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=128)		全患者数 (N=177)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=128)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
新規入棟患者数	44.66人	100.0%	3.69人	100.0%	45.44人	100.0%	5.18人	100.0%
自宅	29.60人	66.3%	1.80人	48.9%	29.55人	65.0%	2.34人	45.1%
自院の他の病棟等	7.34人	16.4%	0.88人	23.7%	7.39人	16.3%	1.41人	27.3%
【再掲】精神科救急入院料	0.74人	1.6%	0.06人	1.7%	0.65人	1.4%	0.05人	0.9%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.01人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	1.34人	3.0%	0.00人	0.0%	1.40人	3.1%	0.08人	1.5%
【再掲】精神科療養病棟入院料	2.27人	5.1%	0.22人	5.9%	2.50人	5.5%	0.35人	6.8%
【再掲】その他の病棟	2.99人	6.7%	0.59人	16.1%	2.84人	6.3%	0.94人	18.1%
他の病院	5.47人	12.3%	0.84人	22.9%	5.63人	12.4%	1.11人	21.4%
有床診療所	0.26人	0.6%	0.01人	0.2%	0.47人	1.0%	0.02人	0.5%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.75人	1.7%	0.05人	1.3%	0.79人	1.7%	0.13人	2.4%
老人保健施設	0.49人	1.1%	0.08人	2.1%	0.55人	1.2%	0.12人	2.3%
①～⑥以外の施設	0.74人	1.6%	0.03人	0.8%	1.07人	2.3%	0.05人	1.1%

#### ② 算定病棟から転棟・転院・退院した患者数 退院先別

算定病棟から転棟・転院・退院した患者数をみると、平成21年4月～6月で46.42人、平成23年4月～6月で46.95人と若干増加しており、退院先別には、最も多い「自宅」においては27.90人から27.30人と若干減少している。

図表 3-18 算定病棟から転棟・転院・退院した患者数 退院先別

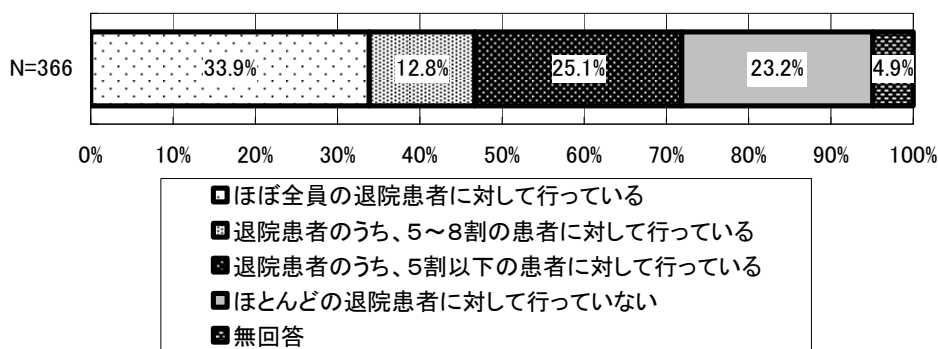
<平均値>	平成21年4～6月 (N=206)		平成23年4～6月 (N=203)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟から退棟・転院・退院した患者数	46.42人	100.0%	46.95人	100.0%
自宅	27.90人	60.1%	27.30人	58.2%
自院の他の病棟等	7.24人	15.6%	7.50人	16.0%
【再掲】精神科救急入院料	0.21人	0.4%	0.21人	0.5%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	0.37人	0.8%	0.42人	0.9%
【再掲】精神科療養病棟入院料	3.86人	8.3%	4.01人	8.5%
【再掲】その他の病棟	2.80人	6.0%	2.86人	6.1%
他の病院	6.27人	13.5%	6.40人	13.6%
有床診療所	0.08人	0.2%	0.06人	0.1%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	1.52人	3.3%	1.66人	3.5%
老人保健施設	0.82人	1.8%	0.97人	2.1%
①～⑥以外の施設	0.76人	1.6%	0.72人	1.5%
死亡	1.83人	3.9%	2.34人	5.0%

#### (4) 退院支援の実施状況について

##### ① 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数については、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が 33.9%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が 25.1%と多い。

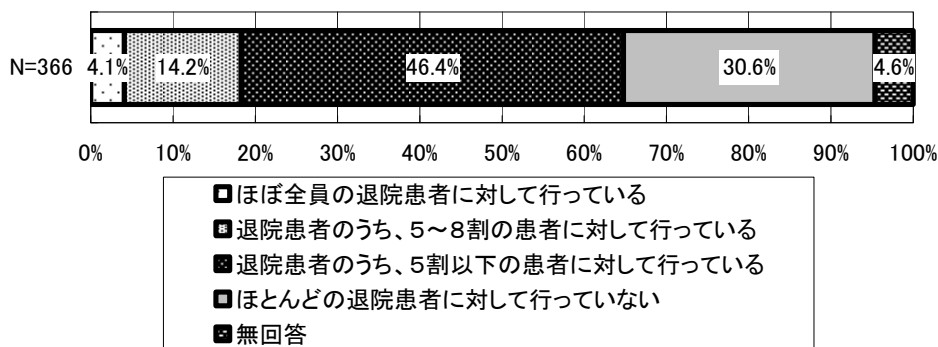
図表 3-19 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数について



##### ② 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数

回答のあった病棟の転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数については、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が 46.4%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が 30.6%と多い。

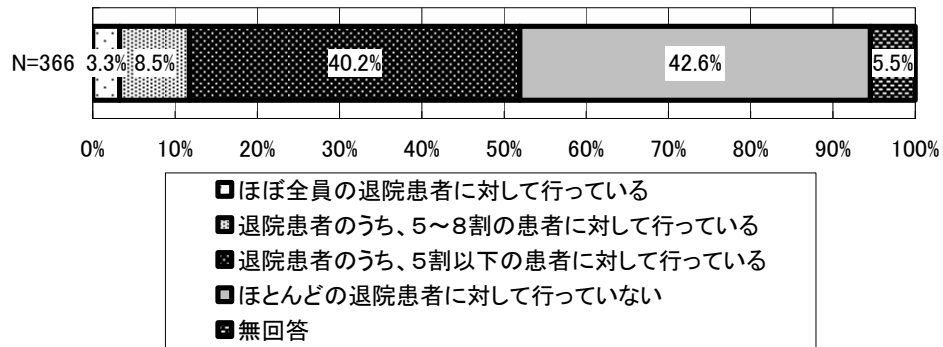
図表 3-20 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数について



### ③ 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数については、「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が42.6%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が40.2%と多い。

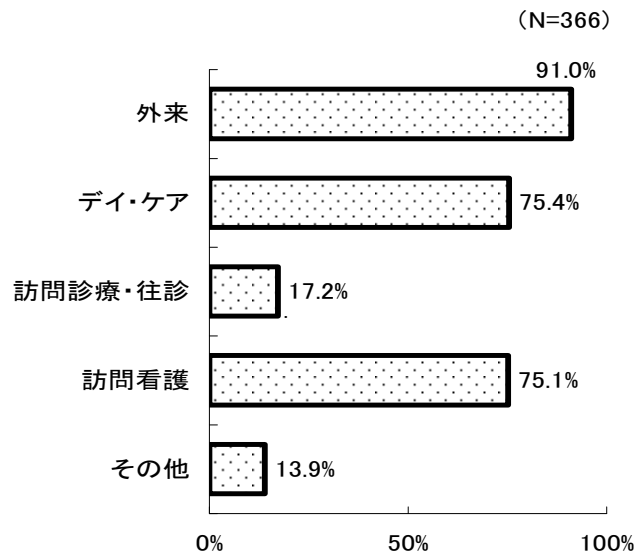
図表 3-21 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数について



### ④ 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

回答のあった病棟の精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が91.0%と最も多く、次いで「デイ・ケア」が75.4%と多い。

図表 3-22 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

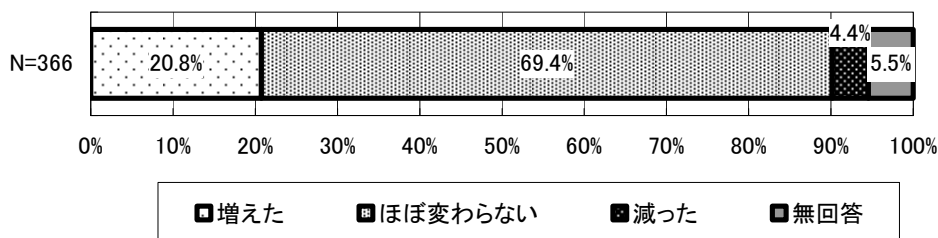


## (5) 1年前と比較した重症な患者の状況について

### ① 精神症状の重症な患者の増減

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減については、「ほぼ変わらない」が69.4%と最も多く、次いで「増えた」が20.8%である。

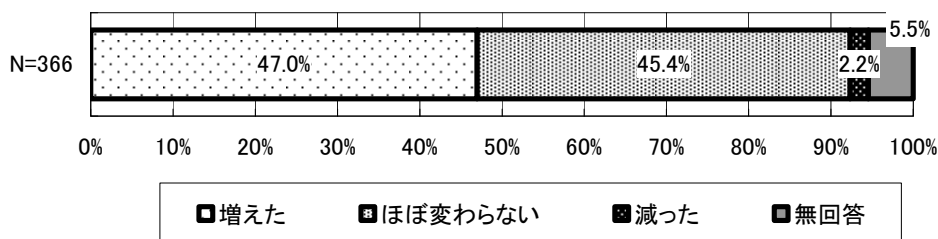
図表 3-23 精神症状の重症な患者の増減について



### ② 身体合併症の重症な患者の増減

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の増減については、「増えた」が47.0%と最も多く、次いで「ほぼ変わらない」が45.4%と多い。

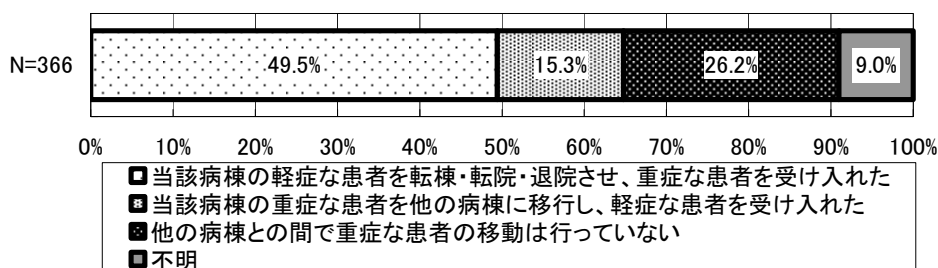
図表 3-24 身体合併症の重症な患者の増減について



### ③ 精神症状の重症な患者の移動

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の移動については、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が49.5%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が26.2%である。

図表 3-25 精神症状の重症な患者の移動について

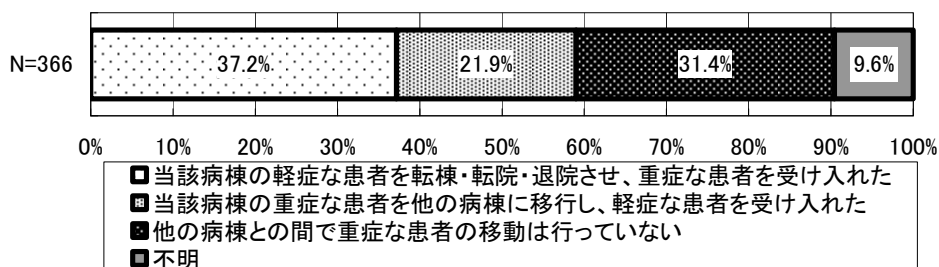




#### ④ 身体合併症の重症な患者の移動

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の移動については、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が37.2%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が31.4%である。

図表 3-26 身体合併症の重症な患者の移動について



## (6) GAF尺度のスコアの状況について

### ① 入院していた全ての患者の状態

入院していた全ての患者の GAF 尺度のスコア別患者数をみると、平成 23 年 6 月 30 日時点の入院患者は、39.44 人と、平成 22 年 6 月 30 日時点、平成 21 年 6 月 30 日時点の入院患者と比較して約 2 倍増であり、スコア別には、平成 23 年 6 月 30 日時点入院患者数、平成 22 年 6 月 30 日時点入院患者数で「21～30 点」が 34.4%、39.8%、平成 21 年 6 月 30 日時点入院患者数では「31～40 点」が 23.6%と最も多い。

図表 3-27 入院していた全ての患者の GAF 尺度のスコア別患者数

<平均値>	平成 23 年 6 月 30 日時点の 入院患者 (N=52)		平成 22 年 6 月 30 日時点の 入院患者 (N=17)		平成 21 年 6 月 30 日時点の 入院患者 (N=11)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟で該当する患者数	39.44 人	100.0%	17.29 人	100.0%	18.09 人	100.0%
91～100点	0.02 人	0.0%	0.00 人	0.0%	0.00 人	0.0%
81～ 90点	0.06 人	0.1%	0.06 人	0.3%	0.09 人	0.5%
71～ 80点	0.35 人	0.9%	0.18 人	1.0%	0.36 人	2.0%
61～ 70点	1.04 人	2.6%	0.18 人	1.0%	1.27 人	7.0%
51～ 60点	3.29 人	8.3%	0.88 人	5.1%	2.09 人	11.6%
41～ 50点	4.15 人	10.5%	2.06 人	11.9%	3.91 人	21.6%
31～ 40点	8.75 人	22.2%	3.35 人	19.4%	4.27 人	23.6%
21～ 30点	13.58 人	34.4%	6.88 人	39.8%	3.45 人	19.1%
11～ 20点	5.10 人	12.9%	2.35 人	13.6%	1.09 人	6.0%
1～ 10点	1.88 人	4.8%	0.76 人	4.4%	0.55 人	3.0%
0点	1.23 人	3.1%	0.59 人	3.4%	1.00 人	5.5%

② 新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態

新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態をみると、平成23年4～6月に新規入棟した患者は55.81人であり、平成23年4～6月に転棟・転院・退院した患者は51.83人である。スコア別には「21～30点」がそれぞれ39.2%、22.8%と最も多い。

図表3-28 新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態におけるGAF尺度のスコア別患者数

<平均値>	平成23年4～6月に 新規入棟した患者(N=54)		平成23年4～6月に転棟・ 転院・退院した患者(N=41)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟で該当する患者数	55.81人	100.0%	51.83人	100.0%
91～100点	0.00人	0.0%	0.24人	0.5%
81～90点	0.07人	0.1%	1.83人	3.5%
71～80点	0.39人	0.7%	3.90人	7.5%
61～70点	0.96人	1.7%	4.49人	8.7%
51～60点	2.76人	4.9%	6.37人	12.3%
41～50点	5.22人	9.4%	7.93人	15.3%
31～40点	11.11人	19.9%	7.78人	15.0%
21～30点	21.85人	39.2%	11.80人	22.8%
11～20点	9.69人	17.4%	4.80人	9.3%
1～10点	2.48人	4.4%	1.24人	2.4%
0点	1.28人	2.3%	1.44人	2.8%

#### 4) 病棟調査②（精神科救急入院料）

##### (1) 病棟全体の状況

###### ① 従事している職員数

従事している職員数をみると、「その他」以外は全職種が増加しており、「看護職員（看護師・准看護師）」平成21年6月では27.30人、平成23年6月では29.64人と最も増加している。

図表 4-1 従事している職員数

<平均値>	平成21年6月	平成23年6月
医師 (N=22)	6.09 人	6.48 人
看護職員（看護師・准看護師）(N=22)	27.30 人	29.64 人
看護補助者 (N=19)	3.35 人	3.74 人
作業療法士 (N=16)	0.89 人	1.17 人
臨床心理技術者 (N=14)	0.57 人	0.67 人
ソーシャルワーカー (N=19)	2.73 人	3.07 人
【再掲】精神保健福祉士 (N=19)	2.39 人	3.00 人
医師事務作業補助者 (N=10)	-	-
その他 (N=10)	1.55 人	1.54 人

###### ② 算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）

算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）をみると、平成21年6月では49.86人、平成23年6月では50.04人と増加しており、「統合失調症、統合失調症型障害及び身体表現性障害」が56.3%、57.8%と割合が多く、「精神作用物質による精神及び行動の障害」、「成人の人格及び行動の障害」、「心理的発達の障害」、「詳細不明の精神障害」、「その他」の患者は減少している。

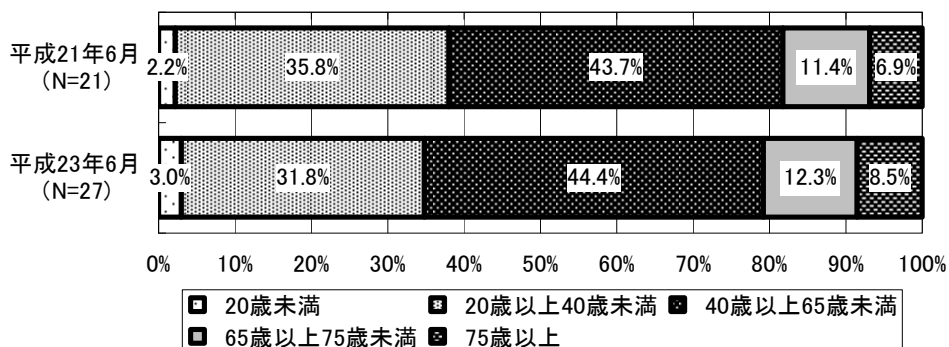
図表 4-2 算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）

<平均値>	平成21年6月 (N=21)		平成23年6月 (N=27)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	49.86 人	100.0%	50.04 人	100.0%
症状性を含む器質性精神障害	3.48 人	7.0%	3.37 人	6.7%
精神作用物質による精神及び行動の障害	2.90 人	5.8%	2.52 人	5.0%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	28.05 人	56.3%	28.93 人	57.8%
気分〔感情〕障害	9.52 人	19.1%	10.22 人	20.4%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.29 人	2.6%	1.48 人	3.0%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.14 人	0.3%	0.30 人	0.6%
成人の人格及び行動の障害	0.90 人	1.8%	0.33 人	0.7%
知的障害（精神遅滞）	0.86 人	1.7%	0.93 人	1.9%
心理的発達の障害	0.62 人	1.2%	0.44 人	0.9%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.00 人	0.0%	0.19 人	0.4%
詳細不明の精神障害	0.24 人	0.5%	0.04 人	0.1%
その他	1.86 人	3.7%	1.30 人	2.6%

### ③ 算定病棟の入院患者数（年齢階級別）

回答のあった病棟の算定病棟の入院患者数を年齢階級別割合は、「40歳以上 65歳未満」が4割超と最も大きく、次いで「20歳以上 40歳未満」が大きい。

図表 4-3 算定病棟の入院患者数 年齢階級別割合



### ④ 当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数

算定要件に該当しない患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」は平成 21 年 6 月では 49.86 人、平成 23 年 6 月では 50.04 人であるが、そのうち「入院料に係る算定要件に該当しない患者数」も 7.0%から 10.1%へと増加している。

図表 4-4 算定要件に該当しない患者数

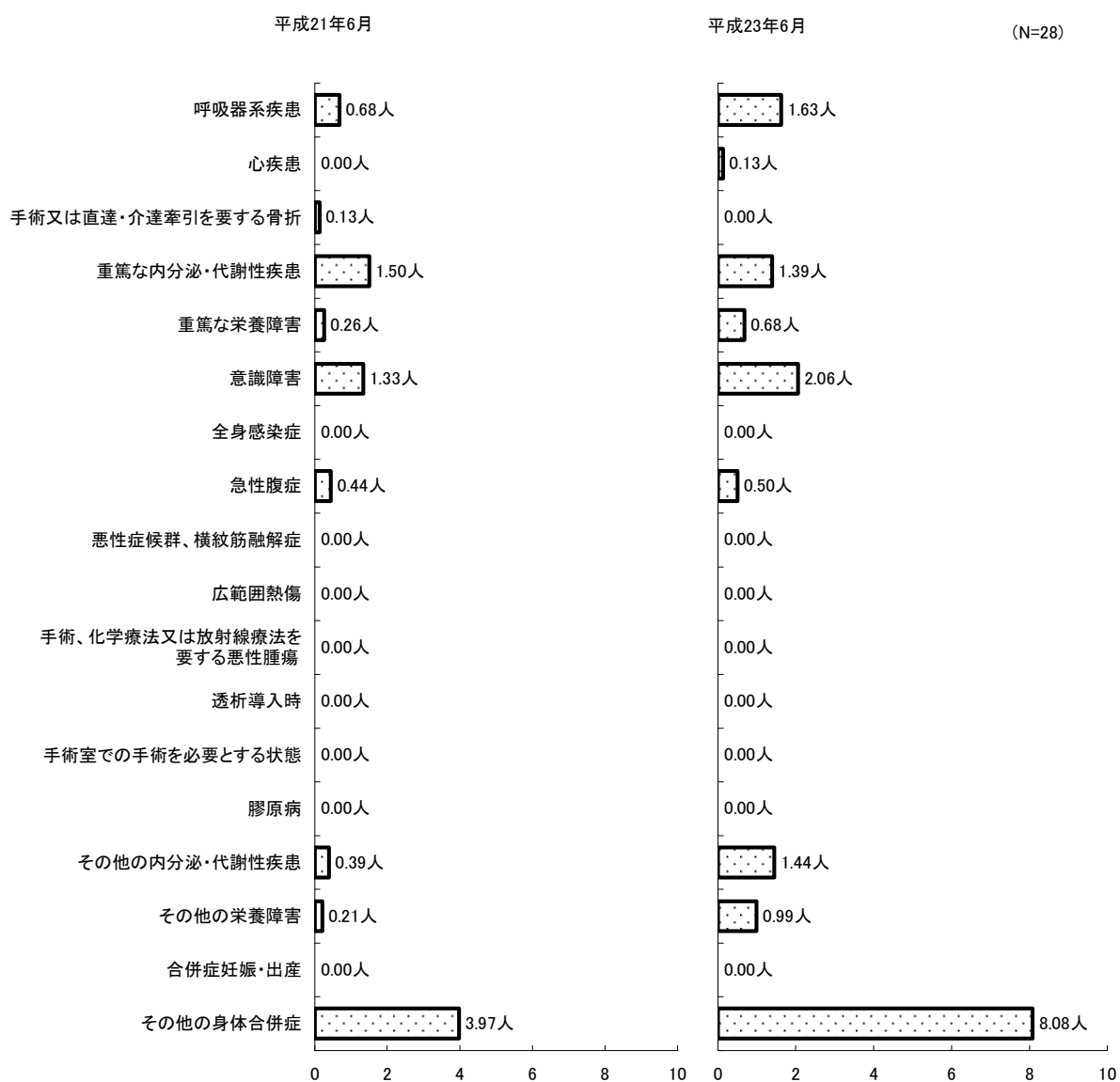
<平均値>	平成 21 年 6 月 (N=21)		平成 23 年 6 月 (N=27)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	49.86 人	100.0%	50.04 人	100.0%
入院料に係る算定要件に該当しない患者数	3.48 人	7.0%	5.07 人	10.1%

## (2) 身体合併症を有する患者の状況について

### ① 精神科身体合併症管理加算の状態別

回答のあった病棟の精神科身体合併症管理加算の状態別の患者数は、平成21年6月においては「その他の身体合併症」が3.97人と最も多く、次いで「重篤な内分泌・代謝性疾患」が1.50人であり、平成23年6月においては「その他の身体合併症」が8.08人と多く、次いで「意識障害」が2.06人である。

図表 4-5 精神科身体合併症管理加算の状態別の患者数



## ② 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「精神科身体合併症管理加算の算定患者数」は、入院患者数に占める割合が平成 21 年 6 月の 2.1%、平成 23 年 6 月の 3.8%と増加している。

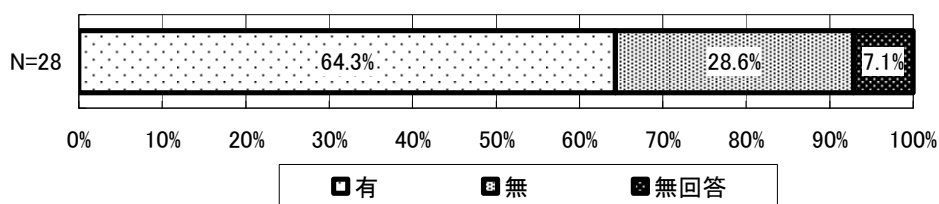
図表 4-6 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

<平均値>	平成 21 年 6 月(N=21)		平成 23 年 6 月(N=27)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	49.86 人	100.0%	50.04 人	100.0%
精神科身体合併症管理加算の算定患者数	1.07 人	2.1%	1.91 人	3.8%

## ③ 院内の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携の有無は、「有」が 64.3%と多く、「無」が 28.6%である。

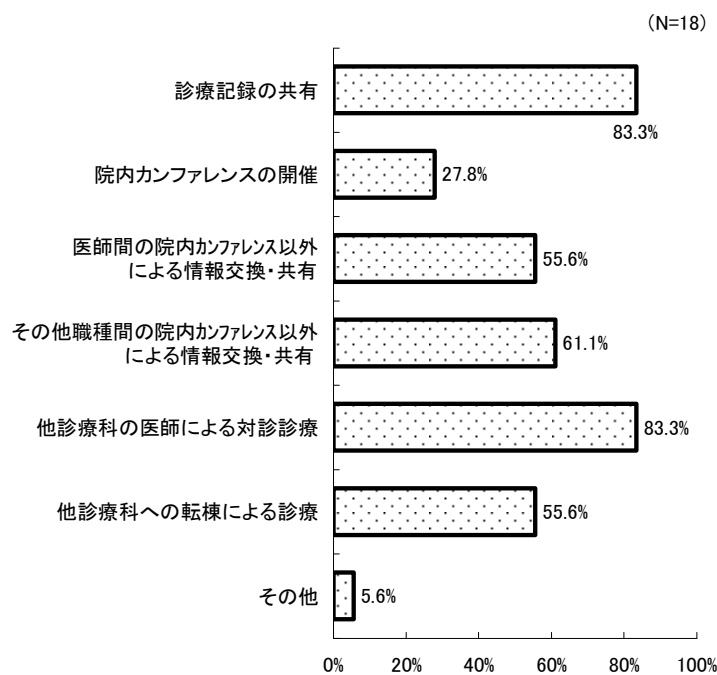
図表 4-7 院内の他診療科との連携の有無



#### ④ 院内の他診療科と連携方法

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携方法は、「診療記録の共有」および「他診療科の医師による対診診療」が 83.3%と最も多く、「その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が 61.1%である。

図表 4-8 院内の他診療科と連携方法

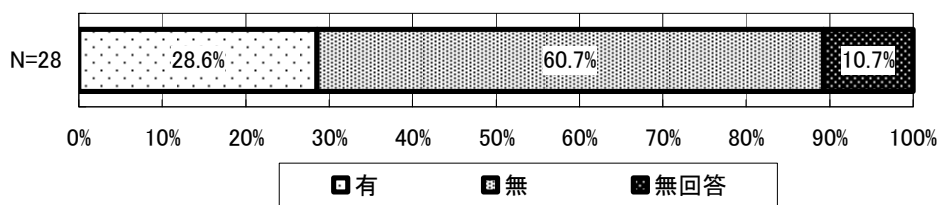


注) 院内の他診療科との連携のある 18 施設を対象に集計。

#### ⑤ 院内パスの活用

回答のあった病棟の院内パスの活用は、「無」が 60.7%と多く、「有」が 28.6%である。

図表 4-9 院内パスの活用

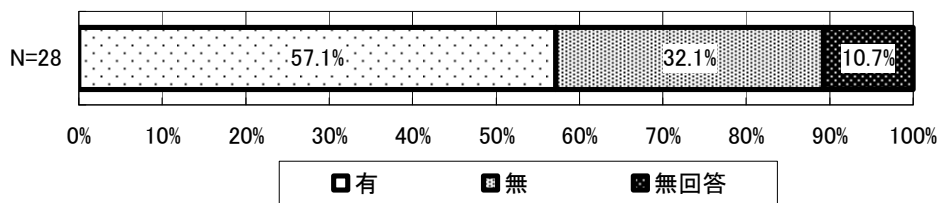




### ⑥ 院外の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院外の手診療科との連携の有無は、「有」が 57.1%と多く、「無」が 32.1%である。

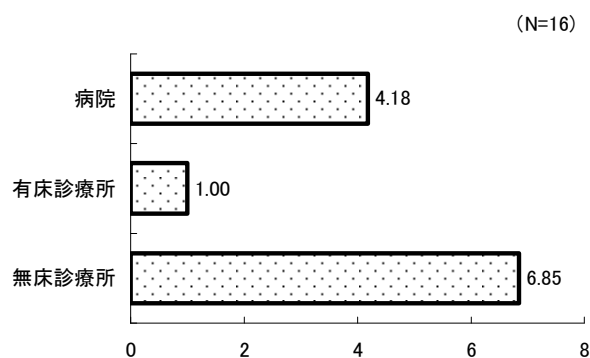
図表 4-10 院外の手診療科との連携の有無



### ⑦ 連携医療機関数

回答のあった病棟の連携医療機関数は、「無床診療所」が 6.85 施設と最も多く、次いで「病院」が 4.18 施設と多い。

図表 4-11 連携医療機関数

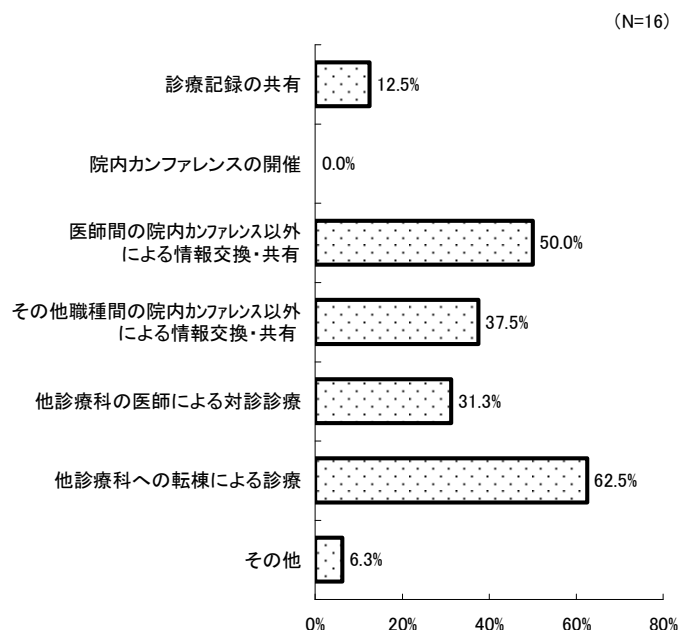


注) 院外の手診療科との連携のある 16 施設を対象に集計。

### ⑧ 院外の他診療科との連携方法

回答のあった病棟の院外の手診療科との連携方法は、「他診療科への転棟による診療」が62.5%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が50.0%と多い。

図表 4-12 院外の手診療科との連携方法

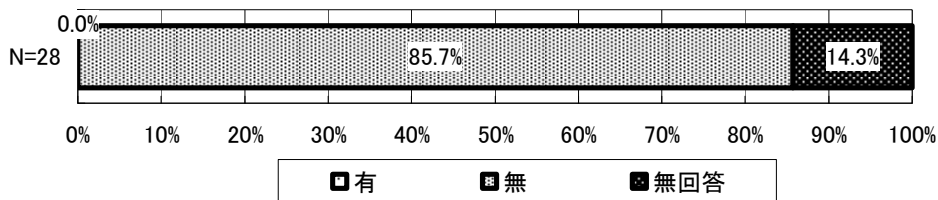


注) 院外の手診療科との連携のある16施設を対象に集計。

### ⑨ 地域連携パスの活用

回答のあった病棟の地域連携パスの活用は、「無」が85.7%と多い。

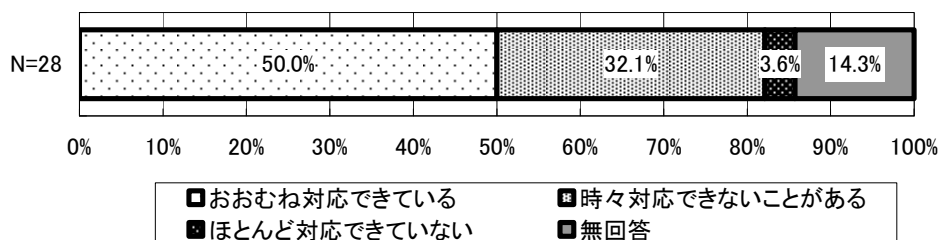
図表 4-13 地域連携パスの活用



### ⑩ 身体合併症患者への対応状況

回答のあった病棟の身体合併症患者への対応状況は、「おおむね対応できている」が50.0%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が32.1%と多い。

図表 4-14 身体合併症患者への対応状況



### (3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

#### ① 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、平成21年6月では28.21人、平成22年6月では26.45人、平成23年6月では28.31人であり、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」の割合は平成22年6月と平成23年6月で、83.8%から89.9%へと増加し、また、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」においては16.2%から10.1%へと減少している。

図表 4-15 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

<平均値>	平成21年6月 (N=19)		平成22年6月 (N=11)		平成23年6月 (N=13)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
非定型抗精神病薬による治療患者数	28.21人	100.0%	26.45人	100.0%	28.31人	100.0%
非定型抗精神病薬加算1の算定患者数			22.18人	83.8%	25.46人	89.9%
【再掲】抗精神病薬1種類			13.64人	51.5%	15.77人	55.7%
【再掲】抗精神病薬2種類			8.55人	32.3%	9.69人	34.2%
非定型抗精神病薬加算2の算定患者数			4.27人	16.2%	2.85人	10.1%
【再掲】抗精神病薬3種類			3.45人	13.1%	1.54人	5.4%
【再掲】抗精神病薬4種類			0.64人	2.4%	1.23人	4.3%
【再掲】抗精神病薬5種類以上			0.18人	0.7%	0.08人	0.3%

#### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

##### ① 算定病棟に新規入棟した患者

算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月では37.25人、平成23年6月では34.18人と若干減少しており、入棟前の居場所では「自宅」の割合が最も多く、82.9%から85.9%へと増加している。

図表 4-16 算定病棟に新規入棟した患者

<平均値>	平成21年6月 (N=8)		平成23年6月 (N=11)	
	患者数	割合	患者数	割合
新規入棟患者数	37.25人	100.0%	34.18人	100.0%
自宅	30.88人	82.9%	29.36人	85.9%
自院の他の病棟等	1.63人	4.4%	2.09人	6.1%
【再掲】精神科病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料（精神病棟）	0.63人	1.7%	1.36人	4.0%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.50人	1.3%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科療養病棟入院料	0.13人	0.3%	0.45人	1.3%
【再掲】その他の病棟	0.38人	1.0%	0.27人	0.8%
他の病院	2.25人	6.0%	0.82人	2.4%
有床診療所	0.13人	0.3%	0.00人	0.0%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.63人	1.7%	0.64人	1.9%
老人保健施設	0.00人	0.0%	0.09人	0.3%
①～⑥以外の施設	1.75人	4.7%	1.18人	3.5%
緊急自動車等により搬送された延べ患者数	3.75人	10.1%	3.55人	10.4%

## ② 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年6月では34.50人、平成23年6月では36.25人と若干増加しており、転棟・転院・退院先別では「自宅」の割合が最も多く、65.9%から67.8%へと増加している。

図表 4-17 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

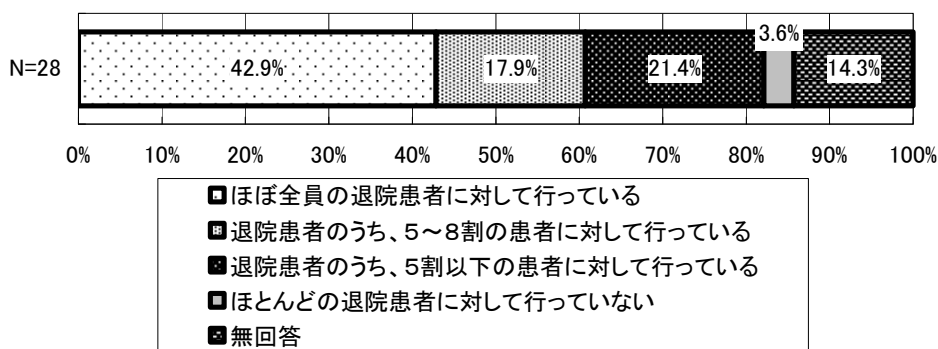
<平均値>	平成21年6月				平成23年6月			
	全患者数 (N=12)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=19)		全患者数 (N=16)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=9)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟から退棟・転院・退院した患者数	34.50人	100.0%	0.78人	100.0%	36.25人	100.0%	0.22人	100.0%
自宅	22.75人	65.9%	0.56人	71.4%	24.56人	67.8%	0.11人	50.0%
自院の他の病棟等	8.92人	25.8%	0.11人	14.3%	8.44人	23.3%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	5.67人	16.4%	0.11人	14.3%	4.44人	12.2%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.33人	1.0%	0.00人	0.0%	0.13人	0.3%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	0.08人	0.2%	0.00人	0.0%	0.13人	0.3%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科療養病棟入院料	2.00人	5.8%	0.00人	0.0%	2.31人	6.4%	0.00人	0.0%
【再掲】その他の病棟	0.83人	2.4%	0.00人	0.0%	1.44人	4.0%	0.00人	0.0%
他の病院	1.92人	5.6%	0.11人	14.3%	2.31人	6.4%	0.11人	50.0%
有床診療所	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.33人	1.0%	0.00人	0.0%	0.25人	0.7%	0.00人	0.0%
老人保健施設	0.08人	0.2%	0.00人	0.0%	0.44人	1.2%	0.00人	0.0%
①～⑥以外の施設	0.42人	1.2%	0.00人	0.0%	0.13人	0.3%	0.00人	0.0%
死亡	0.08人	0.2%	0.00人	0.0%	0.13人	0.3%	0.00人	0.0%

## (5) 退院支援の実施状況について

### ① 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数は、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が42.9%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が21.4%と多い。

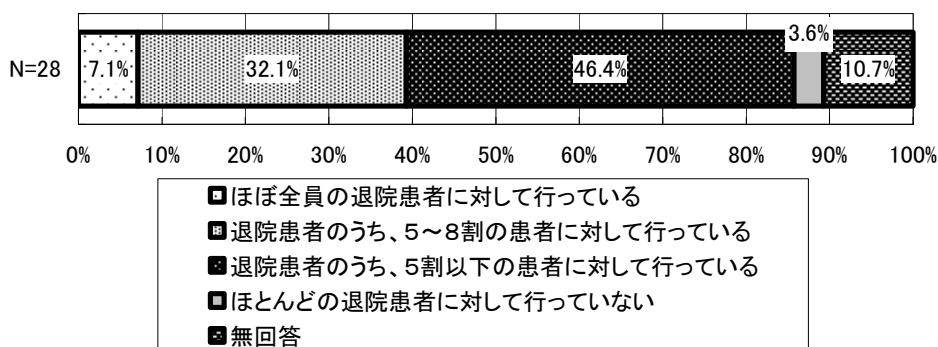
図表 4-18 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数



### ② 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数

回答のあった病棟の転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が46.4%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている」が32.1%と多い。

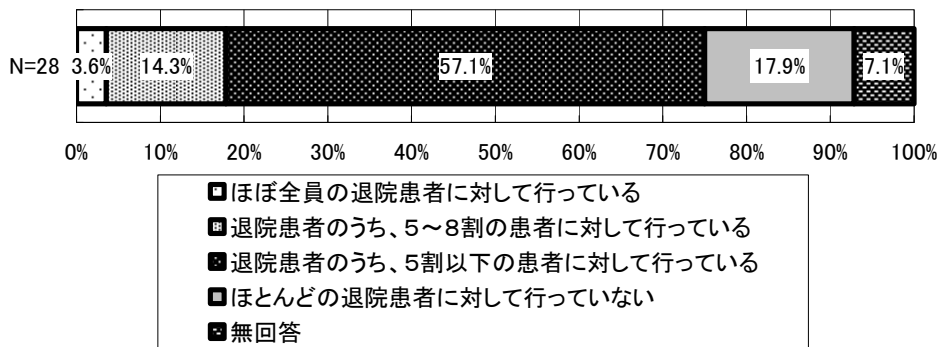
図表 4-19 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数



### ③ 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数については、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が57.1%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が17.9%と多い。

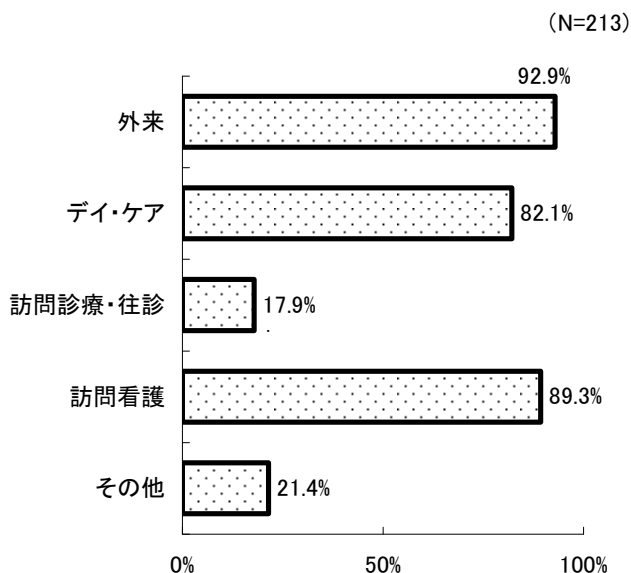
図表 4-20 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数



### ④ 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

回答のあった病棟の精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が92.9%と最も多く、次いで「訪問看護」が89.3%と多い。

図表 4-21 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

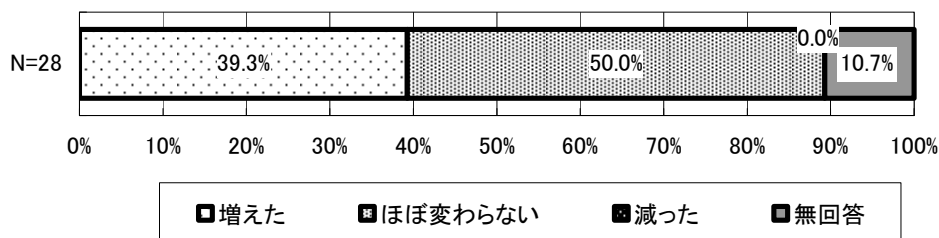


## (6) 1年前と比較した重症な患者の状況について

### ① 精神症状の重症な患者の増減

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が50.0%と最も多く、次いで「増えた」が39.3%と多い。

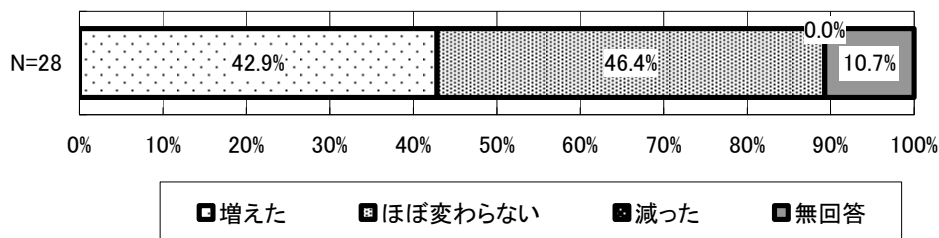
図表 4-22 精神症状の重症な患者の増減



### ② 身体合併症の重症な患者の増減

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が46.4%と最も多く、次いで「増えた」が42.9%と多い。

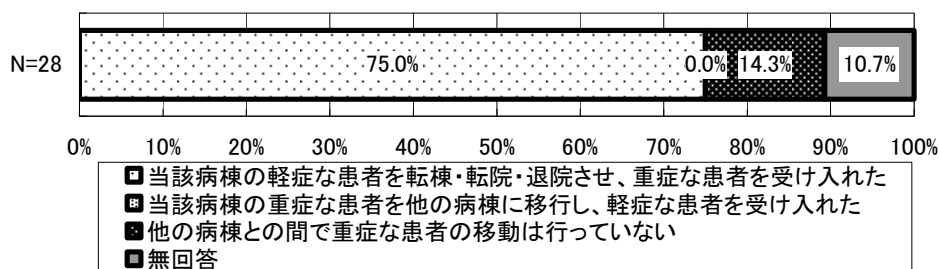
図表 4-23 身体合併症の重症な患者の増減



### ③ 精神症状の重症な患者の移動

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が75.0%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が14.3%と多い。

図表 4-24 精神症状の重症な患者の移動

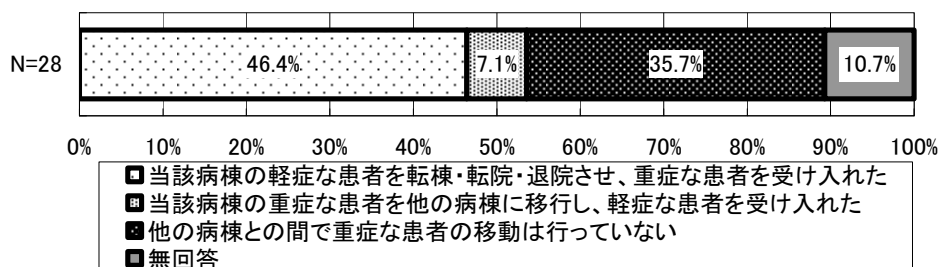




#### ④ 身体合併症の重症な患者の移動

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が46.4%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が35.7%と多い。

図表 4-25 身体合併症の重症な患者の移動



## 5) 病棟調査④（精神科急性期治療病棟入院料）

### （1）病棟全体の状況

#### ① 従事している職員数

従事している職員数をみると、「看護職員（看護師・准看護師）」が最も多く、平成 21 年 6 月では 20.37 人、平成 23 年 6 月では 20.39 人と若干増加しており、全体的に増加傾向であるが、「医師事務作業補助者」、「その他」においては変化がなく、「医師」においては 3.72 人から 3.66 人、「ソーシャルワーカー」においては 1.52 人から 1.51 人へと、若干減少している。

図表 5-1 従事している職員数

<平均値>	平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
医師 (N=63)	3.72 人	3.66 人
看護職員（看護師・准看護師）(N=65)	20.37 人	20.39 人
看護補助者 (N=64)	5.44 人	5.99 人
作業療法士 (N=45)	0.98 人	1.13 人
臨床心理技術者 (N=41)	0.63 人	0.71 人
ソーシャルワーカー (N=57)	1.52 人	1.51 人
【再掲】精神保健福祉士 (N=59)	1.49 人	1.56 人
医師事務作業補助者 (N=36)	0.04 人	0.04 人
その他 (N=33)	0.16 人	0.16 人

#### ② 算定病棟の入院患者数、主たる疾患別

算定病棟の入院患者数をみると、平成 21 年 6 月では 40.92 人、平成 23 年 6 月では 41.27 人と若干増加しており、主たる疾患別には「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の割合が最も大きい、53.1%から 48.0%へと減少している。

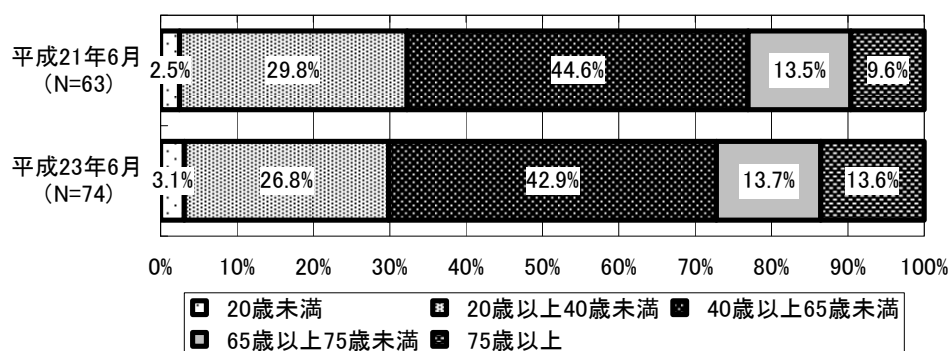
図表 5-2 算定病棟の入院患者数、主たる疾患別

<平均値>	平成 21 年 6 月 (N=63)		平成 23 年 6 月 (N=74)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	40.92 人	100.0%	41.27 人	100.0%
症状性を含む器質性精神障害	3.17 人	7.8%	4.81 人	11.7%
精神作用物質による精神及び行動の障害	2.76 人	6.7%	3.00 人	7.3%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	21.73 人	53.1%	19.80 人	48.0%
気分〔感情〕障害	9.35 人	22.8%	9.18 人	22.2%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.48 人	3.6%	1.96 人	4.7%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.25 人	0.6%	0.22 人	0.5%
成人の人格及び行動の障害	0.62 人	1.5%	0.43 人	1.0%
知的障害（精神遅滞）	0.41 人	1.0%	0.43 人	1.0%
心理的発達の障害	0.25 人	0.6%	0.39 人	0.9%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.08 人	0.2%	0.16 人	0.4%
詳細不明の精神障害	0.08 人	0.2%	0.09 人	0.2%
その他	0.73 人	1.8%	0.80 人	1.9%

### ③ 年齢階級別

回答のあった病棟の年齢階級は、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月もともに「40 歳以上 65 歳未満」が 44.6%、42.9%と最も多く、次いで「20 歳以上 40 歳未満」が 29.8%、26.8%と多い。

図表 5-3 年齢階級別



### ④ 算定要件に該当しない患者数

算定要件に該当しない患者数は、入院患者数に占める割合が平成 21 年 6 月の 11.9%から平成 23 年 6 月の 17.0%へと増加している。

図表 5-4 算定要件に該当しない患者数

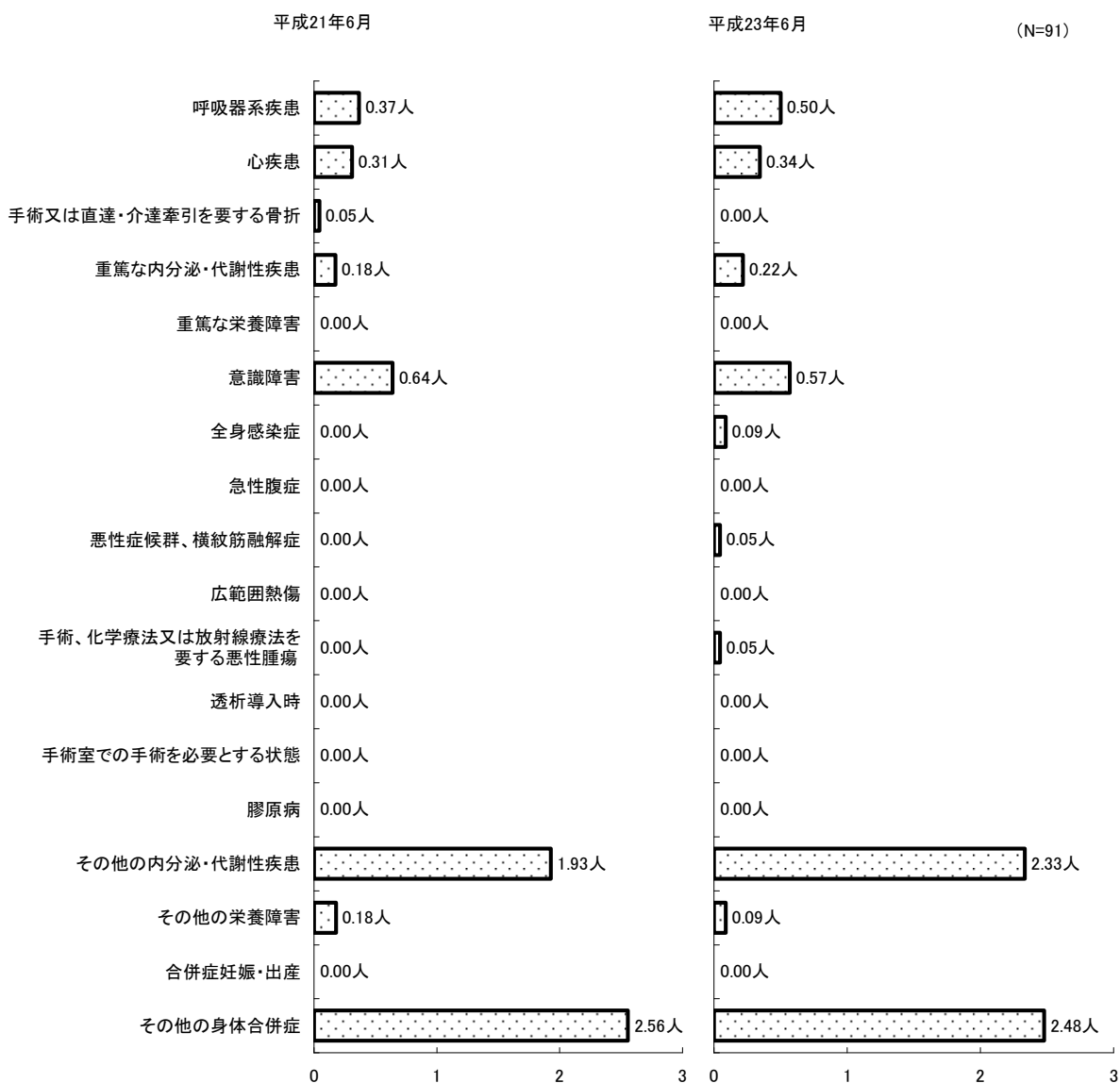
<平均値>	平成 21 年 6 月 (N=63)		平成 23 年 6 月 (N=74)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	40.92 人	100.0%	41.27 人	100.0%
当該病棟の入院患者数入院料に係る算定要件に該当しない患者数	4.86 人	11.9%	7.01 人	17.0%

## (2) 身体合併症を有する患者の状況について

### ① 精神科身体合併症管理加算の状態別

回答のあった病棟の精神科身体合併症管理加算の状態は、平成21年6月も平成23年6月もともに「その他の身体合併症」が2.56人、2.48人と最も多く、次いで「その他の内分泌・代謝性疾患」が1.93人、2.33人と多い。

図表 5-5 精神科身体合併症管理加算の状態



## ② 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」における平成21年6月の40.92人、平成23年6月の41.27人に対し、「精神科身体合併症管理加算の算定患者数」の割合が0.5%、0.7%と増加している。

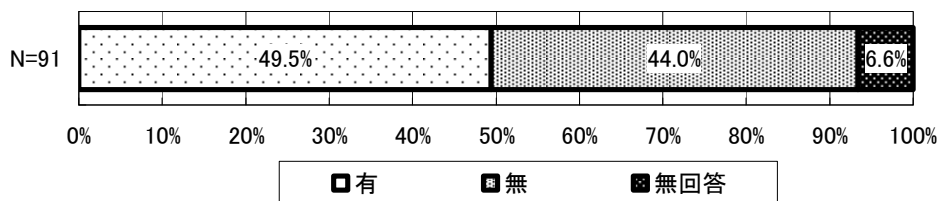
図表 5-6 精神科身体合併症管理加算の算定患者数

<平均値>	平成21年6月(N=63)		平成23年6月(N=74)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	40.92人	100.0%	41.27人	100.0%
精神科身体合併症管理加算の算定患者数	0.22人	0.5%	0.29人	0.7%

## ③ 院内の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携の有無は、「有」が49.5%と多く、「無」が44.0%である。

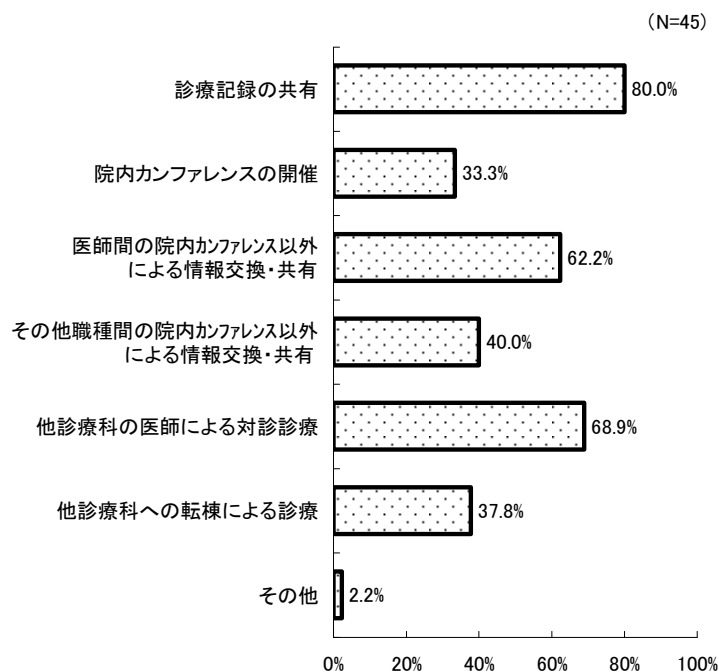
図表 5-7 院内の他診療科との連携の有無



#### ④ 院内の他診療科との連携方法

回答のあった病棟の院内の他診療科との連携方法は、「診療記録の共有」が 80.0%と最も多く、次いで「他診療科の医師による対診診療」が 62.2%と多い。

図表 5-8 院内の他診療科との連携方法

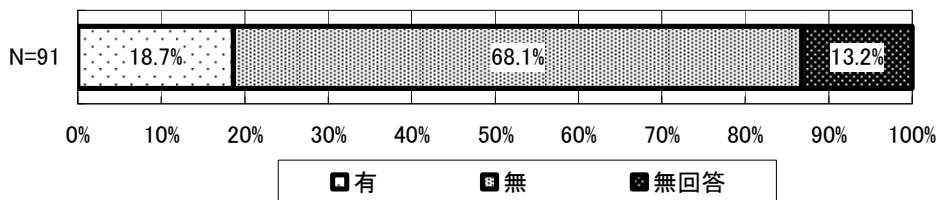


注) 院内の他診療科との連携のある 45 施設を対象に集計。

#### ⑤ 院内パスの活用

回答のあった病棟の院内パスの活用は、「無」が 68.1%と多く、「有」が 18.7%である。

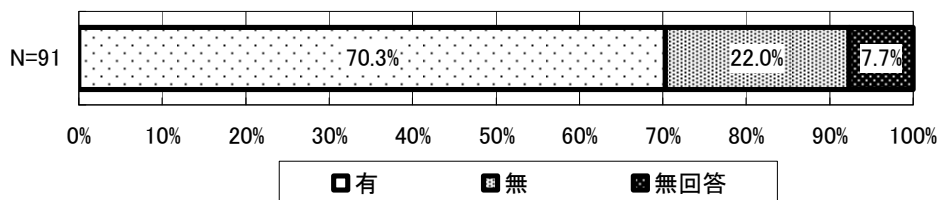
図表 5-9 院内パスの活用



### ⑥ 院外の他診療科との連携の有無

回答のあった病棟の院外の手診療科との連携の有無は、「有」が 70.3%と多く、「無」が 22.0%である。

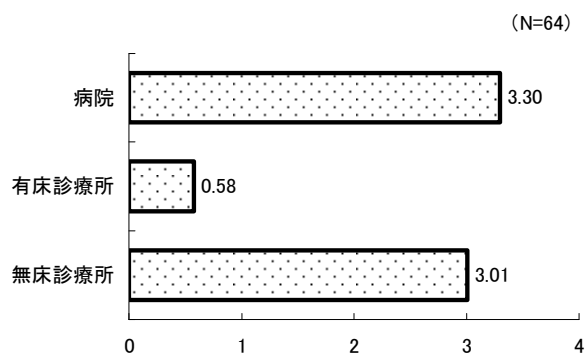
図表 5-10 院外の手診療科との連携の有無



### ⑦ 連携医療機関数

回答のあった病棟の連携医療機関数は、「病院」が 3.30 施設と最も多く、次いで「無床診療所」が 3.01 施設である。

図表 5-11 連携医療機関数

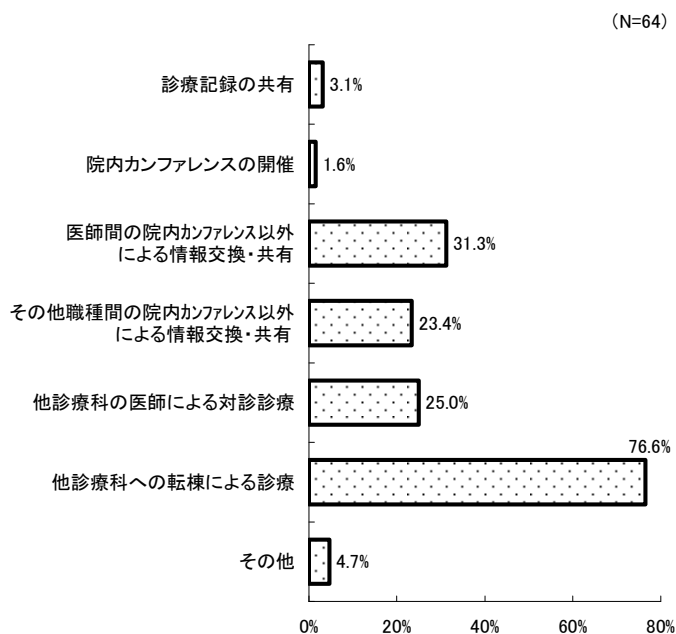


注) 院外の手診療科との連携のある 64 施設を対象に集計。

### ⑧ 院外のお診療科との連携方法

回答のあった病棟の連携方法は、「他診療科への転棟による診療」が76.6%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が31.3%と多い。

図表 5-12 連携方法

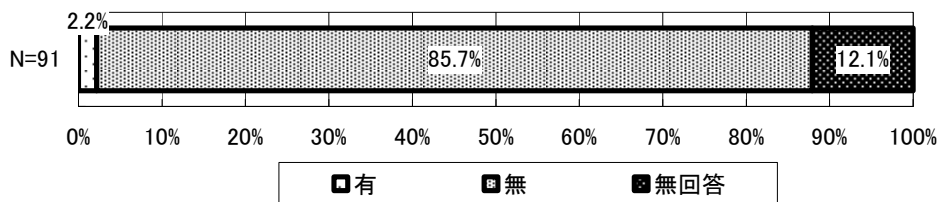


注) 院外のお診療科との連携のある64施設を対象に集計。

### ⑨ 地域連携パスの活用

回答のあった病棟の地域連携パスの活用は、「無」が85.7%と多く、「有」は2.2%である。

図表 5-13 地域連携パスの活用

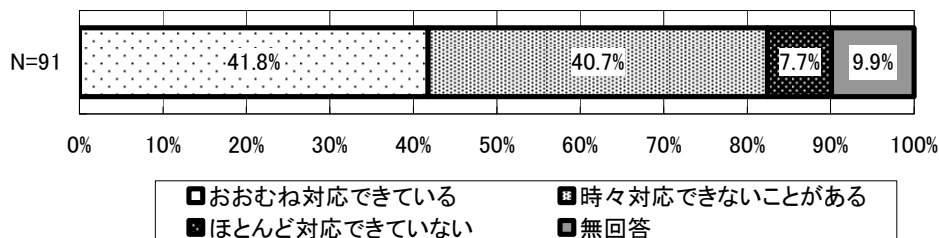




### ⑩ 身体合併症患者への対応状況

回答のあった病棟の身体合併症患者への対応状況は、「おおむね対応できている」が41.8%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が40.7%と多い。

図表 5-14 身体合併症患者への対応状況



### (3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

#### ① 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、「非定型抗精神病薬による治療患者数」が平成21年6月で20.98人、平成22年6月で21.43人、平成23年6月で20.82人であり、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」が76.5%から79.4%へと増加しており、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」が23.5%から20.6%へと減少している。

図表 5-15 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

<平均値>	平成21年6月 (N=49)		平成22年6月 (N=40)		平成23年6月 (N=50)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
非定型抗精神病薬による治療患者数	20.98人	100.0%	21.43人	100.0%	20.82人	100.0%
非定型抗精神病薬加算1の算定患者数			16.40人	76.5%	16.54人	79.4%
【再掲】抗精神病薬1種類			10.20人	47.6%	10.04人	48.2%
【再掲】抗精神病薬2種類			6.20人	28.9%	6.50人	31.2%
非定型抗精神病薬加算2の算定患者数			5.03人	23.5%	4.28人	20.6%
【再掲】抗精神病薬3種類			3.58人	16.7%	3.20人	15.4%
【再掲】抗精神病薬4種類			0.85人	4.0%	0.90人	4.3%
【再掲】抗精神病薬5種類以上			0.60人	2.8%	0.18人	0.9%

#### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

##### ① 算定病棟に新規入棟した患者

算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月で21.43人、平成23年6月で21.84人と若干増加しており、入棟前の居場所別では最も多い「自宅」では80.8%から81.1%へと若干増加している。

図表 5-16 算定病棟に新規入棟した患者

<平均値>	平成21年6月 (N=35)		平成23年6月 (N=45)	
	患者数	割合	患者数	割合
新規入棟患者数	21.43人	100.0%	21.84人	100.0%
自宅	17.31人	80.8%	17.71人	81.1%
自院の他の病棟等	1.80人	8.4%	1.60人	7.3%
【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	0.86人	4.0%	0.60人	2.7%
【再掲】精神科救急入院料	0.20人	0.9%	0.40人	1.8%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科療養病棟入院料	0.54人	2.5%	0.29人	1.3%
【再掲】その他の病棟	0.20人	0.9%	0.09人	0.4%
他の病院	1.20人	5.6%	1.38人	6.3%
有床診療所	0.03人	0.1%	0.11人	0.5%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.34人	1.6%	0.38人	1.7%
老人保健施設	0.11人	0.5%	0.13人	0.6%
①～⑥以外の施設	0.63人	2.9%	0.53人	2.4%

##### ② 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年6月で24.66人、平成23年6月で22.16人と若干減少しており、転棟・転院・退院先別では最も多い「自宅」では63.1%から63.9%へと若干増加している。

図表 5-17 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

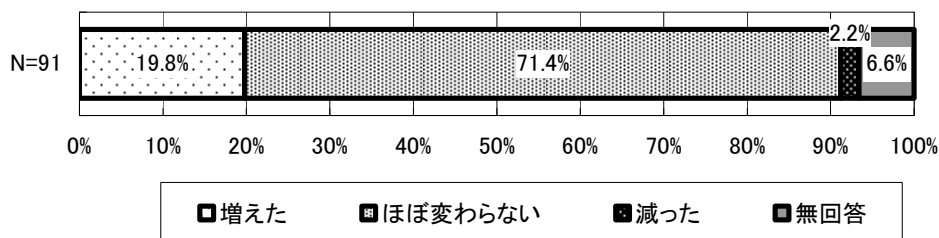
<平均値>	平成21年6月				平成23年6月			
	全患者数 (N=47)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=34)		全患者数 (N=57)		うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数 (N=38)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟から退棟・転院・退院した患者数	24.66人	100.0%	0.03人	100.0%	22.16人	100.0%	0.08人	100.0%
自宅	15.55人	63.1%	0.03人	100.0%	14.16人	63.9%	0.03人	33.3%
自院の他の病棟等	5.83人	23.6%	0.00人	0.0%	4.88人	22.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	1.43人	5.8%	0.00人	0.0%	1.75人	7.9%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科救急入院料	0.04人	0.2%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科療養病棟入院料	3.09人	12.5%	0.00人	0.0%	2.26人	10.2%	0.00人	0.0%
【再掲】その他の病棟	1.28人	5.2%	0.00人	0.0%	0.86人	3.9%	0.00人	0.0%
他の病院	1.81人	7.3%	0.00人	0.0%	1.28人	5.8%	0.05人	66.7%
有床診療所	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%	0.02人	0.1%	0.00人	0.0%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.53人	2.2%	0.00人	0.0%	0.42人	1.9%	0.00人	0.0%
老人保健施設	0.30人	1.2%	0.00人	0.0%	0.56人	2.5%	0.00人	0.0%
①～⑥以外の施設	0.55人	2.2%	0.00人	0.0%	0.63人	2.9%	0.00人	0.0%
死亡	0.09人	0.3%	0.00人	0.0%	0.21人	1.0%	0.00人	0.0%

## (5) 1年前と比較した重症な患者の状況について

### ① 精神症状の重症な患者の増減

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が71.4%と最も多く、次いで「増えた」が19.8%と多い。

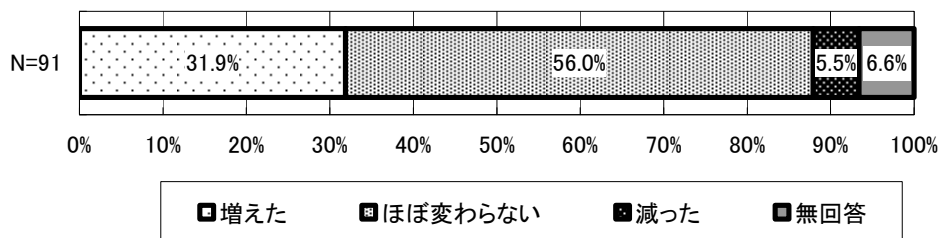
図表 5-18 精神症状の重症な患者の増減



### ② 身体合併症の重症な患者の増減

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が56.0%と最も多く、次いで「増えた」が31.9%と多い。

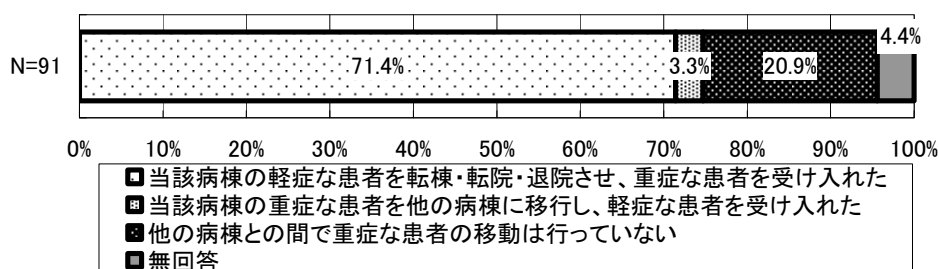
図表 5-19 身体合併症の重症な患者の増減



### ③ 精神症状の重症な患者の移動

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が71.4%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が20.9%と多い。

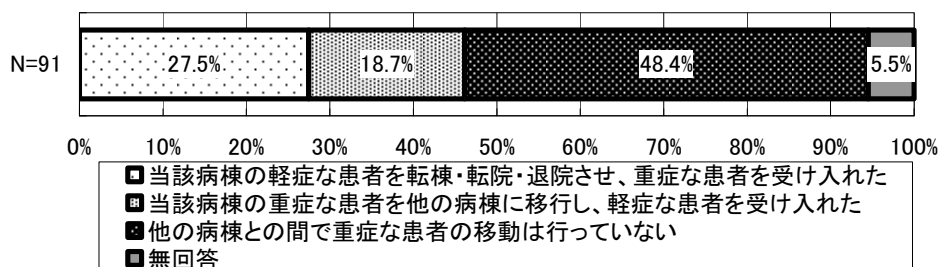
図表 5-20 精神症状の重症な患者の移動



#### ④ 身体合併症の重症な患者の移動

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の移動は、「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が48.4%と最も多く、次いで「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が27.5%と多い。

図表 5-21 身体合併症の重症な患者の移動



## 6) 病棟調査⑤ (精神療養病棟入院料)

### (1) 病棟全体の状況

#### ① 従事している職員数

従事している職員数をみると、平成21年6月から平成23年6月にかけて全職種において若干増加しており、最も多い「看護職員(看護師・准看護師)」においても26.97人から26.99人へと若干増加している。

図表 6-1 従事している職員数

<平均値>	平成21年6月	平成23年6月
医師 (N=185)	4.55 人	4.58 人
看護職員 (看護師・准看護師) (N=190)	26.97 人	26.99 人
看護補助者 (N=189)	16.91 人	17.28 人
作業療法士 (N=157)	1.92 人	2.17 人
臨床心理技術者 (N=111)	0.40 人	0.44 人
ソーシャルワーカー (N=141)	1.76 人	1.86 人
【再掲】精神保健福祉士 (N=143)	1.71 人	1.79 人
医師事務作業補助者 (N=105)	0.04 人	0.07 人
その他 (N=106)	1.66 人	1.70 人

#### ② 算定病棟の入院患者数、主たる疾患別

算定病棟の入院患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」は、平成21年6月で116.95人、平成23年6月で115.60人と減少しており、最も多い「統合失調症、統合失調症型及び妄想性障害」の割合も73.8%から71.7%へと若干減少している。

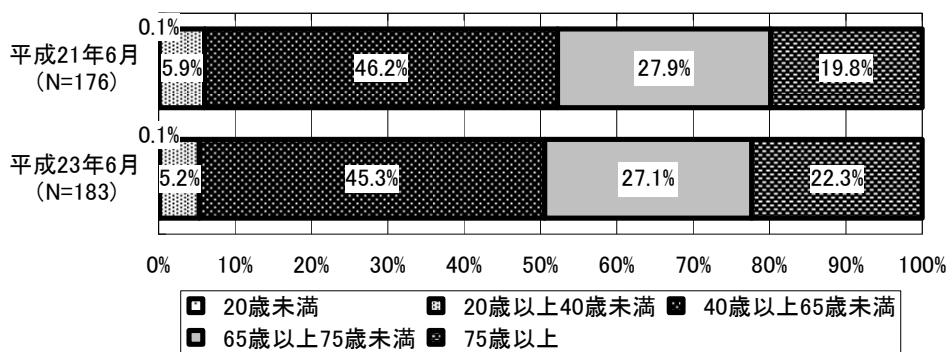
図表 6-2 算定病棟の入院患者数、主たる疾患別

<平均値>	平成21年6月(N=176)		平成23年6月(N=183)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟の入院患者数	116.95 人	100.0%	115.60 人	100.0%
症状性を含む器質性精神障害	11.78 人	10.1%	14.08 人	12.2%
精神作用物質による精神及び行動の障害	3.84 人	3.3%	3.17 人	2.7%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	86.34 人	73.8%	82.83 人	71.7%
気分〔感情〕障害	7.57 人	6.5%	8.00 人	6.9%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.63 人	1.4%	1.64 人	1.4%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.19 人	0.2%	0.18 人	0.2%
成人の人格及び行動の障害	0.40 人	0.3%	0.37 人	0.3%
知的障害(精神遅滞)	2.65 人	2.3%	2.67 人	2.3%
心理的発達の障害	0.14 人	0.1%	0.10 人	0.1%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.09 人	0.1%	0.07 人	0.1%
詳細不明の精神障害	0.36 人	0.3%	0.43 人	0.4%
その他	1.95 人	1.7%	2.05 人	1.8%

### ③ 年齢階級別

回答のあった病棟の年齢階級は、「平成 21 年 6 月」および「平成 23 年 6 月」ともに「40 歳以上 65 歳未満」が 46.2%、45.3%と最も多く、次いで「65 歳以上 75 歳未満」が 27.9%、27.1%と多い。

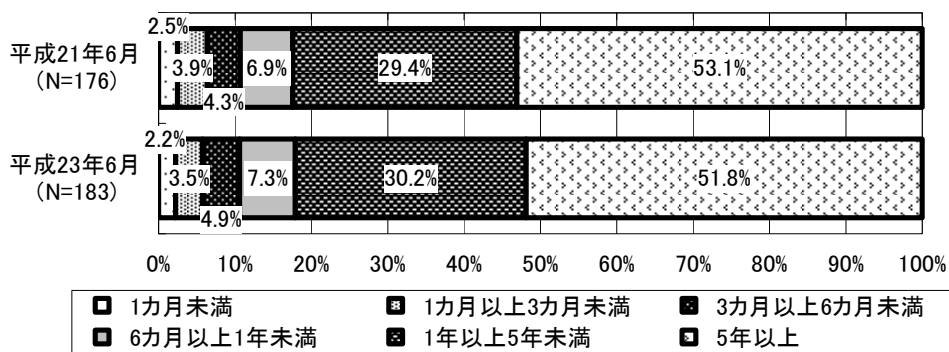
図表 6-3 年齢階級別



### ④ 在院期間別

回答のあった病棟の在院期間は、「平成 21 年 6 月」および「平成 23 年 6 月」ともに「5 年以上」が 53.1%、51.8%と最も多く、次いで「1 年以上 5 年未満」が 29.4%、30.2%と多い。

図表 6-4 在院期間別



## (2) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

### ① 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、「非定型抗精神病薬による治療患者数」は、平成21年6月では62.82人、平成22年6月では63.90人、平成23年6月では66.94人と若干増加しており、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」についても平成22年6月で71.4%、平成23年6月で73.0%と若干増加しているが、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」は28.6%から27.0%へと若干減少している。

図表 6-5 非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数

<平均値>	平成21年6月(N=125)		平成22年6月(N=115)		平成23年6月(N=122)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
非定型抗精神病薬による治療患者数	62.82人	100.0%	63.90人	100.0%	66.94人	100.0%
非定型抗精神病薬加算1の算定患者数			45.64人	71.4%	48.89人	73.0%
【再掲】抗精神病薬1種類			23.79人	37.2%	25.78人	38.5%
【再掲】抗精神病薬2種類			21.85人	34.2%	23.11人	34.5%
非定型抗精神病薬加算2の算定患者数			18.26人	28.6%	18.06人	27.0%
【再掲】抗精神病薬3種類			11.33人	17.7%	11.25人	16.8%
【再掲】抗精神病薬4種類			4.77人	7.5%	4.68人	7.0%
【再掲】抗精神病薬5種類以上			2.16人	3.4%	2.13人	3.2%

## (3) GAF尺度のスコアの状況について

### ① 入院していた全ての患者の状態

入院していた全ての患者の状態をみると、平成21年6月30日時点の入院患者は92.20人、平成22年6月30日時点の入院患者は106.06人、平成23年6月30日時点の入院患者は117.78人であり、GAF尺度のスコア別では、最も多い「31～40点」において53.5%から39.4%、38.3%へと若干減少傾向にある。次いで「21～30点」の割合が多いが、こちらは若干増加傾向にある。

図表 6-6 入院していた全ての患者の状態

<平均値>	平成23年6月30日 時点の入院患者 (N=157)		平成22年6月30日 時点の入院患者 (N=49)		平成21年6月30日 時点の入院患者 (N=15)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟で該当する患者数	117.78人	100.0%	106.06人	100.0%	92.20人	100.0%
91～100点	0.73人	0.6%	0.02人	0.0%	0.00人	0.0%
81～90点	0.85人	0.7%	0.02人	0.0%	0.00人	0.0%
71～80点	0.55人	0.5%	0.02人	0.0%	0.07人	0.1%
61～70点	0.65人	0.6%	0.20人	0.2%	0.33人	0.4%
51～60点	1.07人	0.9%	0.98人	0.9%	1.13人	1.2%
41～50点	3.08人	2.6%	4.10人	3.9%	3.93人	4.3%
31～40点	45.13人	38.3%	41.82人	39.4%	49.33人	53.5%
21～30点	41.88人	35.6%	37.18人	35.1%	20.60人	22.3%
11～20点	17.73人	15.1%	15.43人	14.5%	10.27人	11.1%
1～10点	6.09人	5.2%	6.27人	5.9%	6.53人	7.1%
0点	0.01人	0.0%	0.02人	0.0%	0.00人	0.0%

②新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態におけるGAF尺度のスコア別患者数

新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態におけるGAF尺度のスコア別患者数をみると、「当該病棟で該当する患者数」においては、平成23年4～6月に新規入棟した患者」が16.12人、「平成23年4～6月に転棟・転院・退院した患者」が18.95人であり、GAF尺度のスコア別にみると、最も多い「31～40点」においては44.4%から44.6%へと若干増加している。

図表 6-7 新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態におけるGAF尺度のスコア別患者数

<平均値>	平成23年4～6月に 新規入棟した患者(N=155)		平成23年4～6月に転棟・ 転院・退院した患者(N=159)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟で該当する患者数	16.12人	100.0%	18.95人	100.0%
91～100点	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
81～90点	0.01人	0.0%	0.02人	0.1%
71～80点	0.05人	0.3%	0.11人	0.6%
61～70点	0.12人	0.7%	0.39人	2.1%
51～60点	0.28人	1.7%	0.47人	2.5%
41～50点	0.59人	3.7%	1.03人	5.4%
31～40点	7.16人	44.4%	8.45人	44.6%
21～30点	5.20人	32.3%	5.12人	27.0%
11～20点	1.95人	12.1%	2.23人	11.7%
1～10点	0.77人	4.8%	1.09人	5.8%
0点	0.00人	0.0%	0.04人	0.2%



#### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

##### ① 算定病棟に新規入棟した患者

算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月では19.51人、平成23年6月では20.04人と若干増加しており、入棟前の居場所別にみると最も多い「自院の他の病棟等」は、58.8%から55.4%へと若干減少している。

図表 6-8 算定病棟に新規入棟した患者

<平均値>	平成21年6月 (N=111)		平成23年6月 (N=117)	
	患者数	割合	患者数	割合
新規入棟患者数	19.51人	100.0%	20.04人	100.0%
自宅	5.29人	27.1%	5.32人	26.5%
自院の他の病棟等	11.48人	58.8%	11.09人	55.4%
【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	7.28人	37.3%	7.00人	34.9%
【再掲】精神科救急入院料	0.41人	2.1%	0.63人	3.2%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.05人	0.3%	0.09人	0.4%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	2.36人	12.1%	2.25人	11.2%
【再掲】その他の病棟	1.37人	7.0%	1.13人	5.6%
他の病院	2.07人	10.6%	2.65人	13.2%
有床診療所	0.04人	0.2%	0.06人	0.3%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.29人	1.5%	0.34人	1.7%
老人保健施設	0.14人	0.7%	0.25人	1.2%
①～⑥以外の施設	0.22人	1.1%	0.33人	1.7%

##### ② 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年4～6月では17.52人、平成23年4～6月では17.65人と若干増加しており、転棟・転院・退院先別にみると最も多い「自宅」においても、36.7%から37.6%へと若干増加している。

図表 6-9 算定病棟から転棟・転院・退院した患者

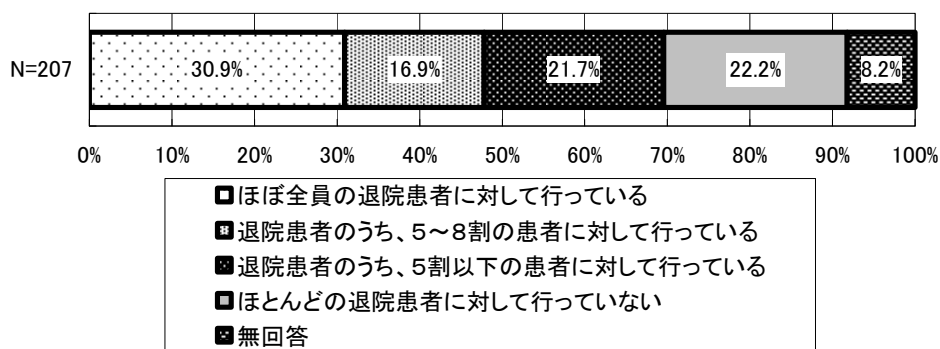
<平均値>	平成21年4～6月 (N=114)		平成23年4～6月 (N=116)	
	患者数	割合	患者数	割合
当該病棟から退棟・転院・退院した患者数	17.52人	100.0%	17.65人	100.0%
自宅	6.43人	36.7%	6.64人	37.6%
自院の他の病棟等	5.89人	33.6%	5.27人	29.8%
【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	3.71人	21.2%	3.50人	19.8%
【再掲】精神科救急入院料	0.03人	0.2%	0.09人	0.5%
【再掲】精神科救急・合併症入院料	0.00人	0.0%	0.00人	0.0%
【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	0.66人	3.8%	0.45人	2.5%
【再掲】その他の病棟	1.49人	8.5%	1.23人	7.0%
他の病院	2.48人	14.2%	2.57人	14.6%
有床診療所	0.02人	0.1%	0.01人	0.0%
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	0.94人	5.4%	1.05人	6.0%
老人保健施設	0.65人	3.7%	0.64人	3.6%
①～⑥以外の施設	0.47人	2.7%	0.62人	3.5%
死亡	0.64人	3.7%	0.85人	4.8%

## (5) 退院支援の実施状況について

### ① 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数は、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が30.9%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が22.2%と多い。

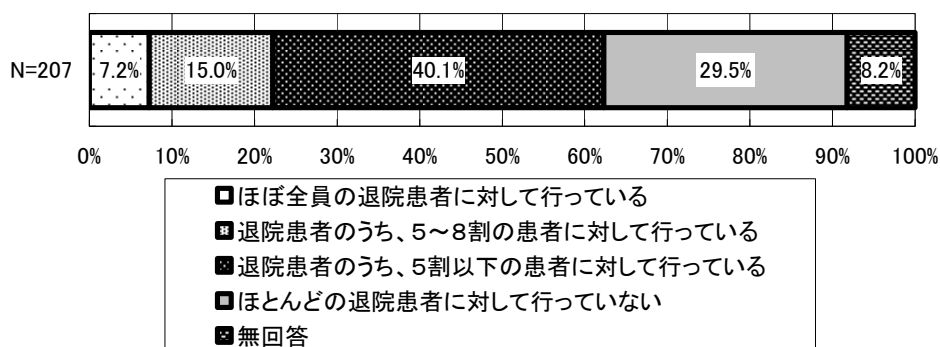
図表 6-10 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数



### ② 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数

回答のあった病棟の転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が40.1%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が29.5%と多い。

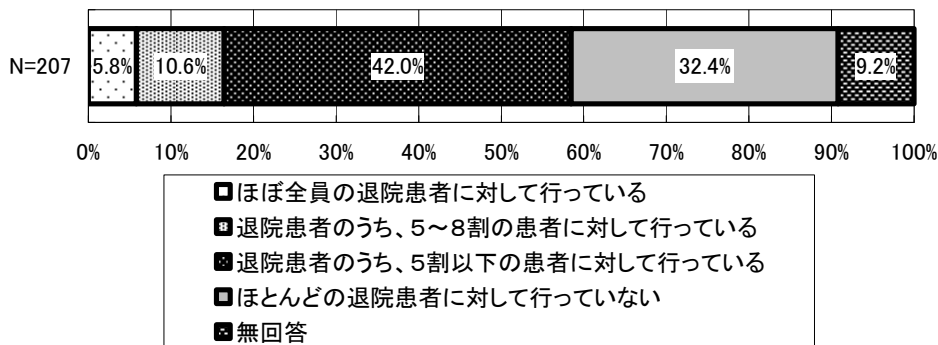
図表 6-11 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数



### ③ 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数

回答のあった病棟の転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が42.0%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が32.4%と多い。

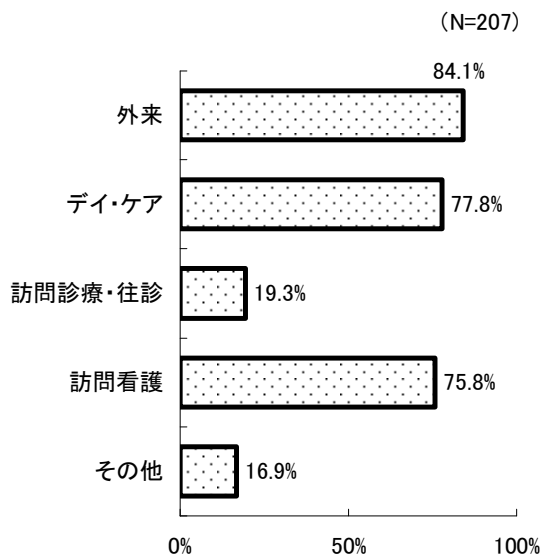
図表 6-12 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数



### ④ 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

回答のあった病棟の精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が84.1%と最も多く、次いで「デイ・ケア」が77.8%と多い。

図表 6-13 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス

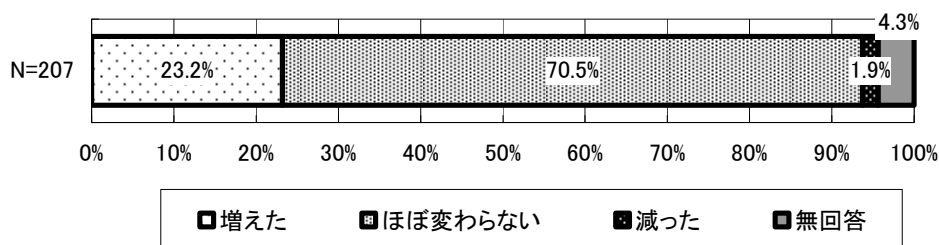


## (6) 1年前と比較した重症な患者の状況について

### ① 精神症状の重症な患者の増減

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が70.5%と最も多く、次いで「増えた」が23.2%と多い。

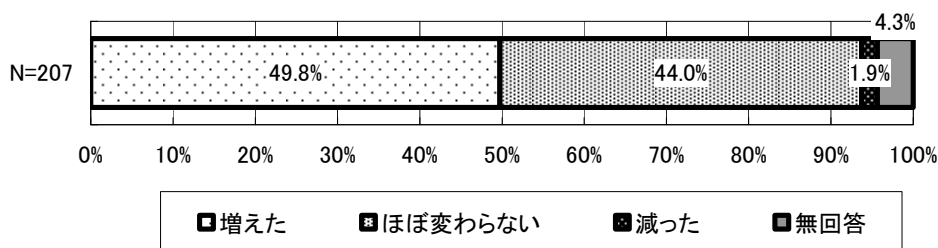
図表 6-14 精神症状の重症な患者の増減



### ② 身体合併症の重症な患者の増減

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の増減は、「増えた」が49.8%と最も多く、次いで「ほぼ変わらない」が44.0%と多い。

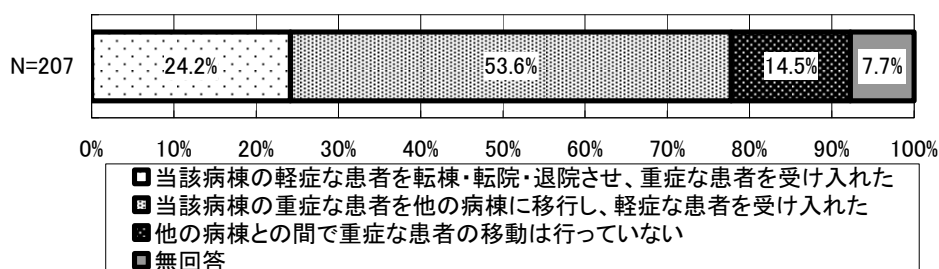
図表 6-15 身体合併症の重症な患者の増減



### ③ 精神症状の重症な患者の移動

回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた」が53.6%と最も多く、次いで「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が24.2%と多い。

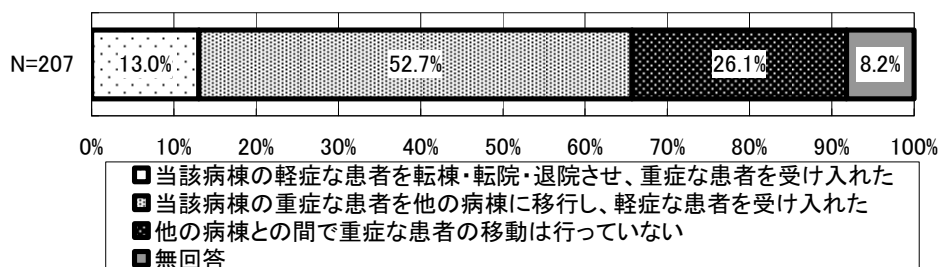
図表 6-16 精神症状の重症な患者の移動



#### ④ 身体合併症の重症な患者の移動

回答のあった病棟の身体合併症の重症な患者の移動は、「当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた」が52.7%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が26.1%と多い。

図表 6-17 身体合併症の重症な患者の移動



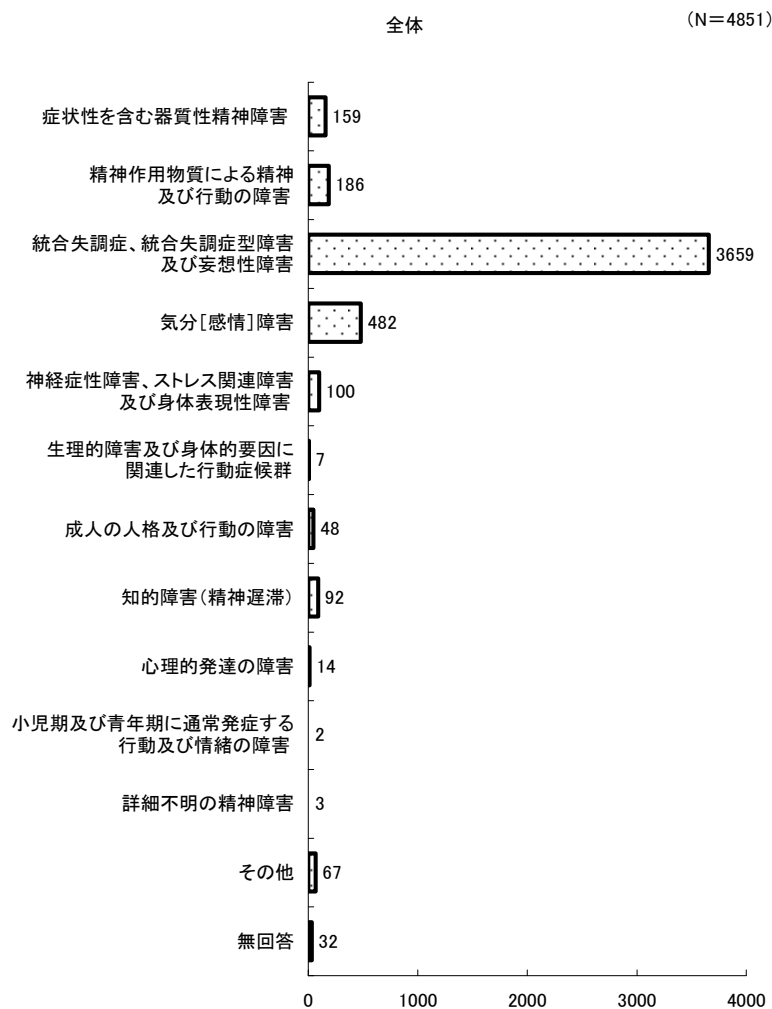
## 7) 精神科訪問看護調査

### (1) 院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションの状況

#### ① 主たる疾患の状況

回答のあった施設における主たる疾患の状況は、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が3,659人と最も多く、次いで「気分[感情]障害」が482人と多い。

図表 7-1 主たる疾患の状況



注) 精神科訪問看護票は 258 施設から回収した 4,851 患者分のデータを対象とする。

## ② 主たる疾患別の精神科訪問看護・指導料

回答のあった施設における主たる疾患別の精神科訪問看護・指導料は、「精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）」および「精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）」ともに「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が3,534人、792人と最も多く、次いで「気分[感情]障害」が471人、75人と多い。

また、「精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）」における訪問先として、「居宅」と「精神障害者施設等」の別にみると、どちらも「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も多く、3,229人、293人であり、次いで「気分[感情]障害」が448人、21人と多い。

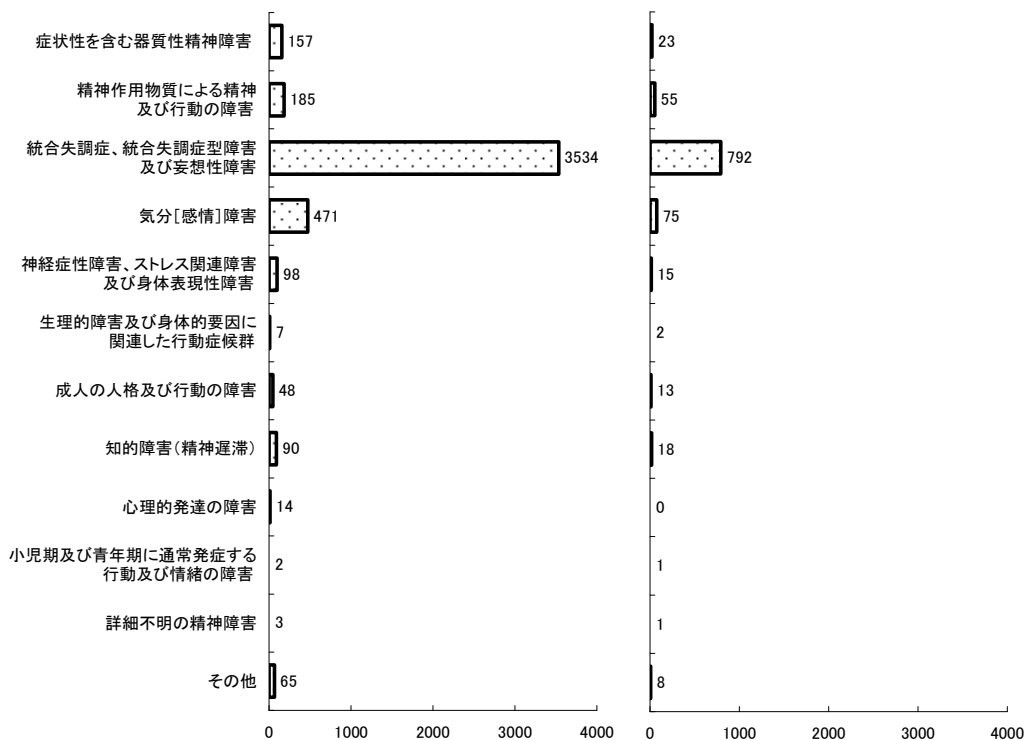
また、「精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）」を「同一精神障害者施設における他の訪問患者有」と「同一精神障害者施設における他の訪問患者無」の別にみると、どちらも「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も多く、226人、561人であり、次いで「気分[感情]障害」が16人、59人と多い。

図表 7-2 主たる疾患別の精神科訪問看護・指導料

(N=4851)

精神科訪問看護・指導料 (I)

精神科訪問看護・指導料 (II)



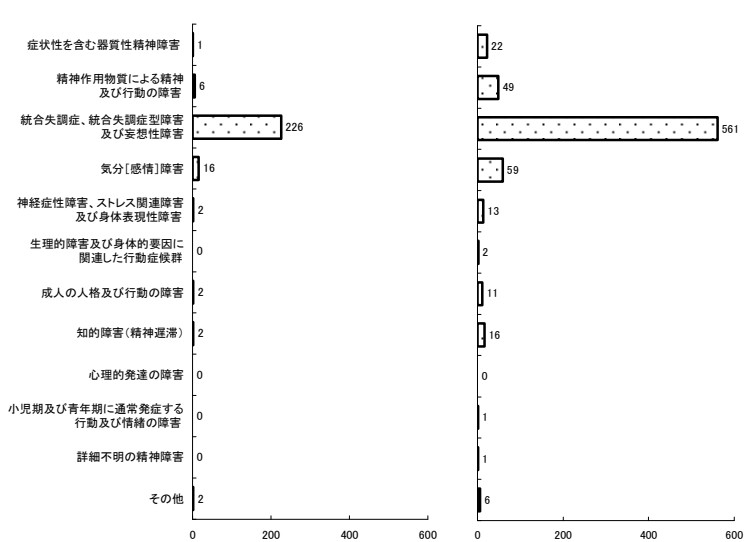
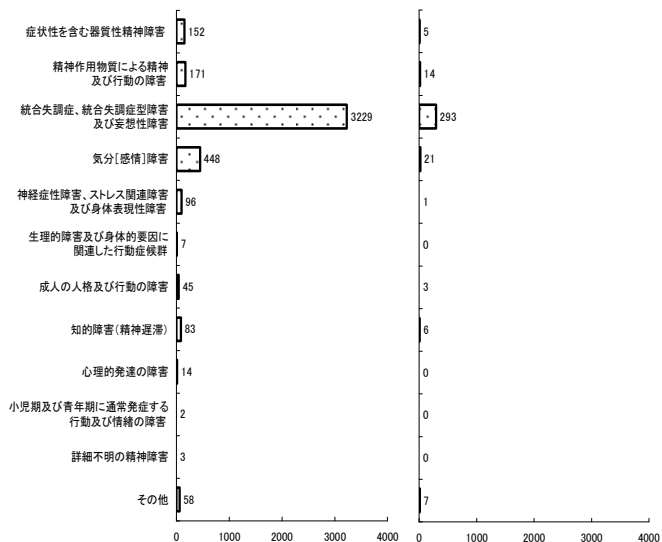
(N=4851)

居宅

精神障害者施設等

同一精神障害者施設における他の訪問患者有

同一精神障害者施設における他の訪問患者無 (N=4851)





### ③ 主たる疾患別の訪問回数, 1回当たり平均訪問時間

主たる疾患別の訪問回数をみると、「気分[感情]障害」が2.71回と最も少なく、「心理的発達の障害」が4.37回と最も多い。1回当たり平均訪問時間をみると「知的障害（精神遅滞）」が41.63分と最も短く、「心理的発達の障害」が51.76分と最も長い。

図表 7-3 主たる疾患別の訪問回数, 1回当たり平均訪問時間

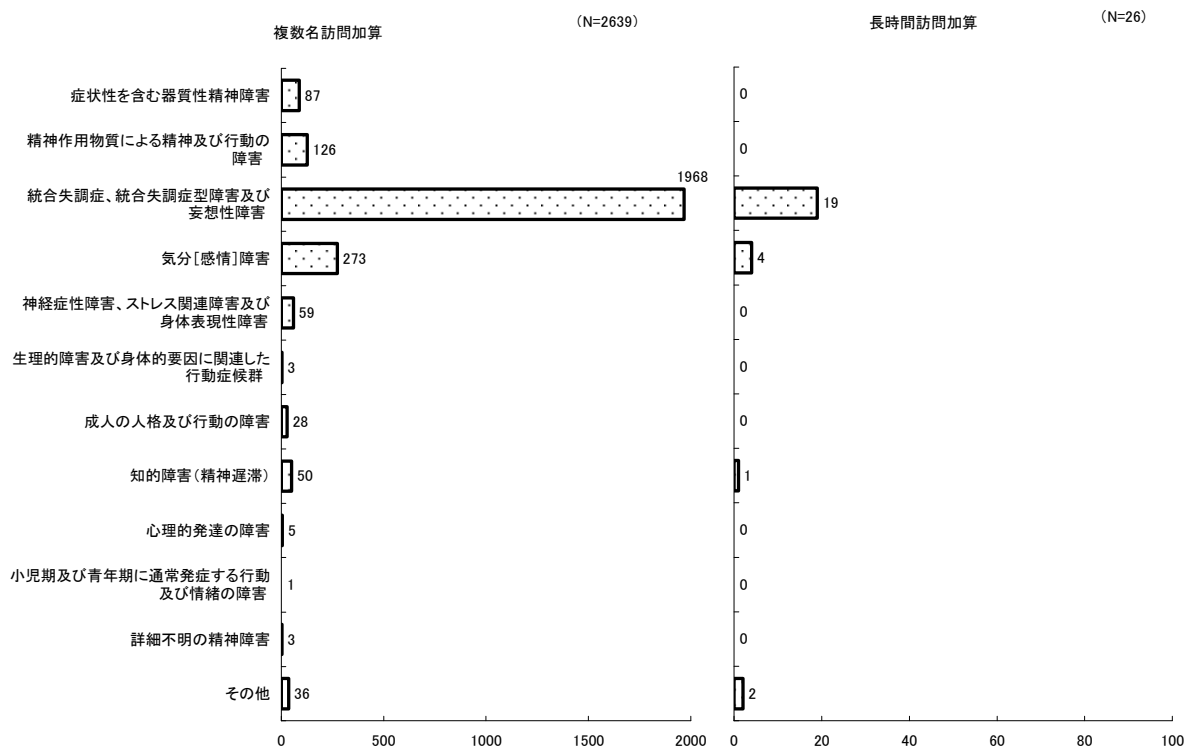
	6月の訪問回数
症状性を含む器質性精神障害 (N=159)	2.88回
精神作用物質による精神及び行動の障害 (N=186)	3.20回
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (N=3,657)	2.77回
気分 [感情] 障害 (N=482)	2.71回
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (N=100)	3.00回
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (N=7)	2.83回
成人の人格及び行動の障害 (N=47)	3.38回
知的障害（精神遅滞）(N=92)	2.95回
心理的発達の障害 (N=14)	4.37回
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (N=2)	-
詳細不明の精神障害 (N=3)	-
その他 (N=66)	2.93回

	1回当たり平均		
	訪問時間	最小値	最大値
症状性を含む器質性精神障害 (N=158)	41.75分	12分	240分
精神作用物質による精神及び行動の障害 (N=186)	43.91分	12分	120分
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (N=3,647)	42.98分	0分	600分
気分 [感情] 障害 (N=478)	46.06分	0分	360分
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (N=98)	47.65分	6分	102分
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (N=7)	48.23分	19.8分	60分
成人の人格及び行動の障害 (N=48)	49.61分	18分	102分
知的障害（精神遅滞）(N=90)	41.63分	18分	600分
心理的発達の障害 (N=14)	51.76分	24分	90分
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (N=2)	-	60分	90分
詳細不明の精神障害 (N=3)	-	36分	60分
その他 (N=67)	42.02分	18分	90分

#### ④ 主たる疾患別の加算状況

回答のあった施設における主たる疾患別の加算状況は、「複数名訪問加算」および「長時間訪問加算」ともに「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が1968人、19人と最も多く、次いで「気分[感情]障害」が273人、4人と多い。

図表 7-4 主たる疾患別の加算状況



## ⑤ 主たる疾患別のケア内容

回答のあった施設における主たる疾患別のケア内容は、「症状性を含む器質性精神障害」においては、「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」及び「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が92.5%と最も多い。

また、「精神作用物質による精神及び行動の障害」においては、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が87.1%と最も多く、次いで「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」が73.1%と多い。

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」においても、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が95.1%と最も多く、次いで「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」が88.5%と多い。

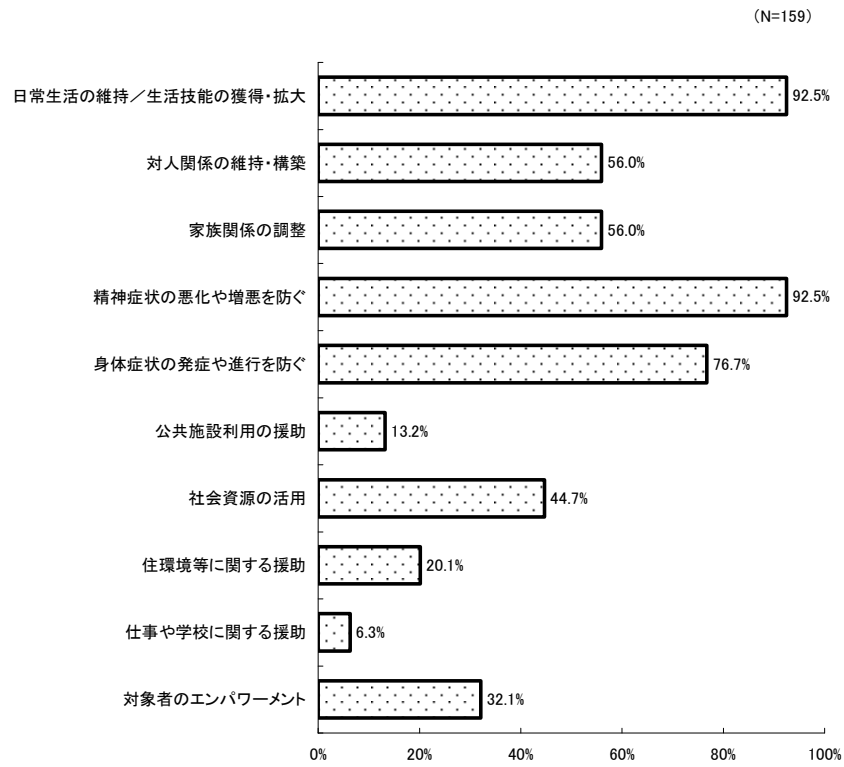
「気分[感情]障害」においても、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が93.6%と最も多く、次いで「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」が82.0%と多い。

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」においては、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が92.0%と最も多く、次いで「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」が88.0%と多い。

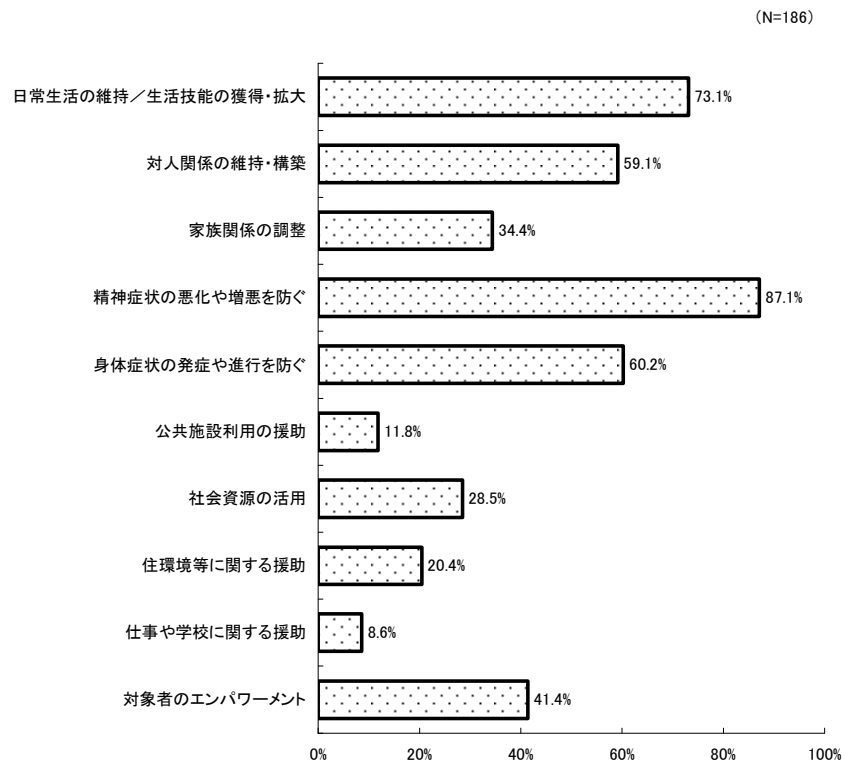
「成人の人格及び行動の障害」、「知的障害（精神遅滞）」、「心理的発達障害」、「その他」においても同様に、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」、「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」が多い。

図表 7-5 主たる疾患別のケア内容

＜症状性を含む器質性精神障害＞

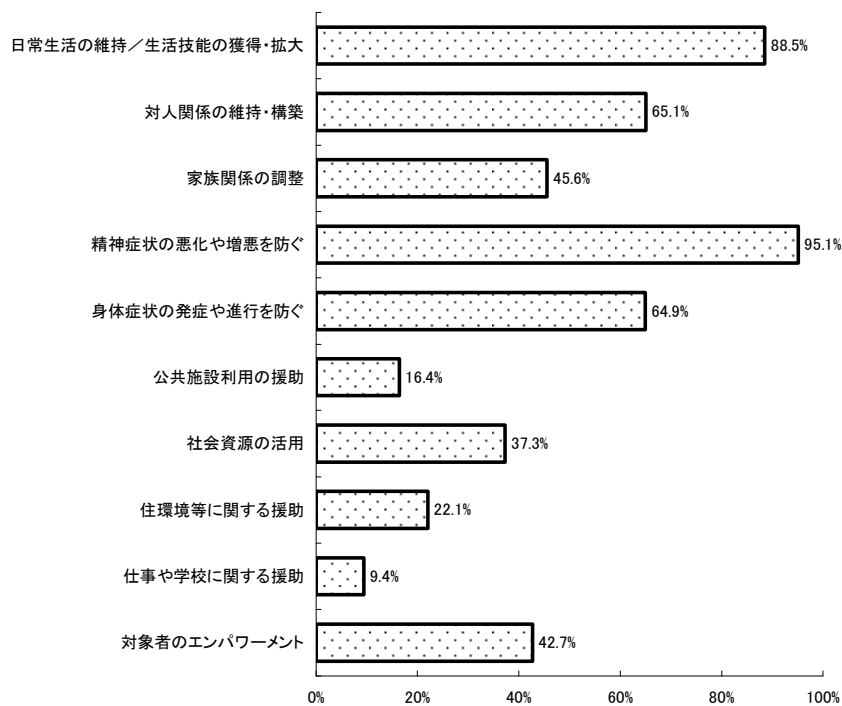


＜精神作用物質による精神及び行動の障害＞



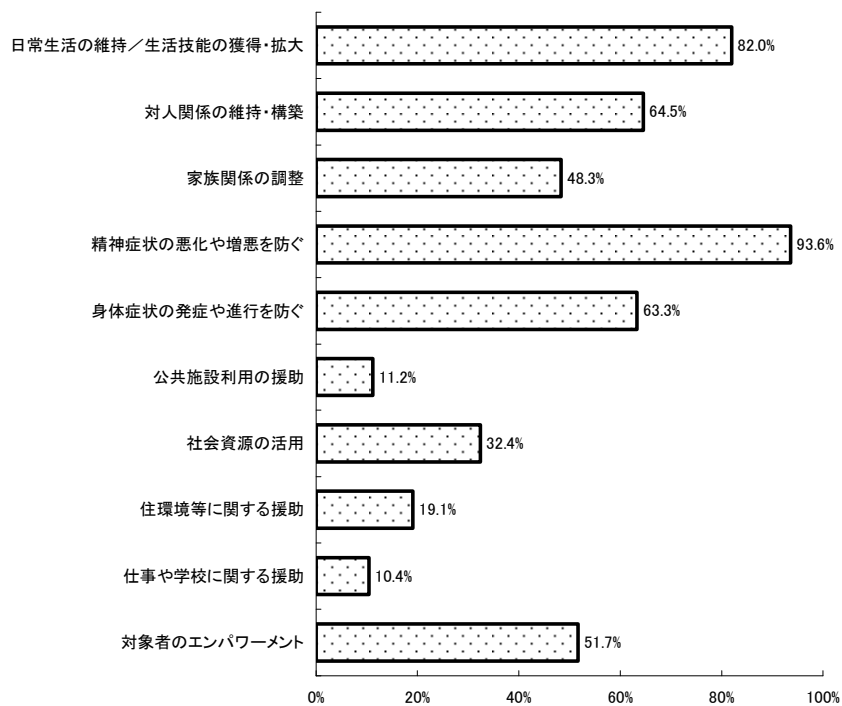
＜統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害＞

(N=3659)



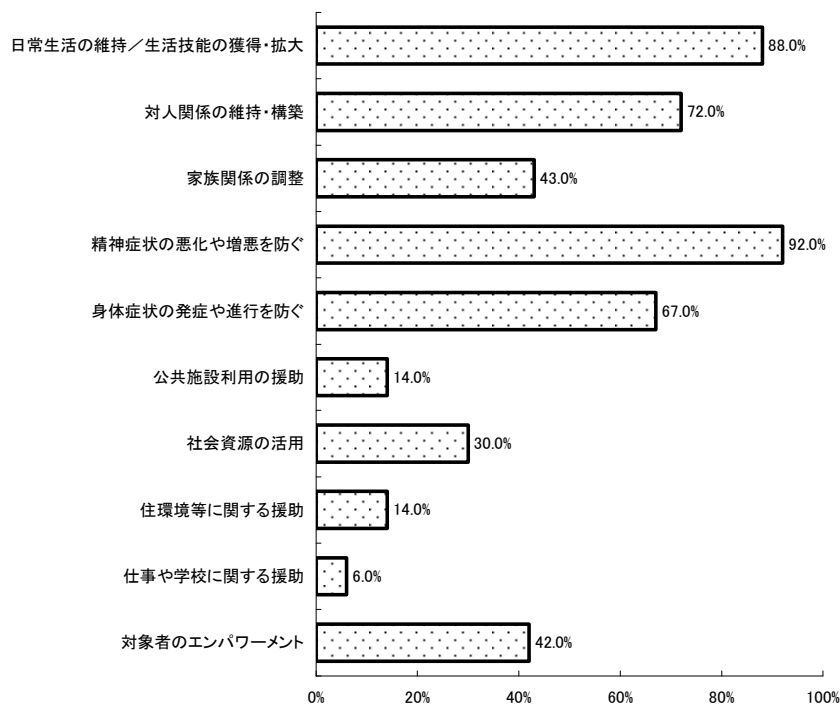
＜気分[感情]障害＞

(N=482)



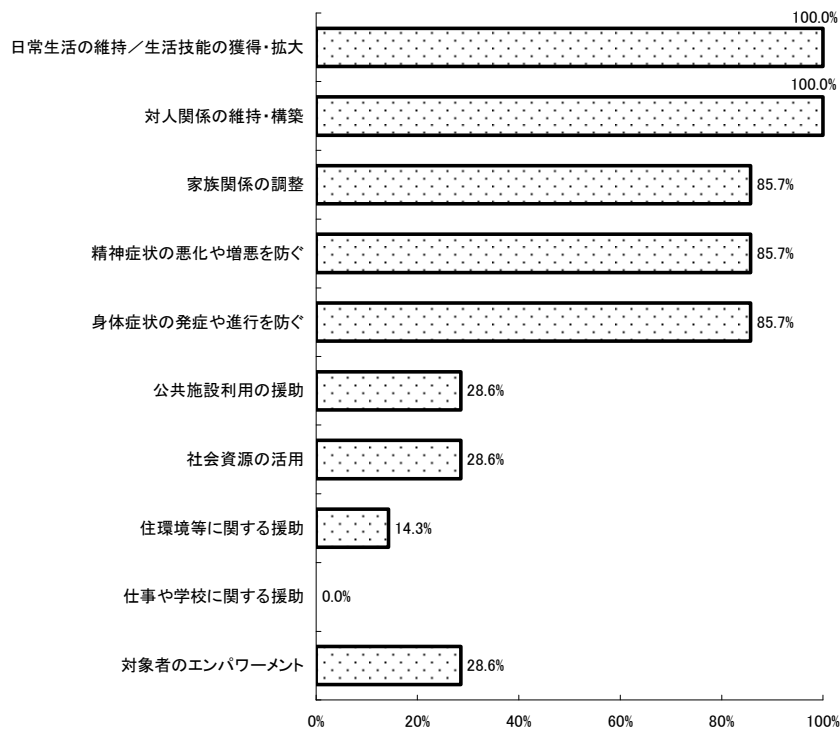
＜神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害＞

(N=100)

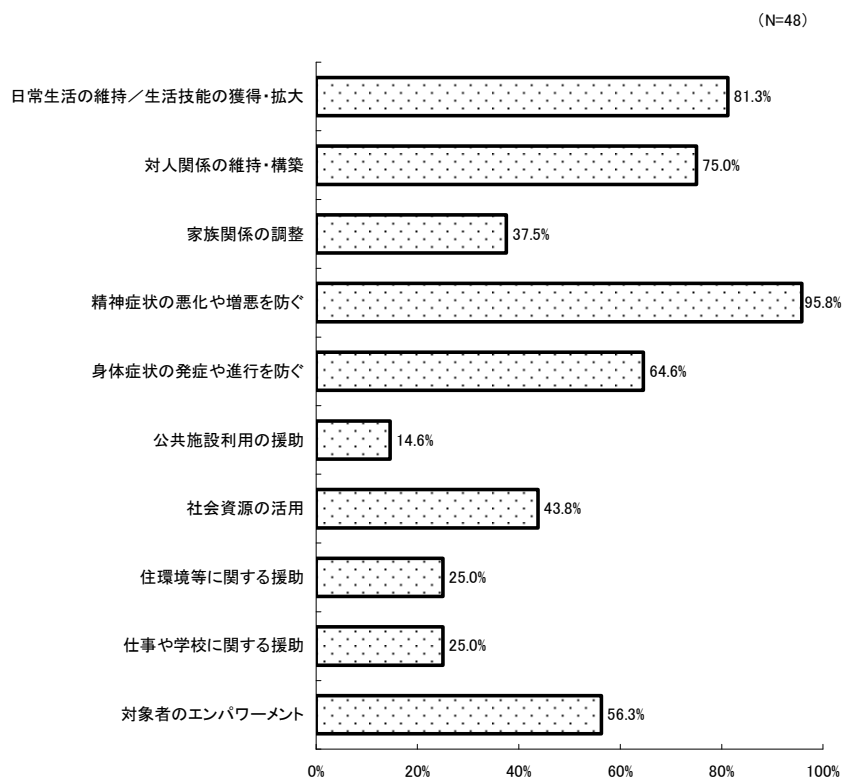


＜生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群＞

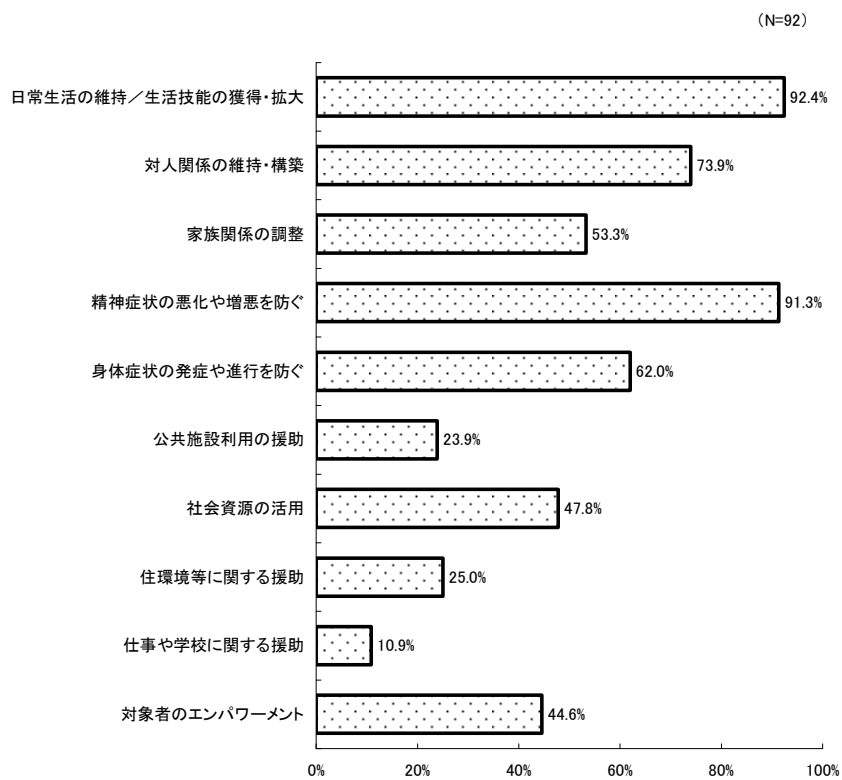
(N=7)



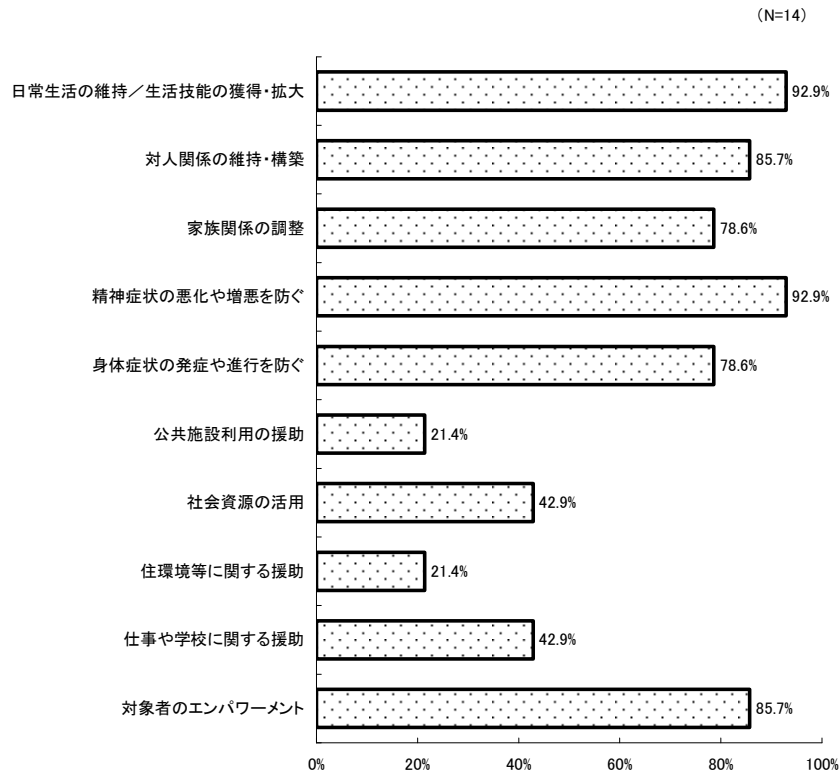
<成人の人格及び行動の障害>



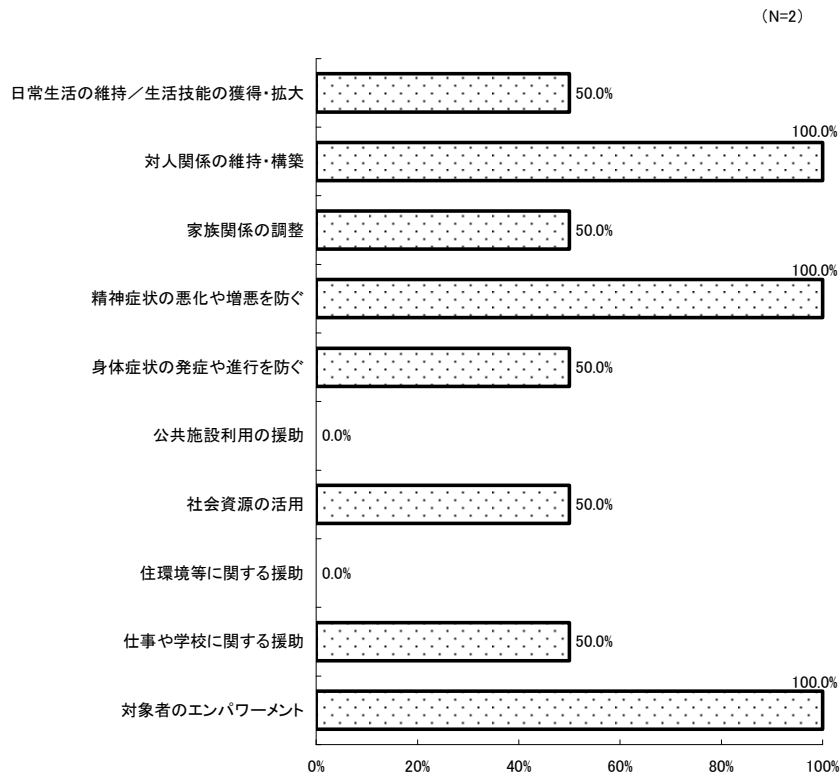
<知的障害（精神遅滞）>



<心理的発達障害>

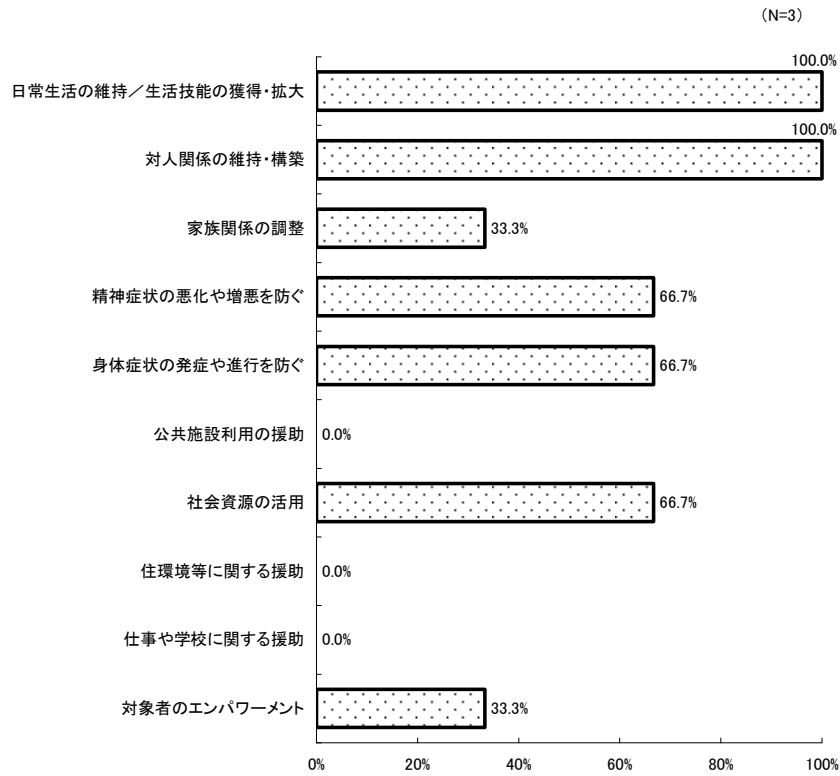


<小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害>

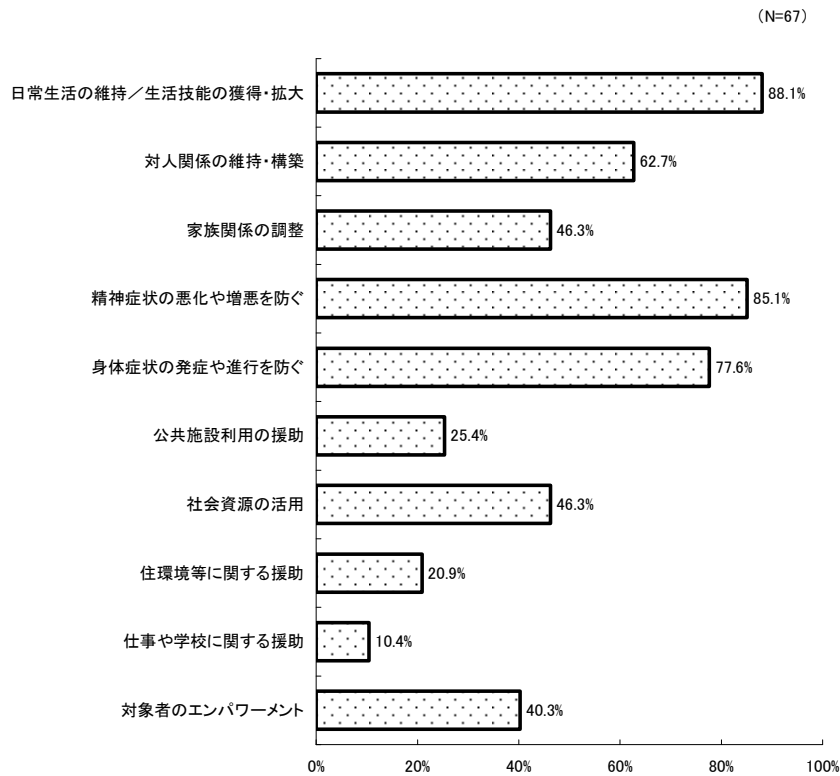




<詳細不明の精神障害>



<その他>



精神科訪問看護・指導料とケア内容の状況をみると、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」の割合が、いずれの精神科訪問看護・指導料においても最も多く、全て90%を超えている。

図表 7-6 精神科訪問看護・指導料とケア内容の状況

	日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大		対人関係の維持・構築		家族関係の調整		精神症状の悪化や増悪を防ぐ		
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）	3,126人	88.5%	2,295人	64.9%	1,638人	46.3%	3,359人	95.0%	
訪問先	居宅	2,853人	88.4%	2,090人	64.7%	1,570人	48.6%	3,078人	95.3%
	精神障害者施設等	262人	89.4%	197人	67.2%	60人	20.5%	269人	91.8%
精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）	685人	86.5%	513人	64.8%	318人	40.2%	735人	92.8%	
同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無	有	201人	88.9%	154人	68.1%	42人	18.6%	214人	94.7%
	無	480人	85.6%	356人	63.5%	275人	49.0%	516人	92.0%

	身体症状の発症や進行を防ぐ		公共施設利用の援助		社会資源の活用		住環境等に関する援助		
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）	2,284人	64.6%	581人	16.4%	1,314人	37.2%	786人	22.2%	
訪問先	居宅	2,104人	65.2%	531人	16.4%	1,206人	37.3%	718人	22.2%
	精神障害者施設等	169人	57.7%	48人	16.4%	102人	34.8%	63人	21.5%
精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）	474人	59.8%	127人	16.0%	303人	38.3%	153人	19.3%	
同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無	有	146人	64.6%	37人	16.4%	91人	40.3%	40人	17.7%
	無	326人	58.1%	89人	15.9%	210人	37.4%	113人	20.1%

	仕事や学校に関する援助		対象者のエンパワーメント		N数	
	患者数	割合	患者数	割合		
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）	336人	9.5%	1,520人	43.0%	3,534	
訪問先	居宅	304人	9.4%	1,389人	43.0%	3,229
	精神障害者施設等	29人	9.9%	126人	43.0%	293
精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）	80人	10.1%	355人	44.8%	792	
同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無	有	21人	9.3%	72人	31.9%	226
	無	59人	10.5%	280人	49.9%	561

## ⑥ 主たる疾患別のGAFスコア

主たる疾患別のGAFスコアをみると、「精神作用物質による精神及び行動の障害」が59.69点と最も高く、次いで「気分[感情]障害」が57.36点と高い。「生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群」は37.94点と最も低い。

図表 7-7 主たる疾患別のGAFスコア

	GAFスコア
症状性を含む器質性精神障害 (N=110)	52.63 点
精神作用物質による精神及び行動の障害 (N=136)	59.69 点
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (N=2,554)	53.68 点
気分 [感情] 障害 (N=350)	57.36 点
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (N=79)	57.28 点
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (N=5)	37.94 点
成人の人格及び行動の障害 (N=39)	55.78 点
知的障害 (精神遅滞) (N=76)	49.68 点
心理的発達の障害 (N=13)	48.99 点
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (N=2)	-
詳細不明の精神障害 (N=3)	-
その他 (N=44)	52.86 点

## 8) 患者調査

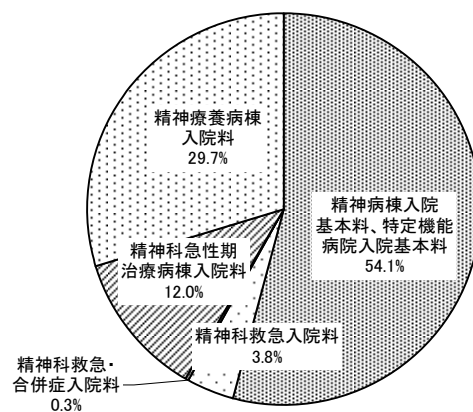
### (1) 患者の基本的事項

#### ① 現在入院中の病棟

回答のあった患者の現在入院中の病棟は、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」が54.1%と最も多く、次いで「精神療養病棟入院料」が29.7%と多い。

図表 8-1 現在入院中の病棟

(N=2009)



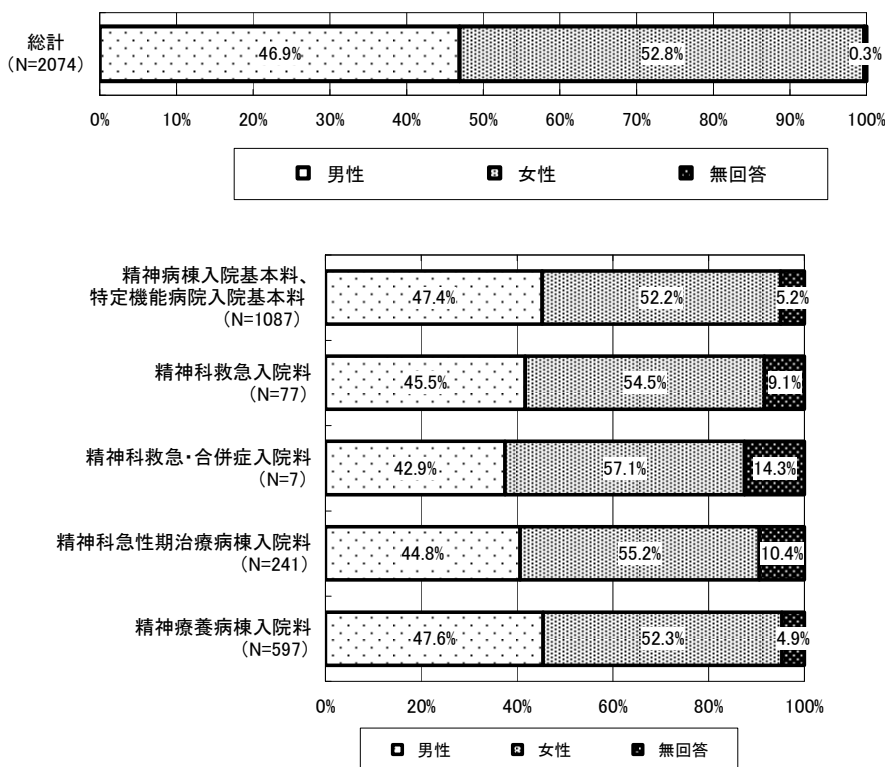
#### ② 性別

患者の性別は、「女性」が52.8%であり、「男性」が46.9%である。

また、現在入院中の病棟別に性別をみると、「精神科救急・合併症入院料」においては「女性」が57.1%、「男性」が42.9%であり、他の病棟と比べて女性の比率が最も大きいですが、N数が小さいことに留意する必要がある。

患者の年齢は、「60～70歳未満」が24.3%と最も多く、次いで「50～60歳未満」が18.9%と多い。

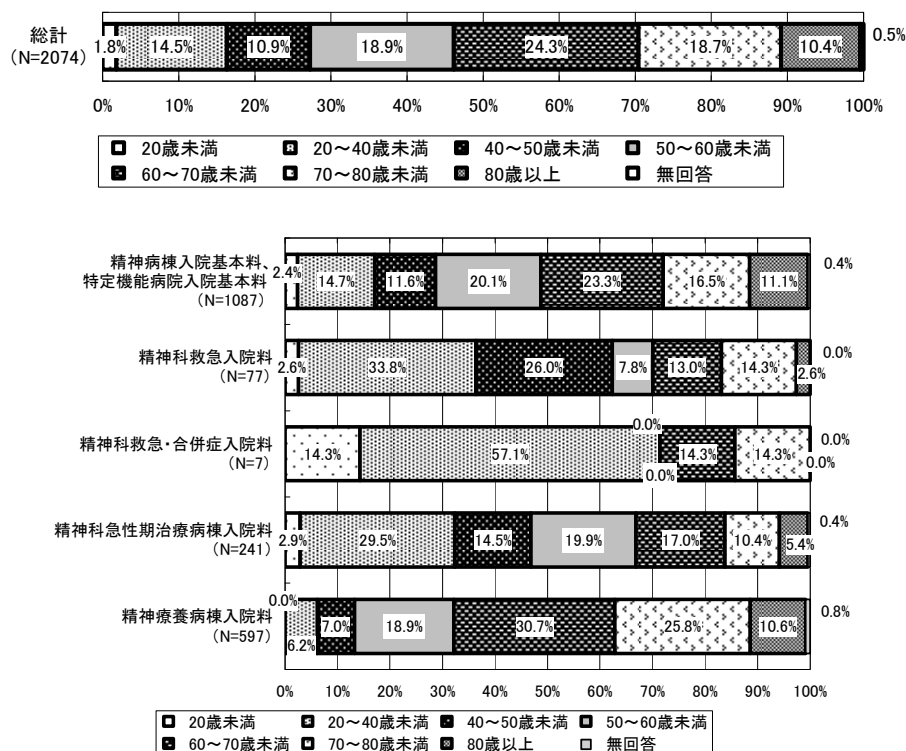
図表 8-2-1 性別



③ 年齢

また、現在入院中の病棟別に年齢をみると、「精神科救急・合併症入院料」においては「40歳未満」が71.4%であり、他の病棟と比べて若年の比率が飛び抜けて大きい、N数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-2-2 年齢

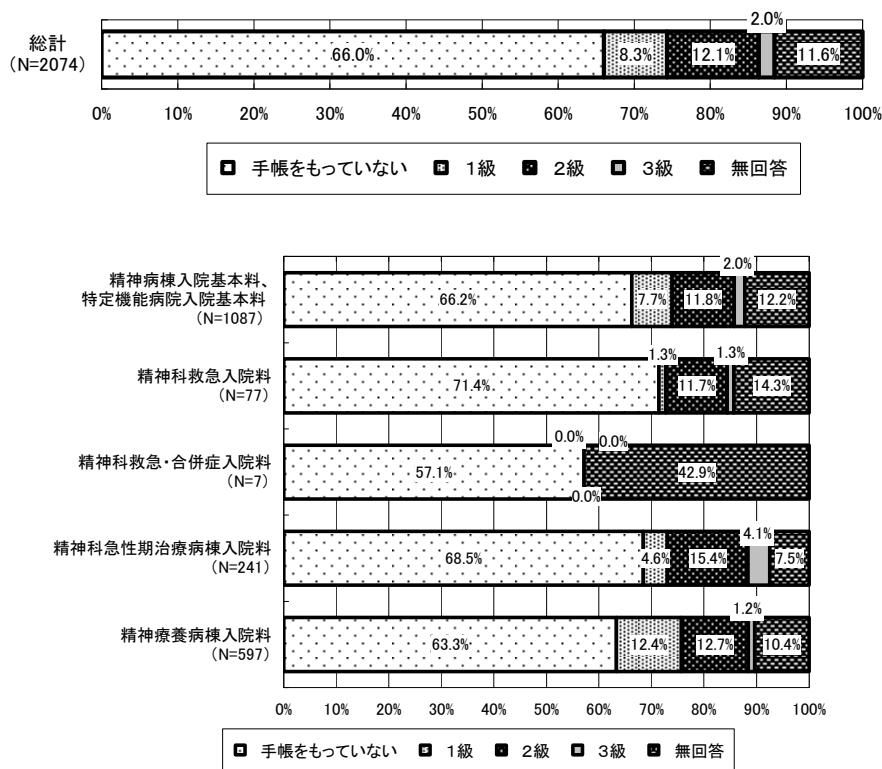


#### ④ 精神障害者福祉手帳の状況

精神障害者福祉手帳については、「手帳を持っていない」が66.0%と最も多く、次いで「2級」が12.1%と多い。

また、現在入院中の病棟別に精神障害者福祉手帳の状況をみると、「精神科救急・合併症入院料」においては「手帳を持っていない」が57.1%であり、他の病棟と比べて少ないが、N数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-2-3 精神障害者福祉手帳



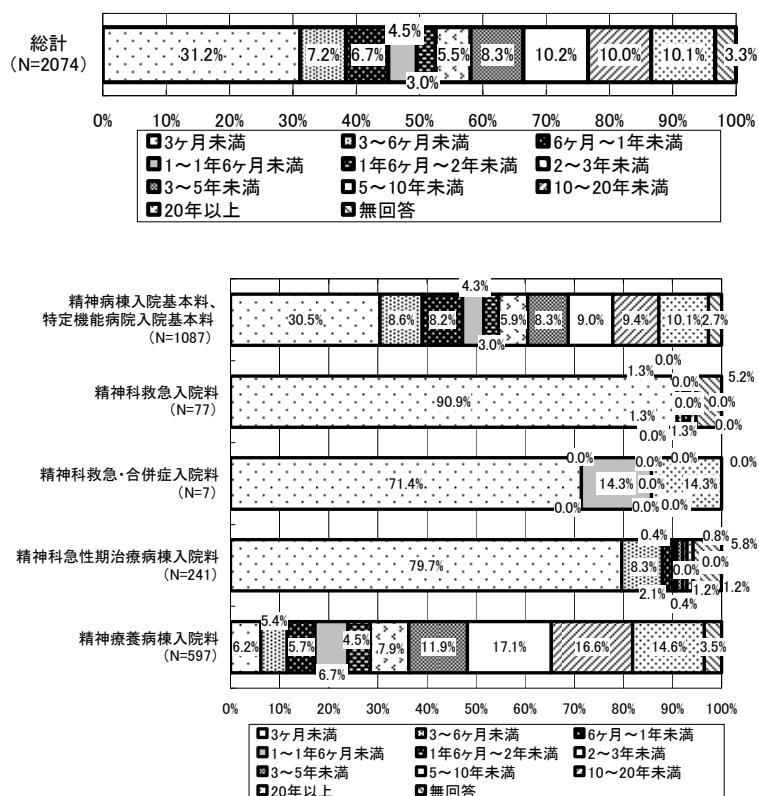
## (2) 入院の状況

### ① 入院期間別の状況

患者の入院期間別の状況は、「3ヶ月未満」が31.2%と最も多く、次いで「5～10年未満」が10.2%、「20年以上」が10.1%、「10～20年未満」が10.0%である。

また、現在入院中の病棟別に入院期間別の状況をみると、「精神科救急入院料」、「精神科救急・合併症入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」においては「3ヶ月未満」がそれぞれ90.9%、71.4%、79.7%と非常に大きい。

図表 8-3 入院期間別の状況

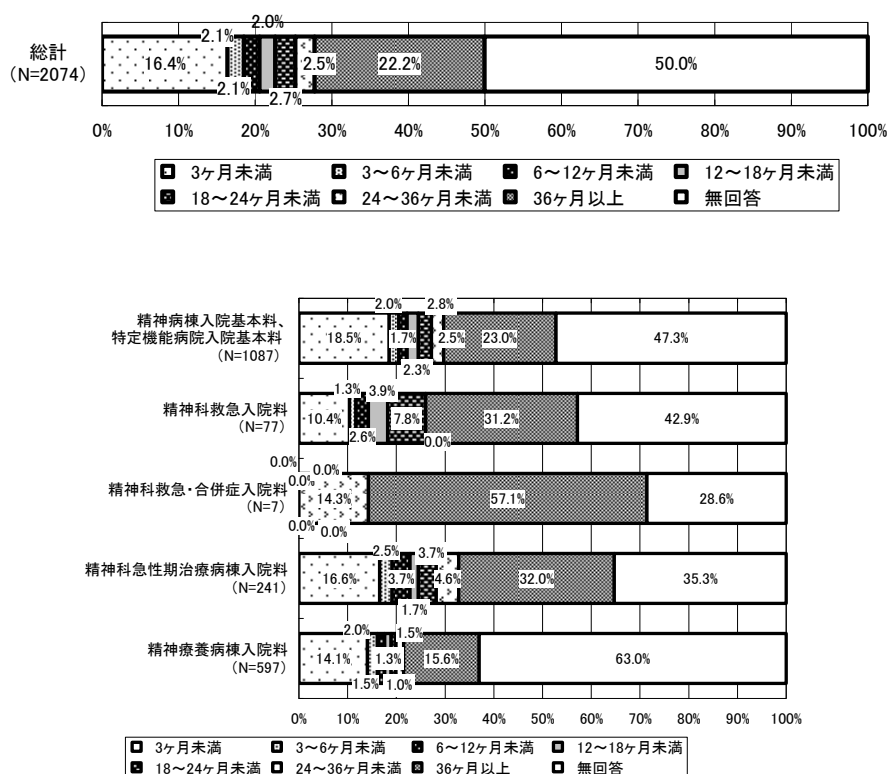


## ② 初診日からの期間別状況

患者の初診日からの期間別状況は、「無回答」を除くと、「36ヶ月以上」が22.2%と最も多く、次いで「3ヶ月未満」が16.4%と多い。

また、現在入院中の病棟別に初診日からの期間別状況をみると、いずれの病棟においても「無回答」を除くと、「36ヶ月以上」が最も多く、「精神科救急・合併症入院料」を除いては、次いで「3ヶ月未満」が多いが、「精神科救急・合併症入院料」はN数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-4 初診日からの期間別状況



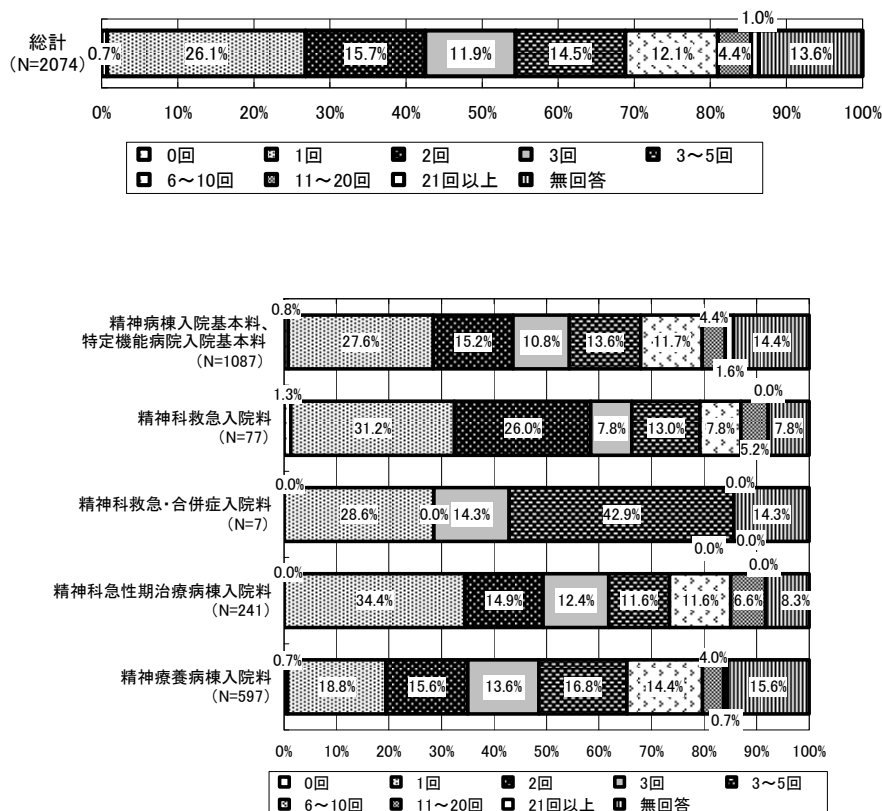


### ③ 通算入院回数の状況

患者の通算入院回数の状況は、「1回」が26.1%と最も多く、次いで「2回」が15.7%と多い。

また、現在入院中の病棟別に通算入院回数の状況をみると、「精神科救急・合併症入院料」を除いては、「1回」が最も多く、「精神科救急・合併症入院料」においては「3～5回」が42.9%と多いが、「精神科救急・合併症入院料」はN数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-5 通算入院回数の状況

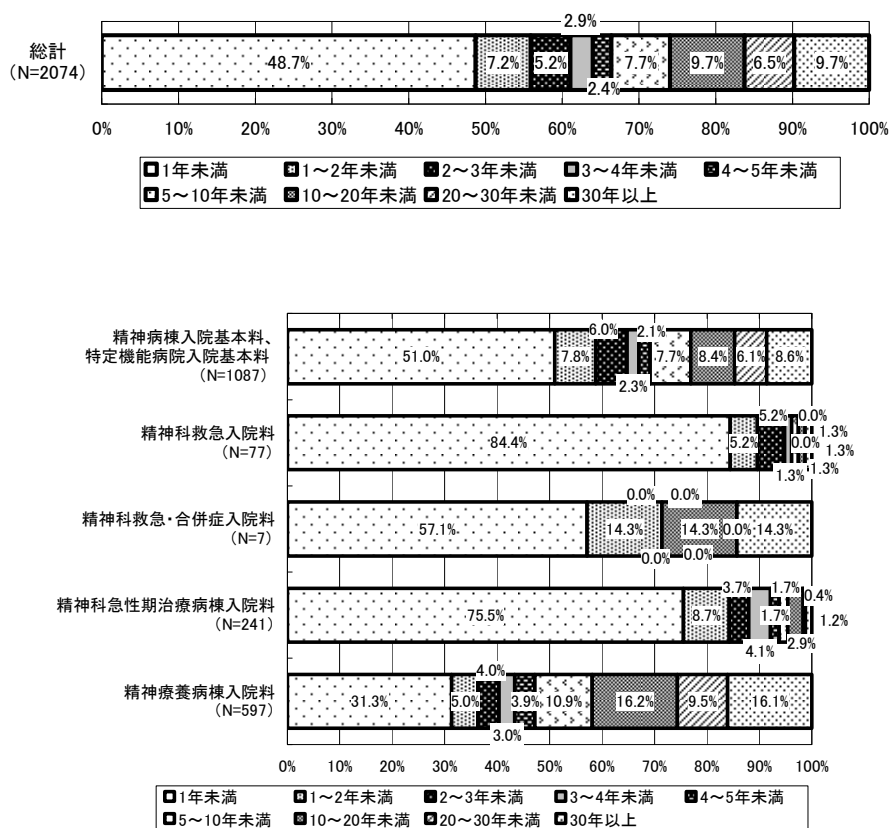


#### ④ 通算入院期間の状況

通算入院期間の状況は、「1年未満」が48.7%と最も多く、次いで「10～20年未満」及び「30年以上」が9.7%と多い。

また、現在入院中の病棟別に通算入院期間の状況をみると、いずれの病棟においても「1年未満」が最も多く、次いで「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」においては「30年以上」が8.6%、「精神科救急入院料」においては「1～2年未満」及び「2～3年未満」が5.2%、「精神科急性期治療病棟入院料」においては「1～2年未満」が8.7%、「精神療養病棟入院料」においては「10～20年未満」が16.2%と多い。

図表 8-6 通算入院期間の状況

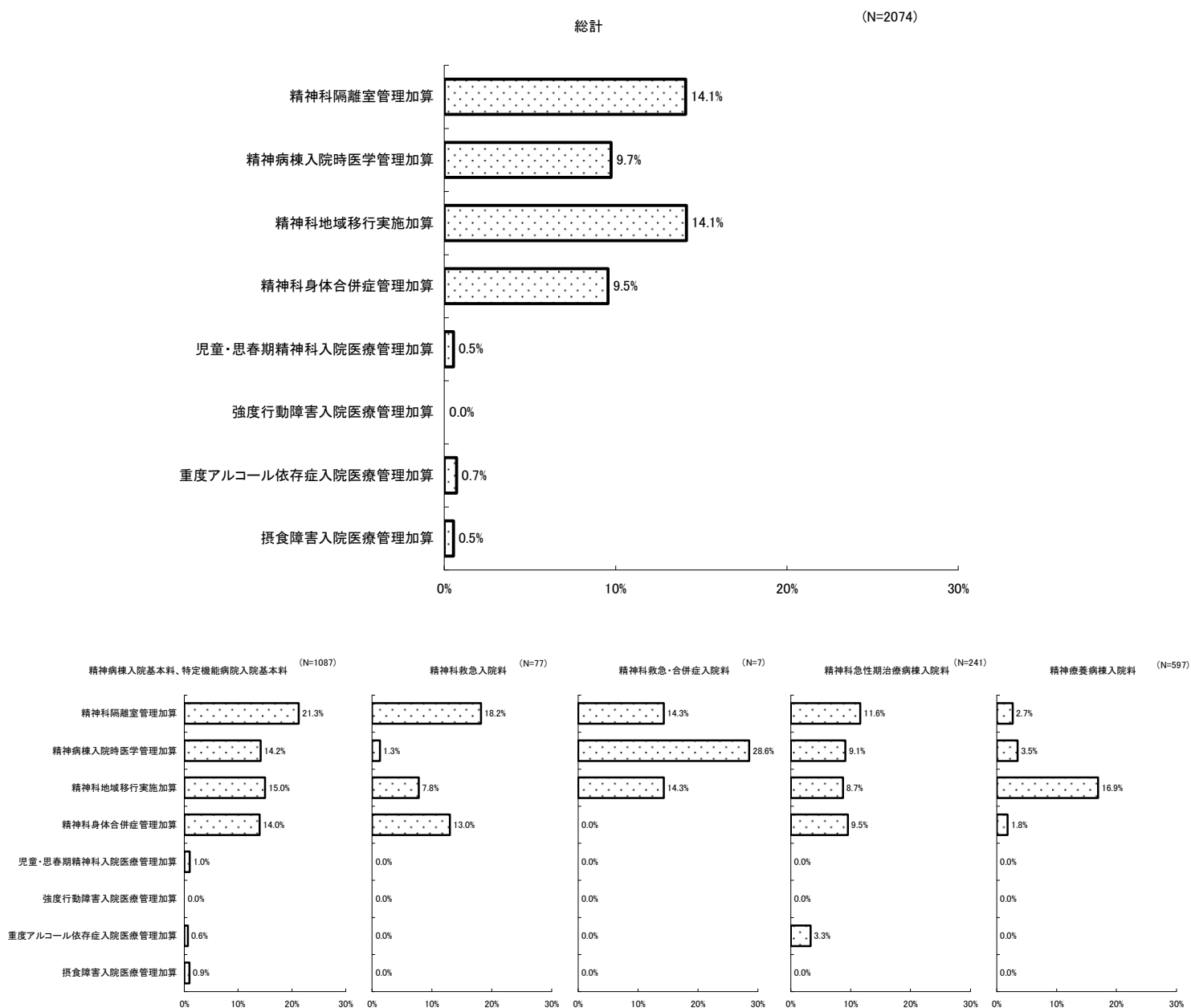


### ⑤ 入院基本料等加算の状況

入院基本料等加算の状況は、「精神科隔離室管理加算」及び「精神科地域移行実施加算」が14.1%と最も多く、次いで「精神病棟入院時医学管理加算」が9.7%と多い。

また、現在入院中の病棟別に入院基本料等加算の状況を見ると、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神科救急入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」においては「精神科隔離室管理加算」が多く、「精神科救急・合併症入院料」においては「精神病棟入院時医学管理加算」が28.6%、「精神療養病棟入院料」においては「精神科地域移行実施加算」が16.9%と多い。

図表 8-7 入院基本料等加算の状況

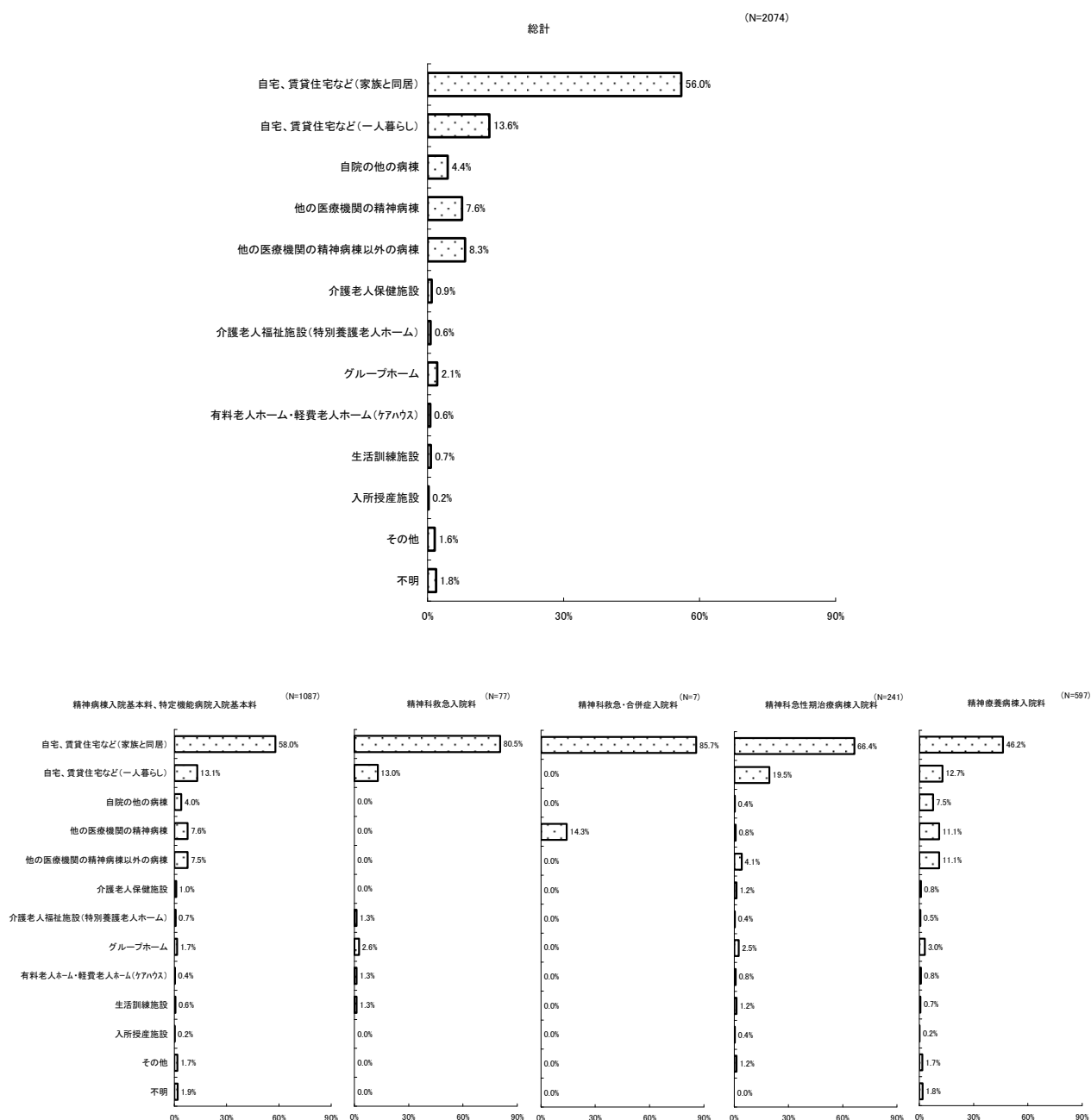


## ⑥ 入棟前の居場所

患者の入棟前の居場所は、「自宅、賃貸住宅など（家族と同居）」が 56.0%と最も多く、次いで「自宅、賃貸住宅など（一人暮らし）」が 13.6%と多い。

また、現在入院中の病棟別に入棟前の居場所をみると、いずれの病棟においても「自宅、賃貸住宅など（家族と同居）」が最も多く、次いで「精神科救急・合併症入院料」を除いては「自宅、賃貸住宅など（一人暮らし）」が多く、「精神科救急・合併症入院料」においては「他の医療機関の精神病棟」が 14.3%と多いが、N 数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-8 入棟前の居場所

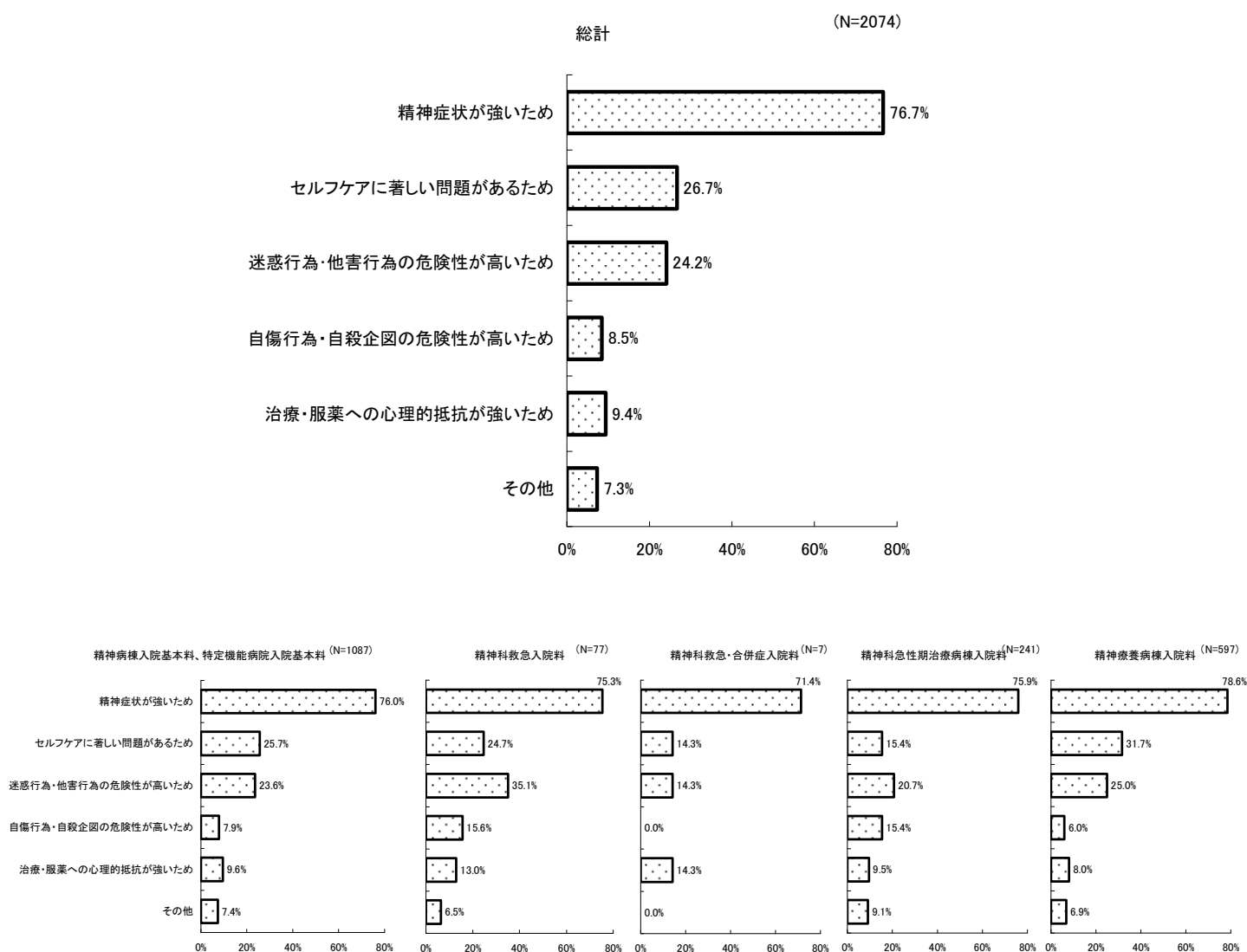


## ⑦ 入院の理由

患者の入院の理由は、「精神症状が強いため」が76.7%と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が26.7%と多い。

また、現在入院中の病棟別に入院の理由をみると、いずれの病棟においても「精神症状が強いため」が最も多く、次いで「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神療養病棟入院料」においては「セルフケアに著しい問題があるため」が多く、「精神科救急入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」においては「迷惑行為・他害行為の危険性が高いため」が多い。

図表 8-9 入院の理由

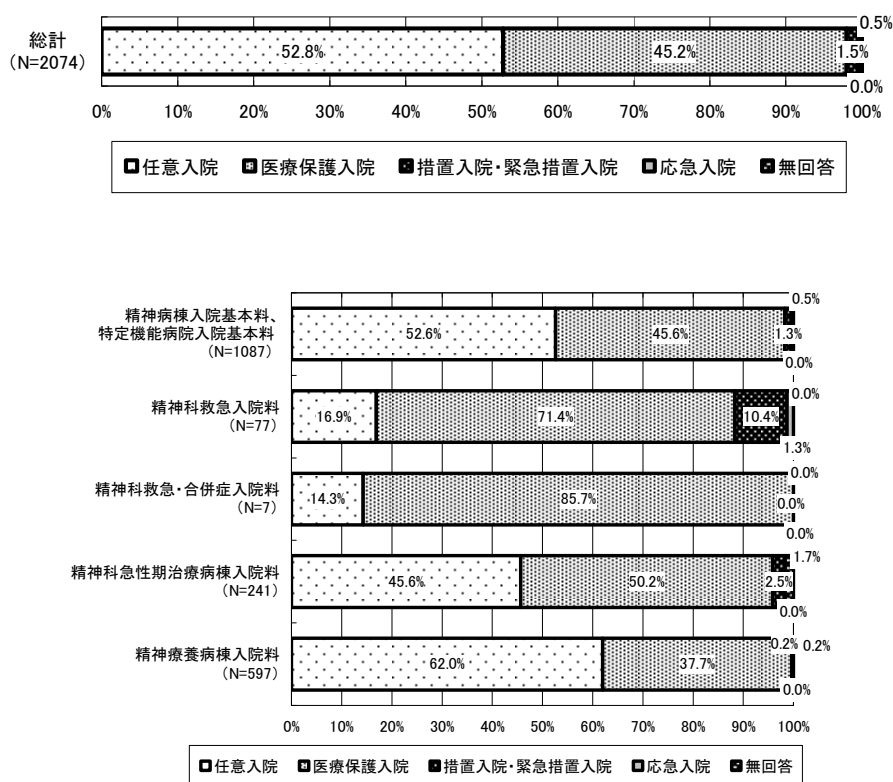


## ⑧ 入院形態

患者の入院形態は、「任意入院」が52.8%と最も多く、次いで「医療保護入院」が45.2%と多い。

また、現在入院中の病棟別に入院形態をみると、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神療養病棟入院料」においては「任意入院」が52.6%、62.0%と多く、「精神科救急入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」及び「精神科救急・合併症入院料」においては「医療保護入院」が多い。

図表 8-10 入院形態



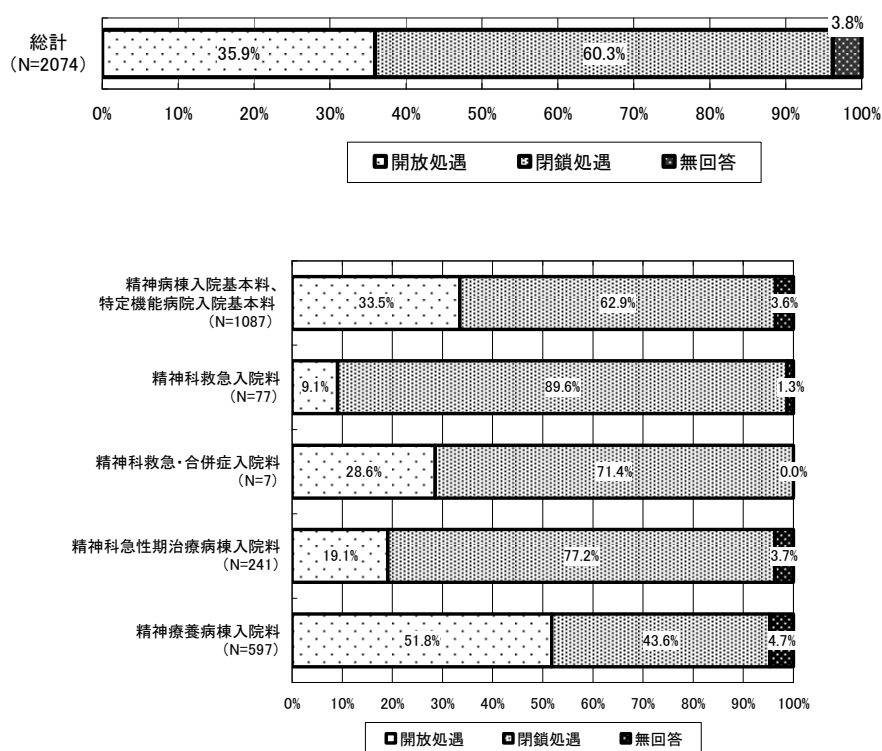
## ⑨ 処遇

患者の処遇は、「閉鎖処遇」が60.3%と多く、「開放処遇」が35.9%である。

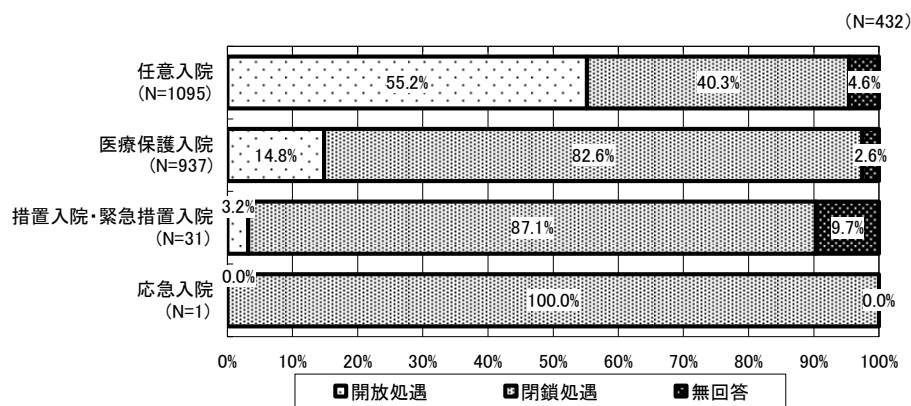
また、現在入院中の病棟別に処遇をみると、「精神療養病棟入院料」においては「開放処遇」が51.8%と多いが、他の病棟においては「閉鎖処遇」が62.9%、89.6%、71.4%、77.2%と多い。

また、入院形態と処遇をみると、「任意入院」においては「開放処遇」が55.2%と多く、それ以外の入院形態においては「閉鎖処遇」が多いが、「措置入院・緊急措置入院」及び「応急入院」においてはN数が小さいことに留意する必要がある。

図表 8-11 処遇



図表 8-12 入院形態と処遇

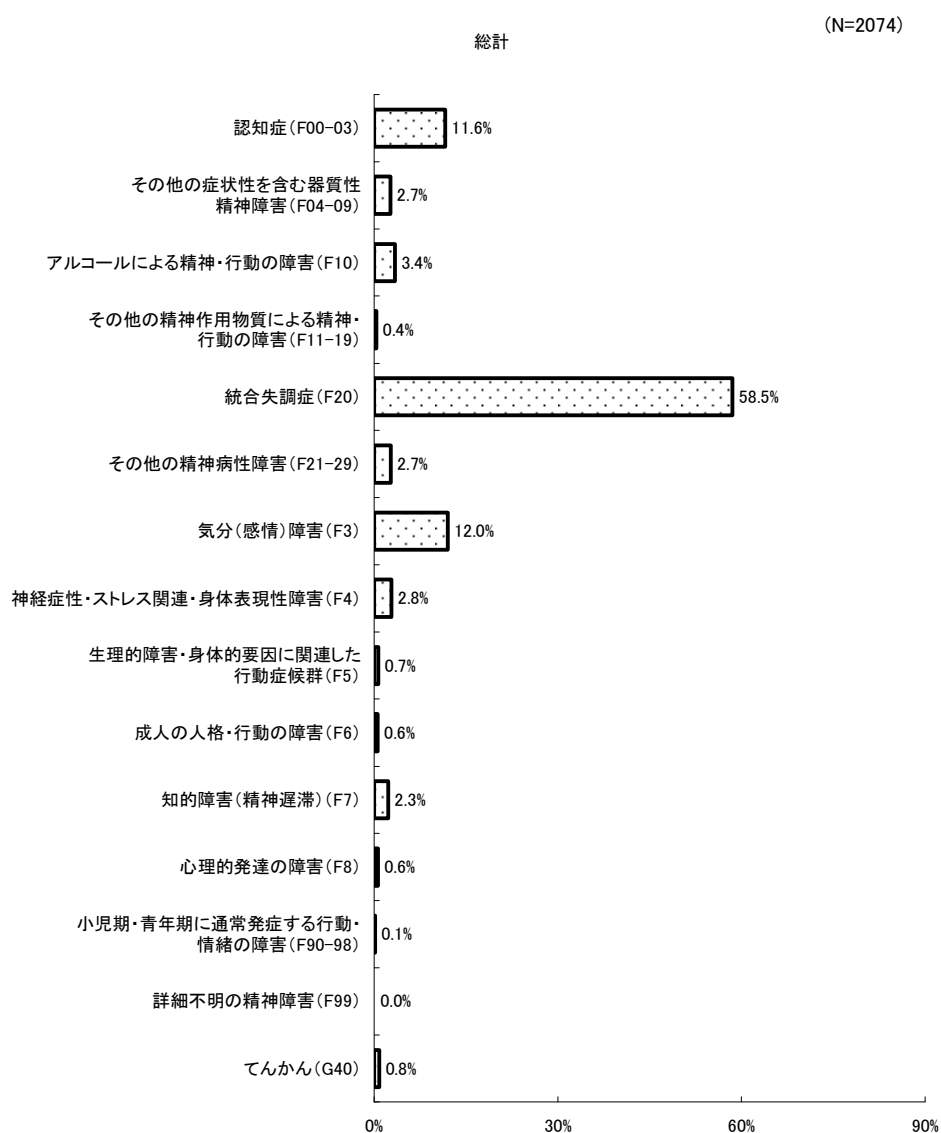


## ⑩ 主傷病

患者の主傷病は、「統合失調症」が58.5%と最も多く、次いで「気分（感情）障害」が12.0%と多い。

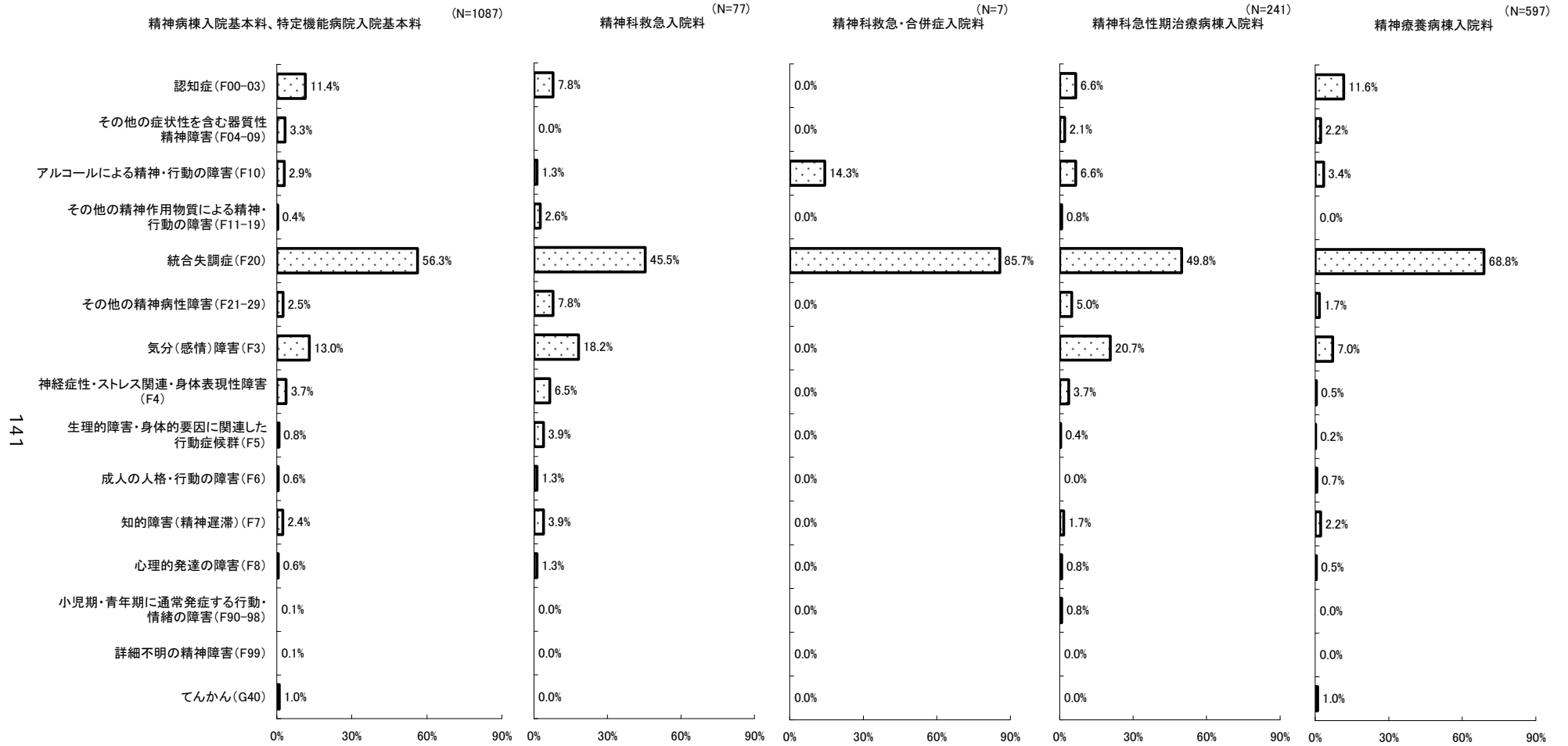
また、現在入院中の病棟別に主傷病をみると、いずれの病棟においても「統合失調症」が多く、次いで「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神科救急入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」においては「気分（感情）障害」、「精神療養病棟入院料」においては「認知症」が多い。

図表 8-13 主傷病





図表 8-13 (つづき) 主傷病



主傷病別年齢階級別分布をみると、N数が大きい「統合失調症」、「気分（感情）障害」においては「60～70歳未満」が27.6%、22.9%と最も高く、「認知症」においては「80歳以上」が49.0%と最も多い。

図表 8-14 主傷病別年齢階級別分布

	20歳未満		20～40歳未満		40～50歳未満	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
認知症 (F00-03)	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.4%
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	1人	1.8%	2人	3.6%	5人	9.1%
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	0人	0.0%	9人	12.7%	6人	8.5%
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0人	0.0%	2人	25.0%	3人	37.5%
統合失調症 (F20)	12人	1.0%	186人	15.3%	157人	12.9%
その他の精神病性障害 (F21-29)	0人	0.0%	9人	16.1%	6人	10.7%
気分（感情）障害 (F3)	2人	0.8%	42人	16.9%	26人	10.4%
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	10人	16.9%	13人	22.0%	11人	18.6%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	4人	26.7%	8人	53.3%	2人	13.3%
成人の人格・行動の障害 (F6)	0人	0.0%	3人	25.0%	2人	16.7%
知的障害（精神遅滞）(F7)	0人	0.0%	13人	27.1%	6人	12.5%
心理的発達の障害 (F8)	5人	38.5%	7人	53.8%	1人	7.7%
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	3人	100.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
詳細不明の精神障害 (F99)	0人	0.0%	1人	100.0%	0人	0.0%
てんかん (G40)	0人	0.0%	4人	23.5%	1人	5.9%

	50～60歳未満		60～70歳未満		70～80歳未満	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
認知症 (F00-03)	9人	3.7%	26人	10.8%	87人	36.1%
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	10人	18.2%	19人	34.5%	10人	18.2%
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	12人	16.9%	23人	32.4%	15人	21.1%
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	1人	12.5%	1人	12.5%	1人	12.5%
統合失調症 (F20)	278人	22.9%	335人	27.6%	187人	15.4%
その他の精神病性障害 (F21-29)	14人	25.0%	11人	19.6%	12人	21.4%
気分（感情）障害 (F3)	44人	17.7%	57人	22.9%	54人	21.7%
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	10人	16.9%	4人	6.8%	8人	13.6%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0人	0.0%	1人	6.7%	0人	0.0%
成人の人格・行動の障害 (F6)	3人	25.0%	3人	25.0%	1人	8.3%
知的障害（精神遅滞）(F7)	4人	8.3%	15人	31.3%	9人	18.8%
心理的発達の障害 (F8)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
詳細不明の精神障害 (F99)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
てんかん (G40)	5人	29.4%	5人	29.4%	2人	11.8%

図表 8-14 主傷病別年齢階級別分布（つづき）

	80 歳以上		無回答		N 数
	患者数	割合	患者数	割合	
認知症 (F00-03)	118 人	49.0%	0 人	0.0%	241
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	7 人	12.7%	1 人	1.8%	55
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	6 人	8.5%	0 人	0.0%	71
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	8
統合失調症 (F20)	53 人	4.4%	5 人	0.4%	1,213
その他の精神病性障害 (F21-29)	4 人	7.1%	0 人	0.0%	56
気分（感情）障害 (F3)	20 人	8.0%	4 人	1.6%	249
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	3 人	5.1%	0 人	0.0%	59
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	15
成人の人格・行動の障害 (F6)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	12
知的障害（精神遅滞）(F7)	1 人	2.1%	0 人	0.0%	48
心理的発達の障害 (F8)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	13
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	3
詳細不明の精神障害 (F99)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	1
てんかん (G40)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	17

主傷病別入院期間階級別分布をみると、ほぼ全ての主傷病において「3ヶ月未満」が最も多く、N数が大きい「統合失調症」、「気分(感情)障害」、「認知症」においては21.7%、59.8%、29.9%である。

図表 8-15 主傷病別入院期間階級別分布

	3ヶ月未満		3~6ヶ月未満		6~12ヶ月未満	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
認知症 (F00-03)	72人	29.9%	31人	12.9%	38人	15.8%
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	16人	29.1%	6人	10.9%	8人	14.5%
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	31人	43.7%	8人	11.3%	2人	2.8%
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	3人	37.5%	2人	25.0%	1人	12.5%
統合失調症 (F20)	263人	21.7%	71人	5.9%	61人	5.0%
その他の精神病性障害 (F21-29)	27人	48.2%	5人	8.9%	4人	7.1%
気分(感情)障害 (F3)	149人	59.8%	17人	6.8%	17人	6.8%
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	44人	74.6%	4人	6.8%	2人	3.4%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	11人	73.3%	2人	13.3%	1人	6.7%
成人の人格・行動の障害 (F6)	6人	50.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
知的障害(精神遅滞) (F7)	10人	20.8%	3人	6.3%	2人	4.2%
心理的発達の障害 (F8)	7人	53.8%	0人	0.0%	0人	0.0%
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	1人	33.3%	1人	33.3%	1人	33.3%
詳細不明の精神障害 (F99)	1人	100.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
てんかん (G40)	2人	11.8%	0人	0.0%	0人	0.0%

	12~18ヶ月未満		18~24ヶ月未満		24~36ヶ月未満	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
認知症 (F00-03)	18人	7.5%	10人	4.1%	16人	6.6%
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	4人	7.3%	2人	3.6%	3人	5.5%
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	1人	1.4%	6人	8.5%	3人	4.2%
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
統合失調症 (F20)	54人	4.5%	35人	2.9%	76人	6.3%
その他の精神病性障害 (F21-29)	2人	3.6%	1人	1.8%	2人	3.6%
気分(感情)障害 (F3)	8人	3.2%	5人	2.0%	8人	3.2%
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	0人	0.0%	2人	3.4%	1人	1.7%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
成人の人格・行動の障害 (F6)	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	8.3%
知的障害(精神遅滞) (F7)	2人	4.2%	1人	2.1%	2人	4.2%
心理的発達の障害 (F8)	1人	7.7%	0人	0.0%	1人	7.7%
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
詳細不明の精神障害 (F99)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
てんかん (G40)	2人	11.8%	0人	0.0%	2人	11.8%

図表 8-15 主傷病別入院期間階級別分布（つづき）

	36～60 ヶ月未満		60～120 ヶ月未満		120～240 ヶ月未満	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
認知症 (F00-03)	20 人	11.7%	18 人	8.7%	4 人	1.9%
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	3 人	1.8%	7 人	3.4%	4 人	1.9%
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	7 人	4.1%	3 人	1.4%	3 人	1.4%
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	1 人	0.5%
統合失調症 (F20)	121 人	70.8%	148 人	71.2%	177 人	85.5%
その他の精神病性障害 (F21-29)	3 人	1.8%	8 人	3.8%	2 人	1.0%
気分（感情）障害 (F3)	6 人	3.5%	12 人	5.8%	6 人	2.9%
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	3 人	1.8%	1 人	0.5%	0 人	0.0%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
成人の人格・行動の障害 (F6)	1 人	0.6%	2 人	1.0%	2 人	1.0%
知的障害（精神遅滞）(F7)	4 人	2.3%	5 人	2.4%	5 人	2.4%
心理的発達の障害 (F8)	0 人	0.0%	1 人	0.5%	1 人	0.5%
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
詳細不明の精神障害 (F99)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
てんかん (G40)	3 人	1.8%	3 人	1.4%	2 人	1.0%

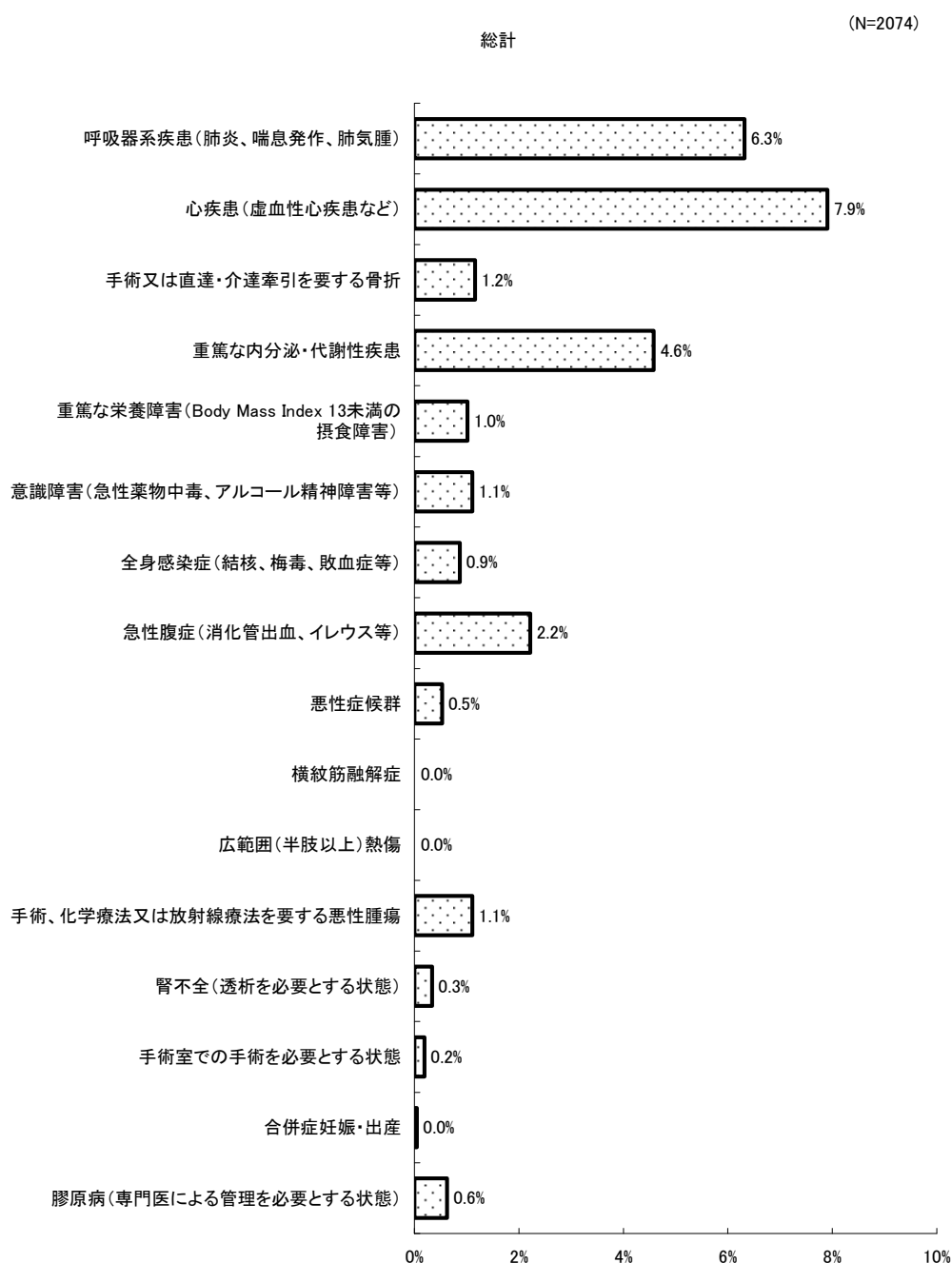
	240 ヶ月以上		無回答		N 数
	患者数	割合	患者数	割合	
認知症 (F00-03)	3 人	1.4%	11 人	4.6%	241
その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	2 人	1.0%	0 人	0.0%	55
アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	4 人	1.9%	3 人	4.2%	71
その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	0 人	0.0%	1 人	12.5%	8
統合失調症 (F20)	172 人	83.1%	35 人	2.9%	1,213
その他の精神病性障害 (F21-29)	2 人	1.0%	0 人	0.0%	56
気分（感情）障害 (F3)	7 人	3.4%	14 人	5.6%	249
神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)	0 人	0.0%	2 人	3.4%	59
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	1 人	0.5%	0 人	0.0%	15
成人の人格・行動の障害 (F6)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	12
知的障害（精神遅滞）(F7)	13 人	6.3%	1 人	2.1%	48
心理的発達の障害 (F8)	1 人	0.5%	1 人	7.7%	13
小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	3
詳細不明の精神障害 (F99)	0 人	0.0%	0 人	0.0%	1
てんかん (G40)	2 人	1.0%	1 人	5.9%	17

## ⑪ 身体合併症

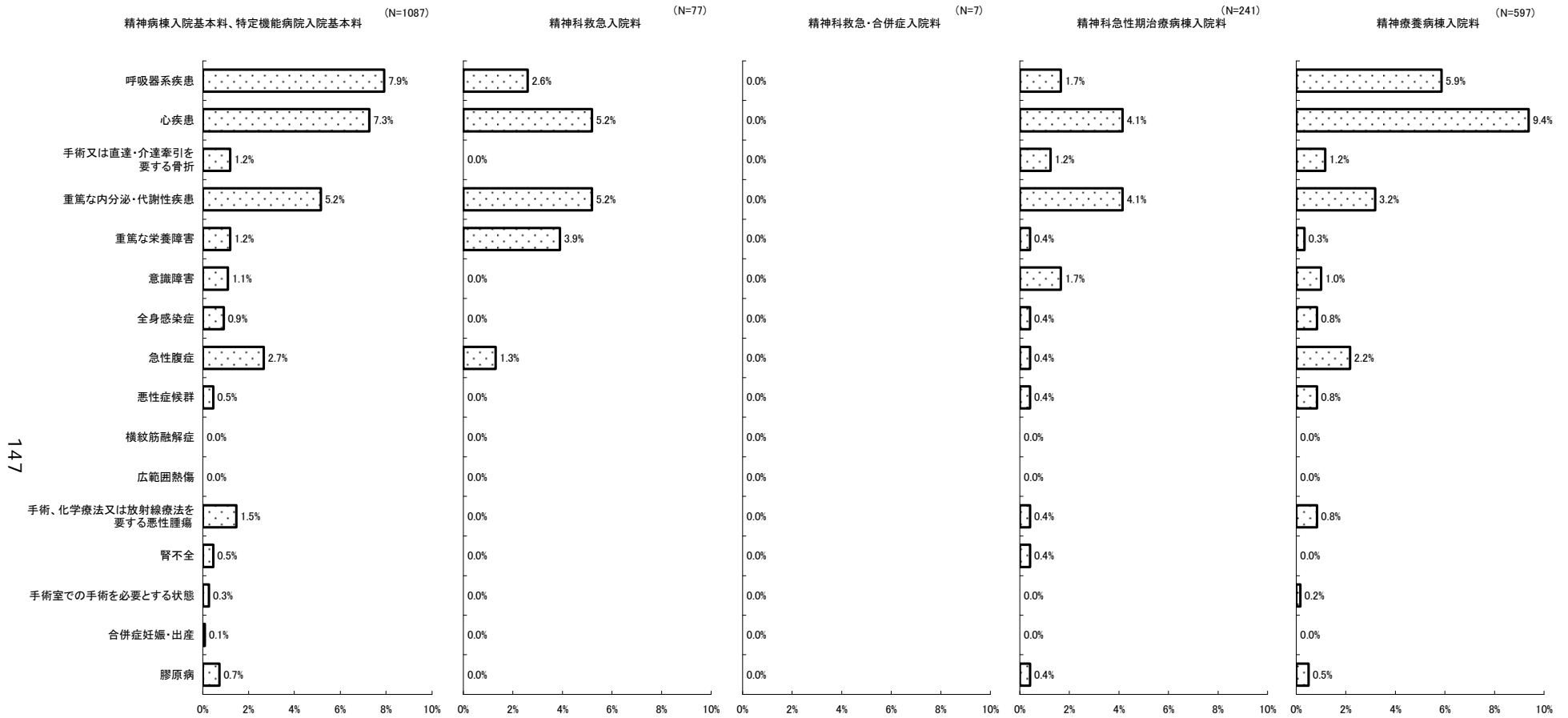
患者の身体合併症は、「心疾患（虚血性心疾患など）」が7.9%と最も多く、次いで「呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）」が6.3%と多い。

また、現在入院中の病棟別に身体合併症をみると、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」においては「呼吸器系疾患」が7.9%と多く、「精神科療養病棟入院料」においては「心疾患」が9.4%と多い。「精神科救急入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」においては「心疾患」及び「重篤な内分泌・代謝性疾患」が多い。

図表 8-16 身体合併症



図表 8-16 (つづき) 身体合併症



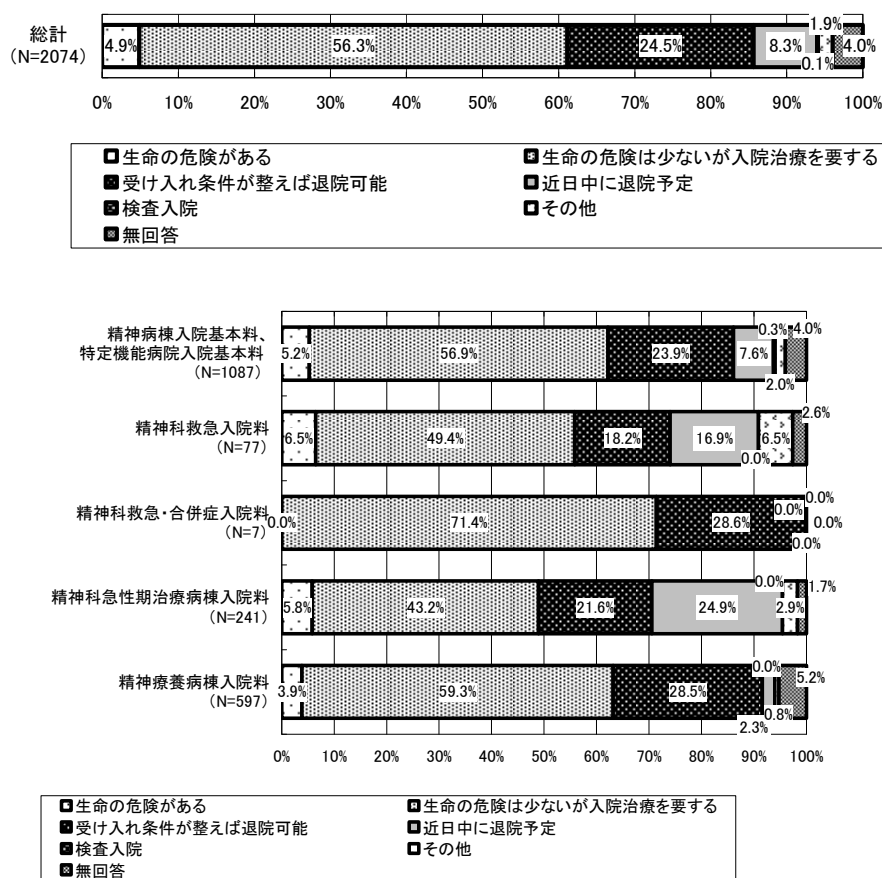
### (3) 患者の状態等

#### ① 症状の程度

患者の症状の程度は、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」が56.3%と最も多く、次いで「受け入れ条件が整えば退院可能」が24.5%と多い。

また、現在入院中の病棟別に症状の程度をみると、いずれの病棟においても「生命の危険は少ないが入院治療を要する」が多く、次いで「精神科急性期治療病棟入院料」においては「近日中に退院予定」が多く、それ以外の病棟においては「受け入れ条件が整えば退院可能」が多い。

図表 8-17 症状の程度





## ② GAFスコア（入棟時1週間、平成23年6月末1週間）

GAFスコアについてみると、全体的に「入棟初日」に比較すると直近のスコアが高く、「精神療養病棟入院料」を除いては約5～15点程、「精神療養病棟入院料」においても若干ではあるが点数の増加がみられ、入棟時よりも入院期間を経た方が点数が高いが、その中でも「精神科救急入院料」においては、点数の増加が16.4点である。

図表 8-18 患者のGAFスコア

<平均>	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料		精神科救急入院料		精神科救急・合併症 入院料		精神科急性期治療病棟 入院料	
	点数	n数	点数	n数	点数	n数	点数	n数
入棟初日	31.3点	411	28.7点	43	25.3点	6	31.8点	92
入棟2日目	31.5点	318	28.9点	36	26.4点	4	32.9点	78
入棟3日目	32.0点	316	30.8点	36	26.4点	4	33.3点	79
入棟4日目	32.0点	316	32.3点	36	26.7点	4	34.8点	76
入棟5日目	32.5点	314	33.7点	36	26.9点	4	35.2点	77
入棟6日目	33.0点	313	34.2点	36	27.2点	4	35.7点	76
入棟7日目	33.4点	311	35.2点	36	27.5点	4	37.2点	80
入棟8日目	34.5点	117	37.6点	35	27.8点	4	35.0点	43
入棟9日目	34.6点	114	38.2点	35	27.8点	4	35.9点	44
入棟10日目	34.9点	112	38.6点	35	27.8点	4	35.4点	43
入棟11日目	34.8点	114	40.1点	34	30.0点	4	35.3点	41
入棟12日目	35.3点	112	40.8点	34	30.0点	4	35.4点	39
入棟13日目	35.6点	111	41.3点	34	30.0点	4	35.5点	39
入棟14日目	36.8点	115	41.5点	34	30.0点	4	38.7点	41
6月24日(金)	40.1点	383	39.7点	28	34.1点	5	42.6点	78
6月25日(土)	39.9点	379	40.6点	28	34.3点	5	42.6点	78
6月26日(日)	39.8点	378	41.4点	28	34.6点	5	43.0点	78
6月27日(月)	39.8点	384	42.3点	31	34.8点	5	42.9点	79
6月28日(火)	40.2点	386	42.9点	31	35.0点	5	43.3点	79
6月29日(水)	40.2点	385	43.6点	31	35.2点	5	43.4点	81
6月30日(木)	40.4点	410	45.1点	34	30.7点	6	44.0点	87

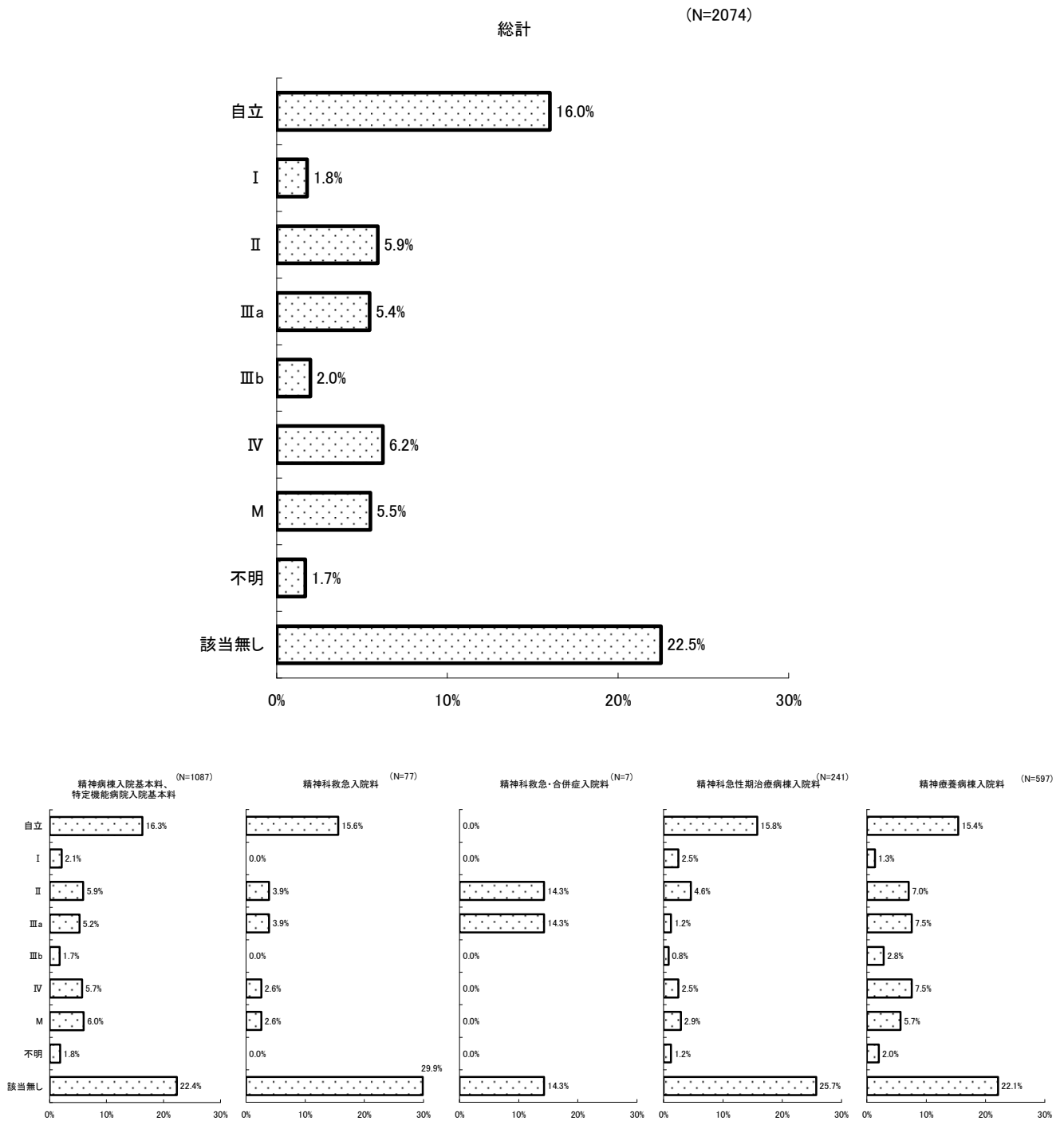
<平均>	精神療養病棟入院料		その他		総計	
	点数	n数	点数	n数	点数	n数
入棟初日	28.0点	286	33.2点	19	29.9点	857
入棟2日目	27.9点	279	33.2点	18	29.9点	733
入棟3日目	28.0点	277	32.5点	18	30.2点	730
入棟4日目	28.2点	277	33.2点	18	30.5点	727
入棟5日目	28.1点	275	33.5点	18	30.9点	724
入棟6日目	28.2点	276	31.9点	18	31.2点	723
入棟7日目	28.2点	275	31.6点	18	31.5点	724
入棟8日目	29.6点	147	34.3点	5	32.5点	351
入棟9日目	29.6点	146	33.2点	5	32.7点	348
入棟10日目	29.7点	146	34.1点	5	32.8点	345
入棟11日目	29.8点	146	35.2点	5	33.0点	344
入棟12日目	29.6点	143	35.2点	5	33.1点	337
入棟13日目	29.7点	143	36.3点	5	33.3点	336
入棟14日目	29.6点	144	35.2点	5	34.0点	343
6月24日(金)	29.7点	513	36.7点	26	34.4点	1033
6月25日(土)	29.8点	512	37.5点	26	34.4点	1028
6月26日(日)	29.7点	504	36.9点	26	34.5点	1019
6月27日(月)	29.8点	513	37.4点	26	34.6点	1038
6月28日(火)	29.8点	513	37.4点	26	34.8点	1040
6月29日(水)	29.8点	513	38.2点	26	34.8点	1041
6月30日(木)	29.8点	519	38.6点	27	35.1点	1083

### ③ 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「該当無し」が 22.5%と最も多く、次いで「自立」が 16.0%と多い。

また、現在入院中の病棟別に認知症高齢者の日常生活自立度をみると、「精神科救急・合併症入院料」だけが N 数が小さいため異なるが、それ以外の病棟においては「該当無し」と「自立」が多い。

図表 8-19 認知症高齢者の日常生活自立度



#### ④ ADL区分

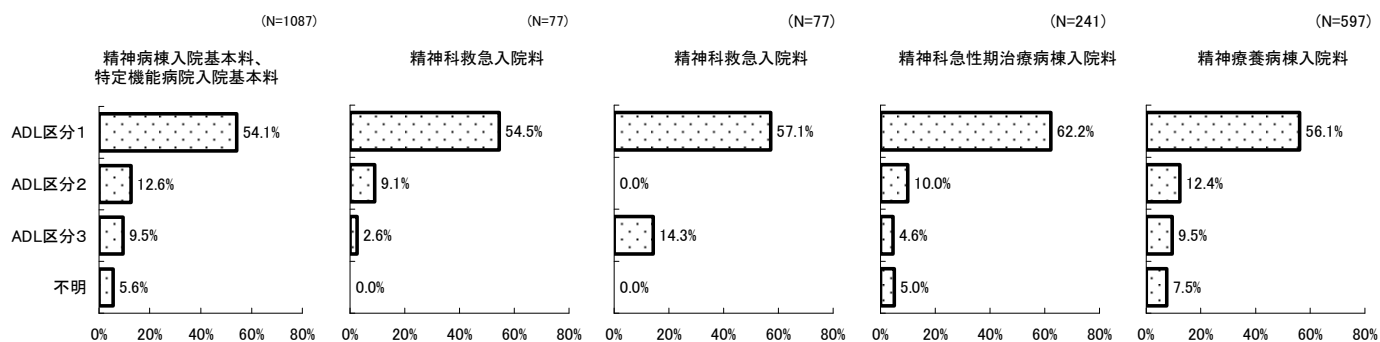
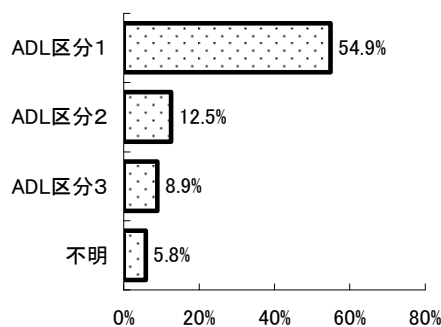
回答のあった患者のADLは、「ADL区分1」が54.9%と最も多く、次いで「ADL区分2」が12.5%と多い。

また、現在入院中の病棟別にADL区分をみると、いずれの病棟においても「ADL区分1」が多く、次いで「精神科救急入院料」においては「ADL区分3」が多い。その他の病棟においては、概ね「ADL区分2」が多い。

図表 8-20 ADL区分

(N=2074)

総計



## ⑤ IADLの困難度

IADLの困難度についてみると、全体（総計）では「電話の利用」を除いて、「非常に困難」が最も多く、次いで「いくらか困難」であり、「問題ない」は最も少ないが、「電話の利用」においてのみ「問題ない」が最も多く、次いで「非常に困難」であり、「いくらか困難」が最も少ない。また、現在入院中の病棟別にみると、N数が大きい「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」においては「電話の利用」を除くと「非常に困難」が最も多いが、「電話の利用」においてのみ「問題ない」が39.1%と最も多い。

図表 8-21 IADLの困難度

### <食事の用意>

	食事の用意							
	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	210人	19.3%	24人	31.2%	0人	0.0%	102人	42.3%
いくらか困難	304人	28.0%	27人	35.1%	4人	57.1%	72人	29.9%
非常に困難	535人	49.2%	22人	28.6%	3人	42.9%	56人	23.2%
無回答	38人	3.5%	4人	5.2%	0人	0.0%	11人	4.6%

	食事の用意					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	75人	12.6%	4人	6.2%	415人	20.0%
いくらか困難	163人	27.3%	15人	23.1%	585人	28.2%
非常に困難	337人	56.4%	46人	70.8%	999人	48.2%
無回答	22人	3.7%	0人	0.0%	75人	3.6%

### <家事一般>

	家事一般							
	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	154人	14.2%	21人	27.3%	0人	0.0%	84人	34.9%
いくらか困難	339人	31.2%	30人	39.0%	4人	57.1%	86人	35.7%
非常に困難	556人	51.1%	21人	27.3%	3人	42.9%	61人	25.3%
無回答	38人	3.5%	5人	6.5%	0人	0.0%	10人	4.1%

	家事一般					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	51人	8.5%	2人	3.1%	312人	15.0%
いくらか困難	188人	31.5%	13人	20.0%	660人	31.8%
非常に困難	336人	56.3%	50人	76.9%	1,027人	49.5%
無回答	22人	3.7%	0人	0.0%	75人	3.6%

＜金銭管理＞

	金銭管理							
	精神科入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	210人	19.3%	35人	45.5%	1人	14.3%	111人	46.1%
いくらか困難	328人	30.2%	23人	29.9%	2人	28.6%	73人	30.3%
非常に困難	512人	47.1%	15人	19.5%	4人	57.1%	48人	19.9%
無回答	37人	3.4%	4人	5.2%	0人	0.0%	9人	3.7%

	金銭管理					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	70人	11.7%	1人	1.5%	428人	20.6%
いくらか困難	197人	33.0%	18人	27.7%	641人	30.9%
非常に困難	311人	52.1%	46人	70.8%	936人	45.1%
無回答	19人	3.2%	0人	0.0%	69人	3.3%

＜薬の管理＞

	薬の管理							
	精神科入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	167人	15.4%	24人	31.2%	0人	0.0%	90人	37.3%
いくらか困難	318人	29.3%	26人	33.8%	2人	28.6%	82人	34.0%
非常に困難	559人	51.4%	21人	27.3%	5人	71.4%	60人	24.9%
無回答	43人	4.0%	6人	7.8%	0人	0.0%	9人	3.7%

	薬の管理					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	58人	9.7%	1人	1.5%	340人	16.4%
いくらか困難	192人	32.2%	13人	20.0%	633人	30.5%
非常に困難	328人	54.9%	51人	78.5%	1,024人	49.4%
無回答	19人	3.2%	0人	0.0%	77人	3.7%

＜電話の利用＞

	電話の利用							
	精神科入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	425人	39.1%	55人	71.4%	2人	28.6%	157人	65.1%
いくらか困難	267人	24.6%	12人	15.6%	3人	42.9%	49人	20.3%
非常に困難	352人	32.4%	7人	9.1%	2人	28.6%	26人	10.8%
無回答	43人	4.0%	3人	3.9%	0人	0.0%	9人	3.7%

	電話の利用					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	198人	33.2%	15人	23.1%	852人	41.1%
いくらか困難	167人	28.0%	12人	18.5%	510人	24.6%
非常に困難	214人	35.8%	38人	58.5%	639人	30.8%
無回答	18人	3.0%	0人	0.0%	73人	3.5%

<買い物>

	買い物							
	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	275人	25.3%	40人	51.9%	1人	14.3%	124人	51.5%
いくらか困難	349人	32.1%	20人	26.0%	4人	57.1%	68人	28.2%
非常に困難	423人	38.9%	14人	18.2%	2人	28.6%	40人	16.6%
無回答	40人	3.7%	3人	3.9%	0人	0.0%	9人	3.7%

	買い物					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	128人	21.4%	7人	10.8%	575人	27.7%
いくらか困難	194人	32.5%	15人	23.1%	650人	31.3%
非常に困難	257人	43.0%	43人	66.2%	779人	37.6%
無回答	18人	3.0%	0人	0.0%	70人	3.4%

<交通手段の利用>

	交通手段の利用							
	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	228人	21.0%	36人	46.8%	1人	14.3%	115人	47.7%
いくらか困難	295人	27.1%	21人	27.3%	3人	42.9%	66人	27.4%
非常に困難	523人	48.1%	15人	19.5%	3人	42.9%	47人	19.5%
無回答	41人	3.8%	5人	6.5%	0人	0.0%	13人	5.4%

	交通手段の利用					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	79人	13.2%	8人	12.3%	467人	22.5%
いくらか困難	170人	28.5%	9人	13.8%	564人	27.2%
非常に困難	329人	55.1%	48人	73.8%	965人	46.5%
無回答	19人	3.2%	0人	0.0%	78人	3.8%

## ⑥ 患者の状態

患者の状態についてみると、全体（総計）ではいずれの項目においても「できる」が最も多く、次いで「できる時とできない時がある」であり、「できない」は最も少ない。現在入院中の病棟別にみても同様である。

図表 8-22 患者の状態

### <他者への意思伝達>

	他者への意思伝達							
	精神科病棟入院基本料、特定難病 入院入院基本料(N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
できる	476人	43.8%	55人	71.4%	1人	14.3%	151人	62.7%
できる時とできない 時がある	470人	43.2%	19人	24.7%	5人	71.4%	76人	31.5%
できない	113人	10.4%	3人	3.9%	1人	14.3%	8人	3.3%
無回答	28人	2.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	2.5%

	他者への意思伝達					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
できる	242人	40.5%	21人	32.3%	946人	45.6%
できる時とできない 時がある	280人	46.9%	33人	50.8%	883人	42.6%
できない	63人	10.6%	11人	16.9%	199人	9.6%
無回答	12人	2.0%	0人	0.0%	46人	2.2%

### <診療・療養上の指示が通じる>

	診療・療養上の指示が通じる							
	精神科病棟入院基本料、特定難病 入院入院基本料(N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
通じる	681人	62.6%	58人	75.3%	4人	57.1%	188人	78.0%
通じない	370人	34.0%	19人	24.7%	3人	42.9%	45人	18.7%
無回答	36人	3.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	8人	3.3%

	診療・療養上の指示が通じる					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
通じる	378人	63.3%	32人	49.2%	1,341人	64.7%
通じない	203人	34.0%	32人	49.2%	672人	32.4%
無回答	16人	2.7%	1人	1.5%	61人	2.9%

### <危険行動への対応（過去1ヵ月）>

	危険行動への対応（過去1ヶ月）							
	精神科病棟入院基本料、特定難病 入院入院基本料(N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
なし	815人	75.0%	57人	74.0%	3人	42.9%	168人	69.7%
あり	237人	21.8%	19人	24.7%	4人	57.1%	63人	26.1%
無回答	35人	3.2%	1人	1.3%	0人	0.0%	10人	4.1%

	危険行動への対応（過去1ヶ月）					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
なし	481人	80.6%	48人	73.8%	1,572人	75.8%
あり	97人	16.2%	14人	21.5%	434人	20.9%
無回答	19人	3.2%	3人	4.6%	68人	3.3%

主傷病が認知症である患者の状態についてみると、「他社への意思伝達」においては、全体（総計）では「できる時とできない時がある」が最も多く 45.2%、次いで「できない」の 24.7%であり、「できる」の 20.1%が最も少ない。また、現在入院中の病棟別にみると、「精神科救急入院料」で「できる」が 33.3%、「できる時とできない時がある」が 33.3%、「できない」が 33.3%と均一であり、「精神科急性期治療病棟入院料」においては「できない」が 18.8%と最も少ない。

「診療・療養上の指示が通じる」においては、全体では「通じない」が多く、次いで「通じない」である。また、現在入院中の病棟別にみても同様である

「危険行動への対応（過去1ヶ月）」においては、「なし」が多く、次いで「あり」であり、現在入院中の病棟別にみても同様である。

図表 8-23 主傷病<認知症> 患者の状態

<他者への意思伝達>

	他者への意思伝達							
	精神科病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
できる	23人	18.7%	2人	33.3%	0人	-	6人	37.5%
できる時とできない 時がある	55人	44.7%	2人	33.3%	0人	-	7人	43.8%
できない	45人	36.6%	2人	33.3%	0人	-	3人	18.8%
計	123人	100.0%	6人	100.0%	0人	-	16人	100.0%

	他者への意思伝達					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
できる	14人	20.6%	3人	11.5%	48人	20.1%
できる時とできない 時がある	29人	42.6%	15人	57.7%	108人	45.2%
できない	25人	36.8%	8人	30.8%	83人	34.7%
計	68人	100.0%	26人	100.0%	239人	100.0%

<診療・療養上の指示が通じる>

	診療・療養上の指示が通じる							
	精神科病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
通じる	26人	21.7%	2人	33.3%	0人	-	7人	43.8%
通じない	94人	78.3%	4人	66.7%	0人	-	9人	56.3%
計	120人	100.0%	6人	100.0%	0人	-	16人	100.0%

	診療・療養上の指示が通じる					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
通じる	21人	30.9%	3人	12.0%	59人	25.1%
通じない	47人	69.1%	22人	88.0%	176人	74.9%
計	68人	100.0%	25人	100.0%	235人	100.0%



＜危険行動への対応（過去1ヵ月）＞

	危険行動への対応（過去1ヶ月）							
	精神病棟入院基本料、 特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
なし	79人	66.4%	5人	83.3%	0人	-	12人	75.0%
あり	40人	33.6%	1人	16.7%	0人	-	4人	25.0%
計	119人	100.0%	6人	100.0%	0人	-	16人	100.0%

	危険行動への対応（過去1ヶ月）					
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
なし	48人	70.6%	17人	68.0%	161人	68.8%
あり	20人	29.4%	8人	32.0%	73人	31.2%
計	68人	100.0%	25人	100.0%	234人	100.0%

#### (4) 治療の状況

##### ① 主傷病に対して実施している診療内容

主傷病に対して実施している診療内容をみると、全体（総計）では「精神療法」が90.8%、次いで「薬物療法」が90.5%と多い。現在入院中の病棟別にみると、「精神科救急入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「その他」においては、「薬物療法」が最も多く、次いで「精神療法」が多いが、N数の大きい「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」、「精神療養病棟入院料」では「精神療法」の割合が大きい。

図表 8-24 主傷病に対して実施している診療内容

	精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料 (N=1,087)		精神科救急入院料 (N=77)		精神科救急・合併症入院料 (N=7)		精神科急性期治療病棟入院料 (N=241)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
薬物療法	969人	89.1%	74人	96.1%	5人	71.4%	225人	93.4%
抗精神病薬 単剤	430人	39.6%	51人	66.2%	3人	42.9%	108人	44.8%
抗精神病薬 多剤併用	463人	42.6%	18人	23.4%	2人	28.6%	102人	42.3%
→ 種数	3.27種		2.71種		-		2.85種	
精神療法	970人	89.2%	72人	93.5%	7人	100.0%	224人	92.9%
一般精神療法	912人	83.9%	63人	81.8%	7人	100.0%	213人	88.4%
認知療法	30人	2.8%	4人	5.2%	0人	0.0%	12人	5.0%
行動療法	41人	3.8%	9人	11.7%	0人	0.0%	12人	5.0%
精神分析療法	33人	3.0%	7人	9.1%	0人	0.0%	10人	4.1%
家族療法	11人	1.0%	6人	7.8%	0人	0.0%	7人	2.9%
箱庭療法・遊戯療法	1人	0.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	1.2%
その他	20人	1.8%	4人	5.2%	0人	0.0%	8人	3.3%
訪問看護との併用	17人	1.6%	9人	11.7%	0人	0.0%	10人	4.1%
自立支援事務所との併用	10人	0.9%	2人	2.6%	0人	0.0%	4人	1.7%
その他に利用している治療法や活動	162人	14.9%	10人	13.0%	2人	28.6%	35人	14.5%

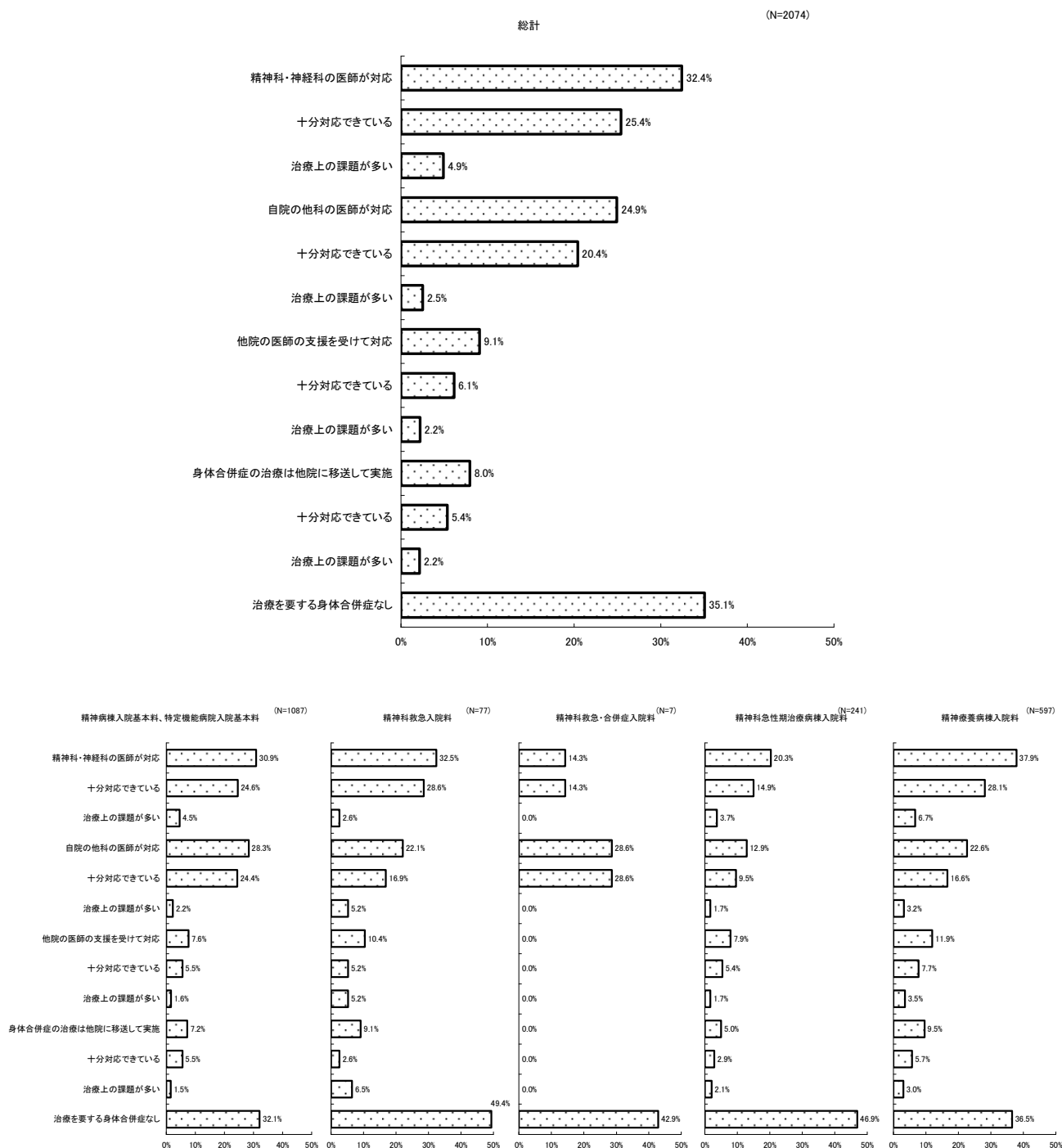
	精神療養病棟入院料 (N=597)		その他 (N=65)		総計 (N=2,074)	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
薬物療法	545人	91.3%	58人	89.2%	1,876人	90.5%
抗精神病薬 単剤	244人	40.9%	22人	33.8%	858人	41.4%
抗精神病薬 多剤併用	272人	45.6%	34人	52.3%	891人	43.0%
→ 種数	3.03種		3.06種		3.12種	
精神療法	554人	92.8%	57人	87.7%	1,884人	90.8%
一般精神療法	519人	86.9%	50人	76.9%	1,764人	85.1%
認知療法	8人	1.3%	0人	0.0%	54人	2.6%
行動療法	10人	1.7%	1人	1.5%	73人	3.5%
精神分析療法	20人	3.4%	1人	1.5%	71人	3.4%
家族療法	1人	0.2%	0人	0.0%	25人	1.2%
箱庭療法・遊戯療法	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	0.2%
その他	16人	2.7%	5人	7.7%	53人	2.6%
訪問看護との併用	2人	0.3%	0人	0.0%	38人	1.8%
自立支援事務所との併用	1人	0.2%	0人	0.0%	17人	0.8%
その他に利用している治療法や活動	119人	19.9%	11人	16.9%	339人	16.3%

## ② 身体合併症に対する対応状況

身体合併症に対する対応状況は、「治療を要する身体合併症なし」が35.1%と最も多く、次いで「精神科・神経科の医師が対応」が32.4%と多い。

また、現在入院中の病棟別に身体合併症に対する対応状況をみると、「精神療養病棟入院料」においては「精神科・神経科の医師が対応」が37.9%と高く、それ以外の病棟においては「治療を要する身体合併症なし」が高い。

図表 8-25 身体合併症に対する対応状況



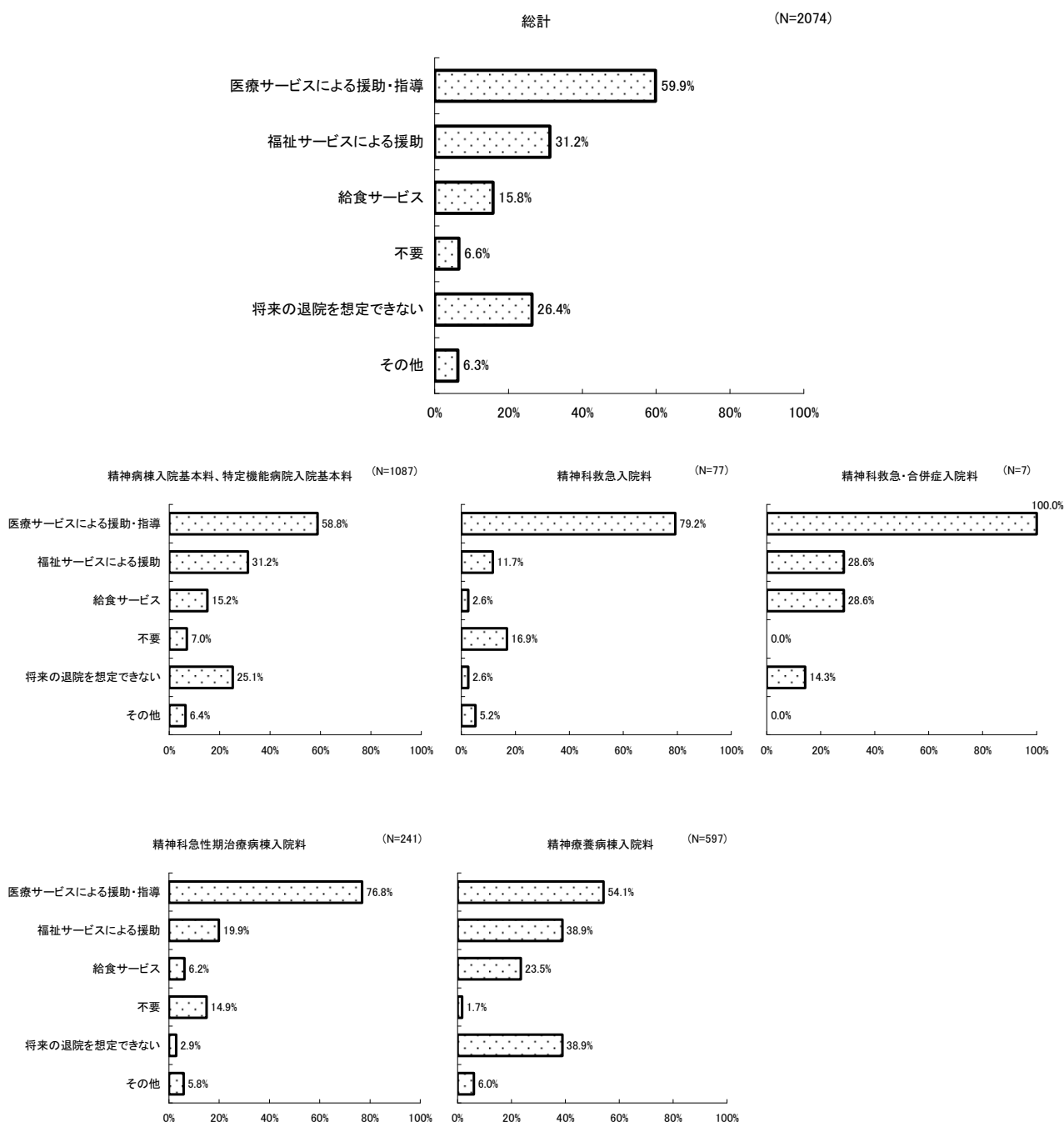
## (5) 患者の社会的状況

### ① 退院後に生活を継続するために必要な支援

患者の退院後に生活を継続するために必要な支援は、「医療サービスによる援助・指導」が59.9%と最も多く、次いで「福祉サービスによる援助」が31.2%と多い。

また、現在入院中の病棟別に退院後に生活を継続するために必要な支援をみると、いずれの病棟においても「医療サービスによる援助・指導」が多く、次いで「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」及び「精神療養病棟入院料」においては、「福祉サービスによる援助」が多く、「精神科救急入院料」においては「不要」が多い。

図表 8-26 退院後に生活を継続するために必要な支援



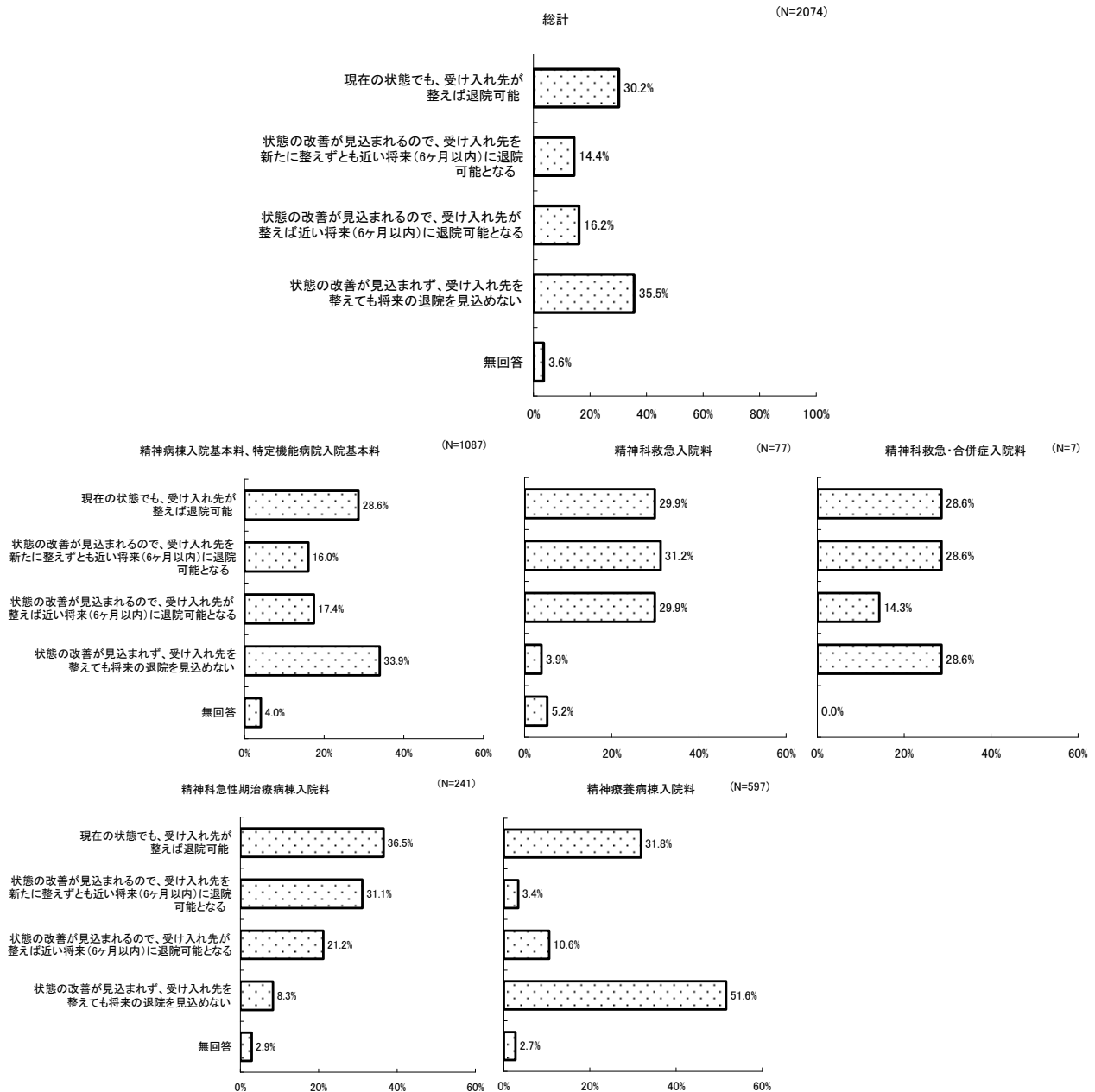
## (6) 退院の見通し

### ① 退院の見通し

患者の退院の見通しは、「状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない」が35.5%と最も多く、次いで「現在の状態でも、受け入れ先を整えば退院可能」が30.2%と多い。

また、現在入院中の病棟別に退院の見通しをみると、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」においては「状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない」が33.9%と多く、「精神科救急入院料」においては「状態の改善が見込まれるので、受け入れ先を新たに整えずとも近い将来(6ヶ月以内)に退院可能となる」が31.2%と多い。「精神科急性期治療病棟入院料」においては「現在の状態でも、受け入れ先を整えば退院可能」が36.5%と多く、「精神療養病棟入院料」においては「状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない」が51.6%と多い。

図表 8-27 退院の見通し

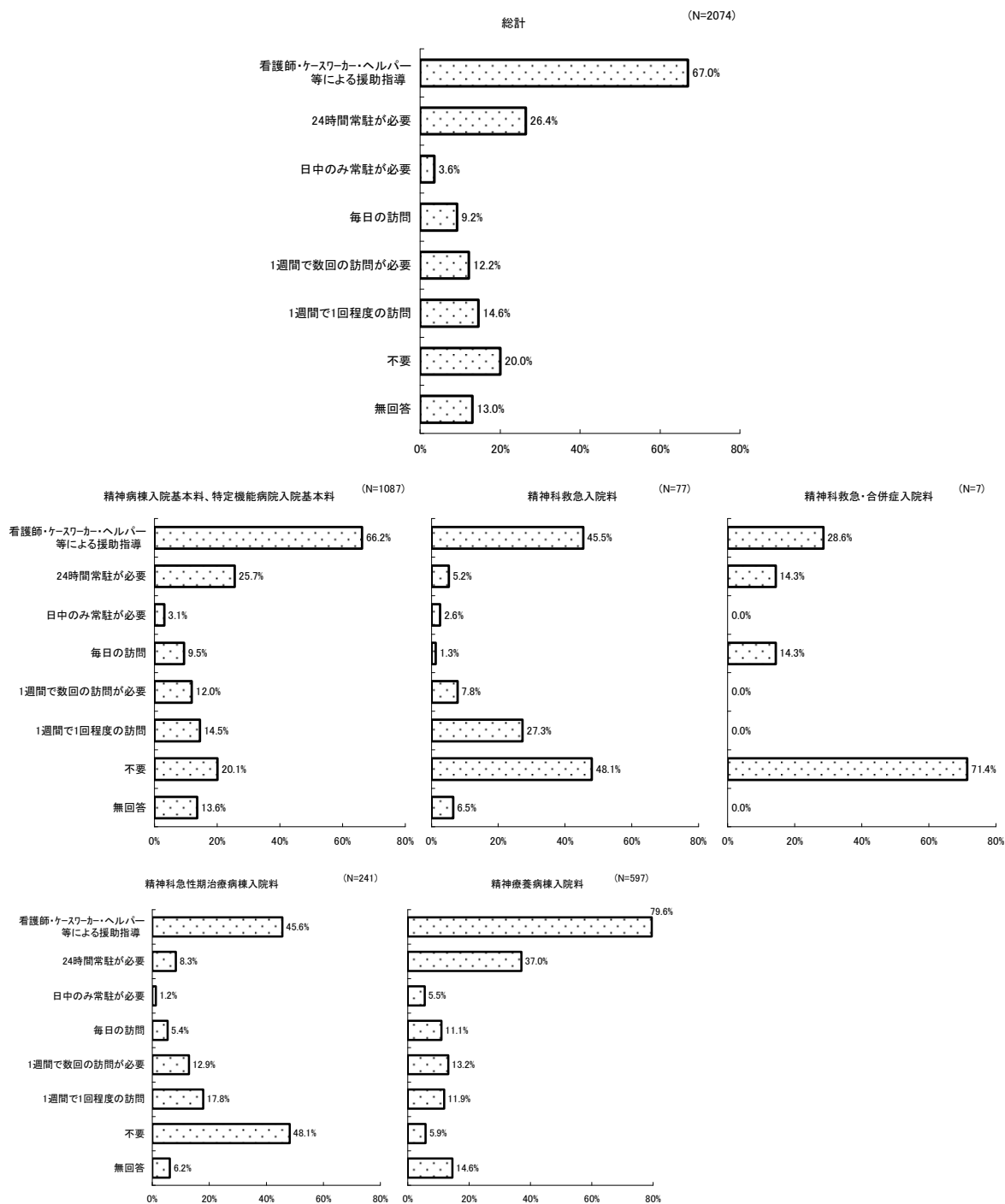


## ② 退院した場合の支援

退院した場合の支援は、「看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導」が67.0%と最も多く、次いで「24時間常駐が必要」が26.4%と多い。

また、現在入院中の病棟別に退院した場合の支援をみると、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」及び「精神療養病棟入院料」においては「看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導」が最も多く、「精神科救急入院料」及び「精神科救急・合併症入院料」及び「精神科急性期治療病棟入院料」においては「不要」が多い。

図表 8-28 退院した場合の支援

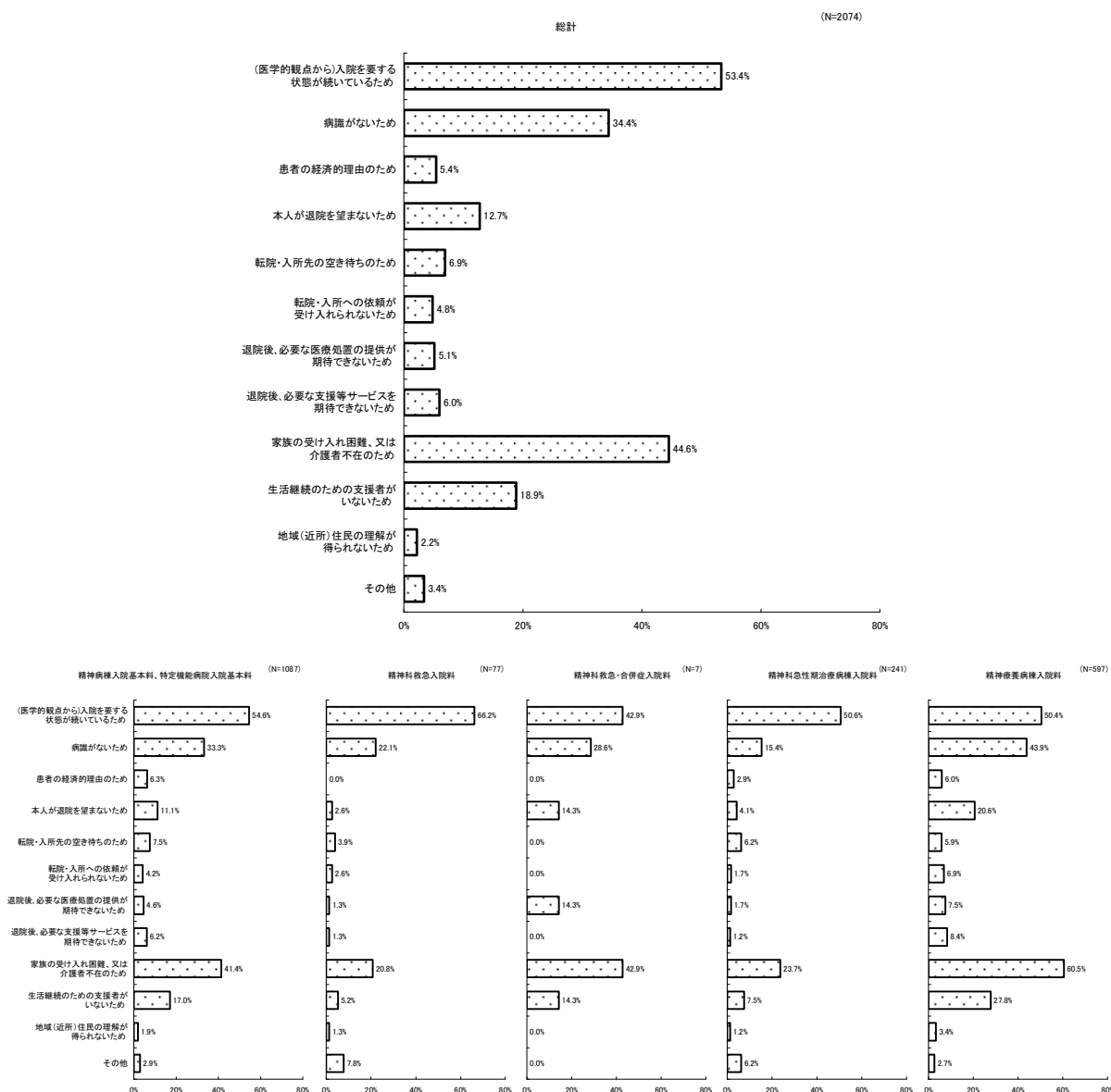


### ③ 現在退院できない場合の理由

現在退院できない場合の理由は、「(医学的観点から)入院を要する状態が続いているため」が53.4%と最も多く、次いで「家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため」が44.6%と多い。

また、現在入院中の病棟別に現在退院できない場合の理由をみると、「精神療養病棟入院料」においては「家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため」が60.5%と最も多く、「精神科救急・合併症入院料」以外の病棟においては「(医学的観点から)入院を要する状態が続いているため」が多い。

図表 8-29 現在退院できない場合の理由



## 9) デイ・ケア患者調査

### (1) デイ・ケア利用者の基本的事項

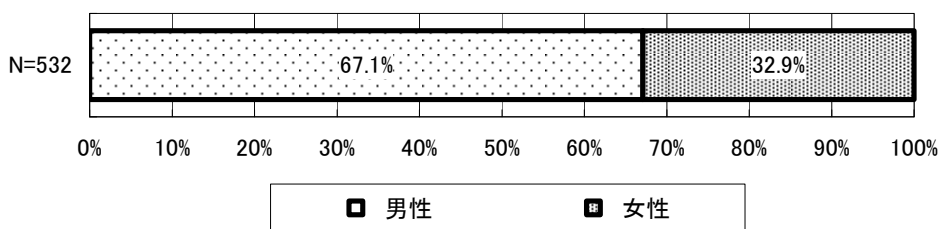
#### ① 性別・年齢・精神障害者福祉手帳

回答のあった患者の性別は、「男性」が 67.1%と多く、「女性」は 32.9%である。

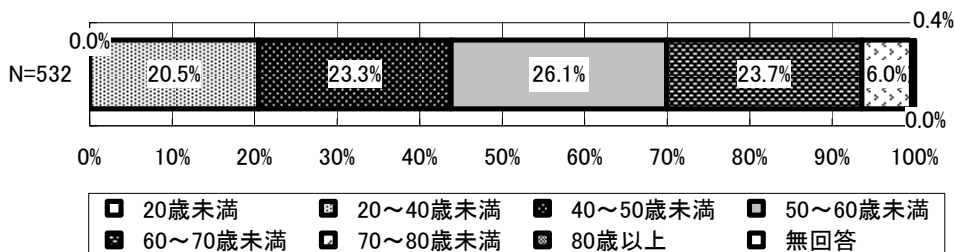
患者の年齢階級は、「50～60 歳未満」が 26.1%と最も多く、次いで「60～70 歳未満」が 23.7%と多い。

精神障害者福祉手帳の状況は、「2 級」が 55.3%と最も多く、次いで「手帳を持っていない」が 24.8%と多い。

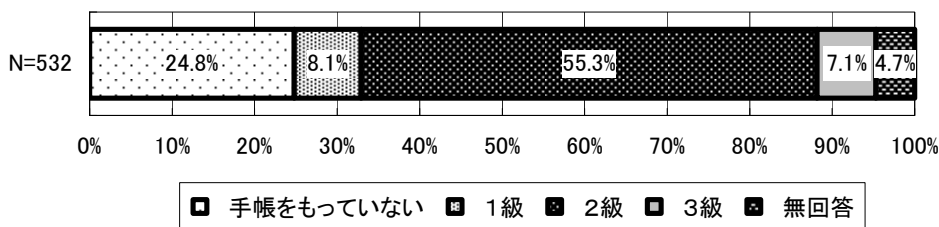
図表 9-1-1 性別



図表 9-1-2 年齢階級



図表 9-1-3 精神障害者福祉手帳



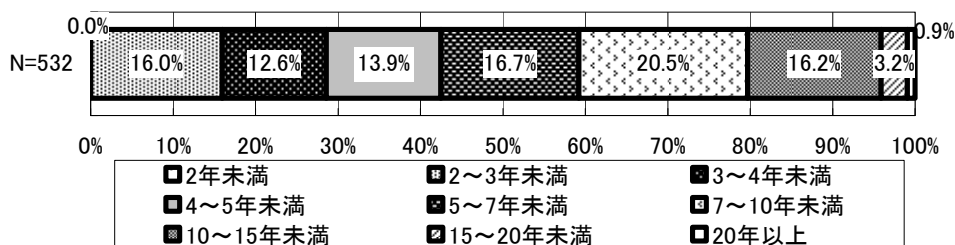


## (2) デイ・ケア利用開始後の状況

### ① デイ・ケア利用開始からの期間

回答のあった患者のデイ・ケア利用開始からの期間は、「7～10年未満」が20.5%と最も多く、次いで「5～7年未満」が16.7%と多い。

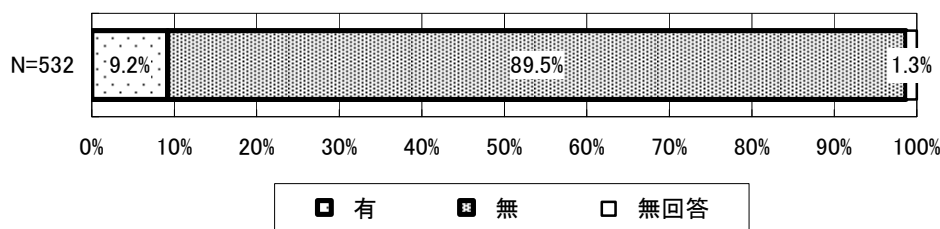
図表 9-2 デイ・ケア利用開始からの期間



### ② 入院中からのデイ・ケア利用の有無

回答のあった患者の入院中からのデイ・ケア利用の有無は、「無」が89.5%と多く、「有」は9.2%である。

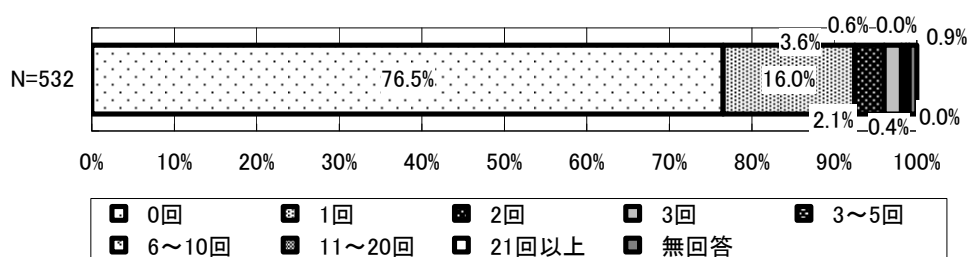
図表 9-3 入院中からのデイ・ケア利用の有無



### ③ 過去2年間における通算入院回数の状況

回答のあった患者の過去2年間における通算入院回数の状況は、「0回」が76.5%と最も多く、次いで「1回」が16.0%と多い。

図表 9-4 過去2年間における通算入院回数の状況



入院中からのデイ・ケア利用の有無別に過去2年間における通算入院回数状況を見ると、「入院中からのデイ・ケア利用有り」、「入院中からのデイ・ケア利用無し」のいずれにおいても、「0回」が59.2%、78.2%と最も多く、次いで「1回」が26.5%、15.1%と多い。

図表 9-5 入院中からのデイ・ケア利用の有無別 過去2年間における通算入院回数状況

	入院中からのデイ・ケア利用の有無			
	有		無	
	患者数	割合	患者数	割合
0回	29人	59.2%	372人	78.2%
1回	13人	26.5%	72人	15.1%
2回	2人	4.1%	17人	3.6%
3回	3人	6.1%	8人	1.7%
3~5回	0人	0.0%	3人	0.6%
6~10回	1人	2.0%	1人	0.2%
11~20回	0人	0.0%	0人	0.0%
21回以上	0人	0.0%	0人	0.0%
無回答	1人	2.0%	3人	0.6%
N数	49人	100.0%	476人	100.0%

④ 過去2年間における入院期間状況

過去2年間における再入退院別に入院期間状況を見ると、いずれの場合も、「3ヶ月未満」が多い。

図表 9-6 過去2年間における入院期間状況

	入院1		入院2		入院3		入院4		入院5	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
<入院期間ランク>	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%
3ヶ月未満	96人	18.0%	33人	6.2%	12人	2.3%	4人	0.8%	4人	0.8%
3~6ヶ月未満	17人	3.2%	1人	0.2%	4人	0.8%	1人	0.2%	-	-
6~12ヶ月未満	6人	1.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	4人	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	1人	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	1人	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-

	入院6		入院7		入院8		入院9		入院10	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
<入院期間ランク>	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%	532人	100.0%
3ヶ月未満	2人	0.4%	2人	0.4%	3人	0.6%	-	-	-	-
3~6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	1人	0.2%	-	-
6~12ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

また、入院中からのデイ・ケア利用の有無別にみても、その傾向は同様である。

図表 9-7 入院中からのデイ・ケア利用有り 過去2年間における入院期間の状況

	入院1		入院2		入院3		入院4		入院5	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
3ヶ月未満	16人	32.7%	6人	12.2%	2人	4.1%	1人	2.0%	1人	2.0%
3~6ヶ月未満	3人	6.1%	0人	0.0%	1人	2.0%	0人	0.0%	-	-
6~12ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-

	入院6		入院7		入院8		入院9		入院10	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
3ヶ月未満	1人	2.0%	1人	2.0%	1人	2.0%	-	-	-	-
3~6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	1人	2.0%	-	-
6~12ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 9-8 入院中からのデイ・ケア利用無し 過去2年間における入院期間の状況

	入院1		入院2		入院3		入院4		入院5	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
3ヶ月未満	80人	16.8%	27人	5.7%	10人	2.1%	3人	0.6%	3人	0.6%
3~6ヶ月未満	14人	2.9%	1人	0.2%	3人	0.6%	1人	0.2%	-	-
6~12ヶ月未満	6人	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	4人	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	0人	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	1人	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	1人	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-

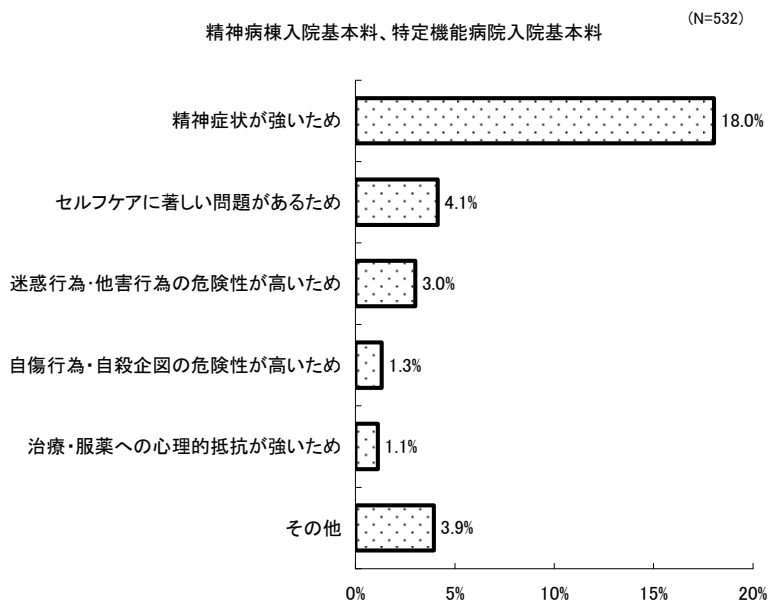
  

	入院6		入院7		入院8		入院9		入院10	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
3ヶ月未満	1人	0.2%	1人	0.2%	2人	0.4%	-	-	-	-
3~6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	0人	0.0%	-	-
6~12ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36ヶ月以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### ⑤ 過去2年間における再入院の理由

回答のあった患者の過去2年間における再入院の理由は、「精神症状が強いため」が18.0%と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が4.1%と多い。

図表 9-9 過去2年間における再入院の理由

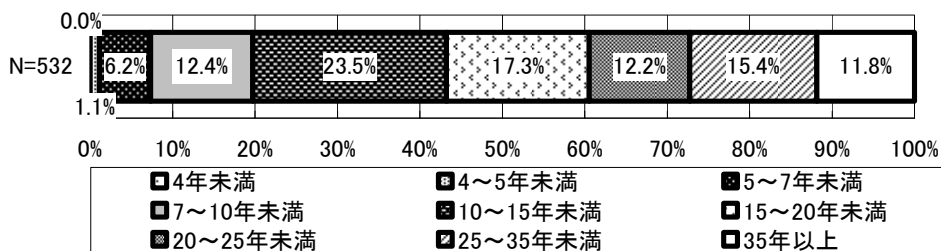


### (3) デイ・ケア利用開始前の状況

#### ① 通院開始からの期間

患者の通院開始からの期間は、「10～15年未満」が23.5%と最も多く、次いで「15～20年未満」が17.3%と多い。

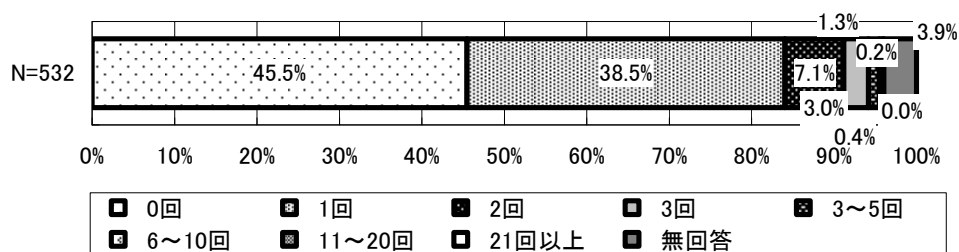
図表 9-10 通院開始からの期間



## ② デイ・ケア利用開始前 2 年間における通算入院回数の状況

患者のデイ・ケア利用開始前 2 年間における通算入院回数の状況は、「0 回」が 45.5%と最も多く、次いで「1 回」が 38.5%と多い。

図表 9-11 デイ・ケア利用開始前 2 年間における通算入院回数の状況



## ③ デイ・ケア利用開始前 2 年間における入院期間の状況

デイ・ケア利用開始前 2 年間における再入退院別に入院期間の状況を見ると、いずれの場合も「3 ヶ月未満」が多い。

図表 9-12 デイ・ケア利用開始前 2 年間における入院期間の状況

	入院 1		入院 2		入院 3		入院 4		入院 5	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
<入院期間ランク>	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%
3 ヶ月未満	93 人	17.5%	35 人	6.6%	12 人	2.3%	8 人	1.5%	5 人	0.9%
3~6 ヶ月未満	44 人	8.3%	17 人	3.2%	6 人	1.1%	2 人	0.4%	1 人	0.2%
6~12 ヶ月未満	28 人	5.3%	12 人	2.3%	5 人	0.9%	-	-	-	-
12~18 ヶ月未満	19 人	3.6%	5 人	0.9%	1 人	0.2%	-	-	-	-
18~24 ヶ月未満	12 人	2.3%	2 人	0.4%	-	-	-	-	-	-
24~36 ヶ月未満	16 人	3.0%	-	-	-	-	1 人	0.2%	-	-
36 ヶ月以上	43 人	8.1%	1 人	0.2%	1 人	0.2%	-	-	-	-

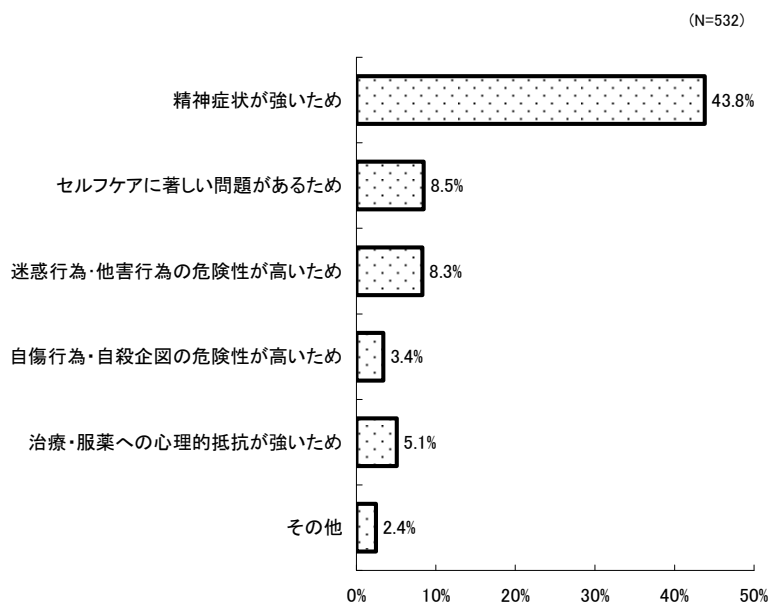
  

	入院 6		入院 7		入院 8		入院 9		入院 10	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
<入院期間ランク>	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%	532 人	100.0%
3 ヶ月未満	3 人	0.6%	2 人	0.4%	-	-	1 人	0.2%	-	-
3~6 ヶ月未満	1 人	0.2%	1 人	0.2%	1 人	0.2%	-	-	1 人	0.2%
6~12 ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12~18 ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18~24 ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24~36 ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 ヶ月以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### ④ デイ・ケア利用開始前 2 年間における再入院の理由

デイ・ケア利用開始前 2 年間における再入院の理由は、「精神症状が強いため」が 43.8% と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が 8.5% と多い。

図表 9-13 デイ・ケア利用開始前 2 年間における再入院の理由

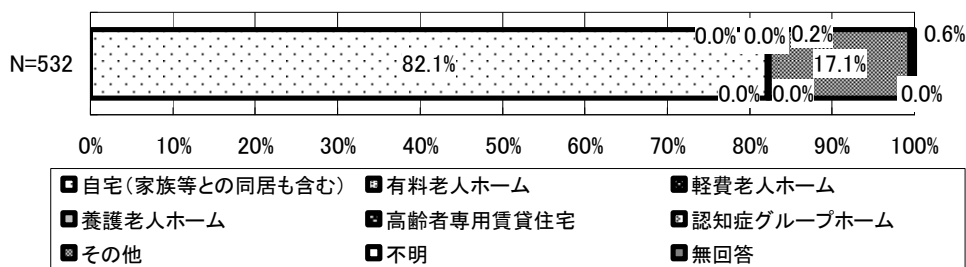


#### (4) デイ・ケア利用者の状況

##### ① 現在の居場所

患者の現在の居場所は、「自宅」が 82.1%と最も多く、次いで「その他」が 17.1%と多い。

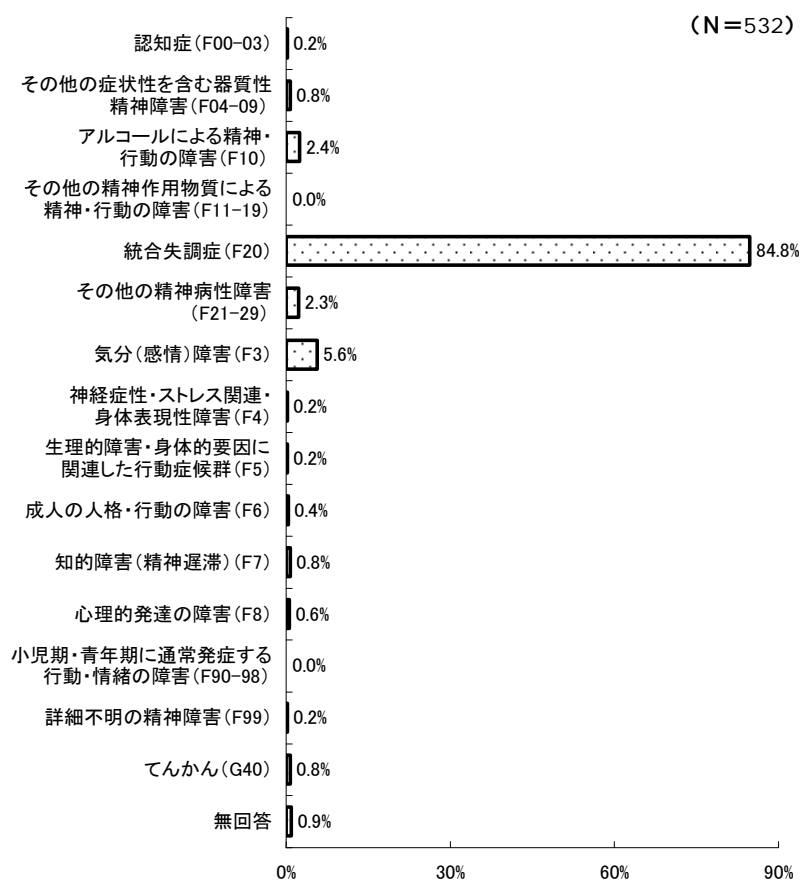
図表 9-14 現在の居場所



##### ② 主傷病

回答のあった患者の主傷病は、「統合失調症」が 84.8%と飛び抜けて多く、次いで「気分[感情]障害」が 5.6%である。

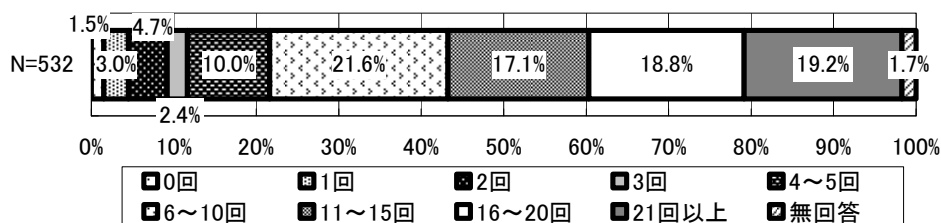
図表 9-15 主傷病



### ③ デイ・ケア利用回数

回答のあった患者のデイ・ケア利用回数は、「6～10回」が21.6%と最も多く、次いで「21回以上」が19.2%と多い。

図表 9-16 デイ・ケア利用回数



### ④ GAFスコア

GAFスコアをみると、曜日（土曜、日曜）によるN数の変動のため、変化はみられるが、概ね58点前後である。

図表 9-17 GAFスコア

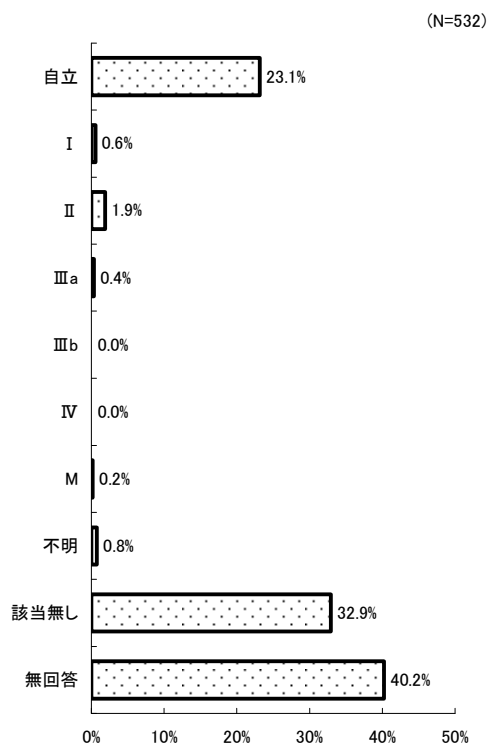
<平均>	点数	n数
6月24日(金)	58.05点	226
6月25日(土)	53.11点	155
6月26日(日)	51.61点	134
6月27日(月)	59.31点	210
6月28日(火)	58.88点	220
6月29日(水)	59.33点	220
6月30日(木)	58.78点	216



### ⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度

回答のあった患者の認知症高齢者の日常生活自立度は、無回答を除くと、「該当無し」が32.9%と最も多く、次いで「自立」が23.1%と多い。

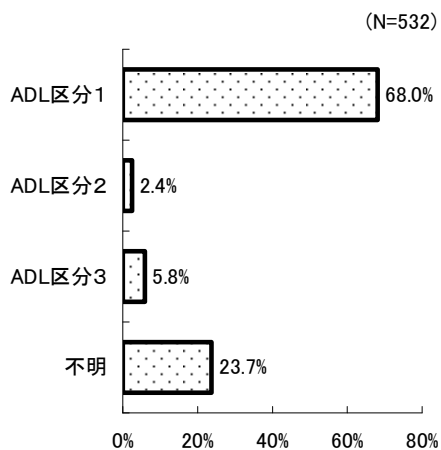
図表 9-18 認知症高齢者の日常生活自立度



### ⑥ ADL区分

患者のADL区分は、「ADL区分1」が68.0%と最も多く、次いで「不明」が23.7%と多い。

図表 9-19 ADL区分



## ⑦ IADLの困難度

IADLの困難度をみると、いずれにおいても「問題ない」が最も多く、次いで「いくらか困難」であり、「非常に困難」は最も少なく、「電話の利用」においてみると、「問題ない」が75.9%と、他のIADLの困難度と比較して最も割合が多い。

図表 9-20 IADLの困難度

	食事の用意		家事一般		金銭管理		薬の管理	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	246人	46.2%	225人	42.3%	277人	52.1%	337人	63.3%
いくらか困難	189人	35.5%	222人	41.7%	172人	32.3%	135人	25.4%
非常に困難	60人	11.3%	48人	9.0%	46人	8.6%	21人	3.9%
無回答	37人	7.0%	37人	7.0%	37人	7.0%	39人	7.3%

	電話の利用		買い物		交通手段の利用	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	404人	75.9%	366人	68.8%	354人	66.5%
いくらか困難	81人	15.2%	113人	21.2%	122人	22.9%
非常に困難	9人	1.7%	15人	2.8%	17人	3.2%
無回答	38人	7.1%	38人	7.1%	39人	7.3%

## ⑧ 主傷病に対して実施している診療内容

主傷病に対して実施している診療内容をみると、「薬物療法」が95.9%と最も多く、次いで「精神療法」が87.2%と多く、内訳をみると、「薬物療法」では「抗精神病薬の多剤併用」が50.8%、「精神療法」では「一般精神療法」が83.6%と最も多い。

図表 9-21 主傷病に対して実施している診療内容

	患者数等	割合
薬物療法	510人	95.9%
抗精神病薬 単剤	219人	41.2%
抗精神病薬 多剤併用	270人	50.8%
→ 種数	3.26種	
精神療法	464人	87.2%
一般精神療法	445人	83.6%
認知療法	15人	2.8%
行動療法	21人	3.9%
精神分析療法	6人	1.1%
家族療法	3人	0.6%
箱庭療法・遊戯療法	3人	0.6%
その他	13人	2.4%
訪問看護との併用	159人	29.9%
自立支援事務所との併用	49人	9.2%
その他に利用している治療法や活動	43	8.1%

診療内容が訪問看護との併用におけるADL区分をみると、「ADL区分1」が70.4%と最も多く、次いで「不明」、「無回答」を除くと、「ADL区分2」が2.5%である。

図表 9-22 診療内容<訪問看護との併用>におけるADL区分

	訪問看護との併用	
	患者数	割合
ADL区分1	112人	70.4%
ADL区分2	4人	2.5%
ADL区分3	0人	0.0%
不明	10人	6.3%
無回答	33人	20.8%

診療内容が訪問看護との併用におけるIADLの困難度をみると、「家事一般」を除いては、全て「問題ない」が最も多く、次いで「いくらか困難」であり、「非常に困難」が最も少ないが、「家事一般」においてのみ「いくらか困難」が最も多く、次いで「問題ない」であり、「非常に困難」が最も少ない。

図表 9-23 診療内容<訪問看護との併用>におけるIADLの困難度

	食事の用意		家事一般		金銭管理		薬の管理	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	66人	41.5%	62人	39.0%	78人	49.1%	88人	55.3%
いくらか困難	54人	34.0%	68人	42.8%	52人	32.7%	52人	32.7%
非常に困難	27人	17.0%	17人	10.7%	17人	10.7%	7人	4.4%
無回答	12人	7.5%	12人	7.5%	12人	7.5%	12人	7.5%

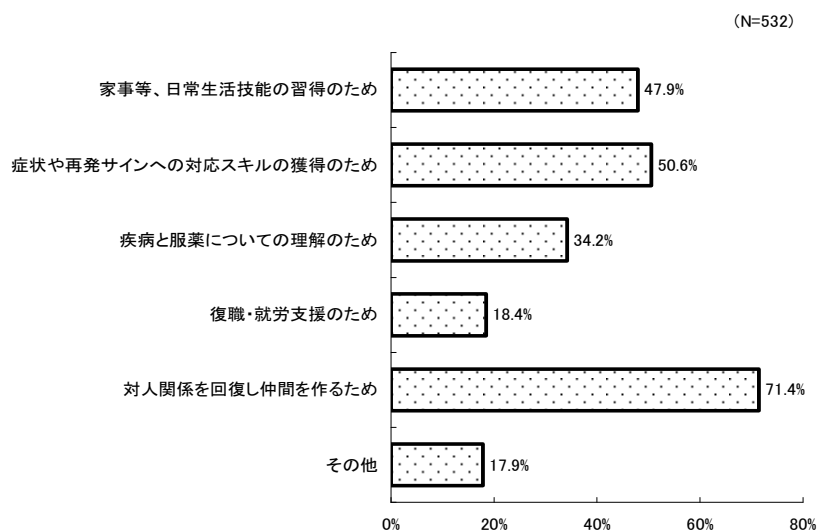
	電話の利用		買い物		交通手段の利用	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
問題ない	115人	72.3%	104人	65.4%	95人	59.7%
いくらか困難	27人	17.0%	37人	23.3%	46人	28.9%
非常に困難	4人	2.5%	5人	3.1%	5人	3.1%
無回答	13人	8.2%	13人	8.2%	13人	8.2%

## (5) プログラム利用の現況

### ① デイ・ケア利用開始の目的

患者のデイ・ケア利用開始の目的は、「対人関係を回復し仲間を作るため」が 71.4%と最も多く、次いで「症状や再発サインへの対応スキルの獲得のため」が 50.6%と多い。

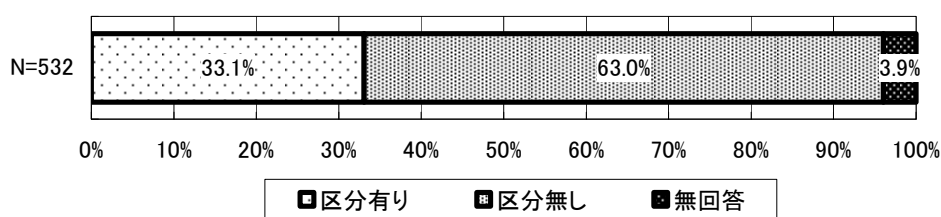
図表 9-24 デイ・ケア利用開始の目的



### ② 疾患別等のプログラム区分の有無

疾患別等のプログラム区分の有無は、「区分無し」が 63.0%と多く、「区分有り」が 33.1%である。

図表 9-25 疾患別等のプログラム区分の有無



統合失調症患者を対象とするプログラム利用の過去 2 年間における通算入院回数をみると、N 数に留意する必要があるが、「利用有り」が 0.33 回と多く、「利用無し」の 0.16 回と比較して約 2 倍の入院を繰り返している。

図表 9-26 統合失調症患者を対象とするプログラム利用 過去 2 年間における通算入院回数

<平均値>	利用プログラム：統合失調症患者を対象とするプログラム			
	利用有り	N 数	利用無し	N 数
過去 2 年間における通算入院回数	0.33 回	70	0.16 回	377

統合失調症患者を対象とするプログラム利用の過去2年間における再入退院期間(入院1)をみると、N数に留意する必要があるが、「利用有り」が2.41ヶ月と長く、「利用無し」の2.06ヶ月と比較して若干入院期間が長い。

図表 9-27 統合失調症患者を対象とするプログラム利用 過去2年間における再入退院期間(入院1)

<平均値>	利用プログラム：統合失調症患者を対象とするプログラム			
	利用有り	N数	利用無し	N数
過去2年間における再入退院期間(入院1)	2.41ヶ月	24	2.06ヶ月	74

統合失調症患者を対象とするプログラム利用のデイ・ケアで利用回数をみると、N数に留意する必要があるが、「利用有り」が12.63回、「利用無し」は12.41回であり、「利用有り」の場合が若干デイ・ケア利用回数は多い。

図表 9-28 統合失調症患者を対象とするプログラム利用 デイ・ケア利用回数

<平均値>	利用プログラム：統合失調症患者を対象とするプログラム			
	利用有り	N数	利用無し	N数
デイ・ケア利用回数	12.63回	70	12.41回	373

疾患別等の利用プログラム別のデイ・ケア利用回数をみると、疾患別プログラムの「統合失調症患者を対象とするプログラム」や年代別プログラム、「慢性期の患者を対象とするプログラム」、目的別プログラムなどは、デイ・ケア利用回数が12～15回程あり、多いことがわかる。

図表 9-29 疾患別等の利用プログラム別 デイ・ケア利用回数

<平均値>	デイ・ケア 利用回数	N 数
<b>&lt;疾患別&gt;</b>		
統合失調症患者を対象とするプログラム	12.64 回	75
うつ患者を対象とするプログラム	11.20 回	7
アルコール依存症を対象とするプログラム	68.5 回	2
双極性障害を対象とするプログラム	-	1
不安障害患者を対象とするプログラム	9.28 回	8
発達障害患者を対象とするプログラム	-	1
強迫性障害患者を対象とするプログラム	-	0
摂食障害患者を対象とするプログラム	-	0
薬物依存患者を対象とするプログラム	-	0
その他の特定患者を対象とするプログラム	8.63 回	7
<b>&lt;年代別&gt;</b>		
高齢者を対象とするプログラム	15.09 回	25
青年期の患者を対象とするプログラム	12.45 回	23
思春期の患者を対象とするプログラム	16.11 回	5
児童期の患者を対象とするプログラム	-	0
その他対象とする年代を区切ったプログラム	7.67 回	3
<b>&lt;病期別&gt;</b>		
慢性期（残遺状態）の患者を対象とするプログラム	13.18 回	61
急性期退院直後の患者を対象とするプログラム	-	1
その他病期を区切ったプログラム	12.28 回	10
<b>&lt;目的別&gt;</b>		
家事等、日常生活技能の習得のためのプログラム	14.23 回	113
症状や再発サインへの対処スキルの獲得のためのプログラム	13.25 回	84
疾病と服薬についての理解のためのプログラム	12.87 回	74
復職・就労支援のためのプログラム	13.32 回	50
対人関係を回復し仲間を作るためのプログラム	13.37 回	148
その他の特定の目的のためのプログラム	14.15 回	58

年齢別に疾患別等のプログラム区分の有無別の過去 2 年間における通算入院回数をみると、「65 歳未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」の場合に 0.25 回、「65 歳以上」においては「疾患別等のプログラム区分無」の場合に 0.25 回と多い。また、「疾患別等のプログラム区分有」においては、「65 歳未満」は「65 歳以上」と比較して、過去 2 年間における通算入院回数が約 2 倍である。

図表 9-30 年齢別 疾患別等のプログラム区分の有無別 過去 2 年間における通算入院回数

<平均値>	65 歳未満		65 歳以上	
	疾患別等の プログラム区分有	疾患別等の プログラム区分無	疾患別等の プログラム区分有	疾患別等の プログラム区分無
過去 2 年間における通算入院回数	0.25 回 N=150	0.22 回 N=278	0.13 回 N=24	0.25 回 N=52

年齢別に疾患別等プログラム区分の有無別の過去2年間における再入退院期間（入院1）をみると、N数に留意する必要があるが、「65歳未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」の場合に2.60ヶ月、「65歳以上」においては「疾患別等のプログラム区分無」の場合に2.13ヶ月と長い。

図表 9-31 年齢別 疾患別等のプログラム区分の有無別 過去2年間における再入退院期間（入院1）

<平均値>	65歳未満				65歳以上			
	疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無		疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無	
過去2年間における再入退院期間（入院1）	2.60ヶ月	N=40	1.93ヶ月	N=65	1.83ヶ月	N=4	2.13ヶ月	N=14

年齢別に疾患別等のプログラム区分の有無別のデイ・ケア利用回数をみると、N数に留意する必要があるが、「65歳未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」の場合に12.01回、「65歳以上」においても16.38回と多く、年齢により疾患別等のプログラム区分の有無別でも差はないが、「65歳以上」の方がデイ・ケア利用回数は多い。

図表 9-32 年齢別 疾患別等のプログラム区分の有無別 デイ・ケア利用回数

<平均値>	65歳未満				65歳以上			
	疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無		疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無	
デイ・ケア利用回数	12.01回	N=150	11.88回	N=276	16.38回	N=24	16.09回	N=51

精神科デイ・ケアの利用患者数別に疾患別等のプログラム区分の有無別の過去2年間における通算入院回数をみると、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」で0.35回、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」においては「疾患別等のプログラム区分無」で0.25回と多い。また、「疾患別等のプログラム区分有」の過去2年間における通算入院回数は、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」は「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」と比較して約2倍多い。

図表 9-33 精神科デイ・ケアの利用患者数別 疾患別等のプログラム区分の有無別 過去2年間における通算入院回数

<平均値>	精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満 (平成23年6月)				精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上 (平成23年6月)			
	疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無		疾患別等のプログラム区分有		疾患別等のプログラム区分無	
過去2年間における通算入院回数	0.35回	N=46	0.19回	N=167	0.18回	N=120	0.25回	N=155

精神科デイ・ケアの利用患者数別に疾患別等のプログラム区分の有無別の過去2年間における再入退院期間（入院1）をみると、N数に留意する必要があるが、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」が2.13ヶ月、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」においても2.77ヶ月と長い。

図表 9-34 精神科デイ・ケアの利用患者数別 疾患別等のプログラム区分の有無別  
過去2年間における再入退院期間（入院1）

<平均値>	精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満 (平成23年6月)				精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上 (平成23年6月)			
	疾患別等の プログラム区分有		疾患別等の プログラム区分無		疾患別等の プログラム区分有		疾患別等の プログラム区分無	
過去2年間における再入退院期間 (入院1)	2.13ヶ月	N=14	2.05ヶ月	N=36	2.77ヶ月	N=27	1.88ヶ月	N=40

同様に、デイ・ケア利用回数をみると、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」においては「疾患別等のプログラム区分無」で12.22回と若干多いが、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」においては「疾患別等のプログラム区分の無」で12.96回、「疾患別等のプログラム区分の有」で12.97回と、それほど差はない。

図表 9-35 精神科デイ・ケアの利用患者数別 疾患別等のプログラム区分の有無別 デイ・ケア利用回数

<平均値>	精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満 (平成23年6月)				精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上 (平成23年6月)			
	疾患別等の プログラム区分有		疾患別等の プログラム区分無		疾患別等の プログラム区分有		疾患別等の プログラム区分無	
デイ・ケア利用回数	11.20回	N=45	12.22回	N=164	12.97回	N=121	12.96回	N=155

精神科デイ・ケアの利用患者数別に疾患別等のプログラム区分の有無別の過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数をみると、N数に留意する必要があるが、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」が5.32人、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」においても14.38人と多い。また、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上」においては疾患別等のプログラム区分の有無に関わらず、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満」と比較して過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数が3倍近く多い。

図表 9-36 精神科デイ・ケアの利用患者数別 疾患別等のプログラム区分の有無別  
過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数

<平均値>	精神科デイ・ケアの利用患者数：50人未満 (平成23年6月)				精神科デイ・ケアの利用患者数：50人以上 (平成23年6月)			
	疾患別や年代別等の 個別のプログラム有		疾患別や年代別等の 個別のプログラム無		疾患別や年代別等の 個別のプログラム有		疾患別や年代別等の 個別のプログラム無	
過去1年間に利用が中断し関わりが 途切れた患者数	5.32人	N=33	3.20人	N=57	14.38人	N=64	8.69人	N=32



疾患別等のプログラム区分の有無別の GAF スコア点数別分布をみると、N 数に留意する必要があるが、「疾患別等のプログラム区分有」においては「21～30 点」や「41～50 点」が多く、「疾患別等のプログラム区分無」においては「1～10 点」や「81～90 点」が多い。

図表 9-37 疾患別等のプログラム区分の有無別 GAF スコア点数①

<平均値>	疾患別等のプログラム区分			
	有		無	
91～100点	-	N=0	-	N=1
81～90点	-	N=1	0.81人	N=8
71～80点	0.17人	N=5	0.29人	N=29
61～70点	0.15人	N=16	0.14人	N=35
51～60点	0.21人	N=21	0.16人	N=36
41～50点	0.56人	N=10	0.41人	N=15
31～40点	0.19人	N=11	0.19人	N=9
21～30点	0.67人	N=3	0.00人	N=3
11～20点	-	N=0	-	N=0
1～10点	-	N=0	1.00人	N=3
0点	-	N=1	0.61人	N=5

疾患別等のプログラム区分の有無別の GAF スコア点数ランク別にみると、N 数に留意する必要があるが、点数のどのランクにおいても、「疾患別等のプログラム区分無」の場合に多いことが分かる。例えば、GAF80 点以下では、プログラム区分有の場合に 0.19 人、プログラム無の場合に 0.23 人である。

図表 9-38 疾患別等のプログラム区分の有無別 GAF スコア点数②

<平均値>	疾患別等のプログラム区分			
	有		無	
100点以下	0.19人	N=68	0.27人	N=144
90点以下	0.19人	N=68	0.25人	N=143
80点以下	0.19人	N=67	0.23人	N=135
70点以下	0.20人	N=62	0.22人	N=106
60点以下	0.23人	N=46	0.26人	N=71
50点以下	0.24人	N=25	0.37人	N=35
40点以下	0.26人	N=15	0.33人	N=20
30点以下	0.50人	N=4	0.49人	N=11
20点以下	-	N=1	0.72人	N=8
10点以下	-	N=1	0.72人	N=8

主傷病が統合失調症である患者の統合失調症患者を対象とするプログラム利用の有無別に GAF スコア点数をみると、プログラム利用がある場合の方が、いずれの GAF ランクにおいても人数が多い。

図表 9-39 主傷病が統合失調症 統合失調症患者を対象とするプログラム利用 GAF スコア点数

<平均値>	主傷病：統合失調症 統合失調症患者を対象 とするプログラム利用		その他	
	人数	N	人数	N
100点以下	0.33人	N=20	0.24人	N=195
90点以下	0.33人	N=20	0.23人	N=194
80点以下	0.33人	N=20	0.21人	N=185
70点以下	0.34人	N=17	0.20人	N=154
60点以下	0.37人	N=13	0.23人	N=107
50点以下	0.50人	N=6	0.31人	N=55
40点以下	0.50人	N=4	0.28人	N=31
30点以下	-	N=1	0.44人	N=14
20点以下	-	N=0	0.63人	N=9
10点以下	-	N=0	0.63人	N=9

## 6. まとめ

本調査より明らかになった点は以下の通りである。

### 1) 施設調査

#### (1) 医療機関の概況

- ・回答のあった医療機関の設置主体は、「医療法人」が 64.6%で最も多く、次いで「公立」が 12.7%、「その他法人」が 10.0%であり、平成 22 年医療施設調査における構成比と概ね同傾向である【図表 2-1】。
- ・回答のあった医療機関の承認等の状況は、「病院群輪番制病院」が 34.5%と最も多く、次いで「DPC 対象病院」が 19.2%、「災害拠点病院」が 15.0%である【図表 2-2】。
- ・回答のあった医療機関の精神科医療に関する指定等の状況は、「指定病院」が 62.5%と最も多く、次いで「精神科救急医療体制整備事業への参加」が 55.8%、「応急入院指定病院」が 31.9%であり、「特定病院」は 14.1%と少ないが、平成 20 年精神保健福祉資料における病院数比率と概ね同傾向である【図表 2-4】。
- ・回答のあった医療機関の単科精神科病院の割合は、「単科精神科病院」が 50.0%と多く、「単科精神科病院以外」が 48.8%であり、平成 20 年精神保健福祉資料における病院数と比較すると、「単科精神科病院」が少くなっている【図表 2-6】。

#### (2) 許可病床数など

- ・回答のあった医療機関の許可病床数・病床利用率・平均在院日数は、精神病床としてみると、平成 21 年 6 月では病床利用率が 89.6%、平均在院日数が 352.5 日であり、平成 23 年 6 月では 89.1%、353.2 日とほぼ変動はない。精神病床の内訳をみると、「精神科療養病棟入院料」における平均在院日数が長く、平成 21 年 6 月で 1242.1 日、平成 23 年 6 月で 1118.7 日であり、若干短くなっている【図表 2-8】。

#### (3) 精神科の従事職員数

- ・回答のあった医療機関の精神科病棟の従事している職員数は、「看護職員」が 59.45 人で最も多く、次いで「看護補助者」が 22.39 人である【図表 2-11】。

#### (4) 精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況

- ・回答のあった医療機関のうち、精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出を行っている医療機関は、「精神科病棟入院基本料」でみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「15 対 1」が 67.8%、63.7%と多く、「特定機能病院入院基本料(精神科病棟)」では、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「届出無し」が 59.3%、60.0%と多い。また、「精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料などの届出有の状況」をみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「精神療養病棟入院料」が 46.5%、48.4%と多い【図表 2-13】。

#### (5) 精神科病棟の患者について

- ・回答のあった医療機関の精神科病棟の入院形態別患者数は、「平成 21 年 6 月」が 157.20 人、「平成 23 年 6 月」が 155.16 人であり、内訳をみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「任意入院患者

数」が 87.06 人、81.24 人と最も多く、次いで「医療保護入院患者数」が 68.39 人、72.37 人が多い【図表 2-16】。

- ・主たる疾患別にみると、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 92.21 人、89.13 人と最も多く、次いで「症状性を含む器質性精神障害」が 28.48 人、30.07 人が多い【図表 2-19】。
- ・年齢階級別入院患者数は、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「40 歳以上 65 歳未満」が 41.8%、41.1%と最も多く、次いで「75 歳以上」が 23.6%、25.7%と多く、それとほぼ同列に「65 歳以上 75 歳未満」が多い【図表 2-21】。
- ・在院期間別入院患者数（割合）は、平成 21 年 6 月も平成 23 年 6 月も「5 年以上」が 34.8%、33.9%と最も多く、次いで「1 年以上 5 年未満」が 25.5%、25.4%と多い【図表 2-23】。
- ・精神科の外来患者延べ数をみると、全体においては平成 21 年 6 月では 1523.78 人、平成 23 年 6 月では 1546.35 人とやや増加しており、いずれの精神科医療に関する指定等の状況別においても同様にやや増加している【図表 2-26】。
- ・精神科病棟の新規入院患者をみると、全体においては平成 21 年 6 月では 17.49 人、平成 23 年 6 月では 17.45 人とやや減少しており、精神科医療に関する指定等の状況別においても同様にやや減少しているが、「指定病院」においてのみ、19.78 人から 20.14 人とやや増加している【図表 2-27】。

#### (6) 精神科病棟の退院患者について

- ・退院支援専門部署の設置状況は、「設置していない」が 52.8%、次いで「設置している」が 44.9%であり、割合的にはあまり変わらない【図表 2-28】。
- ・単科精神科病棟等の退院支援専門部署の設置状況をみると、「退院支援部署無」においては「単科精神科病院」が 64.8%、「単科精神科病院以外」が 39.8%であり、「退院支援部署有」では「単科精神科病院以外」が多いのに対して、「退院支援部署無」では「単科精神科病院」が多い。図表 2-30
- ・退院支援専門部署の有無と平均在院日数についてみると、ほとんどの入院基本料において「退院支援部署無」が多いが、「精神科急性期治療病棟入院料においては「退院支援部署有」が多い【図表 2-31】。
- ・専門部署に従事する職員数についてみると、「看護師」、「准看護師」、「その他」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「専従」が多く、「医師」、「精神保健福祉士」においては平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「専任」が多い【図表 2-32】。
- ・退院支援専門部署の退院支援関与状況は、「関与している」が 85.1%、「関与していない」が 3.6%である【図表 2-36】。
- ・精神科病棟から転院・退院した患者などをみると、転院・退院患者延べ数は平成 21 年が 175.46 人、平成 22 年が 192.35 人と増加しており、内訳においては「自院の外来」が 112.78 人、120.79 人と多く、「自院のサービス利用なし」が 55.21 人、60.26 人である【図表 2-38】。
- ・精神科地域移行実施加算の届出状況等は、平成 22 年も平成 23 年も「届出無」が 75.7%、75.9%と多く、「届出有」が 20.6%、20.8%である【図表 2-41】。
- ・退院支援部署の設置状況別に精神科地域移行実施加算の届出状況をみると、「届出有」の場合は設置・している割合が若干多く、「届出無」の場合は設置していない割合が若干多い【図表 2-42】。
- ・回答のあった医療機関の入院期間が 5 年を超える患者の 1 年間における減少割合をみると、「平成 21 年 1～12 月」では 9.3%、「平成 22 年 1～12 月」では 10.0%である【図表 2-44】。

#### (7) 精神科デイ・ケアの実施状況について

- ・回答のあった医療機関の精神科デイ・ケアの届出状況は、「届出あり」が 64.8%と多く、「届出なし」が 31.7%である【図表 2-46】。
- ・精神科デイ・ケアの届出有りの従事職員数をみると、「専従」においては、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「看護師」が最も多く、1.62 人、1.63 人であり、「専任」においては、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「医師」が最も多く、1.76 人、1.85 人であり、両職種ともに増加している【図表 2-48】。
- ・精神科デイ・ケアを利用した患者数をみると、利用患者数全体においても、内訳でみても年とともに増加しており、その中でも「1 年以上の期間」では 50.33 人、59.62 人、59.82 人と多い【図表 2-49】。
- ・疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無は、「プログラムの利用有り」が 47.9%と多く、「プログラムの利用無し」が 41.8%である【図表 2-50】。
- ・疾患別や年代別等の個別のプログラム利用の有無別に精神科デイ・ケアを利用した患者数をみると、「プログラム利用有り」に比べ「プログラム利用無し」の方が平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに少なく、年次の推移をみると、「プログラム有り」ではほぼ全てが増加しているのに対し、「プログラム無し」では平成 21 年 6 月から平成 22 年 6 月にかけては増加しているが、平成 23 年 6 月にかけては「入院中からデイ・ケア利用」の患者以外は若干減少している【図表 2-51】。

#### (8) 精神科訪問看護の実施状況について

- ・回答のあった医療機関の訪問看護の実施状況は、「実施している」が 66.9%と多く、「実施していない」が 29.6%である【図表 2-53】。
- ・訪問看護を担当する部署の設置状況は、「設置している」が 52.2%と多く、「設置していない」が 47.7%である。内訳をみると、「設置している」では「院内の訪問看護部門」が 41.5%と多く、「設置していない」では「外来」が 30.1%と多い【図表 2-56】。
- ・訪問看護を実施する部署に従事している職員数をみると、「看護師」が平成 21 年 6 月で 2.42 人、平成 23 年 6 月で 2.82 人と最も多い【図表 2-57】。
- ・精神科訪問看護を利用した患者数をみると、平成 21 年 6 月で 36.43 人、平成 23 年 6 月で 42.08 人と増加しており、算定件数では、「精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）算定件数」が平成 21 年 6 月で 71.76 件、平成 23 年 6 月で 84.78 件と最も多く、増加している【図表 2-58】。
- ・精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）及び（Ⅱ）はともに、「算定要件を満たす場合は算定している」割合が多いが、「要件を満たす場合であっても算定しないことがある」割合も 5~6%程ある【図表 2-60、図表 2-61】。

#### (9) GAF 尺度による判定の実施状況について

- ・回答のあった医療機関の精神科の急性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況は、「未実施」が 64.8%と多く、「実施」が 27.5%である。また、精神科の急性期医療における GAF 尺度による判定・記録に対する負担感は、「新規入院患者」においては「負担はやや大きい」が 29.4%と最も多く、次いで「負担はやや小さい」が 27.7%、「負担は小さい」が 25.2%であり、「入院中患者」においては「負担はやや大きい」が 27.7%と最も多く、次いで「負担は大きい」が 22.7%、「負担はやや小さい」が 21.8%である【図表 2-62、図表 2-63】。
- ・精神科の慢性期医療における GAF 尺度による判定の実施状況は、「実施」が 53.2%と多く、「未実

施」が 39.8%である。また、精神科の慢性期医療における GAF 尺度による判定・記録に対する負担感は、「新規入院患者」「入院中患者」とともに「負担はやや大きい」がそれぞれ 36.5%、33.9%と最も多く、次いで「負担は大きい」が 31.3%、32.2%であり、「負担はやや小さい」が 17.8%、13.0%である【図表 2-64、図表 2-65】。

- ・他の重症度判定尺度の活用状況は、「活用無し」が 82.9%と多く、「活用有り」が 10.6%である。また、重症度の判定尺度として GAF 尺度を用いることに対する意見をみると、「判定者によって判定結果がぶれやすい」が 25.7%と最も多く、次いで「共通のスケールを用いることで患者の状態像等の比較が可能となる」が 18.8%、「患者の生活機能を反映した判定が難しい」が 18.5%である【図表 2-66、図表 2-67】。

## (10) 東日本大震災が貴院に与えた影響について

- ・東日本大震災が貴院に与えた影響については、「影響を受けていない」が 75.0%と最も多く、次いで「職員の派遣等の影響により、精神科医療を担当する人員体制が(厚く・薄く)なった」が 12.0%である。また、平成 22 年度診療報酬改定による精神科医療の充実についてみると、「充実・改善することができなかった」が 54.4%と多く、「充実・改善することができた」が 16.0%である【図表 2-68、図表 2-69】。

## 2) 病棟調査①(精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料)

### (1) 病棟全体の状況

- ・従事している職員数をみると、「看護職員(看護師・准看護師)」が平成 21 年 6 月で 40.3 人、平成 23 年 6 月で 39.0 人と多く、減少しているが、その他の職種は「看護補助者」が変化なしである以外は、いずれも微増である【図表 3-1】。
- ・算定病棟の入院患者数(主たる疾患別)をみると、入院患者数全体では、平成 21 年 6 月で 108.70 人、平成 23 年 6 月で 104.36 と減少しているが、内訳をみると、「症状性を含む器質性精神障害」、「生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群」、「心理的発達の障害」、「小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害」においては若干増加している【図表 3-2】。
- ・回答のあった病棟の算定病棟の入院患者数の年齢階級別割合は、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「40 歳以上 65 歳未満」が 45.5%、44.4%と最も多く、次いで「65 歳以上 75 歳未満」が 22.9%、22.6%である【図表 3-3】。
- ・回答のあった病棟の算定病棟の入院患者数の在院期間別割合は、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「5 年以上」が最も多く、次いで「1 年以上 5 年未満」である【図表 3-4】。

### (2) 身体合併症を有する患者の状況について

- ・精神科身体合併症管理加算の状態別患者数は、平成 21 年 6 月、平成 23 年 6 月ともに「その他の身体合併症」が最も多く、次いで平成 21 年 6 月においては「その他の内分泌・代謝性疾患」、「呼吸器系疾患」、平成 23 年 6 月においては「呼吸器系疾患」、「その他の内分泌・代謝性疾患」が多い【図表 3-5】。
- ・精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」は平成 21 年 6 月で 108.70 人、平成 23 年 6 月で 104.36 人と減少しているが、「精神科身体合併症管理加算の算定患者

数」においては1.20人、2.29人、「13対1入院基本料算定病院精神科身体合併症管理加算の算定患者数」においては1.27人、3.56人と増加している【図表3-7】。

- ・回答のあった病棟の院内の他診療科との連携の有無については、「有」が58.2%、「無」が34.4%である【図表3-8】。
- ・院内の他診療科との連携方法については、「診療記録の共有」が77.9%と最も多く、次いで「他診療科の医師による対診診療」が72.3%である【図表3-9】。
- ・院内パスの活用の有無は、「無」が74.9%と多く、「有」が16.4%である【図表3-10】。
- ・院外の他診療科との連携の有無は、「有」が57.9%と多く、「無」が32.8%である【図表3-11】。
- ・院外の他診療科との連携医療機関数は、「病院」が3.73施設と最も多く、次いで「無床診療所」が3.21施設と多い【図表3-12】。
- ・院外の他診療科との連携方法は、「他診療科への転棟による診療」が78.8%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が40.1%と多い【図表3-13】。
- ・地域連携パスの活用の有無については、「無」が89.1%と多く、「有」が2.7%である【図表3-14】。
- ・身体合併症患者への対応状況については、「おおむね対応できている」が54.1%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が31.4%と多い。13対1入院基本料算定病棟の身体合併症患者への対応状況についてみると、「おおむね対応できている」が75.0%であり、全体と比べると大きい【図表3-15、図表3-16】。

### (3) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

- ・算定病棟に新規入棟した患者数をみると、平成21年4月～6月で44.66人、平成23年4月～6月で45.44人と若干増加しており、入棟前の居場所別には、「有床診療所」においては0.26人から0.47人へと、2倍近く増加しているが、「自宅」においては29.60人から29.55人と若干減少している【図表3-17】。
- ・算定病棟から転棟・転院・退院した患者数をみると、平成21年4月～6月で46.42人、平成23年4月～6月で46.95人と若干増加しており、退院先別には、最も多い「自宅」においては27.90人から27.30人と若干減少している【図表3-18】。

### (4) 退院支援の実施状況について

- ・回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数については、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が33.9%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が25.1%と多い【図表3-19】。
- ・転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数については、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が46.4%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が30.6%と多い【図表3-20】。
- ・転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数については、「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が42.6%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が40.2%と多い【図表3-21】。
- ・精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が91.0%と最も多く、次いで「デイ・ケア」が75.4%と多い【図表3-22】。

### (5) 1年前と比較した重症な患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減については、「ほぼ変わらない」が69.4%と最も多く、次いで「増えた」が20.8%である【図表 3-23】。
- ・身体合併症の重症な患者の増減については、「増えた」が47.0%と最も多く、次いで「ほぼ変わらない」が45.4%と多い【図表 3-24】。
- ・精神症状の重症な患者の移動については、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が49.5%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が26.2%である【図表 3-25】。
- ・身体合併症の重症な患者の移動については、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が37.2%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が31.4%である【図表 3-26】。

### (6) GAF 尺度のスコアの状況について

- ・入院していた全ての患者の GAF 尺度のスコア別患者数をみると、平成 23 年 6 月 30 日時点の入院患者は、39.44 人と、平成 22 年 6 月 30 日時点、平成 21 年 6 月 30 日時点の入院患者と比較して約 2 倍増であり、スコア別には、平成 23 年 6 月 30 日時点入院患者数、平成 22 年 6 月 30 日時点入院患者数で「21～30 点」が 34.4%、39.8%、平成 21 年 6 月 30 日時点入院患者数では「31～40 点」が 23.6%と最も多い【図表 3-27】。
- ・新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態をみると、平成 23 年 4～6 月に新規入棟した患者は 55.81 人であり、平成 23 年 4～6 月に転棟・転院・退院した患者は 51.83 人である。スコア別には「21～30 点」がそれぞれ 39.2%、22.8%と最も多い【図表 3-28】。

## 3) 病棟調査②（精神科救急入院料）

### (1) 病棟全体の状況

- ・従事している職員数をみると、「その他」以外は全職種が増加しており、「看護職員（看護師・准看護師）」平成 21 年 6 月では 27.30 人、平成 23 年 6 月では 29.64 人と最も増加している【図表 4-1】。
- ・算定病棟の入院患者数（主たる疾患別）をみると、平成 21 年 6 月では 49.86 人、平成 23 年 6 月では 50.04 人と増加しており、「統合失調症、統合失調症型障害及び身体表現性障害」が多く、「精神作用物質による精神及び行動の障害」、「成人の人格及び行動の障害」、「心理的発達の障害」、「詳細不明の精神障害」、「その他」の患者は減少している【図表 4-2】。
- ・算定病棟の入院患者数を年齢階級別割合は、「40 歳以上 65 歳未満」が 4 割超と最も大きく、次いで「20 歳以上 40 歳未満」が大きい【図表 4-3】。
- ・平成 23 年 6 月では 50.04 人であるが、そのうち「入院料に係る算定要件に該当しない患者数」も 7.0%から 10.1%へと増加している【図表 4-4】。

### (2) 身体合併症を有する患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神科身体合併症管理加算の状態別の患者数は、平成 21 年 6 月においては「その他の身体合併症」が 3.97 人と最も多く、次いで「重篤な内分泌・代謝性疾患」が 1.50 人であり、



平成23年6月においては「その他の身体合併症」が8.08人と多く、次いで「意識障害」が2.06人である【図表4-5】。

- ・精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「精神科身体合併症管理加算の算定患者数」は、入院患者数に占める割合が平成21年6月の2.1%、平成23年6月の3.8%と増加している【図表4-6】。
- ・院内の他診療科との連携の有無は、「有」が64.3%と多く、「無」が28.6%である【図表4-7】。
- ・院内の他診療科との連携方法は、「診療記録の共有」および「他診療科の医師による対診診療」が83.3%と最も多く、「その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が61.1%である【図表4-8】。
- ・院内パスの活用は、「無」が60.7%と多く、「有」が28.6%である【図表4-9】。
- ・院外の他診療科との連携の有無は、「有」が57.1%と多く、「無」が32.1%である【図表4-10】。
- ・連携医療機関数は、「無床診療所」が6.85施設と最も多く、次いで「病院」が4.18施設と多い【図表4-11】。
- ・院外の他診療科との連携方法は、「他診療科への転棟による診療」が62.5%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が50.0%と多い【図表4-12】。
- ・地域連携パスの活用は、「無」が85.7%と多い【図表4-13】。
- ・身体合併症患者への対応状況は、「おおむね対応できている」が50.0%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が32.1%と多い【図表4-14】。

### (3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

- ・非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、平成21年6月では28.21人、平成22年6月では26.45人、平成23年6月では28.31人であり、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」の割合は平成22年6月と平成23年6月で、83.8%から89.9%へと増加し、また、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」においては16.2%から10.1%へと減少している【図表4-15】。

### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

- ・算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月では37.25人、平成23年6月では34.18人と若干減少しており、入棟前の居場所では「自宅」の割合が最も多く、82.9%から85.9%へと増加している【図表4-16】。
- ・算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年6月では34.50人、平成23年6月では36.25人と若干増加しており、転棟・転院・退院先別では「自宅」の割合が最も多く、65.9%から67.8%へと増加している【図表4-17】。

### (5) 退院支援の実施状況について

- ・回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数は、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が42.9%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が21.4%と多い【図表4-18】。
- ・転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が46.4%と最も多く、次いで「退院患者のうち、5~8

割の患者に対して行っている」が32.1%と多い【図表4-19】。

- ・転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数については、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が57.1%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が17.9%と多い【図表4-20】。
- ・精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が92.9%と最も多く、次いで「訪問看護」が89.3%と多い【図表4-21】。

#### (6) 1年前と比較した重症な患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が50.0%と最も多く、次いで「増えた」が39.3%と多い【図表4-22】。
- ・身体合併症の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が46.4%と最も多く、次いで「増えた」が42.9%と多い【図表4-23】。
- ・精神症状の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が75.0%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が14.3%と多い【図表4-24】。
- ・身体合併症の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が46.4%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が35.7%と多い【図表4-25】。

### 4) 病棟調査④(精神科急性期治療病棟入院料)

#### (1) 病棟全体の状況

- ・従事している職員数をみると、「看護職員(看護師・准看護師)」が最も多く、平成21年6月では20.37人、平成23年6月では20.39人と若干増加しており、全体的に増加傾向であるが、「医師事務作業補助者」、「その他」においては変化がなく、「医師」においては3.72人から3.66人、「ソーシャルワーカー」においては1.52人から1.51人へと、若干減少している【図表5-1】。
- ・算定病棟の入院患者数をみると、平成21年6月では40.92人、平成23年6月では41.27人と若干増加しており、主たる疾患別には「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の割合が最も大きい、53.1%から48.0%へと減少している【図表5-2、図表5-3】。
- ・算定要件に該当しない患者数は、入院患者数に占める割合が平成21年6月の11.9%から平成23年6月の17.0%へと増加している【図表5-4】。

#### (2) 身体合併症を有する患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神科身体合併症管理加算の状態は、平成21年6月も平成23年6月もともに「その他の身体合併症」が2.56人、2.48人と最も多く、次いで「その他の内分泌・代謝性疾患」が1.93人、2.33人と多い【図表5-5】。
- ・精神科身体合併症管理加算の算定患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」における平成21年6月の40.92人、平成23年6月の41.27人に対し、「精神科身体合併症管理加算の算定患者数」の割合が0.5%、0.7%と増加している【図表5-6】。
- ・院内の他診療科との連携の有無は、「有」が49.5%と多く、「無」が44.0%である【図表5-7】。

- ・院内の他診療科との連携方法は、「診療記録の共有」が80.0%と最も多く、次いで「他診療科の医師による対診診療」が62.2%と多い【図表 5-8】。
- ・院内パスの活用は、「無」が68.1%と多く、「有」が18.7%である【図表 5-9】。
- ・院外の他診療科との連携の有無は、「有」が70.3%と多く、「無」が22.0%である【図表 5-10】。
- ・連携医療機関数は、「病院」が3.30施設と最も多く、次いで「無床診療所」が3.01施設である【図表 5-11】。
- ・連携方法は、「他診療科への転棟による診療」が76.6%と最も多く、次いで「医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有」が31.3%と多い【図表 5-12】。
- ・地域連携パスの活用は、「無」が85.7%と多く、「有」は2.2%である【図表 5-13】。
- ・身体合併症患者への対応状況は、「おおむね対応できている」が41.8%と最も多く、次いで「時々対応できないことがある」が40.7%と多い【図表 5-14】。

### (3) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

- ・非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、「非定型抗精神病薬による治療患者数」が平成21年6月で20.98人、平成22年6月で21.43人、平成23年6月で20.82人であり、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」が76.5%から79.4%へと増加しており、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」が23.5%から20.6%へと減少している【図表 5-15】。

### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

- ・算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月で21.43人、平成23年6月で21.84人と若干増加しており、入棟前の居場所別では最も多い「自宅」では80.8%から81.1%へと若干増加している【図表 5-16】。
- ・算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年6月で24.66人、平成23年6月で22.16人と若干減少しており、転棟・転院・退院先別では最も多い「自宅」では63.1%から63.9%へと若干増加している【図表 5-17】。

### (5) 1年前と比較した重症な患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が71.4%と最も多く、次いで「増えた」が19.8%と多い【図表 5-18】。
- ・身体合併症の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が56.0%と最も多く、次いで「増えた」が31.9%と多い【図表 5-19】。
- ・精神症状の重症な患者の移動は、「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が71.4%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が20.9%と多い【図表 5-20】。
- ・身体合併症の重症な患者の移動は、「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が48.4%と最も多く、次いで「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が27.5%と多い【図表 5-21】。

## 5) 病棟調査⑤ (精神療養病棟入院料)

### (1) 病棟全体の状況

- ・従事している職員数をみると、平成21年6月から平成23年6月にかけて全職種において若干増加しており、最も多い「看護職員（看護師・准看護師）」においても26.97人から26.99人へと若干増加している【図表6-1】。
- ・算定病棟の入院患者数をみると、「当該病棟の入院患者数」は、平成21年6月で116.95人、平成23年6月で115.60人と減少しており、最も多い「統合失調症、統合失調症型及び妄想性障害」の割合も73.8%から71.7%へと若干減少している【図表6-2】。
- ・回答のあった病棟の年齢階級は、「平成21年6月」および「平成23年6月」とともに「40歳以上65歳未満」が46.2%、45.3%と最も多く、次いで「65歳以上75歳未満」が27.9%、27.1%と多い【図表6-3】。
- ・在院期間は、「平成21年6月」および「平成23年6月」とともに「5年以上」が53.1%、51.8%と最も多く、次いで「1年以上5年未満」が29.4%、30.2%と多い【図表6-4】。

### (2) 非定型抗精神病薬による治療患者の状況

- ・非定型抗精神病薬による治療患者数と加算1及び2の算定患者数をみると、「非定型抗精神病薬による治療患者数」は、平成21年6月では62.82人、平成22年6月では63.90人、平成23年6月では66.94人と若干増加しており、「非定型抗精神病薬加算1の算定患者数」についても平成22年6月で71.4%、平成23年6月で73.0%と若干増加しているが、「非定型抗精神病薬加算2の算定患者数」は28.6%から27.0%へと若干減少している【図表6-5】。

### (3) GAF尺度のスコアの状況について

- ・入院していた全ての患者の状態をみると、平成21年6月30日時点の入院患者は92.20人、平成22年6月30日時点の入院患者は106.06人、平成23年6月30日時点の入院患者は117.78人であり、GAF尺度のスコア別では、最も多い「31~40点」において53.5%から39.4%、38.3%へと若干減少傾向にある。次いで「21~30点」の割合が多いが、こちらは若干増加傾向にある【図表6-6】。
- ・新規入院した全ての患者の入棟時の状態及び転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態におけるGAF尺度のスコア別患者数をみると、「当該病棟で該当する患者数」においては、平成23年4~6月に新規入棟した患者」が16.12人、「平成23年4~6月に転棟・転院・退院した患者」が18.95人であり、GAF尺度のスコア別にみると、最も多い「31~40点」においては44.4%から44.6%へと若干増加している【図表6-7】。

### (4) 新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況について

- ・算定病棟に新規入棟した患者をみると、平成21年6月では19.51人、平成23年6月では20.04人と若干増加しており、入棟前の居場所別にみると最も多い「自院の他の病棟等」は、58.8%から55.4%へと若干減少している【図表6-8】。
- ・算定病棟から転棟・転院・退院した患者をみると、平成21年4~6月では17.52人、平成23年4~6月では17.65人と若干増加しており、転棟・転院・退院先別にみると最も多い「自宅」においても、36.7%から37.6%へと若干増加している【図表6-9】。

## (5) 退院支援の実施状況について

- ・回答のあった病棟の転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数は、「ほぼ全員の退院患者に対して行っている」が 30.9%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が 22.2%と多い【図表 6-10】。
- ・転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が 40.1%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が 29.5%と多い【図表 6-11】。
- ・転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数は、「退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている」が 42.0%と最も多く、次いで「ほとんどの退院患者に対して行っていない」が 32.4%と多い【図表 6-12】。
- ・精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービスは、「外来」が 84.1%と最も多く、次いで「デイ・ケア」が 77.8%と多い【図表 6-13】。

## (6) 1年前と比較した重症な患者の状況について

- ・回答のあった病棟の精神症状の重症な患者の増減は、「ほぼ変わらない」が 70.5%と最も多く、次いで「増えた」が 23.2%と多い【図表 6-14】。
- ・身体合併症の重症な患者の増減は、「増えた」が 49.8%と最も多く、次いで「ほぼ変わらない」が 44.0%と多い【図表 6-15】。
- ・患者の移動は、「当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた」が 53.6%と最も多く、次いで「当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた」が 24.2%と多い【図表 6-16】。
- ・身体合併症の重症な患者の移動は、「当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた」が 52.7%と最も多く、次いで「他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない」が 26.1%と多い【図表 6-17】。

## 6) 精神科訪問看護調査

### (1) 院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションの状況

- ・回答のあった施設における主たる疾患の状況は、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 3,659 人と最も多く、次いで「気分[感情]障害」が 482 人と多い【図表 7-1】。
- ・主たる疾患別の精神科訪問看護・指導料は、「精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）」および「精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）」ともに「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 3,534 人、792 人と最も多く、次いで「気分[感情]障害」が 471 人、75 人と多い。また、「精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）」における訪問先として、「居宅」と「精神障害者施設等」の別にみると、どちらも「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も多く、3,229 人、293 人であり、次いで「気分[感情]障害」が 448 人、21 人と多い。また、「精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）」を「同一精神障害者施設における他の訪問患者有」と「同一精神障害者施設における他の訪問患者無」の別にみると、どちらも「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も多く、226 人、561 人であり、次いで「気分[感情]障害」が 16 人、59 人と多い【図表 7-2】。
- ・主たる疾患別の訪問回数をみると、「気分[感情]障害」が 2.71 回と最も少なく、「心理的発達の障

害」が4.37回と最も多い。1回当たり平均訪問時間をみると「知的障害（精神遅滞）」が41.63分と最も短く、「心理的発達障害」が51.76分と最も長い【図表7-3】。

- ・回答のあった施設における主たる疾患別のケア内容は、「症状性を含む器質性精神障害」を始め、他の疾患についても、「日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大」及び「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が概ね多い【図表7-5】。
- ・主たる疾患別のGAFスコアをみると、「精神作用物質による精神及び行動の障害」が59.69点と最も高く、次いで「気分[感情]障害」が57.36点と高い。「生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群」は37.94点と最も低い【図表7-7】。

## 7) 患者調査

### (1) 患者の基本的事項

- ・回答のあった患者の現在入院中の病棟は、「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料」が54.1%と最も多く、次いで「精神療養病棟入院料」が29.7%と多い【図表8-1】。
- ・患者の性別は、「女性」が52.8%であり、「男性」が46.9%である。また、現在入院中の病棟別に性別をみると、「精神科救急・合併症入院料」においては「女性」が57.1%、「男性」が42.9%であり、他の病棟と比べて女性の比率が最も大きい。N数が小さいことに留意する必要がある。患者の年齢は、「60～70歳未満」が24.3%と最も多く、次いで「50～60歳未満」が18.9%と多い【図表8-2-1】。
- ・また、現在入院中の病棟別に年齢をみると、「精神科救急・合併症入院料」においては「40歳未満」が71.4%であり、他の病棟と比べて若年の比率が飛び抜けて大きい。N数が小さいことに留意する必要がある【図表8-2-2】。
- ・精神障害者福祉手帳については、「手帳を持っていない」が66.0%と最も多く、次いで「2級」が12.1%と多い【図表8-2-3】。

### (2) 入院の状況

- ・患者の入院期間別の状況は、「3ヶ月未満」が31.2%と最も多く、次いで「5～10年未満」が10.2%、「20年以上」が10.1%、「10～20年未満」が10.0%である【図表8-3】。
- ・患者の初診日からの期間別状況は、「無回答」を除くと、「36ヶ月以上」が22.2%と最も多く、次いで「3ヶ月未満」が16.4%と多い。また、現在入院中の病棟別に初診日からの期間別状況を見ると、いずれの病棟においても「無回答」を除くと、「36ヶ月以上」が最も多い【図表8-4】。
- ・患者の通算入院回数別の状況は、「1回」が26.1%と最も多く、次いで「2回」が15.7%と多い【図表8-5】。
- ・通算入院期間別の状況は、「1年未満」が48.7%と最も多く、次いで「10～20年未満」及び「30年以上」が9.7%と多い。また、現在入院中の病棟別に通算入院期間別の状況を見ると、いずれの病棟においても「1年未満」が多い【図表8-6】。
- ・入院基本料等加算の状況は、「精神科隔離室管理加算」及び「精神科地域移行実施加算」が14.1%と最も多く、次いで「精神病棟入院時医学管理加算」が9.7%と多い【図表8-7】。
- ・患者の入棟前の居場所は、「自宅、賃貸住宅など（家族と同居）」が56.0%と最も多く、次いで「自宅、賃貸住宅など（一人暮らし）」が13.6%と多い【図表8-8】。

- ・患者の入院の理由は、「精神症状が強いため」が76.7%と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が26.7%と多い。また、現在入院中の病棟別に入院の理由をみると、いずれの病棟においても「精神症状が強いため」が最も多い【図表8-9】。
- ・患者の入院形態は、「任意入院」が52.8%と最も多く、次いで「医療保護入院」が45.2%と多い【図表8-10】。
- ・患者の処遇は、「閉鎖処遇」が60.3%と多く、「開放処遇」が35.9%である【図表8-11】。
- ・患者の主傷病は、「統合失調症」が58.5%と最も多く、次いで「気分（感情）障害」が12.0%と多い【図表8-13】。
- ・主傷病別年齢階級別分布をみると、N数が大きい「統合失調症」、「気分（感情）障害」においては「60～70歳未満」が27.6%、22.9%と最も高く、「認知症」においては「80歳以上」が49.0%と最も多い【図表8-14】。
- ・主傷病別入院期間階級別分布をみると、ほぼ全ての主傷病において「3ヶ月未満」が最も多い【図表8-15】。
- ・患者の身体合併症は、「心疾患（虚血性心疾患など）」が7.9%と最も多く、次いで「呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）」が6.3%と多い【図表8-16】。

### （3）患者の状態等

- ・患者の症状の程度は、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」が56.3%と最も多く、次いで「受け入れ条件を整えば退院可能」が24.5%と多い【図表8-17】。
- ・GAFスコアについてみると、全体的に「入棟初日」に比較すると直近のスコアが高く、「精神療養病棟入院料」を除いては約5～15点程、「精神療養病棟入院料」においても若干ではあるが点数の増加がみられ、入棟時よりも入院期間を経た方が点数が高いが、その中でも「精神科救急入院料」においては、点数の増加が16.4点である【図表8-18】。
- ・認知症高齢者の日常生活自立度は、「該当無し」が22.5%と最も多く、次いで「自立」が16.0%と多い【図表8-19】。
- ・回答のあった患者のADLは、「ADL区分1」が54.9%と最も多く、次いで「ADL区分2」が12.5%と多い【図表8-20】。
- ・IADLの困難度についてみると、全体（総計）では「電話の利用」を除いて、「非常に困難」が最も多く、次いで「いくらか困難」であり、「問題ない」は最も少ないが、「電話の利用」においてのみ「問題ない」が最も多く、次いで「非常に困難」であり、「いくらか困難」が最も少ない【図表8-21】。
- ・患者の状態についてみると、全体（総計）ではいずれの項目においても「できる」が最も多く、次いで「できる時とできない時がある」であり、「できない」は最も少ない【図表8-22】。
- ・主傷病が認知症である患者の状態についてみると、「他社への意思伝達」においては、全体（総計）では「できる時とできない時がある」が最も多く45.2%、次いで「できない」の24.7%であり、「できる」の20.1%が最も少ない。「診療・療養上の指示が通じる」においては、全体では「通じない」が多く、次いで「通じない」である。「危険行動への対応（過去1ヶ月）」においては、「なし」が多く、次いで「あり」であり、現在入院中の病棟別にみても同様である【図表8-23】。

### （4）治療の状況

- ・主傷病に対して実施している診療内容をみると、全体（総計）では「精神療法」が90.8%、次い

で「薬物療法」が90.5%と多い【図表 8-24】。

- ・身体合併症に対する対応状況は、「治療を要する身体合併症なし」が35.1%と最も多く、次いで「精神科・神経科の医師が対応」が32.4%と多い【図表 8-25】。

#### (5) 患者の社会的状況

- ・患者の退院後に生活を継続するために必要な支援は、「医療サービスによる援助・指導」が59.9%と最も多く、次いで「福祉サービスによる援助」が31.2%と多い【図表 8-26】。

#### (6) 退院の見通し

- ・患者の退院の見通しは、「状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない」が35.5%と最も多く、次いで「現在の状態でも、受け入れ先が整えば退院可能」が30.2%と多い【図表 8-27】。
- ・退院した場合の支援は、「看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導」が67.0%と最も多く、次いで「24時間常駐が必要」が26.4%と多い【図表 8-28】。
- ・現在退院できない場合の理由は、「(医学的観点から)入院を要する状態が続いているため」が53.4%と最も多く、次いで「家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため」が44.6%と多い【図表 8-29】。

### 8) デイ・ケア患者調査

#### (1) デイ・ケア利用者の基本的事項

- ・回答のあった患者の性別は、「男性」が67.1%と多く、「女性」は32.9%である。患者の年齢階級は、「50～60歳未満」が26.1%と最も多く、次いで「60～70歳未満」が23.7%と多い。精神障害者福祉手帳の状況は、「2級」が55.3%と最も多く、次いで「手帳を持っていない」が24.8%と多い【図表 9-1-1、図表 9-1-2、図表 9-1-3】。

#### (2) デイ・ケア利用開始後の状況

- ・回答のあった患者のデイ・ケア利用開始からの期間は、「7～10年未満」が20.5%と最も多く、次いで「5～7年未満」が16.7%と多い【図表 9-2】。
- ・入院中からのデイ・ケア利用の有無は、「無」が89.5%と多く、「有」は9.2%である【図表 9-3】。
- ・患者の過去2年間における通算入院回数の状況は、「0回」が76.5%と最も多く、次いで「1回」が16.0%と多い【図表 9-4】。
- ・入院中からのデイ・ケア利用の有無別に過去2年間における通算入院回数の状況をみると、「入院中からのデイ・ケア利用有り」、「入院中からのデイ・ケア利用無し」のいずれにおいても、「0回」が59.2%、78.2%と最も多く、次いで「1回」が26.5%、15.1%と多い【図表 9-5】。
- ・過去2年間における再入退院別に入院期間の状況をみると、いずれの場合も、「3ヶ月未満」が多い【図表 9-6、図表 9-7、図表 9-8】。
- ・患者の過去2年間における再入院の理由は、「精神症状が強いため」が18.0%と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が4.1%と多い【図表 9-9】。



### (3) デイ・ケア利用開始前の状況

- ・患者の通院開始からの期間は、「10～15年未満」が23.5%と最も多く、次いで「15～20年未満」が17.3%と多い【図表9-10】。
- ・患者のデイ・ケア利用開始前2年間における通算入院回数の状況は、「0回」が45.5%と最も多く、次いで「1回」が38.5%と多【図表9-11】。
- ・デイ・ケア利用開始前2年間における再入退院別に入院期間の状況をみると、いずれの場合も「3ヶ月未満」が多い【図表9-12】。
- ・デイ・ケア利用開始前2年間における再入院の理由は、「精神症状が強いため」が43.8%と最も多く、次いで「セルフケアに著しい問題があるため」が8.5%と多い【図表9-13】。

### (4) デイ・ケア利用者の状況

- ・患者の現在の居場所は、「自宅」が82.1%と最も多く、次いで「その他」が17.1%と多い【図表9-14】。
- ・回答のあった患者の主傷病は、「統合失調症」が84.8%と飛び抜けて多く、次いで「気分[感情]障害」が5.6%である【図表9-15】。
- ・回答のあった患者のデイ・ケア利用回数は、「6～10回」が21.6%と最も多く、次いで「21回以上」が19.2%と多い【図表9-16】。
- ・回答のあった患者の認知症高齢者の日常生活自立度は、無回答を除くと、「該当無し」が32.9%と最も多く、次いで「自立」が23.1%と多い【図表9-18】。
- ・患者のADL区分は、「ADL区分1」が68.0%と最も多く、次いで「不明」が23.7%と多い【図表9-19】。
- ・主傷病に対して実施している診療内容をみると、「薬物療法」が95.9%と最も多く、次いで「精神療法」が87.2%と多く、内訳をみると、「薬物療法」では「抗精神病薬の多剤併用」が50.8%、「精神療法」では「一般精神療法」が83.6%と最も多い【図表9-21】。

### (5) プログラム利用の現況

- ・患者のデイ・ケア利用開始の目的は、「対人関係を回復し仲間を作るため」が71.4%と最も多く、次いで「症状や再発サインへの対応スキルの獲得のため」が50.6%と多い【図表9-24】。
- ・疾患別等のプログラム区分の有無は、「区分無し」が63.0%と多く、「区分有り」が33.1%である【図表9-25】。
- ・統合失調症患者を対象とするプログラム利用の過去2年間における通算入院回数をみると、N数に留意する必要があるが、「利用有り」が0.33回と多く、「利用無し」の0.16回と比較して約2倍の入院を繰り返している【図表9-26】。
- ・疾患別等の利用プログラム別のデイ・ケア利用回数をみると、疾患別プログラムの「統合失調症患者を対象とするプログラム」や年代別プログラム、「慢性期の患者を対象とするプログラム」、目的別プログラムなどは、デイ・ケア利用回数が12～15回程あり、多いことがわかる【図表9-29】。
- ・年齢別に疾患別等のプログラム区分の有無別のデイ・ケア利用回数をみると、N数に留意する必要があるが、「65歳未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」の場合に12.01回、「65歳以上」においても16.38回と多く、年齢により疾患別等のプログラム区分の有無別でみても差はないが、「65歳以上」の方がデイ・ケア利用回数は多い【図表9-32】。
- ・精神科デイ・ケアの利用患者数別に疾患別等のプログラム区分の有無別の過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数をみると、N数に留意する必要があるが、「精神科デイ・ケアの利用患

者数：50 人未満」においては「疾患別等のプログラム区分有」が 5.32 人、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50 人以上」においても 14.38 人と多い。また、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50 人以上」においては疾患別等のプログラム区分の有無に関わらず、「精神科デイ・ケアの利用患者数：50 人未満」と比較して過去 1 年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数が 3 倍近く多い【図表 9-36】。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

## 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年6月30日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成23年（        ）月（        ）日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

■貴院の概況についてお伺いします。

問1 貴院の**開設者**について該当するものをお選びください。（○は1つ）

- 01 国（厚生労働省, 独立行政法人国立病院機構, 国立大学法人, 独立行政法人労働者健康福祉機構 等）
- 02 公立（都道府県, 市町村, 一部事務組合）
- 03 公的（日赤, 済生会, 北海道社会事業協会, 厚生連, 国民健康保険団体連合会）
- 04 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会, 厚生年金事業振興団, 船員保険会, 健康保険組合, 共済組合, 国民健康保険組合）
- 05 医療法人
- 06 個人
- 07 その他（公益法人, 私立学校法人, 社会福祉法人, 医療生協, 会社 等）

問2 貴院の**承認等の状況**について該当するもの全てに○をつけてください。

- |             |               |                      |
|-------------|---------------|----------------------|
| 01 地域医療支援病院 | 04 特定機能病院     | 07 在宅療養支援病院          |
| 02 病院群輪番制病院 | 05 D P C 対象病院 | 08 専門病院 <sup>注</sup> |
| 03 災害拠点病院   | 06 D P C 準備病院 | 09 認知症疾患医療センター       |

注. **専門病院**とは、主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たものをいいます。

問3 貴院の <b>精神科医療に関する指定等の状況</b> についてご記入ください。(○はそれぞれ1つ)		
1 指定病院 (精神保健福祉法第19条の8)	01 該当	02 非該当
2 応急入院指定病院 (精神保健福祉法第33条の4)	01 該当	02 非該当
3 特定病院 (精神保健福祉法第22条の4)	01 該当	02 非該当
4 精神科救急医療体制整備事業への参加	01 有	02 無

問4 貴院の <b>標榜している診療科</b> として該当するものをお選びください。(○は1つ)	
01 単科精神科病院	02 単科精神科病院以外

■貴院の許可病床数、病床利用率、平均在院日数の状況についてお伺いします。

問5 貴院の平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点の許可病床数、病床利用率、平均在院日数をご記入ください。						
	平成21年6月			平成23年6月		
	許可 病床数	病床 利用率 <sup>注1</sup> (小数点第1位まで)	平均在院 日数 <sup>注2</sup> (小数点第1位まで)	許可 病床数	病床 利用率 <sup>注1</sup> (小数点第1位まで)	平均在院 日数 <sup>注2</sup> (小数点第1位まで)
1 精神病床	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科救急入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科救急・合併症入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科急性期治療病棟入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科療養病棟入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】認知症治療病棟入院料	床	%	日	床	%	日
2 一般病床	床	%	日	床	%	日
3 療養病床	床	%	日	床	%	日
4 結核病床	床			床		
5 感染症病床	床			床		

注1. **病床利用率**は平成21年4月～6月、平成23年4月～6月のそれぞれ3カ月の病床利用率をご記入ください。なお、【別掲】については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者 (算定要件に該当しない患者を含む) を基に算出してください。

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{4月～6月の在院患者延べ数}}{(\text{月間日数} \times \text{月末病床数}) \text{の4月～6月の合計}}$$

注2. **平均在院日数**は平成21年4月～6月、平成23年4月～6月のそれぞれ3カ月の平均在院日数をご記入ください。なお、【別掲】については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者 (算定要件に該当しない患者を含む) を基に算出してください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{4月～6月の在院患者延べ数}}{(\text{4～6月の新入院患者数} + \text{4～6月の退院患者数}) \times 0.5}$$

■貴院において精神科に従事する職員数についてお伺いします。

問6 貴院の精神科病棟において平成23年6月の1カ月間に従事している職員数をご記入ください。		常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)
1 医師		. 人
【再掲】精神保健指定医		. 人
【再掲】精神保健指定医以外の精神科医		. 人
【再掲】内科医		. 人
【再掲】外科医		. 人
2 看護職員（看護師・准看護師）		. 人
3 看護補助者		. 人
4 作業療法士		. 人
5 臨床心理技術者		. 人
6 ソーシャルワーカー（社会福祉士等）		. 人
【再掲】精神保健福祉士		. 人
7 その他		. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで（小数点第二位を切り上げ）をご記入ください。  
例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日（各日8時間）勤務の看護師が10人と、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

■貴院の精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況についてお伺いします。

問7 貴院で平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で届出を行っている精神科病棟の入院基本料、特定入院料として該当するもの全てに○をつけてください。	平成21年6月		平成23年6月	
	1 精神科病棟入院基本料	01 10 対 1	04 20 対 1	01 10 対 1
	02 15 対 1	05 届出無し	02 13 対 1	05 20 対 1
	03 18 対 1		03 15 対 1	06 届出無し
2 特定機能病院入院基本料（精神科病棟）	01 7 対 1	04 届出無し	01 7 対 1	04 15 対 1
	02 10 対 1		02 10 対 1	05 届出無し
	03 15 対 1		03 13 対 1	
3 精神科救急入院料 <sub>1</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無
4 精神科救急入院料 <sub>2</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無
5 精神科急性期治療病棟入院料 <sub>1</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無
6 精神科急性期治療病棟入院料 <sub>2</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無
7 精神科救急・合併症入院料	01 有	02 無	01 有	02 無
8 精神療養病棟入院料	01 有	02 無	01 有	02 無
9 認知症治療病棟入院料 <sub>1</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無
10 認知症治療病棟入院料 <sub>2</sub>	01 有	02 無	01 有	02 無

■貴院における精神科病棟の患者についてお伺いします。

問8 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に貴院の精神科病棟に入院した全ての患者の入院形態、主たる疾患、年齢階級、在院期間、および外来の延べ患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。 なお、入院形態①～⑤の合計、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計、在院期間①～⑥の合計については、最上段の「精神科病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科病棟の入院患者数		人	人
入院形態別	① 任意入院患者数	人	人
	② 措置入院患者数	人	人
	③ 緊急措置入院患者数	人	人
	④ 医療保護入院患者数	人	人
	⑤ 応急入院患者数	人	人
主たる疾患別 <small>注1</small>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
在院期間別 <small>注2</small>	① 1カ月未満	人	人
	② 1カ月以上3カ月未満	人	人
	③ 3カ月以上6カ月未満	人	人
	④ 6カ月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上	人	人
精神科の外来患者延べ数		人	人
紹介状を持参して外来受診した患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

問9 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の精神科病棟に新規入院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入院患者数		人	人
貴院の精神科病棟に入院する前3カ月に保険医療機関の精神病棟に入院したことがある患者数		人	人

■貴院における精神科病棟の退院患者についてお伺いします。

問10 貴院では、退院支援<sup>注</sup>を担当する専門部署を設置していますか。

01 設置している (⇒問10-1～問10-2へ)      02 設置していない (⇒問11へ)

注. 退院支援とは、関係職種によって退院支援計画の作成、退院先の検討、退院後の必要なサービスの紹介等を行うことをいいます。

問10-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月		平成23年6月	
	専 従 <sup>注</sup>	専 任 <sup>注</sup>	専 従	専 任
1 医 師	人	人	人	人
2 看 護 師	人	人	人	人
3 准看護師	人	人	人	人
4 ソーシャルワーカー (社会福祉士等)	人	人	人	人
【再掲】精神保健福祉士	人	人	人	人
5 そ の 他	人	人	人	人

注. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。

専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

問10-2 当該部署は、精神科病棟の入院患者の退院支援に関与していますか。

01 関与している      02 関与していない

問11 平成21年1～12月、平成22年1～12月の各1年間に、貴院の精神科病棟から転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

		平成21年1～12月	平成22年1～12月
転院・退院患者延べ数		人	人
退院後一年間に自院のサービス別 自院のサービス別	① 自院の外来	人	人
	② 自院のデイ・ケア	人	人
	③ 自院からの訪問診療・往診	人	人
	④ 自院からの訪問看護	人	人
	⑤ 自院のその他の通院・在宅サービス	人	人
	⑥ 自院のサービス利用なし	人	人
退院後一年間に自院のデイ・ケアの利用はないものの、他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数		人	人
退院後一年間に自院の訪問看護の利用はないものの、他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数		人	人
精神科退院指導料を算定した件数		件	件
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数		件	件
精神科退院前訪問指導料を算定した件数		件	件
在院期間が5年以上だった転院・退院患者延べ数 <sup>注</sup>		人	人

注. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

問12 平成22年、平成23年における精神科地域移行実施加算の届出状況、平成21年1～12月、平成22年1～12月の各1年間に於いて入院期間が5年を超える患者が減少した割合をご記入ください。

1 精神科地域移行実施加算の届出状況	平成22年	01 有      02 無
	平成23年	01 有      02 無
		平成21年1～12月      平成22年1～12月
2 入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合 <sup>注</sup>		%      %

注. 1年間における入院期間が5年を超える患者の減少割合は、以下の算出式に基づいて数値をご記入ください。なお、算出式中の退院した患者数については、退院後3カ月以内に再入院した患者を除いて算出してください。

入院期間が5年を超える患者の減少割合 =  $\frac{\text{各年1月1日時点で入院期間が5年以上であった患者のうち、1月～12月までの1年間で退院した患者数} - \text{前年の1月2日以降に入院期間が5年以上となり、かつ前年の1月～12月までの1年間で退院した患者数}}{\text{前年の1月2日以降に入院期間が5年以上となった患者数}}$

■貴院における精神科デイ・ケアの実施状況についてお伺いします。

問13 貴院では、精神科デイ・ケアの届出を行っていますか。

01 届出あり (⇒問13-1～問13-3へ)                      02 届出なし (⇒問14へ)

問13-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月		平成23年6月	
	専 従 <sup>注</sup>	専 任 <sup>注</sup>	専 従	専 任
1 医 師	人	人	人	人
2 看 護 師	人	人	人	人
3 准 看 護 師	人	人	人	人
4 作 業 療 法 士	人	人	人	人
5 臨 床 心 理 技 術 者	人	人	人	人
6 ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	人	人	人	人
【再掲】精神保健福祉士	人	人	人	人
7 そ の 他	人	人	人	人

注. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。  
専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

問13-2 平成21年6月、平成22年6月、平成23年6月の各1カ月間に精神科デイ・ケアを利用した患者数（実人数）をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
精神科デイ・ケアの利用患者数	人	人	人
【再掲】当該療法の最初の算定から1年以内の期間を行っている患者数	人	人	人
【再掲】当該療法の最初の算定から1年以上の期間を行っている患者数	人	人	人
【再掲】入院中から精神科デイ・ケアを利用している患者数	人	人	人
過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数		人	人

問13-3 貴院では、疾患別や年代別等の個別のプログラムを有していますか。

01 ある

02 ない

▶プログラムの有無（該当するもの全てに○）

《疾患別》

- 11 統合失調症患者を対象とする内容
- 12 うつ患者を対象とする内容
- 13 その他特定の患者を対象とする内容

《病期別》

- 19 慢性期の患者を対象とする内容
- 20 急性期退院直後の患者を対象とする内容
- 21 その他病期を区切った内容

《年代別》

- 14 高齢者を対象とする内容
- 15 青年期の患者を対象とする内容
- 16 思春期の患者を対象とする内容
- 17 児童期の患者を対象とする内容
- 18 その他対象とする年代を区切った内容

《目的別》

- 22 家事等、日常生活技能の習得のための内容
- 23 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のための内容
- 24 疾病と治療についての理解のための内容
- 25 復職支援のための内容
- 26 処方どおりの服薬を守るための内容
- 27 その他の特定の目的のための内容



■貴院における精神科訪問看護の実施状況についてお伺いします。

問14 貴院では、訪問看護を実施していますか。

- 01 実施している (⇒問14-1～問14-4へ)      02 実施していない (⇒問15へ)

問14-1 貴院では、訪問看護を担当する部署を設置していますか。

- 01 設置している  
(⇒担当部署の種別： 11 院内の訪問看護部門 12 併設する訪問看護ステーション )  
02 設置していない  
(⇒訪問看護職員の所属： 21 病棟 22 外来 23 その他 ( ) )

問14-1-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)
1 看護師	. 人	. 人
2 准看護師	. 人	. 人
3 理学療法士	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5 \text{日} \times 8 \text{時間} \times 10 \text{人} + 4 \text{日} \times 5 \text{時間} \times 1 \text{人}}{40 \text{時間}} = 10.5 \text{人}$$

問14-2 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に精神科訪問看護を利用した患者数(実人数)をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
精神科訪問看護の総登録患者数	人	人
精神科訪問看護の利用患者数	人	人
精神科訪問看護・指導料(I)の算定件数	件	件
複数名訪問加算の算定件数	件	件
精神科訪問看護・指導料(II)の算定件数	件	件
長時間訪問加算の算定件数	件	件

注. 訪問看護ステーションについては、訪問看護基本療養費I(精神疾患患者に限る)、IIの算定件数をご記入ください。

問14-3 精神科訪問看護・指導料(I)(訪問看護ステーションは訪問看護基本療養費I)について、複数の看護師等で訪問した場合の加算を算定できる場合であっても、実際には加算をしないことがありますか。

- 01 算定要件を満たす場合には算定している  
02 算定要件を満たす場合であっても算定しないことがある  
↳ 算定しない理由 ( )

問14-4 精神科訪問看護・指導料(II)(訪問看護ステーションは訪問看護基本療養費II)について、指定訪問看護の時間が3時間を超えた時間について加算を算定できる場合であっても、実際には加算をしないことがありますか。

- 01 算定要件を満たす場合には算定している  
02 算定要件を満たす場合であっても算定しないことがある  
↳ 算定しない理由 ( )

■貴院のGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。

問15 貴院の精神科の急性期医療におけるGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。		
1 GAF尺度による判定の実施状況	01 実施 (⇒問15-2へ)	02 未実施 (⇒問16へ)
2 精神科の急性期医療におけるGAF尺度による判定・記録に対する負担感 (それぞれ該当するもの1つに○)	新規入院患者の判定・記録	入院中の患者の判定・記録
	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい

問16 貴院の精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。		
1 GAF尺度による判定の実施状況	01 実施 (⇒問16-2へ)	02 未実施 (⇒問17へ)
2 精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定・記録に対する負担感 (それぞれ該当するもの1つに○)	新規入院患者の判定・記録	入院中の患者の判定・記録
	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい

問17 貴院における他の重症度判定尺度の活用状況についてお伺いします。	
1 他の重症度判定尺度の活用の有無 (該当するもの全てに○)	01 有 └─▶ 活用している尺度 ( ) 02 無
2 重症度の判定尺度としてGAF尺度を用いることに対する意見 (該当するもの全てに○)	
01 判定・記録が簡便である 02 判定対象が特定の疾患に限定されていないため、広く患者の状態像を判定できる 03 共通のスケールを用いることで患者の状態像等の比較が可能となる 04 判定・記録が煩雑である 05 患者の生活機能を反映した判定が難しい 06 判定者によって判定結果がぶれやすい 07 その他 ↓	
≪「07 その他」の意見について具体的にご記入ください≫	



診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成23年度調査)

## 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■ 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	
2 看護職員(看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。  
 例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①~⑫の合計、年齢階級①~⑤の合計、在院期間①~⑥の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 <sup>注1</sup>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分[感情]障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害(精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

問2 (つづき)			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
在院期間別 注2	① 1 カ月未満		人	人
	② 1 カ月以上 3 カ月未満		人	人
	③ 3 カ月以上 6 カ月未満		人	人
	④ 6 カ月以上 1 年未満		人	人
	⑤ 1 年以上 5 年未満		人	人
	⑥ 5 年以上		人	人

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
精神科身体合併症管理加算の 状態別 注	① 呼吸器系疾患(肺炎、喘息発作、肺気腫)		人	人
	② 心疾患(New York Heart Associationの心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈)		人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折		人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患(インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症)		人	人
	⑤ 重篤な栄養障害(Body Mass Index <sup>13</sup> 未満の摂食障害)		人	人
	⑥ 意識障害(急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等)		人	人
	⑦ 全身感染症(結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症)		人	人
	⑧ 急性腹症(消化管出血、イレウス等)		人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症		人	人
	⑩ 広範囲(半肢以上)熱傷		人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍		人	人
	⑫ 透析導入時		人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態		人	人
	⑭ 膠原病(専門医による管理を必要とする状態に限る)		人	人
	④以外の内分泌・代謝性疾患			人
⑤以外の栄養障害			人	人
合併症妊娠・出産			人	人
その他の身体合併症			人	人

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数			人	人

問3-2 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。

<p>1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 有                      02 無</p> <p>① 連携方法：(該当するもの全てに○)</p> <p>11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療) 16 他診療科への転棟による診療 17 その他 ( _____ )</p>						
<p>2 院内パスの活用</p>	<p>01 有 (⇒疾患名： _____)      02 無</p>						
<p>3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 有                      02 無</p> <p>① 連携医療機関：</p> <table border="1" data-bbox="643 842 1414 994"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table> <p>② 連携方法：(該当するもの全てに○)</p> <p>11 診療記録の共有 12 他の医療機関とのカンファレンスの開催 13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有 15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療) 16 他の医療機関への転院による診療 17 その他 ( _____ )</p>	病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設
病院	施設						
有床診療所	施設						
無床診療所	施設						
<p>4 地域連携パスの活用</p>	<p>01 有 (⇒疾患名： _____)      02 無</p>						
<p>5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない</p>						
<p>6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫</p>	<p>《自由回答》</p>						

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科）」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。					
		平成21年4～6月		平成23年4～6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
新規入棟患者数		人	人	人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	

問5 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科）」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。					
		平成21年4～6月		平成23年4～6月	
		当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人
転棟・転院・退院先別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問5-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

≪自由回答≫

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問6 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 <sup>注</sup> についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカフェインを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患者等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ( )
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問7 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた      02 ほぼ変わらない      03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた      02 ほぼ変わらない      03 減った

問8 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

**「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、  
 「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、  
 13対1入院基本料を届出ている施設のみ、次頁の間9～10にご回答ください**



■当該病棟の入院患者のGAF尺度のスコアの状況についてお伺いします。

問9 <<「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、13対1入院基本料を届出ている施設のみご記入ください>>

貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」算定病棟において、平成23年6月30日時点に入院していた全ての患者の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。

なお、任意の設問として、平成22年6月30日時点、平成21年6月30日時点に入院していた患者のGAF尺度のスコア別の状態についても、可能な範囲でご記入ください。

		平成23年6月30日 時点の入院患者	任意（可能な範囲でご記入ください）	
			平成22年6月30日 時点の入院患者	平成21年6月30日 時点の入院患者
当該病棟で該当する患者数		人	人	人
GAF 尺度の スコア別	① 91～100点	人	人	人
	② 81～90点	人	人	人
	③ 71～80点	人	人	人
	④ 61～70点	人	人	人
	⑤ 51～60点	人	人	人
	⑥ 41～50点	人	人	人
	⑦ 31～40点	人	人	人
	⑧ 21～30点	人	人	人
	⑨ 11～20点	人	人	人
	⑩ 1～10点	人	人	人
	⑪ 0点	人	人	人

問10 <<「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、13対1入院基本料を届出ている施設のみご記入ください>>

貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」算定病棟において、平成23年4月～6月の間に①新規入院した全ての患者の入棟時の状態、②転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。

		①入棟時点の状態像	②転棟・転院・退院時点の状態像
		平成23年4～6月に 新規入棟した患者	平成23年4～6月に 転棟・転院・退院した患者
当該病棟で該当する患者数		人	人
GAF 尺度の スコア別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

**診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）**  
**精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査**

■貴院の「精神科救急入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科救急入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
		実人数	
1 医師		人	人
		常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)		. 人	. 人
3 看護補助者		. 人	. 人
4 作業療法士		. 人	. 人
5 臨床心理技術者		. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー		. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士		. 人	. 人
7 医師事務作業補助者		. 人	. 人
8 その他		. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで (小数点第二位を切り上げ) をご記入ください。  
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日 (各日8時間) 勤務の看護師が10人と、週4日 (各日5時間) 勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①~⑫の合計、年齢階級①~⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 <sup>注1</sup>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分 [感情] 障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害 (精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上 40歳未満	人	人
	③ 40歳以上 65歳未満	人	人
	④ 65歳以上 75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版 (2003年改訂) の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の 状態別注	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Associationの心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
	④以外の内分泌・代謝性疾患	人	人
⑤以外の栄養障害	人	人	
合併症妊娠・出産	人	人	
その他の身体合併症	人	人	

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数		人	人

問3-2 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。	
1 院内の他診療科との連携の有無（該当するもの1つに○）	<p>01 有                      02 無</p> <p>① 連携方法：（該当するもの全てに○）</p> <p>11 診療記録の共有</p> <p>12 院内カンファレンスの開催</p> <p>13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有</p> <p>14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有</p> <p>15 他診療科の医師による対診診療（他診療科から当該病棟に出向いて行う診療）</p> <p>16 他診療科への転棟による診療</p> <p>17 その他（ _____ ）</p>
2 院内パスの活用	01 有（⇒疾患名： _____）      02 無

問3-2 (つづき)

3 院外 <sup>1</sup> の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有	02 無												
	① 連携医療機関： <table border="1"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table> ② 連携方法：(該当するもの全てに○) <table border="1"> <tr> <td>11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td>16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td>17 その他 ( )</td> </tr> </table>		病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療
病院	施設													
有床診療所	施設													
無床診療所	施設													
11 診療記録の共有														
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催														
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)														
16 他の医療機関への転院による診療														
17 その他 ( )														
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： )	02 無												
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない													
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	≪自由回答≫													

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬1種類		人	人
【再掲】抗精神病薬2種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬3種類		人	人
【再掲】抗精神病薬4種類		人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上		人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自 宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	
緊急自動車等により搬送された延べ患者数		人	人

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、「精神科救急入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月		平成23年6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人	人	人
転棟・転院・退院先別	① 自 宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問7 貴院の「精神科救急入院料」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 <sup>注</sup> についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカフェインを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患者等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ( )
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問8 貴院の「精神科救急入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問9 貴院の「精神科救急入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

## 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神科救急・合併症入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。  
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 <sup>注1</sup>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害 (精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上 40歳未満	人	人
	③ 40歳以上 65歳未満	人	人
	④ 65歳以上 75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

		平成21年6月	平成23年6月
精神科救急・合併症入院料の状態別 <small>注</small>	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Associationの心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 合併症妊娠・出産	人	人
	⑮ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
④以外の内分泌・代謝性疾患		人	人
⑤以外の栄養障害		人	人
その他の身体合併症		人	人

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。

1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有	02 無
	① 連携方法：(該当するもの全てに○) 11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療) 16 他診療科への転棟による診療 17 その他( )	
2 院内パスの活用	01 有 (⇒疾患名： )	02 無



問3-1 (つづき)													
3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有                      02 無												
	① 連携医療機関： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">病院</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td style="text-align: center;">施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td style="text-align: center;">施設</td> </tr> </table> ② 連携方法：(該当するもの全てに○) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td>16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td>17 その他 ( _____ )</td> </tr> </table>	病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療
病院	施設												
有床診療所	施設												
無床診療所	施設												
11 診療記録の共有													
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催													
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有													
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有													
15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)													
16 他の医療機関への転院による診療													
17 その他 ( _____ )													
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____)      02 無												
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない												
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	≪自由回答≫												

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数	人	人	人
【再掲】抗精神病薬1種類	人	人	人
【再掲】抗精神病薬2種類	人	人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数	人	人	人
【再掲】抗精神病薬3種類	人	人	人
【再掲】抗精神病薬4種類	人	人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上	人	人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
		平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自 宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	
緊急自動車等により搬送された延べ患者数		人	人

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、「精神科救急・合併症入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人
転棟・転院・退院先別	① 自 宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

<b>問7 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)</b>			
1	<u>精神症状</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない 03 減った
2	<u>身体合併症</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない 03 減った

<b>問8 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)</b>			
1	<table border="1"> <tr> <td><u>精神症状</u>の重症な患者の移動</td> <td>                     01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた                      02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた                      03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない                 </td> </tr> </table>	<u>精神症状</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
<u>精神症状</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない		
2	<table border="1"> <tr> <td><u>身体合併症</u>の重症な患者の移動</td> <td>                     01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた                      02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた                      03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない                 </td> </tr> </table>	<u>身体合併症</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
<u>身体合併症</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない		

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

## 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■ 貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。  
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①~⑫の合計、年齢階級①~⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 <sup>注1</sup>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害 (精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上 40歳未満	人	人
	③ 40歳以上 65歳未満	人	人
	④ 65歳以上 75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の状態別注	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Association の心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
④以外の内分泌・代謝性疾患		人	人
⑤以外の栄養障害		人	人
合併症妊娠・出産		人	人
その他の身体合併症		人	人

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数		人	人

問3-2 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。	
1 院内の他診療科との連携の有無（該当するもの1つに○）	01 有                      02 無 ↳ ① 連携方法：（該当するもの全てに○） 11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療（他診療科から当該病棟に出向いて行う診療） 16 他診療科への転棟による診療 17 その他（_____）
2 院内パスの活用	01 有（⇒疾患名：_____）      02 無

問3-2 (つづき)

3 院外 <sup>の</sup> 他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有	02 無												
	① 連携医療機関： <table border="1"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table> ② 連携方法：(該当するもの全てに○) <table border="1"> <tr> <td>11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td>16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td>17 その他 ( _____ )</td> </tr> </table>		病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療
病院	施設													
有床診療所	施設													
無床診療所	施設													
11 診療記録の共有														
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催														
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
15 他の医療機関の医師による対診診療(他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)														
16 他の医療機関への転院による診療														
17 その他 ( _____ )														
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____)	02 無												
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない													
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	≪自由回答≫													

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬1種類		人	人
【再掲】抗精神病薬2種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬3種類		人	人
【再掲】抗精神病薬4種類		人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上		人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自 宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月		平成23年6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人	人	人
転棟・転院・退院先別	① 自 宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

<b>問7 貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)</b>			
1	<u>精神症状</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない 03 減った
2	<u>身体合併症</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない 03 減った

<b>問8 貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の中に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)</b>	
1	<u>精神症状</u> の重症な患者の移動 01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2	<u>身体合併症</u> の重症な患者の移動 01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない



診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

## 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■ 貴院の「精神療養病棟入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に 従事している職員数をご記入ください。	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 <sup>注</sup> (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。  
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計、在院期間①～⑥の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 <sup>注1</sup>	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害 (精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上 40歳未満	人	人
	③ 40歳以上 65歳未満	人	人
	④ 65歳以上 75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

問2 (つづき)			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
在院期間別 注2	① 1 カ月未満		人	人
	② 1 カ月以上 3 カ月未満		人	人
	③ 3 カ月以上 6 カ月未満		人	人
	④ 6 カ月以上 1 年未満		人	人
	⑤ 1 年以上 5 年未満		人	人
	⑥ 5 年以上		人	人

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問3 平成 21 年 6 月 30 日時点、平成 22 年 6 月 30 日時点、平成 23 年 6 月 30 日時点で貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
	平成 21 年 6 月	平成 22 年 6 月	平成 23 年 6 月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算 1 の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬 1 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 2 種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算 2 の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬 3 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 4 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 5 種類以上		人	人

■当該病棟の入院患者のGAF尺度のスコアの状況についてお伺いします。

問4 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において、平成 23 年 6 月 30 日時点で入院していた全ての患者の状態について、GAF 尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。 なお、任意の設問として、平成 22 年 6 月 30 日時点、平成 21 年 6 月 30 日時点で入院していた患者のGAF 尺度のスコア別の状態についても、可能な範囲でご記入ください。			
	平成 23 年 6 月 30 日 時点の入院患者	任意 (可能な範囲でご記入ください)	
		平成 22 年 6 月 30 日 時点の入院患者	平成 21 年 6 月 30 日 時点の入院患者
当該病棟で該当する患者数	人	人	人
GAF 尺度のスコア別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

問5 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において、平成23年4月～6月の間に①新規入棟した全ての患者の入院時の状態、②転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。			
		①入棟時点の状態像	②転棟・転院・退院時点の状態像
		平成23年4～6月に新規入棟した患者	平成23年4～6月に転棟・転院・退院した患者
当該病棟で該当する患者数		人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問6 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
		平成21年4～6月	平成23年4～6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	

問7 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		
	平成21年4～6月	平成23年4～6月
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数	人	人
転棟・ 転院・ 退院 先別	① 自宅	人
	② 自院の他の病棟等	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人
	【再掲】精神科救急入院料	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	
	【再掲】その他の病棟	人
	③ 他 の 病 院	人
	④ 有 床 診 療 所	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人
⑥ 老人保健施設	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	
⑧ 死 亡	人	



問7-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。
<<自由回答>>   

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問8 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 <sup>注</sup> についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカフェインを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患者等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ( )
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問9 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問10 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションの状況についてお伺いします。

問1 貴院の院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションにおいて平成23年6月の1カ月間に訪問している患者について、以下の各項目の選択肢を参考に、算定している精神科訪問看護・指導料および加算、訪問状況、患者の6月1カ月間の平均的なGAF尺度のスコアをご記入ください。

	選 択 肢
主たる疾患	01 症状性を含む器質性精神障害 02 精神作用物質による精神及び行動の障害 03 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 04 気分〔感情〕障害 05 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 06 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 07 成人の人格及び行動の障害 08 知的障害（精神遅滞） 09 心理的発達の障害 10 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 11 詳細不明の精神障害 12 その他
精神科訪問看護・指導料	01 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ） 02 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）
加 算	01 複数名訪問加算 02 長時間訪問加算
ケア内容	01 日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大（食生活・活動・整容・安全確保等のモニタリングおよび技能の維持向上のためのケア） 02 対人関係の維持・構築（コミュニケーション能力の維持向上の援助、他者との関係性への援助） 03 家族関係の調整（家族に対する援助、家族との関係性に関する援助） 04 精神症状の悪化や増悪を防ぐ（症状のモニタリング、症状安定・改善のためのケア、服薬・通院継続のための関わり） 05 身体症状の発症や進行を防ぐ（身体症状・合併症のモニタリング、生活習慣に関する助言・指導、自己管理能力を高める援助） 06 公共施設利用の援助（電車、銀行、役所などの利用に対する援助） 07 社会資源の活用（社会資源に関する情報提供、利用のための援助） 08 住環境等に関する援助（住まい等に関する援助） 09 仕事や学校に関する援助（社会活動に関する調整・援助） 10 対象者のエンパワーメント（自己効力感を高める、コントロール感を高める、肯定的フィードバック）

患者 No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の訪問回数	1回当たり平均訪問時間	加算	ケア内容（該当するもの全てに○）	GAF尺度のスコア
1	1~12から記入	01 (Ⅰ) ⇒ ( 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 ) 02 (Ⅱ) ⇒ ( 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 )	月 ____ 回	____ 時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____ 点

問1 (つづき)							
患者 No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の 訪問回数	1回当たり 平均訪問時間	加算	ケア内容 (該当するもの全てに○)	GAF尺度の スコア
2	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
3	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
4	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
5	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
6	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
7	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
8	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
9	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
10	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } ) 02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 } )	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点

問1 (つづき)							
患者 No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の 訪問回数	1回当たり 平均訪問時間	加算	ケア内容 (該当するもの全てに○)	GAF尺度の スコア
11	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
12	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
13	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
14	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
15	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
16	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
17	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
18	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
19	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点
20	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点



診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

●平成23年6月30日に精神科病棟に入院中の患者の状況について、該当患者1人につき本調査票1部を可能な範囲でご記入ください。

## ■患者の基本的事項

1 性別	01 男性	02 女性	2 年齢	(6月30日現在) _____ 歳
3 精神障害者福祉手帳	01 手帳をもっていない	02 1級	03 2級	04 3級

## ■入院の状況

4 入院日（年号に○）	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日	6 精神科・神経科への通算入院回数	_____ 回目・不明
5 初診日（他の医療機関を含む）	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃	7 精神科・神経科への通算入院期間	_____ 年 _____ 月・不明
8 現在入院中の病棟（○は1つ）	01 精神科病棟入院基本料（10または13対1） 02 精神科病棟入院基本料（15、18または20対1） 03 特定機能病院入院基本料（7、10または13対1） 04 特定機能病院入院基本料（15対1） 05 特別入院基本料	06 精神科救急入院料 07 精神科急性期治療病棟入院料（1または2） 08 精神科救急・合併症入院料 09 精神療養病棟入院料（1または2） 10 認知症治療病棟入院料	
9 入院基本料等加算の状況（○はいくつでも）	01 精神科隔離室管理加算 02 精神科病棟入院時医学管理加算 03 精神科地域移行実施加算 04 精神科身体合併症管理加算	05 児童・思春期精神科入院医療管理加算 06 強度行動障害入院医療管理加算 07 重度アルコール依存症入院医療管理加算 08 摂食障害入院医療管理加算	
10 入棟前の居場所（○は1つ）	01 自宅、賃貸住宅など（家族と同居） 02 自宅、賃貸住宅など（一人暮らし） 03 自院の他の病棟 04 他の医療機関の精神科病棟 05 他の医療機関の精神科病棟以外の病棟 06 介護老人保健施設 07 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	08 グループホーム 09 有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス） 10 生活訓練施設 11 入所授産施設 12 その他（ _____ ） 13 不明	
11 入院の理由（○はいくつでも）	01 精神症状が強い 02 セルフケアに著しい問題がある 03 迷惑行為・他害行為の危険性が高い	04 自傷行為・自殺企図の危険性が高い 05 治療・服薬への心理的抵抗が強い 06 その他（ _____ ）	
12 入院形態（○は1つ）	01 任意入院 02 医療保護入院	03 措置入院・緊急措置入院 04 応急入院	
13 処遇（○は1つ）	01 開放処遇	02 閉鎖処遇	
14 主傷病（○は1つ）	01 認知症（F00-03） 02 その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03 アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04 その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05 統合失調症（F20） 06 その他の精神病性障害（F21-29） 07 気分（感情）障害（F3） 08 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）	09 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10 成人の人格・行動の障害（F6） 11 知的障害（精神遅滞）（F7） 12 心理的発達障害（F8） 13 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14 詳細不明の精神障害（F99） 15 てんかん（G40）	
15 身体合併症（○はいくつでも）	01 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫） 02 心疾患（虚血性心疾患など） 03 手術又は直達・介達牽引を要する骨折 04 重篤な内分泌・代謝性疾患 05 重篤な栄養障害（Body Mass Index 13未満の摂食障害） 06 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害等） 07 全身感染症（結核、梅毒、敗血症等） 08 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	09 悪性症候群 10 横紋筋融解症 11 広範囲（半肢以上）熱傷 12 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍 13 腎不全（透析を必要とする状態） 14 手術室での手術を必要とする状態 15 合併症妊娠・出産 16 膠原病（専門医による管理を必要とする状態）	

## ■患者の状態等

16 症状の程度 (○は1つ)	01 生命の危険がある	04 近日中に退院予定					
	02 生命の危険は少ないが入院治療を要する	05 検査入院					
	03 受け入れ条件が整えば退院可能	06 その他 ( )					
17 患者の GAF スコア ・入棟時 1 週間 (ただし、精神科救急入院料の病棟の場合は入棟時 2 週間) ・平成 23 年 6 月末 1 週間	入棟初日	入棟 2 日目	入棟 3 日目	入棟 4 日目	入棟 5 日目	入棟 6 日目	入棟 7 日目
	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点
	入棟 8 日目	入棟 9 日目	入棟 10 日目	入棟 11 日目	入棟 12 日目	入棟 13 日目	入棟 14 日目
	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点
	6 月 24 日(金)	6 月 25 日(土)	6 月 26 日(日)	6 月 27 日(月)	6 月 28 日(火)	6 月 29 日(水)	6 月 30 日(木)
	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	
18 認知症高齢者の日常生活自立度	01 自立	02 I	03 II	04 IIIa	05 IIIb		
	06 IV	07 M	08 不明	09 該当無し			
19 ADL 区分 (○は1つ)	01 ADL 区分 1	02 ADL 区分 2	03 ADL 区分 3	04 不明			
20 IADL の困難度 (○は各1つ)	a. 食事の用意	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	b. 家事一般	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	c. 金銭管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	d. 薬の管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	e. 電話の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	f. 買い物	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	g. 交通手段の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	21 患者の状態 (○は各1つ)	a. 他者への意思伝達	01 できる	02 できる時とできない時がある	03 できない		
b. 診療・療養上の指示が通じる		01 通じる	02 通じない				
c. 危険行動への対応(過去1ヶ月)		01 なし	02 あり				

### 〈参考〉

- a. 特定の看護師や家族にしか意思の伝達ができない場合は「できる時とできない時がある」。昏迷、緘黙の場合は「できない」。
- b. 隔離中の場合は、療養上の指示が「通じない」。拒薬も同様。認知症、幻覚妄想状態の患者は指示については「通じない」。
- c. 他害や器物破損で二次的に自他の安全を損なう行為、水中毒患者の多飲水も危険行為に含む。

## ■治療の状況

22 主傷病に対して実施している診療内容 (○はいくつでも)  ※主治医にご確認ください	01 薬物療法 → ( 抗精神病薬: a. 単剤      b. 多剤併用 → (種数: _____ 種) )
	b の場合の理由:
	02 精神療法 → [ a. 一般精神療法      b. 認知療法      c. 行動療法      d. 精神分析療法 e. 家族療法              f. 箱庭療法・遊戯療法      g. その他 ]
	03 訪問看護との併用      04 自立支援事務所との併用
	05 その他に利用している治療法や活動 ( )
23 身体合併症に対する対応状況 (○はいくつでも)	01 精神科・神経科の医師が対応 → ( a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い )
	02 自院の他科の医師が対応 → ( a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い )
	03 他院の医師の支援を受けて対応 → ( a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い )
	04 身体合併症の治療は他院に移送して実施 → ( a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い )
	05 治療を要する身体合併症なし

■患者の社会的状況

24 退院後に生活を継続するために必要な支援 (〇はいくつでも)	01 医療サービス (通院・訪問看護など) による援助・指導	04 不要
	02 福祉サービス (移送・家事援助など) による援助	05 将来の退院を想定できない
	03 給食サービス	06 その他 ( )

■退院の見通し

25 退院の見通し (〇は1つ)	01 現在の状態でも受け入れ先が整えば退院可能	03 状態の改善が見込まれるので、受け入れ先が整えば近い将来 (6 ヶ月以内) に退院可能となる					
	02 状態の改善が見込まれるので、受け入れ先を新たに整えずとも近い将来 (6 ヶ月以内) に退院可能となる	04 状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない					
26 退院した場合の支援 (〇はそれぞれ1つ)	01 看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導	02 不要					
	<table border="0"> <tr> <td>01 24時間常駐が必要</td> <td>03 毎日の訪問</td> <td>05 1週間で1回程度の訪問</td> </tr> <tr> <td>02 日中のみ常駐が必要</td> <td>04 1週間で数回の訪問が必要</td> <td></td> </tr> </table>	01 24時間常駐が必要	03 毎日の訪問	05 1週間で1回程度の訪問	02 日中のみ常駐が必要	04 1週間で数回の訪問が必要	
01 24時間常駐が必要	03 毎日の訪問	05 1週間で1回程度の訪問					
02 日中のみ常駐が必要	04 1週間で数回の訪問が必要						
27 現在退院できない場合の理由 (〇はいくつでも)	01 (医学的観点から)入院を要する状態が続いているため	07 退院後、必要な医療処置の提供が期待できないため					
	02 病識がないため	08 退院後、必要な支援等サービスを期待できないため					
	03 患者の経済的理由のため	09 家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため					
	04 本人が退院を望まないため	10 生活継続のための支援者がいないため					
	05 転院・入所先の空き待ちのため	11 地域 (近所) 住民の理解が得られないため					
	06 転院・入所への依頼が受け入れられないため	12 その他 ( )					

設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

●平成23年6月30日時点において貴病院にてデイ・ケアを利用されている患者であり、デイ・ケア利用開始日が平成21年7月1日以前かつデイ・ケア利用開始日から遡って2年以前に貴病院への通院を開始された患者の状況について、該当患者1人につき本調査票1部を可能な範囲でご記入ください。

■デイ・ケア利用者の基本的事項

1 性別	01 男性	02 女性	2 年齢	(6月30日現在)	_____歳
3 精神障害者福祉手帳	01 手帳をもっていない	02 1級	03 2級	04 3級	

■デイ・ケア利用開始後の状況

4 デイ・ケア利用開始日(年号に〇)	平成・昭和_____年____月____日				
5 入院中からのデイ・ケア利用の有無	01 有		02 無		
6 過去2年間における通算入院回数(平成21年6月～平成23年6月)	_____回				
7 過去2年間における再入退院日(年号に〇)(平成21年7月～平成23年6月)	入院日1	平成_____年____月____日	退院日1	平成_____年____月____日	
	入院日2	平成_____年____月____日	退院日2	平成_____年____月____日	
	入院日3	平成_____年____月____日	退院日3	平成_____年____月____日	
	入院日4	平成_____年____月____日	退院日4	平成_____年____月____日	
	入院日5	平成_____年____月____日	退院日5	平成_____年____月____日	
	入院日6	平成_____年____月____日	退院日6	平成_____年____月____日	
	入院日7	平成_____年____月____日	退院日7	平成_____年____月____日	
	入院日8	平成_____年____月____日	退院日8	平成_____年____月____日	
	入院日9	平成_____年____月____日	退院日9	平成_____年____月____日	
	入院日10	平成_____年____月____日	退院日10	平成_____年____月____日	
8 再入院の理由(〇はいくつでも)	01 精神症状が強いため		04 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため		
	02 セルフケアに著しい問題があるため		05 治療・服薬への心理的抵抗が強いため		
	03 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため		06 その他 ( _____ )		

■デイ・ケア利用開始前の状況

9 通院開始日	平成・昭和_____年____月____日				
10 デイ・ケア利用開始前2年間における通算入院回数	_____回				
11 デイ・ケア利用開始前2年間における再入退院日(年号に〇)	入院日1	平成_____年____月____日	退院日1	平成_____年____月____日	
	入院日2	平成_____年____月____日	退院日2	平成_____年____月____日	
	入院日3	平成_____年____月____日	退院日3	平成_____年____月____日	
	入院日4	平成_____年____月____日	退院日4	平成_____年____月____日	
	入院日5	平成_____年____月____日	退院日5	平成_____年____月____日	
	入院日6	平成_____年____月____日	退院日6	平成_____年____月____日	
	入院日7	平成_____年____月____日	退院日7	平成_____年____月____日	
	入院日8	平成_____年____月____日	退院日8	平成_____年____月____日	
	入院日9	平成_____年____月____日	退院日9	平成_____年____月____日	
	入院日10	平成_____年____月____日	退院日10	平成_____年____月____日	
12 再入院の理由(〇はいくつでも)	01 精神症状が強いため		04 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため		
	02 セルフケアに著しい問題があるため		05 治療・服薬への心理的抵抗が強いため		
	03 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため		06 その他 ( _____ )		

■デイ・ケア利用者の現況

13 現在の居場所 (○は1つ)	01 自宅 (家族等との同居も含む)	05 高齢者専用賃貸住宅					
	02 有料老人ホーム	06 認知症グループホーム					
	03 軽費老人ホーム	07 その他 ( )					
	04 養護老人ホーム	08 不明					
14 主傷病 (○は1つ)	01 認知症 (F00-03)	09 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 (F5)					
	02 その他の症状性を含む器質性精神障害 (F04-09)	10 成人の人格・行動の障害 (F6)					
	03 アルコールによる精神・行動の障害 (F10)	11 知的障害 (精神遅滞) (F7)					
	04 その他の精神作用物質による精神・行動の障害 (F11-19)	12 心理的発達の障害 (F8)					
	05 統合失調症 (F20)	13 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 (F90-98)					
	06 その他の精神病性障害 (F21-29)	14 詳細不明の精神障害 (F99)					
	07 気分 (感情) 障害 (F3)	15 てんかん (G40)					
	08 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害 (F4)						
15 デイ・ケア利用回数 (平成 23 年 6 月 1 カ月)	_____ 回						
16 GAF スコア ・平成 23 年 6 月末 1 週間	6 月 24 日 (金)	6 月 25 日 (土)	6 月 26 日 (日)	6 月 27 日 (月)	6 月 28 日 (火)	6 月 29 日 (水)	6 月 30 日 (木)
	点	点	点	点	点	点	点
17 認知症高齢者の 日常生活自立度	01 自立	02 I	03 II	04 IIIa	05 IIIb		
	06 IV	07 M	08 不明	09 該当無し			
18 ADL 区分 (○は1つ)	01 ADL 区分 1	02 ADL 区分 2	03 ADL 区分 3	04 不明			
19 IADL の困難度 (○は各1つ)	a. 食事の用意	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	b. 家事一般	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	c. 金銭管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	d. 薬の管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	e. 電話の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	f. 買い物	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	g. 交通手段の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
20 主傷病に対して実施している診療内容 (○はいくつでも) ※主治医にご確認ください	01 薬物療法 → (抗精神病薬: a. 単剤 b. 多剤併用 → (種数: _____ 種)) b の場合の理由: _____						
	02 精神療法 → { a. 一般精神療法 b. 認知療法 c. 行動療法 d. 精神分析療法 e. 家族療法 f. 箱庭療法・遊戯療法 g. その他 }						
	03 訪問看護との併用 04 自立支援事務所との併用						
	05 その他に利用している治療法や活動 ( )						

■プログラム利用の現況

21 デイ・ケア利用開始の目的 (○はいくつでも)	01 家事等、日常生活技能の習得のため	04 復職・就労支援のため	
	02 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のため	05 対人関係を回復し仲間を作るため	
	03 疾病と服薬についての理解のため	06 その他 ( )	
22 疾患別等のプログラム区分の有無	01 区分有り (→「23 利用プログラム」に進む)	02 区分無し	
23 利用プログラム (○はいくつでも)	疾患別	01 統合失調症患者を対象とするプログラム	06 発達障害患者を対象とするプログラム
		02 うつ患者を対象とするプログラム	07 強迫性障害患者を対象とするプログラム
		03 アルコール依存症を対象とするプログラム	08 摂食障害患者を対象とするプログラム
		04 双極性障害を対象とするプログラム	09 薬物依存患者を対象とするプログラム
		05 不安障害患者を対象とするプログラム	10 その他の特定患者を対象とするプログラム
	年代別	01 高齢者を対象とするプログラム	04 児童期の患者を対象とするプログラム
		02 青年期の患者を対象とするプログラム	05 その他対象とする年代を区切ったプログラム
		03 思春期の患者を対象とするプログラム	
	病期別	01 慢性期 (残遺状態) の患者を対象とするプログラム	03 その他病期を区切ったプログラム
		02 急性期退院直後の患者を対象とするプログラム	
	目的別	01 家事等、日常生活技能の習得のためのプログラム	04 復職・就労支援のためのプログラム
		02 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のためのプログラム	05 対人関係を回復し仲間を作るためのプログラム
03 疾病と服薬についての理解のためのプログラム		06 その他の特定の目的のためのプログラム	

設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。